

值著シク相違セリ故ニ甲第三號證ノ長椅子カ請求人主張ノ如ク請求人ノ考案ニ係リ且被請求人ノ登録出願前ニ公知公用セラレタリシト假定スルモ之カ爲メニ本件登録ヲ無効トスルコトヲ得ヘキモノニアラス又請求人カ明治四十二年十二月二十七日出願シタル願書ノ番號第四二一八〇號折疊長椅子ノ構造ヲ出願ノ際差出シタル圖面及説明書ニ依リテ觀ルニ腰掛蒲團ヲ前方ニ引出シ得ル裝置アリト雖モ直線ノ軌溝ヲ設ケテ腰掛蒲團ヲ水平ニ進退セシムルニ過キス從テ本件登録新案ニ於ケル軌溝ト全ク構造ヲ異ニシ他ノ部分ノ構造ニ於テモ本件登録新案ト相似セル點ナシ請求人カ願書番號第四二一八〇號ノ件ニ關シ明治四十三年一月二十四日付ヲ以テ差出シタル訂正圖面及説明書ニハ甲第三號證ニ於ケル軌溝ノ記載アリト雖モ其構造カ本件登録新案ノ軌溝ノ構造ト全ク相異レルモノナルコトハ前ニ説明シタル所ノ如シ右訂正圖面及説明書ニ記載セル考案ト甲第三號證ノ椅子ノ考案トニ均等ナル點ハ寄掛蒲團ヲ降下シ又ハ上昇セシメ得ルコトニ在リト雖モ此點ハ以テ新規ノ考案ト爲スニ足ラス從テ請求人ノ該出願ニ依リ本件登録ヲ無効ト爲スヲ得サルコト論ヲ俟タス請求人カ其出願ニ關シ明治四十三年八月二十三日及其以後ニ於テ差出シタル新案品見本圖面及説明書ハ孰レモ被請求人ノ本件登録實用新案ノ出願ノ日ヨリ數月ノ後ニ差出サレタルモノナルヲ以テ此等ノ見本圖面及説明書ノ如何モ亦本件登録ヲ無効ト爲シ得ヘキ原因ト爲ラス請求人ハ本件登録實用新案ハ請求人ノ先願ニ係ル前掲新案ト類似セルカ故ニ被請求人ノ考案ニアラスシテ請求人ノ考案ナリト謂フヘシト論セリト雖モ類似ノ考案ナルカ故ノミヲ以テ同一人ノ考案ナリト謂フヲ得ヘキモノニアラサルコト説明ヲ要セサルノミナラス本件ニ於ケル二個ノ考案ハ相類セサルモノナルコト前ニ説明シタル所ノ如シ以上説明シタル所ノ外尙當事者双方ニ於テ論争スル所アルモ本件ニハ必要ナキヲ以テ之ニ對シテハ説明ヲ爲サス右ノ理由ナルヲ以テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年二月十五日於特許局

審判長 特許局技師 押 田 翼
 特許局事務官 田 中 鐵 二 郎
 特許局事務官 三 浦 惠 一

第二千七十號

東京市本所區向島中ノ郷町三十番地	請 求 人	大 石 儀 作
東京市日本橋區伊勢町二十六番地特許辦理士	右 代 理 人	岩 崎 勳
東京市日本橋區伊勢町二十六番地特許辦理士	右 代 理 人	菊 地 馨 司
東京市淺草區吉野町二十七番地	被 請 求 人	佐 野 銀 次 郎
東京市日本橋區堀越町三丁目十一番地特許辦理士	右 代 理 人	三 上 七 十 郎
東京市神田區北神保町十七番地	被 請 求 人	木 村 久 英

右當事者間ノ第一三九七三號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 請求人申立相立タス
 審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造販賣セル甲第二號證ノ物品ハ請求人所有ノ登録實用新案第一三九七三號富貴表ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ適宜ノ材料ヲ芯トシ綿絲其他適宜ノ材料ヲ縁心トシ之レニ藤色ノ擬革塗料ヲ塗リタル局紙ヲ貼付

シ表面ハ型鋸ヲ壓搾シ深クシテ太キ縦線狀ト淺クシテ細キ横線狀ノ缺陷ヲ施シ恰カモ真誠藤表ノ如キ外觀ヲ呈セシムルモノヲ考案シ富貴表ト稱シ明治四十二年五月一日甲第一號登記載ノ範圍ニ於テ實用新案第一三九七三號ヲ以テ登録ヲ得タルモノナリ然ルニ被請求人ハ右登録實用新案富貴表ト其形狀構造殆ト同一ナル甲第二號證ノ履物表ヲ製造販賣セルヲ以テ該履物表ハ本件富貴表ノ權利範圍ニ屬スヘキモノナリ又本件富貴表ノ要部ハ藤表ニ擬シタル履物表自體ノ構造ニシテ芯體竝ニ縁芯ノ如キ製造工程ニアラサルコトハ已ニ請求人ノ所有ニ係ル第一一二五三號登録實用新案ニ依ルモ明白ナリ又本件富貴表ト第八〇七二號登録實用新案トハ全然別構造ニ屬スルモノナリト云フニ在リテ其實實ヲ確ムル爲メニ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件第一三九七三號登録實用新案富貴表ハ甲第一號證ニ示ス如ク芯^イノ輪内ニ芯^ロヲ嵌入シ其下面ニ附セル芯臺^リニ釘^ヌヲ附シ周圍ニハ縁心^ハヲ嵌シ上面ニハ擬革紙ノ表體^ホヲ附シ裏打^ルヲ設ケ加熱型鋸ヲ以テ壓搾シテ缺陷^ヘト^チヲ顯シタル構造ヲ具フルモノナリ然ルニ被請求人カ現ニ製造販賣セル履物表ハ「ボール」紙ト稱スル厚紙二枚ヲ重合シ其一枚ニ釘ヲ附シ他ノ一枚ニ「レザー」ト稱スル擬革布ヲ附シ同布ノ圍邊ヲ裏面ヘ折返シテ貼着シ其裏面ニ化粧紙ヲ貼付シ模型ニ入レ壓搾シ以テ其表面ニ凸凹模樣ヲ顯シタル構造ニシテ全然本件富貴表トハ別構造ヲ有スルモノナリ更ニ一步ヲ進メテ論スレハ被請求人ノ製造販賣ニ係ル本件係争ノ履物表ハ本件實用新案ノ出願前公用ニ屬ス第八〇七二號登録實用新案ノ如キ其一例ナリ又請求人ノ第一一二五三號登録實用新案ニ關スル所論ハ本件審判ニ何等ノ關係ナキ別問題ナルヲ以テ答辯セスト云フニアリ

審決ノ理由 本件當事者間ニ於テ第八〇七二號及第一一二五三號ノ兩登録實用新案ニ就キ論争スル所ア

ルモ斯カル事項ハ本件ニ於テ問フ所ニアラス只本件ハ甲第二號證履物表カ第一三九七三號登録實用新案權ノ範圍ニ屬スルヤ否ヤヲ定ムレハ足レリ而シテ本件第一三九七三號登録實用新案富貴表ハ其圖面ニ示ス如ク透孔ヲ有ス外芯^イニ内芯^ロヲ嵌合シ之レヲ釘ヲ有スル芯臺^リノ表面ニ貼着シ縁心^ハヲ外芯^イノ周圍ニ取付ケ次ニ如上構成ニ係カル芯體ノ表面ニ擬革布製表皮^ホヲ貼付シ其周圍ヲ芯臺^リノ裏面ニ糊着シ裏張ヲ施シ右表皮ニ藤表ノ模樣ヲ壓出シタル履物表ニシテ其權利範圍カ右構造ニ存スルハ明カナリ然ルニ被請求人カ製造販賣スル甲第二號證履物表ハ履物表形ニ截斷セル「ボール」芯二枚中其一ノ芯ノ下面ニ向ヒ釘ヲ貫通セシメ之レヲ下層トナシ其表面ニ他ノ芯ヲ重テ合ハセタル芯體ノ表面ヲ擬革布ニテ覆ヒ其周圍ヲ裏面ニ折返シテ糊着シ裏打ヲ施コシ擬革表面ニ藤表模樣ヲ壓出シタルモノニシテ前者ノ目的トスル效果即特ニ縱條溝ヲ深ク且太カラシムヘキ效果ヲ生セシメンカ爲メニ芯體^ヲ内、外、縁ノ三個ノ芯ニ分チタル構造ヲ缺如セルモノナリ從テ兩者全然別構造ニ屬シ甲第二號證履物表ノ構造ハ本件實用新案ノ權利範圍ニ觸ルル所ナシ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年二月二十一日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 田 中 鐵 二 郎
特許局事務官 村 山 小 次 郎

第二千五百二十一號

大阪市東區南渡邊町四十番地

請 求 人 永 井 清 次 郎

大阪府北區若松町二十三番地特許辦理士 右代理人 伊藤秀雄
 大阪府東區北久寶寺町三丁目 被請求人 三浦竹次郎
 大阪府南區松屋町三十七番地 被請求人 西川龜次郎
 大阪府北區絹笠町十番地特許辦理士 右代理人 清瀬一郎

右當事者間ノ第一三五六號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ製造販賣スル甲第一號證浪花絞團扇ハ登録第一三五六號實用新案權利ノ範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ前記實用新案ノ登録請求範圍ハ諸種ノ模様ヲ有セル(有セサルモ適宜トス)薄キ紙ヲ適宜ノ方法ニ依リ皺縮セシメタル地紙ヲ適宜ノ形狀ヲ有セル縁枠ノ一面若クハ兩面ニ糊附シ縦杆ヲ取付ケテ成ル團扇ニシテ薄キ紙ヲ皺縮セシメテ地紙ト爲シ之ヲ以テ團扇ヲ製造スルコトヲ主要部ト爲スモノナリ然ルニ被請求人等ハ縁枠ヲ有セサル甲第一號證ノ團扇ハ右登録實用新案ノ權利範圍外ニシテ請求人カ之レニ登録標記ヲ附シテ販賣シタルハ實用新案法ニ違反スルモノトシテ告訴セリ之レ本件請求ノ必要ナル所以ナリト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ノ主要部ハ團扇ノ構造中從來普通ナル竹骨ニ代フルニ桿ヲ以テ柄ニ代フルニ縦杆ヲ以テスルノ點ニアリ假リニ皺縮紙ヲ用ユルコトカ權利ノ要部トスルモ其他ノ部分ニ於テ全然異ル所ノ甲第一號證ノ如キハ其權利ノ範圍内ニアルモノト云フヲ得スト云フニアリ

審決ノ理由

被請求人カ明治四十二年五月九日實用新案ノ登録ヲ出願シ同年六月二十四日登録ヲ受ケタル第一三五六號登録實用新案浪花絞團扇ハ其願書附屬圖面及其說明書ニ依レハ薄キ紙ヲ皺縮セシメタルモノヲ縁枠(ハ)ノ一面若クハ兩面ニ糊付シ之レニ縦杆ニテ取付ケタル全部ノ結合ヨリ成ルモノニシテ請求人主張ノ如ク皺縮セシメタル薄キ地紙ヲ以テ團扇ヲ製造スル點ノミヲ以テ要部トナスモノニアラス然リ而シテ本件請求ノ目的物タル請求人ノ製造販賣スル甲第一號證浪花絞團扇ハ縁枠ヲ具備セサルノミナラス内部ニ數多ノ竹製ノ骨ヲ有スルヲ以テ本件實用新案ト其ノ構造ヲ異ニスルモノナリ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年二月二十三日於特許局

審判長 特許局技師 押田翼
 特許局事務官 奥山萬次郎
 特許局事務官 三浦憲一

第二千五十三號

大阪府東區南渡邊町四十番地 請求人 永井清次郎
 大阪府北區若松町二十三番地特許辦理士 右代理人 伊藤秀雄
 大阪府東區北久寶寺町三丁目 被請求人 三浦竹次郎
 大阪府南區松屋町三十七番地 被請求人 西川龜次郎
 大阪府北區絹笠町十番地特許辦理士 右代理人 清瀬一郎

右當事者間ノ第一三五六號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ製造販賣セル甲第二號證浪花絞團扇ハ登録第一三五六號實用新案權利ノ範圍ニ屬スルモノトス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ前記實用新案ノ登録請求範圍ハ諸種ノ模様ヲ有セル(有セサルモ適宜トス)薄キ紙ヲ適宜ノ方法ニ依リ皺縮セシメタル地紙ヲ適宜ノ形状ヲ有セル縁枠ノ一面若クハ兩面ニ糊付シ縦杆ヲ取付ケテ成ル團扇ニシテ薄キ紙ヲ皺縮セシメ地紙ト爲シ之ヲ應用シテ團扇ヲ製造スルコトヲ以テ主要部ト爲ス然ルニ被請求人等ハ縁枠ヲ有セスシテ縦杆カ扇面ノ圓邊ニ達セサル甲第二號證ノ團扇ハ右權利ノ範圍外ニシテ之レニ登録標記ヲ付スルハ違法ナリトシテ告訴シタルヲ以テ本件請求ヲ爲シタルモノナリト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ノ構造ハ從來普通ナル竹骨ニ代フルニ枠ヲ以テシ柄ニ代フルニ縦杆ヲ以テスルノ點ヲ以テ要部トス假リニ皺縮紙ヲ用ユルコトカ其要部ト爲スモ其他ノ部分ニ於テ全然異ナル所ノ甲第二號證ノ如キハ其權利範圍内ニアリト云フヲ得スト云フニアリ

審決ノ理由 被請求人カ明治四十二年五月九日實用新案ノ登録ヲ出願シ同年六月二十四日登録ヲ受ケタル第一三五六號登録實用新案浪花絞團扇ハ其願書附屬圖面及説明書ニ依レハ薄キ紙ヲ皺縮セシメタルモノ(イ)ヲ縁枠(ハ)ノ一面若クハ兩面ニ糊付シ之レニ縦杆(ニ)ヲ取付ケタル全部ノ結合ヨリ成ルモノニシテ請求人主張ノ如ク皺縮セシメタル薄キ地紙ヲ以テ團扇ヲ製造スル點ノミヲ以テ要部ト爲スモノニ

アラス然リ而シテ本件請求ノ目的物タル請求人ノ製造販賣ニ係ル甲第二號證團扇ハ縁枠ヲ具備セサルノミナラス内部ニ敷多ノ竹製ノ骨ヲ有シ又其柄ノ構造ニ於テモ本件實用新案ノ縦杆(ニ)ト構造ヲ異ニス要スルニ甲第二號證團扇ハ其構造ニ於テ本件實用新案ト異ルカ故ニ其權利範圍ニ屬セサルモノナリ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年二月二十三日於特許局

審判長 特許局技師 押田 翼
特許局事務官 奥山 萬次郎
特許局事務官 三浦 惠一

第二千五十四號

大阪市東區南渡邊町四十番地 請求人 永井 清次郎
大阪市北區若松町二十三番地特許辦理士 右代理人 伊藤 秀雄
大阪市東區北久寶寺町三丁目 被請求人 三浦 竹次郎
大阪市南區松屋町三十七番地 被請求人 西川 龜次郎
大阪市北區箱笠町十番地特許辦理士 右代理人 清瀬 一郎

右當事者間ノ第一三五六號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ製造販賣スル甲第三號證浪花絞團扇ノ地紙ハ登録實用新案第一三六五六號ノ構造ノ一部ニ屬シ請求人ハ登録標記ヲ付スヘキ權利アルモノナリ審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ前記第一三六五六號登録實用新案ハ諸種ノ模様ヲ有セル(有セサルモ適宜トス)薄キ紙ヲ適宜ノ方法ニ依リ皺縮セシメタル地紙ヲ適宜ノ形状ヲ有セル縁枠ノ一面若クハ兩面ニ糊付シ縦杆ヲ取付ケテ成ル團扇ナリ故ニ薄キ紙ヲ皺縮セシメテ地紙トシテ之ヲ應用シテ團扇ヲ製造スルコトヲ本件實用新案ノ主要ナル構造ナレハ皺縮セル地紙ハ請求人ノ實用新案權ノ一部ニシテ之レニ標記ヲ付スヘキ權利ヲ有スルモノナリ然ルニ被請求人ハ之レヲ違法ナリトシ告訴シタルニ依リ本件請求ヲ爲シタリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第四號ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ノ主要ナル構造ハ從來ノ團扇ノ竹骨ニ代フルニ縁枠ヲ以テシ柄ニ代フルニ縦杆ヲ以テスルノ點ニアリテ薄キ紙ヲ皺縮セシメテ地紙ト爲シ之ヲ應用シテ團扇ヲ製造スルコトハ其主要ナル構造ニアラス又皺縮セル地紙ハ右實用新案ノ一部ニアラス又假リニ皺縮紙ヲ以テ權利ノ一部トスレハ宜シク實用新案法施行細則第九條ニ依リ『一部』ノ文字ヲ附加シタル登録標記ヲ附スヘク單純ナル登録標記ヲ附スヘキモノニアラスト云フニアリテ乙第一號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 被請求人カ明治四十二年五月九日實用新案ノ登録ヲ出願シ同年六月二十四日登録ヲ受ケタル第一三六五六號登録實用新案浪花絞團扇ハ其願書附屬及圖面其說明書ニ依レハ薄キ紙ヲ皺縮セシメタルモノヲ縁枠ハノ一面若クハ兩面ニ糊付シ之ニ縦杆ニテ取付ケタル全部ノ結合ヨリ成ルモノニシテ請求人ノ主張スル如ク單ニ皺縮セシメタル薄キ地紙ヲ以テ團扇ヲ製造スルコトヲ以テ主要ノ部分ト爲スコトヲ得ス又其皺縮セシメタル地紙ハ單ニ本件實用新案ノ構成資料ノ一タルニ過キスシテ其構造ノ一部ト云フコトヲ得ス從テ之ニ對シ登録標記ヲ付スルコトヲ得サルモノナリ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年二月二十三日於特許局

審判長 特許局技師 押田 翼
 特許局事務官 奥山 萬次郎
 特許局事務官 三浦 惠一

第千八百五十號

東京市下谷區金杉上町九十一番地	請求人	中川 雋太
東京市下谷區金杉上町九十一番地中川雋太方	請求人	花澤 勘四郎
東京市神田區三河町四丁目一番地	請求人	遠藤 友治
東京市神田區裏神保町四番地特許辦理士	右代理人	宇田 正穂
東京市麻布區狸穴町五十四番地	被請求人	武藤 喜久一郎
東京市日本橋區蛸殼町三丁目十一番地特許辦理士	右代理人	三上 七十郎
東京市日本區村松町四十八番地特許辦理士	右代理人	水野 豊

右當事者間ノ第一一八七三號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス
 審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第一一八七三號登録實用新案ハ無効トスト審決相成度其理由ハ被請求人カ明治四十一年十二月二十八日付ヲ以テ出願セル本件登録實用新案ト同一物品即甲第一號證ノ圖面ニ示ス物品カ右登録出願前帝國内ニ於テ公然用ヒラレタルヲ以テ該登録ハ無効タルヘキモノナリト云ヒ其事實ヲ確ムル爲メニ甲第一號證乃至甲第五號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タヌ審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ本件實用新案ハ其登録出願前已ニ公知ニ屬スト主張スルモ被請求人ハ其事實ヲ認ムルコト能ハス次ニ請求人カ本件審判ヲ請求スルニハ其利害關係人タル事實ヲ立證セサルヘカラス否ラサレハ本件請求ハ當然却下セラルヘキモノナリト云ヒ其事實ヲ確ムル爲メニ乙第一號證乃至乙第三號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

審決ノ理由 被請求人ハ請求人カ利害關係人タルコトヲ立證セサルハ本件ハ不合法ノ請求ニシテ當然却下セラルヘキモノナリト云フモ請求人ハ被請求人ト同業者ニシテ本件實用新案權ノ存否ニ付テハ利害關係ヲ有スルモノト認メサルヘカラス次ニ本件第一一八七三號登録實用新案ハ其圖面ニ示ス如ク蠶綿ヲ以テ普通足袋ノ前半部ニ均シキモノ即甲部ト底部トヲ一體ニ造リタル身部ノ前足端足拇ノ分岐部ニ小透孔ヲ設ケタル足袋下ナリ而シテ請求人ハ右構造ノ足袋下カ其出願前公用ニ屬スト云フモ證人中塚實也、同久島チエ、同國分善雄ノ證言ニ矛盾スル所アリテ信憑スルコトヲ得サルノミナラス證人柳原光之助ノ證言モ亦信スルニ足ラス尙ホ請求人提出ノ各甲號證ハ個人ノ隨意作製シ得ヘキモノニシテ就中甲第三、四號證ハ足袋下ノ構造ヲ示サス甲第五號證ハ其製作ノ時期明カナラスシテ殊ニ之等三個ノ甲號證ハ何等證據トスルニ足ラス之レヲ要スルニ本件ニ於テハ證據不十分ニシテ請求人ノ主張ヲ認ムルコト能ハス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年二月二十四日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局事務官 田 中 鐵 二 郎
 特許局事務官 村 山 小 次 郎

第二千二百二十三號

請求人 山 内 進
 代理人 松 澤 音 次 郎
 被請求人 石 黒 九 三 郎
 代理人 平 澤 均 治
 東京府豊多摩郡澁橋町元角管八十二番地
 東京市神田區錦町一丁目一番地特許辨理士
 東京府豊多摩郡澁橋町大字柏木七十五番地
 東京市神田區猿樂町三丁目三番地特許辨理士

右當事者間ノ第一八五三七號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人ノ申立相立タヌ

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ實用新案第一八五三七號登録ヲ無効トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ被請求人カ明治四十三年五月五日出願シ同年十月二十九日登録ヲ受ケタル實用新案最新式寢臺用安樂長椅子ハ出願前公ニ知ラレタルモノナリ請求人ハ明治四十二年十一月帝國劇場株式會社ノ注文ヲ受ケ腰掛用トモ爲リ又腰掛ヲ軌溝ニ沿ヒテ前方ニ引出シ其上ニ安座スルコトヲ得不用ノ時ニハ腰掛蒲團ヲ引起シ後方ニ寄掛ラシムルコトヲ得ル客席用長椅子ヲ被請求人ニ依頼シテ製作セシメ出來シタルモノヲ

同年十二月中ニ帝國劇場ニ交付シ其後之ニ改造ヲ加ヘ軌溝ヲハ狀ニ屈曲セシメ腰掛蒲團ヲ前方ニ引出ストキハ其位置少シク下降シ且憑掛蒲團ヲモ軌溝ニ由リ引卸シ得ル構造ト爲シ被請求人ヲシテ其見本ヲ製作セシメ成品ヲ明治四十三年一月二十八日帝國劇場ニ交付シタリ而シテ被請求人ノ第一八五三七號登錄實用新案ノ椅子ト請求人カ第二回ニ帝國劇場ニ交付シタル椅子トヲ比較スルニ登錄出願ニ付差出シタル圖面ト甲第三號證ノ圖面トニ示ス如ク腰掛蒲團ヲ脚ニ支ヘシムルニ前者ニ在テハ護謨輪ヲ嵌メタル鐵棒(上)ヲ用ヒ後者ニ在テハ支軸(下)ヲ用ヒ腰掛蒲團ヲ起伏屈伸セシムルニ前者ニ在テハ溝(リ)又(レ)ヲ用ヒ往來セシメ後者ニ在テハ溝(ハ)ヲ往來セシム又憑掛蒲團ヲ引卸シ若ハ引揚クルニ前者ニ在テハ撥條(カ)ニ依リ溝ヲ往來セシメ後者ニ在テハ割板(ホ)ニ依リテ溝(ヘ)ヲ往來セシムルモノニシテ兩者ノ構造ハ相類似スト云フヨリモ寧ロ同一ナリト云フヘシ故ニ被請求人ノ第一八五三七號登錄實用新案ハ出願前公知ニ屬シタルモノニシテ其登錄ハ實用新案法第三條第一號及第十一條ニ依リ之ヲ無効トスヘキモノナリト陳述シ甲第一乃至第三號證ヲ提出セリ

被請求人ハ請求人ノ申立相立タストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ請求人カ帝國劇場ニ交付シタル稱スル物品ト被請求人ノ登錄實用新案ノ物品トハ同一若ハ類似ニアラス請求人ノ椅子ハ軌溝(ハ)ヲ有スルモハ狀ヲ爲スカ故ニ腰掛蒲團ヲ前方ニ引出スニ當リ容易迅速ニ滑走セス且支軸(下)ハ單純ナル鐵棒ナルヲ以テ圓滑ニ進退セサルノミナラス進退ノ際騒音ヲ發ス然ルニ被請求人ノ椅子ニ在テハ腰掛蒲團ヨリ突起セル鐵棒ニ護謨輪ヲ嵌メアルヲ以テ進退圓滑ニシテ且音ヲ發セス又鐵棒ハ左右各二本ニテ三本ノ溝ヲ滑走スル構造ナリ從テ腰掛蒲團ノ運動容易迅速ニシテ且安全ナリ而シテ溝ノ形狀ノ全ク相異レルコトハ圖面ヲ對照スレハ明カナリ寄掛蒲團ヲ上下スルニ請求人ノ椅子カ割板(ホ)ニ依リ被請求人ノ椅子カ撥條(カ)ニ依レルモ亦構造ヲ異ニセル點ナリ要スルニ請求人ノ椅子ト被請求人ノ椅子トハ主要ノ

裝置ノ形狀構造及組合セ全ク相異レルモノナリ假リニ兩者カ同一ノ考案ナリトスルモ請求人ノ椅子ハ畢竟被請求人ノ考案ニ出タルモノニシテ請求人カ之ヲ冒認シタルナリ元來帝國劇場株式會社ノ注文ハ被請求人ニ於テ之ヲ受ケ考案ノ上見本ヲ製作シ明治四十二年十二月、四十三年一月二十四日頃及其後二回成品ヲ帝國劇場ニ交付シタリ請求人カ自ラ帝國劇場ニ交付シタリト稱スル椅子モ亦被請求人ノ考案ニ係レリ而シテ請求人ハ帝國劇場ニ椅子ヲ供給スルコトニ關シ請求人ニ謀リタルニ請求人ハ不法ニモ被請求人ヲ排除シ被請求人ノ考案セル見本ヲ他人ニ示シ之ト共謀シテ不正ノ利ヲ貪リタルモノナリト陳述セリ

審決ノ理由 請求人ハ被請求人カ明治四十三年五月五日出願シテ登錄ヲ受ケタル本件第一八五三七號登錄實用新案ハ被請求人カ考案シ製作ノ上第一回ニ帝國劇場株式會社ニ交付シタル椅子ヲ改良シ完成品ヲ製作シタル上明治四十三年一月二十八日第二回ニ同會社ニ交付シ公知ニ屬セシメタル折疊長椅子ト構造ヲ同フスルモノナルヲ以テ其登錄ハ實用新案法第三條第一號及第十一條ニ依リ之ヲ無効トスヘキモノナリト主張セリト雖トモ請求人カ第二回ニ帝國劇場株式會社ニ交付シタル折疊長椅子ノ構造ヲ示ス圖面ナリトシテ提出シタル甲第三號證ヲ檢スルニ腰掛蒲團ヲ前方ニ引出シ又ハ之ヲ舊地位ニ復セシムル爲メニ設ケタル軌溝ハハ狀ナルヲ以テ腰掛蒲團ノ進退ヲ圓滑ナラシムル能ハス然ルニ本件登錄實用新案ニ在テハ腰掛蒲團ヲ進退セシムル爲メニ設ケタル軌溝ヲ三本ト爲シ之カ爲メ圓滑ニ腰掛蒲團ヲ前方ニ引出シ又ハ之ヲ舊地位ニ復セシムルコトヲ得ルモノナリ故ニ本件登錄實用新案ノ長椅子ト請求人カ第二回ニ劇場會社ニ交付シタリト稱スル長椅子トハ此點ニ於テ構造ヲ異ニシ從テ椅子ノ全體ニ付テ云フトキハ其組合セ相異レルモノニシテ實用上ノ價值著シク相違セリ故ニ請求人カ第二回ニ劇場會社ニ交付シタル長椅子カ果シテ請求人ノ主張セル如ク請求人ノ考案ニ係リ且被請求人ノ登錄出願前ニ

公知公用ニ屬シタリシト假定スルモ之カ爲メニ本件登録ヲ無効トスルコトヲ得ヘキモノニアラス又請求人カ第一回ニ帝國劇場株式會社ニ交付シタリト稱スル長椅子ハ第二回ニ交付シタルモノニ比シ不完全ノモノナリシコトハ請求人ノ自ラ陳述セル所ナルヲ以テ第一回ニ交付シタルモノ、公知公用ニ屬シタルト否トカ本件登録ノ效力ニ影響ヲ及ホスコトナキハ説明ヲ要セス
以上ノ理由ニ基キ請求人ノ申立ヲ不當ナリトシ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年二月二十五日於特許局

審判長 特許局技師 押田 翼
特許局事務官 田中 鐵二郎
特許局事務官 三浦 惠一

第千八百十八號

靜岡縣小笠郡西方村堀ノ内十七番地	請 求 人	松 下 幸 作
東京市京橋區采女町二十七番地特許辨理士	右 代 理 人	木 戸 傳
東京市京橋區采女町二十一番地特許辨理士	右 代 理 人	石 原 卯 八
靜岡縣周智郡山梨町上山梨二百五十五番地	被 請 求 人	伊 東 勇 次 郎
靜岡縣小笠郡西方村堀ノ内	被 請 求 人	木 村 伊 次 郎
靜岡縣小笠郡六郷村半濱	被 請 求 人	名 波 利 喜 藏
靜岡縣小笠郡掛川町掛川	被 請 求 人	今 井 松 次

靜岡府小笠郡六郷村半濱 被請求人 小林治郎 吉
東京市神田區五軒町五番地特許辨理士 右代理人 日山豊次郎

右當事者間ノ第六七三四號登録實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ製作販賣スル甲第一號證ノ製茶機ハ登録實用新案第六七三四號製茶機ノ權利ノ範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人等ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人ハ被請求人等ノ製作販賣スル甲第一號證ノ製茶機ハ請求人所有ノ第六七三四號登録實用新案製茶機ノ權利範圍ニ撞着ストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ被請求人等ノ製作販賣スル製茶機ハ甲第一號證ノ實物及ヒ其見取圖タル甲第二號證ノ圖面ニ依テ見ルニ容茶胴④ノ内部ニ廻轉軸②ヲ橫架シ其一側ニハ數個ノ攪拌杆ヲ具フル攪拌器③ヲ取着ケ又其反對側ニハ支杆ヲ突設シテ其間ニ軸ヲ橫架シ該軸上ニ一端ヲ取着ケ容茶胴ノ形狀ニ從ヒ先端ヲ弧狀ニ彎曲セシメタル數多ノ茶葉揉撚器④ヲ裝置シ支持軸ノ中心ニハ臂⑤ヲ突出シテ其先端ニ連杆⑥ヲ附シ該杆ノ他端ニハ適當ノ遊隙ヲ保チテ伸縮スヘク之レヲ環⑦ニ嵌着シ連杆⑥ノ周圍ニハ螺旋狀彈簧⑧ヲ捲設シテ揉撚器カ過度ノ抵抗ヲ受ケタル際其屈縮セラルルニ依リテ揉撚器ヲ安全ニ保タシメ而シテ環⑦ノ根部ハ容茶胴ノ内外ニ於テ廻轉軸②上ニ遊架セル摺動環⑨⑩ヲ連結スル連杆⑪上ニ關着シ摺動環⑩上ニハ槓杆狀ノ把手⑫ヲ繫着シタルモノニシテ其目的トスル所ハ把手⑫ノ作用ニ依リ連杆⑪ヲ摺動セシメ從テ順次環⑨連杆⑪ヲ移動シテ支軸ヲ動カシテ揉撚器ト容茶胴トノ間隙ヲ適宜調節セシムルニ存スルコト明ナリ次ニ請求人所有ノ本件登録實用新案製茶機ハ機臺容茶胴及入氣口排氣筒ヨリ成立シ容茶胴ノ中心ニハ廻轉軸ヲ橫架シ勢輪及齒輪ノ傳動裝置ニ依リ把手ヲ以テ軸ヲ廻轉セシムヘクシテ該軸上ニハ攪拌器揉撚器ヲ設ケ中央

ノ揉撚器上ニハ連杆ヲ附シテ順次移動具、移動杆、移動環、槓杆狀把手ニ連繋セシメ槓杆ヲ移動スルニ依リ揉撚器ヲシテ起伏セシメ爲メニ該揉撚器ハ容茶胴ノ内周トノ間隙ヲ適宜調節セシムルヲ目的トスルモノナリ今甲第一號證製茶機ト本件製茶機ト比較スルトキハ請求人ノ製茶機ニ於ケル機臺、容茶胴、入氣口、排氣筒、廻轉軸及之レニ連繋セル傳動裝置ハ被請求人等ノ製茶機ニ於テ全部之レヲ備ヘ且ツ廻轉軸上ニ裝置セル攪拌器及茶葉揉撚器ハ兩者全然其構造ヲ同一ニシテ加之被請求人等ノ製茶機ニ於テハ請求人ノモノト全ク同一ノ目的ヲ以テ極メテ酷似セル聯動機構ニ依リ把手ヲ以テ揉撚器ヲ起伏セシムヘクナシタルモノナルカ故ニ兩者製茶機ハ構造上互ニ類似セルモノト云ハサル可ラス仍テ甲第一號證ノ製茶機ハ登錄實用新案第六七三四號製茶機ノ權利範圍ニ撞着スルモノナリト陳述シ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人等ハ請求人申立相立ス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ請求人ハ被請求人ノ製茶機ハ請求人ノ實用新案製茶機ノ加考部ト機械設計上均等ノ構造ニシテ其目的モ全然同一ナルカ故ニ被請求人ノ製茶機ハ請求人ノ第六七三四號證實用新案ノ權利範圍ニ撞着スト云フニアリ然レトモ被請求人中伊東勇次郎ハ明治三十九年二月十一日已ニ甲第一號證ト同一構造ノ製茶機ヲ製作シ之レニ特許第六七六六號ノ特許標記ヲ附シテ販賣シタル以來引續キ製作販賣シツ、アルモノニシテ即チ本件登錄實用新案第六七三四號ノ出願以前ヨリ公知公用ニ屬シツ、アル物品ナリ又實用新案權ノ效力ハ其出願以前ヨリ存在スル物品ニ及フヘキモノニアラサルカ故ニ第六七三四號證登錄實用新案ノ登錄範圍ハ甲第一號證ト異ナル構造ノ點ニノミ屬スルモノト斷言セサル可ラス今茲ニ本件實用新案ト甲第一號證トヲ對照スルニ後者ハ揉撚器ヲ固着セル軸ニ臂⑤ヲ固着シ臂ノ端ヲ連杆⑥ノ一端ト遊動スヘク連繋シ連杆ノ他端ヲ環⑦ニ依リテ杆⑧ニ取附ケ尙ホ連杆ニ螺狀彈機ヲ捲附シテ臂ヲ壓迫セ

シムヘクナシタルモノ前者ハ揉撚器①ニ固着シタル連杆②ノ他端ヲ折曲ケテ缺圓環狀ナル移動具③ノ背面ニ植設シタル突子ニ關着シ其缺圓環狀ナル移動具③ヲ移動杆④ニ取着ケタルモノニシテ其構造ニ餘程差異アルノミナラス其作用ニ至ツテハ前者ハ單ニ揉撚器ヲ起伏セシムルノミ後者ハ螺狀彈機ニテ揉撚器ヲ適度ニ壓迫シテ茶葉ヲ緩和ニ揉マシメツ、之レカ起伏ヲ加減セントスルモノニシテ實地ノ使用上亦其效果ヲ異ニスルモノトス又後者ノ杆⑧ヲ移動スル把手⑨ハ他端ヲ臺座ニ關着シ中部ニ杆ヲ取附ケタルモノ前者ハ把手④ノ一端ヲ移動杆④ニ取着ケ他端ヲ把手トナルモノニシテ其構造亦差異アリ決シテ請求人ノ主張ノ如キ同一若クハ類似ノ構造ニアラス從ツテ撞着スルモノニアラスト陳述シ乙第一號證及同第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件登錄實用新案第六七三四號製茶機ノ要部ハ機臺①容茶胴②及入氣口③排氣筒④ヨリ成リ容茶胴ノ中心ニハ廻轉軸⑤ヲ橫架シ勢輪及齒輪ノ傳動裝置ニ依リ把手ヲ以テ軸⑤ヲ廻轉セシムヘクシ該軸上ニハ攪拌器⑥揉撚器⑦ヲ設ケ中央ノ揉撚器上ニハ連杆⑧ヲ附シテ順次移動具③又移動杆④ヲ移動環①槓杆狀把手②ニ連繋セシメ槓杆②ヲ移動スルニ依リ揉撚器⑦ヲシテ容茶胴ノ外部ヨリ起伏セシメ爲メニ該揉撚器⑦ト容茶胴②ノ内周トノ間隙ヲ本機運轉中ト雖トモ容易ニ調節スルコトヲ得セシメタル構造ニアリ次ニ甲第一號證製茶機ノ構造ハ容茶胴①ノ内部ニ廻轉軸②ヲ橫架シ其一側ニハ數個ノ攪拌杆ヲ具フル攪拌器③ヲ取着ケ又其反對側ニハ支杆ヲ突設シテ其間ニ軸ヲ橫架シ該軸上ニ一端ヲ取着ケ容茶胴ノ形狀ニ從ヒ先端ヲ弧狀ニ彎曲セシメタル數多ノ茶葉揉撚器④ヲ裝置シ支持軸ノ中心ニハ臂⑤ヲ突出シテ其先端ニ連杆⑥ヲ附シ該杆ノ他端ハ適當ノ遊隙ヲ保テテ伸縮スヘク之レヲ環⑦ニ嵌着シ連杆⑥ノ周圍ニハ螺狀彈機⑧ヲ捲設シテ揉撚器カ過度ノ抵抗ヲ受ケタル際其屈縮セラルルニ依リテ揉撚器ヲ安全ニ保タシメ而シテ環⑦ノ根部ハ容茶胴ノ内外ニ於テ廻轉軸②上ニ遊架セル摺動環⑨⑩ヲ連

結スル連杆(1)上ニ關着シ摺動環(10)上ニハ槓杆狀ノ把手(12)ヲ繋着シ以テ運轉中ト雖トモ容茶胴ノ外部ノヨク採撚器ト容茶胴トノ間隙ヲ調節セシムルニアルコト明ナリ故ニ之ノ兩者ヲ比較スルニ前者ニ於ケル機臺容茶胴、入氣口、排氣筒、廻轉軸及ヒ之レニ連繫セル傳動裝置ハ後者ニ於テ全部之レヲ備ヘ且ツ廻轉軸上ニ裝置セル攪拌器及茶葉採撚器ハ兩者全然其構造同一ニシテ只後者ニ於ケル臂(5)及ヒ其先端ニ連繫セル連杆(6)環(7)並ニ連杆(6)ノ周圍ニ螺狀彈簧機(8)ヲ捲設シタル點ニ於テ其構造ヲ異ニスルモノナリ然レトモ前記ノ構造ハ前者ニ於ケル連杆(9)移動具又ト同一ノ作用及效果ヲ呈スルノミナラス其機構ニ於テモ亦全然均等ニシテ兩者全ク類似スルモノト云ハサルヲ得ス被請求人ハ本件登録實用新案出願以前第一號證ト同一構造ノ製茶機ヲ製作販賣シ公知公用ニ屬シタルモノナルヲ以テ本件實用新案出願以前ヨリ存在スル甲第一號證ノ構造ニ對シ該權利ノ及フヘキモノニアラサルコト明瞭ナリ故ニ本件登録實用新案ノ權利ハ甲第一號證ト異ナル構造ノ點ノミニ限ラル、モノナリト主張スルモ被請求人ノ提出スル乙號證ノミニテハ其事實ヲ認ムル能ハス以上ノ理由ニ依リ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年二月二十八日於特許局

審判長 特許局事務官 織田 了
 特許局技師 押田 翼
 特許局事務官 奥山 萬次郎

第千八百七十號

静岡縣周智郡山梨町上山梨二百五十五番地

請求人 伊東勇次郎

東京市神田區五軒町五番地特許辨理士	右代理人	日山 豊次郎
東京市麴町區一番町二十七番地特許辨理士	右代理人	横山 勝太郎
東京市芝區新櫻田町十九番地特許辨理士	右代理人	米原 芳藏
静岡縣小笠郡西方村堀ノ内十七番地	被請求人	松下 幸作
東京市京橋區采女町二十七番地特許辨理士	右代理人	木戸 傳
東京市京橋區采女町二十一番地特許辨理士	右代理人	石原 卯八

右當事者間ノ第六七三四號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左シ如シ
 主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ登録實用新案第六七三四號ハ無効ナリ審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ本件登録實用新案第六七三四號ハ明治四十年六月二十二日ニ出願シ同年十月七日ニ登録セラレタルモノナリ而シテ其ノ要部トスル所ハ採撚器(4)ノ俯仰裝置ニアルコト明ナリ然ルニ請求人カ明治三十九年以前ヨリ甲第一號證ノ製茶機ノ實物及甲第二號證ノ圖面ト同様ノ製茶機ヲ製作シ之レニ特許第六七六六號ノ特許標記ヲ附シテ發賣シタル事實ハ甲第三號證ノ判決書ニ依リ明治三十九年二月十一日以前ニ已ニ採撚子ノ俯仰スヘキ構造カ請求人ノ製作發賣スル伊東式製茶器械ニ依ツテ公用ニ屬シタリシコトヲ證スルニ足ル又本件登録實用新案ノ前登錄權者タリシ柴田熊市ハ第六七三四號登録實用新案ノ出願前即チ明治三十九年十月二十一日ヨリ明治四十年九月八日マテノ間請求人伊東勇次郎ノ製茶器械(甲第一號證及甲第二號證ト同一構造ノ機械)ノ製造販賣人タリシコト甲第四號證ニ依ツテ其事實ヲ證スルコトヲ得ヘキモノニシテ即チ柴田熊市カ甲第一號證ト同一構造ノ器械ヲ製

作販賣シツ、アル間ニ本件實用新案ヲ出願シタルモノナレハ甲第一號證ハ同一器械ノ公用ニ屬シタル後ニ於テ案出シテ出願シタルモノナルコトヲ推測スルニ難カラス即チ本件登錄實用新案ハ其出願前ヨリ公然知ラレ且ツ公然用ラレタル甲第一號證ト同一構造ノ製茶器械ニ類似スルヲ以テ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第十一條ニヨリ無効タルヘキモノナリト陳述シ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ且ツ證人ノ訊問ヲ申請セリ

被請求人ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ請求人ハ請求人カ甲第一號證ト同一ノ製茶機ヲ明治三十九年以前ヨリ製作販賣シタル事實ハ甲第三號證ニヨリテ明ナリト主張スレトモ甲第三號ニ記載シアル器械ハ揉捻裝置トシテ轉軸ト揉捻子ヲ列着セラル軸トノ中央ニ螺旋彈線ヲ裝置シタル支杆ヲ具ヘ下揉釜ハ揉捻子ノ摺合ノ度ニ隨テ螺旋伸縮シ以テ揉捻子ノ彈開ヲナスモノタリシニ相違ナキモ甲第一號證ノ如ク外部ヨリ何時ニテモ揉捻子ノ俯仰ヲ操縦シ得ヘキモノニアラサルカ故ニ甲第三號證ニ依リテ本件登錄實用新案ヲ無効タラシメントスルハ不當ナリ又請求人ハ亦甲第四號證ヲ以テ本件登錄實用新案ヲ無効タラシメントスルモ何時ニテモ任意ニ作成シ得ヘキ私書ナルヲ以テ證據ノ價值ナキモノトスト陳述セリ

審決ノ理由 本件登錄實用新案第六七三四號製茶機ノ要部ハ機臺(イ)容茶胴(ロ)及入氣口(ハ)排氣筒(ニ)ヨリ成立シ容茶胴ノ中心ニハ廻轉軸(ヘ)ヲ橫架シ勢輪及齒輪ノ傳動裝置ニ依リテ把手ヲ以テ軸(ヘ)ヲ廻轉セシムヘクシ該軸上ニハ攪拌器(下)揉捻器(チ)ヲ設ケ中央ノ揉捻器上ニハ連杆(リ)ヲ附シテ順次移動具(又)移動杆(ヲ)移動(ニ)傾杆(ヲ)把手(ヲ)ニ連繫セシメ傾杆(ヲ)移動スルニ依リ揉捻器(チ)ヲシテ容茶胴ノ外部ヨリ起伏セシメ爲メニ該揉捻器(チ)容茶胴(ロ)ノ内周トノ間隙ヲ本機連轉中ト雖トモ容易ニ調節スルコトヲ得セシメタル構造ニアリ而シテ被請求人カ本件登錄實用新案出願以前公然知ラレ又公然用ラレタリト主張スル

甲第一號證製茶機ハ本件登錄實用新案ト全然同一ノ構造ニ成ルモノナレトモ其ノ公知公用ニ屬シタル事實ヲ證セン爲メ甲第三號證トシテ提出シタル判決書中ニ記載サレタル製茶機カ果シテ本件甲第一號證ト同一構造ノモノナルヤ否ヤ之ヲ知ルニ由ナシ又甲第四號ハ信憑スヘキモノト認ムル能ハス要スルニ請求人ノ主張ハ其證據ナキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年二月二十八日於特許局

審判長 特許局事務官 織田了
特許局技師 押田翼
特許局事務官 奥山萬次郎

第一千九百一號

長野縣下伊那郡飯田町四百八十八番地 請求人 鈴木仲三郎
東京市京橋區南橋町一番地特許辨理士 右代理人 熊谷直太
東京市牛込區通寺町二十五番地 被請求人 西川千代藏
静岡縣駿東郡原町五十七番地 被請求人 益田稔
東京市京橋區築地一丁目五番地特許辨理士 右兩名代理人 加藤規衛
東京市京橋區木挽町十丁目八番地特許辨理士 右兩名代理人 乙部俊次
右當事者間ノ第一五八一〇號實用新案登錄無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 本件請求ハ之レヲ却下ス

審判費用ハ各當事者ノ自辨トス

* 五十四

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ第一五八一〇號實用新案ノ登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ明治四十二年九月六日付出願ノ本件實用新案ハ其登録請求出願前公用ニ屬スルヲ以テ其登録ハ無効ナリト云フニ在リテ其事實ヲ確ムル爲メニ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ハ其登録出願前已ニ公用ニ屬シタルモノナリト云フ請求人ノ主張ハ一片ノ架空說ニシテ毫モ信憑スルニ由ナキモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由 本件係争ノ第一五八一〇號登録實用新案ハ明治四十四年二月五日無効審決確定シ同年同月二十八日右新案ノ登録ハ抹消セラレタルヲ以テ本審判請求ノ目的物ハ已ニ消滅シタルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年三月十五日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 奥山萬次郎
特許局事務官 村山小次郎

第二千四十號

松本市字白坂二千八百二十六番地

請求人 林 繁 司

東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許辦理士
松本市字北深志九百四十四番地ノ内三番
東京市京橋區西紺屋町三番地特許辦理士

右代理人 稻木繁太郎
被請求人 平出朝治
右代理人 大橋與四郎

右當事者間ノ第一六〇二〇號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人ノ申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ第一六〇二〇號平出式母蛾保存器ノ實用新案登録ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ第一、被請求人カ明治四十二年四月一日出願シ四十二年一月二十八日登録ヲ受ケタル第一六〇二〇號實用新案平出式母蛾保存器ハ村山宏平、上條品吉外二名カ明治四十二年三月十八日出願シ登録拒絶ノ査定ヲ受ケタル願書番號第三一七六五號村山式母蛾保存器ト同一ナルヲ以テ第一六〇二〇號登録ハ實用新案法第五條ニ違反セリ被請求人ハ村山宏平、上條品吉外二名ハ被請求人ノ考案ヲ冒認シテ出願シタルモノニシテ實用新案法第五條ニ所謂登録ヲ受クルノ權利ヲ有スル者ニ該當セスト抗辯セリト雖モ冒認ノ事實無キノミナラス假リニ村山宏平ニ冒認ノ所爲アリトスルモ共同出願者タル他ノ三名ハ之ニ與ラザリシヲ以テ登録ヲ受クルノ權利ヲ有スル者ト謂フコトヲ得ヘシ、第二、被請求人ノ第一六〇二〇號登録實用新案ハ登録出願前帝國内ニ於テ公然知ラレタルモノナリ即チ(一)上條品吉ハ明治四十二年三月中公然之ヲ知リ(二)太田有親ハ同月中該新案品ト同一ナル物品ノ製造販賣ニ關シ資金ヲ貸出シ、又被請求人カ答辯書ニ於テ述ヘタルカ如ク(三)被請求人ノ考案シタル平山式母蛾保存器ハ登録出願前長野縣地方養蠶家ノ知ル所ト爲リ(四)明治四十二年二月二日被請求人ヨリ長野縣東筑摩郡蠶種同業組合事務所ニ新案品ヲ提出シテ批判ヲ求メ該組合評

* 五十五

議員百瀬渡ノ鑑定ヲ受ケタルカ故ニ被請求人ノ新案品ハ登録出願前ニ於テ公ノ團體タル蠶種同業組合事務所ニ提出シテ衆人ノ觀覽ニ供シタルモノナリ尙ホ又被請求人カ再答辯書及ヒ第一六〇二〇號實用新案登録出願事件ノ再審査請求書ニ於テ述ヘタルカ如ク(五)明治四十二年三月二十日村山宏平等カ村山式母蛾保存器製造販賣ノ看板ヲ掲ケテ本件登録新案品ト同一ノ物品ヲ製造販賣シタル事實アリ以上ノ事實ナルヲ以テ本件登録實用新案ハ登録出願前ニ公ニ知ラレタルモノニシテ其登録ハ之ヲ無効ト爲スヘキモノナリト陳述シ證據トシテ實用新案登録願第三一七六五號事件ノ記録及乙第二號證ヲ援用シ證人調ヲ申請シタリ

被請求人ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ第一、本件實用新案登録出願前村山宏平、上條品吉外二名カ同一考案ノ登録出願ヲ爲シタル事實アリト雖被請求人ノ考案ヲ冒認シタルモノニシテ登録ヲ受クルノ權利ナカリシモノナリ加之其出願ハ登録ヲ拒絕セラレタルヲ以テ之ヲ先願ナリト謂フコトヲ得テ本件登録ハ實用新案法第五條ニ違反セス第二、被請求人ノ新案ハ登録出願前公ニ知ラレタルコトナシ則チ(一)本件登録新案ヲ其出願前ニ上條品吉カ公ニ知リタル事實ナシ(二)太田有親カ本件新案品ト同一ナル物品ノ製造販賣ニ關シ資金ヲ貸出シタルコト無ク假リニ之有リシトスルモ之カ爲メニ必スシモ物品カ公知公用ト爲ルモノニアラス(三)答辯書ニ於テ被請求人ノ考案シタル母蛾保存器ハ登録出願前長野縣地方養蠶家ノ知ル所ト爲レリト述ヘタルハ被請求人カ考案ヲ爲シタルコトヲ謂ヒタルモノニシテ考案品ノ構造、形狀等ヲ知ラシメタリトノ意ニアラス(四)長野縣東筑摩郡蠶種同業組合事務所ニ新案品ヲ提出シテ批判ヲ求メ該組合評議員百瀬渡ノ鑑定ヲ受ケタルハ一人タル資格ニ於ケル百瀬渡ノ批判ヲ求メタルモノニシテ秘密ノ境域ヲ脱シタルモノニアラス(五)本件登録出願前村山宏平等カ村山式母蛾保存器製造販賣所ノ看板ヲ掲ケタ

レコトアルモ製造販賣ヲ爲シタルコトナシ看板ハ營業所ヲ表示スルニ過キスシテ物品ヲ公示スルモノニアラス且本件登録出願事件ノ再審査請求書ニハ村山宏平等カ製造販賣ヲ爲ス形勢ナリシヲ以テ被請求人カ之ニ驚キタル旨ヲ記載セシニ過キス尙又實用新案法ニ云フ所ノ公知ハ他人ノ考案シタルモノ、公ニ知ラレタルコトヲ謂フモノナルカ故ニ被請求人ノ新案以外ニ他人カ同一考案ヲ爲シタルコト無キ以上ハ本件登録新案ハ出願前公ニ知ラレタリト謂フコトヲ得スト陳述シ乙第一乃至第五號證ヲ提出シ本件登録出願事件ノ記録ノ取寄及證人調ヲ申請シタリ

審決ノ理由 本件當事者所爭ノ要點ハ第一、登録第一六〇二〇號實用新案母蛾保存器ト同一考案ニシテ村山宏平、上條品吉外二名ノ先願ニ係ル願書第三一七六五號實用新案ノ母蛾保存器ニ付キ出願人等カ登録ヲ受クルノ權利ヲ有シタルヤ否ヤ第二、被請求人ノ登録實用新案ハ其登録出願前ニ公ニ知ラレタルヤ否ヤニ在リ仍テ先ツ第一點ニ付テ案スルニ願書第三一七六五號實用新案ノ登録出願人ハ村山宏平、上條品吉、太田與市及伊藤祐慶ノ四名ナリト雖該出願事件ノ記録中ニ存在スル母蛾保存器共同製造販賣契約公正證書正式謄本ニ依レハ上條品吉、太田與市及伊藤祐慶ノ三名ハ母蛾保存器ノ考案者ニアラスシテ村山宏平カ自ら考案シタリト稱シタル母蛾保存器ニ關シ宏平ト共同ニテ之ヲ製造販賣セシコトヲ契約シタルコト明カニシテ該契約ノ目的タル母蛾保存器ニ付四名ニテ登録ヲ出願シタルモノナルカ故ニ願書第三一七六五號實用新案登録願ノ考案カ他人ノ考案ヲ冒認シタルモノナルヤ否ヤハ村山宏平カ冒認シタルヤ否ヤニ依テ決定スヘキモノニシテ請求人ハ假令村山宏平カ冒認シタリトスルモ他ノ三名ハ冒認者ニアラスト主張セルモ其主張ハ當ヲ得ス而シテ該出願事件ノ記録ニ依レハ該出願ニ係ル母蛾保存器ノ考案ハ被請求人ノ考案ニ係ル願書第三一九一號實用新案ヲ冒認シタルモノナリトノ理由ニ依リ其登録ヲ拒絕セラレタルモノナルニ拘ハラヌ被請求人ノ考案カ第一六〇二〇號ヲ以

テ登録セラレタル後村山宏平ヨリ其登録ヲ無効トスル爲メ審判請求ヲ爲スコト無ク且先願者トシテ何等ノ主張ヲモ爲ス所ナキカ故ニ願書第三一七六五號事件ノ出願ハ宏平ニ於テ被請求人ノ考案ヲ冒認シテ爲シタルモノト認定ス從テ村山宏平カ登録ヲ受クルノ權利ヲ有セザリシハ勿論、同人ヨリ權利ヲ承繼シタル他ノ三名モ亦登録ヲ受クルノ權利ヲ有セザリシモノナリ要スルニ該出願ニ付テハ出願人中一人ト雖登録ヲ受クルノ權利ヲ有スル者ナカリシモノニシテ該出願ノ爲メニ本件登録カ實用新案法第五條ニ違反スヘキ理由ナシ次ニ第二點ニ付テ案スルニ被請求人ハ實用新案法ニ所謂公知トハ自己ノ實用新案登録出願前ニ他人ノ同一考案カ公ニ知ラレタルコトヲ謂フモノニシテ自己ノ新案カ出願前ニ公ニ知ラレタルコトヲ謂フモノニアラスト抗辯スレトモ同法第三條第一項ノ規定ハ公ニ知ラレタル考案カ自己ノ考案ナルト他人ノ考案ナルトヲ問ハサルノ趣旨ナルカ故ニ此抗辯ハ理由ナシ然レトモ請求人カ被請求人ノ登録出願前ニ同一考案カ公ニ知ラレタル事實アリト主張スル各點ニ付テ案スルニ(一)上條品吉カ本件登録出願前同一考案ヲ知リタル事實アルコトハ請求人ノ主張ノ如シト雖村山宏平トノ關係ニ因リ私カニ之ヲ知リタルニ止リ公ニ知リタルモノト謂フコトヲ得ス(二)太田有親カ明治四十二年三月四日本件登録新案品ニ類スルモノ、製造販賣ノ資金ヲ村山宏平等ニ貸與シタルコト及其際宏平等ヨリ製造販賣セントスル物品ノ見本ヲ有親ニ示シタルコトハ有親ノ證言ニ依リ之ヲ認ムルコトヲ得ト雖資金貸與ノ關係上私カニ該物品ヲ知リタルニ止リ公ニ之ヲ知リタルモノト謂フコトヲ得ス(三)被請求人カ答辯書ニ於テ被請求人ノ考案品カ登録出願前地方養蠶家ノ知ル所ト爲レリト述、タルハ被請求人カ考案ヲ爲シタルコトヲ謂ヒタルモノニシテ考案品ノ構造、形狀等ヲ知ラシメタリトノ意ニアラストノ被請求人ノ辯解及(四)被請求人カ考案品ヲ蠶種同業組合事務所ニ提出シテ組合評議員百瀬渡ノ鑑定ヲ受ケクルハ一私人タル資格ニ於ケル同人ノ批判ヲ求メタルモノニシテ秘密ノ境域ヲ脱シタルモノニ

アラストノ被請求人ノ辯解ハ孰レモ理由アリト認ム(五)明治四十二年三月二十日頃村山宏平等カ村山式母蛾保存器製造販賣所ノ看板ヲ掲ケタルコトハ之有リト雖モ之カ爲メニ製造品カ公ニ知ラレタリト謂フコトヲ得ス請求人ハ再答辯書及願書第三一九一號事件ノ再審査請求書ヲ援用シテ村山宏平等カ製品ヲ公ニシタルコトヲ證セントスルモ該書類ニ依リテハ其事實ヲ認ムルヲ得ス證人赤羽清七ノ供述ニ依ルモ明治四十二年一、二月頃清七カ村山宏平等ニ資金ヲ貸與シ其際私カニ本件登録新案ニ同シキ物品ヲ知リタルコトヲ認ムルニ足ルノミ且證人池田教太郎ノ供述ハ之ヲ信セス從テ本件登録新案ハ出願前公ニ知ラレタルモノニアラスト認定ス

以上ノ理由ニ依リ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年三月二十日於特許局

審判長

特許局技師

押田

翼

特許局事務官

田中

鐵二郎

特許局事務官

村山

小次郎

第二千百五號

長野縣下高井郡日野村大字新野十七番地	請 求 人	池 田 顯 道
長野縣下伊那郡飯田町八百八十二番地	被 請 求 人	高 田 久 四 郎
長野縣下伊那郡飯田町九百二十七番地	被 請 求 人	木 下 銀 次 郎
長野縣下伊那郡新村大字切石疊屋方	被 請 求 人	青 山 寅 三 郎

右當事間ノ第八八六七號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ登録實用新案第八八六七號日ノ丸蛾函ノ登録ヲ無効トシ審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ被請求人カ製作スル本件登録實用新案日ノ丸蛾函ハ請求人カ明治四十年一月中發明製作シ同年中公知公用トナリシ母蛾保存器ヲ模造シタルモノナリ而シテ被請求人ハ前記母蛾保存器ト日ノ丸蛾函トハ相似テ大ニ非ナル點アリト主張スルモ被請求人ハ母蛾保存器ハ日ノ丸蛾函ノ模造又ハ類似品ナリトシテ請求人ヲ長野地方裁判所檢事局ヘ特許侵害ノ告訴ヲナセリ前者二蛾函ハ全形ニ於テ其構造組合セ大同小異ニシテ共ニ「ボール」紙ノ角框組又蛾ノ挿入採出スル區劃面ハ丸キ孔ヲ明ケアルモノニシテ其他ノ構造中ニモ類似ノ點多シ仍テ日ノ丸蛾函ハ母蛾保存器ヲ容易ニ改造シタルモノニシテ即チ模造ト確認ス而シテ母蛾保存器ノ公知公用トナリシ後日ノ丸蛾函ハ新案登録許可ニナリタルモノナルヲ以テ本件登録實用新案ノ無効ヲ申請スル次第ナリト陳述シ且ツ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出セリ

被請求人ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ請求人ニ於テ本件登録實用新案登録以前製造販賣セシト云フ物品カ果シテ母蛾保存器〔甲第四號證〕ナリシヤ否ヤハ證憑ナキヲ以テ知ルニ由ナシ假リニ主張ノ如キ事實アリトスルモ請求人ノ所謂母蛾保存器ト日ノ丸蛾函トハ相似テ大ニ非ナル點アリ即チ母蛾保存器ハ函ノ正劃面ニ蛾ヲ挿入スル孔ヲ穿テタル薄紙ヲ張り付タル構造ナルカ故ニ蛾ノ挿入ニハ勿論挿出ノ場合ニ於テ殊ニ蛾ノ兩翼孔ニ搦ミ不便ナルノミナラス挿出入ノ作業上頗ル煩敷從テ時間ヲ徒費スルノ不利アルニ反シ日ノ丸蛾函ニ在テハ「ボール」紙ノ厚蓋ニ孔ヲ穿テ鉸鏤張りノ構造ニ作り開閉自在ナルカ故ニ蛾ノ挿入及挿出ノ場合ニ於テモ蛾ノ兩翼孔ニ搦マサル爲メ極メテ挿出入ヲ容易ナラシムル上ニ於テ新規ノ考案ト認メラレ特許局ニ於テ登録ヲ與ヘラレタルモノナリ故ニ第八八六七號登録以前ニ假令甲第四號證ノ母蛾保存器カ公知公用ニ屬セシトスルモ構造組合ノ上ニ於テ實用アル新規ノ考案アル上ハ實用新案法ニ依テ保護ヲ與ヘラル、モノナルヲ以テ無効トナルヘキモノニアラスト陳述シ乙第一號證乃至乙第四號證ヲ提出セリ

審決ノ理由

本件登録實用新案第八八六七號日ノ丸蛾函ノ構造ハ蛾ヲ區別スル組子ヲ入レタル矩形ノ蛾函〔甲〕裏面ニ裏紙ヲ貼り其ノ表面ニハ函ノ一側ニ圓孔ヲ穿テアル中蓋〔乙〕ノ一邊ヲ貼付シ又他側ニハ押紙〔丙〕ヲ貼着シ該押紙ニハ止具受孔〔ニ〕ヲ穿テ受孔〔三〕ニ挿入シ得ル押紙止具〔ハ〕ヲ函〔甲〕ノ一側面ニ定着シタルモノニシテ其權利ハ全體ノ結合ニアルコト明ナリ次ニ請求人カ本件登録實用新案出願以前公然知ラレ且ツ公然用ヒラレタリト主張スル母蛾保存器〔甲第四號證〕ノ構造ハ蛾ヲ區別スル組子ヲ入レタル矩形ノ蛾函ノ裏面ニ裏紙ヲ貼り其表面ニハ圓孔ヲ穿テアル紙ヲ貼付シ又函ノ一側ニハ押紙ヲ貼着シ該押紙及函ノ一側面ニハ各止具受金物ヲ定着シタルモノナルヲ以テ此ノ兩者ハ一ハ中蓋ヲ開閉シ得ル様鉸鏤狀ニ貼付シ他ハ開閉シ能ハサル様定着シタル點ニ於テ相違スルモノナリ而シテ此ノ相違ハ蛾ヲ收容シ或ハ抽出セシムル際多大ノ差異ヲ生スルモノナリ故ニ此兩者ハ其構造上ニ於テモ亦其效果上ニ於テモ共ニ差違アルモノト認ムルヲ以テ甲第四號證母蛾保存器ハ本件登録實用新案日ノ丸蛾函ノ權利ノ範圍ニ屬スヘキモノニアラサルト同時ニ甲第四號證母蛾保存器カ本件登録實用新案出願以前公知公用ニ屬シタリト假令スルモ此ノ事實ヲ以テ本件登録實用新案第八八六七號日ノ丸蛾函ノ登録ヲ無効トナスノ理由トナス能ハス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年三月二十三日於特許局

審判長 特許局技師 押田 田 翼
特許局事務官 田中 鐵 二郎
特許局事務官 村山 小次郎

第一千一百七十七號

請求人 北川 久吉
被請求人 村田 源助
代理人 淺村 三郎

京都市下京區錦小路通油小路東入空也町十三番戶
京都市下京區油小路通六角下ル六角油小路町三十番戶
京都市上京區高倉通二條上ル天守町十五番戶特許辦理士

右當事者間ノ第一八六四八號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 第一八六四八號實用新案ノ登録ハ之レヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ所有ニ係ル第一八六四八號實用新案ノ登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ハ明治四十三年四月二十七日出願同年十一月十四日登録セラレタルモノナリ然ルニ請求人ハ之レト同一ナルモノニ付明治三十九年十一月十三日出願同四十年三月一日ヲ以テ特許第一一七四七號ニテ特許登録ヲ受ケタリ爾來其特許ハ請求人ノ實施ニ依リ公用ニ屬セルヲ以テ本件實用新案ハ同法第一條第二項第一號ニ該當シ其登録ハ無効ナリト云フニ在リ

被請求人申立ノ要領ハ本件請求ハ之レヲ却下ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本

件實用新案ト特許第一一七四七號トハ互ニ其構造或ハ組合ハセテ異ニシ效果均シカラサレハ撞着スヘキモノニアラス且ツ請求人ハ實用新案法第一條第二項第一號ニ依リ本件實用新案ノ無効ヲ主張スルモ同條ハ登録ヲ受ケ得ル考案ヲ規定シタルモノニシテ無効ノ理由タルヘキモノニアラサルカ故ニ本件請求ハ理由不備ニ付却下スヘキモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由 被請求人ハ請求人引用ノ法條ハ登録無効ニ關スル規定ニ非サルカ故ニ本請求ハ其理由不備ニシテ却下セラレヘキモノナリト主張スルモ法條ノ引用ヲ誤リタレハトテ之レヲ以テ請求却下ノ原因トナスコトヲ得サルモノトス次ニ第一一七四七號特許紋付方法ニ於テ使用スル紋染型ハ所要ノ紋形ニ截切セル紙片ニ防染糊ヲ塗布セルモノニシテ本件實用新案紋染型ハ之レニ異ナル所ナシ而シテ該新案ハ明治四十三年四月二十七日ニ出願セルモノニシテ其出願前之レト同一ノ紋染型即チ前記特許ニ於ケル紋染型カ明治四十年三月十九日發刊ノ特許公報第一〇七八號第五頁中ニ記載セラルルカ故ニ本件實用新案ハ實用新案法第三條第二號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ違反セルヲ以テ同法第十一條ニ依リ其登録ヲ無効トスヘキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年三月二十八日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 田中 鐵 二郎
特許局事務官 三 浦 惠 一

第一千九十四號

東京市麻布區筈町百七十五番地 請求人 庄田常次郎
東京市神田區柳原川岸三號地特許辦理士 右代理人 田中良介
東京市京橋區加賀町十五番地太田俊一方 被請求人 安藤萬吉

右當事者間ノ第三五六號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人カ提出セル甲第二號證ノ洋燈口金ハ登録實用新案第三五六號洋燈倭油口金ノ權利ノ範圍ニ
屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ被請求人カ製造セル甲第二號證ノ洋燈口金ハ請求人ノ有スル實用新案登録第三五
六號ノ權利ト撞着ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ被請求人ハ
甲第二號證ノ如ク普通洋燈口金^イノ心筒^ロニ更ラニ心筒^ハヲ嵌挿シテ心筒ノ高サヲ延長シ其心筒^ハノ
上端ニハ極メテ狭キ突縁^ニヲ設ケタル口金ヲ販賣ノ目的ヲ以テ製造シツ、アルモノナリ而シテ該口金
ハ心筒^ハヲ嵌挿シテ點火部ヲ上昇シタル結果重油輕油等ノ如キ煤煙多クシテ普通洋燈口金ヲ以テ使用
スルコト能ハサル油ヲ完全ニ使用スルコトヲ得ヘクナシタルモノニシテ登録實用新案第三五六號ノ如
ク普通洋燈口金^イ心筒ヲ點線^ニヨリ^ハ迄延長シテ點火部ニ上昇セシメ之レニ依リテ普通洋燈口金ニ於
テ使用スルコトヲ得サル重油、輕油等ノ煤煙ヲ阻止スルコトヲ得ヘクナシタル構造ニ付キ其登録ヲ得
タルモノニシテ被請求人ノ製作セル洋燈口金ニ於テモ同一ノ目的ニ於テ心筒ノ上端ニ極メテ狭ナル
突縁ヲ設ケタル心筒ノ高サヲ延長シテ點火部ヲ上昇シタル點ニ於テ全然相一致セル構造ニ成ルモノ
即チ本件登録實用新案請求範圍ノ全部ヲ使用セルモノニシテ被請求人ノ製作セル前記口金ハ請求人ノ
有スル實用新案權利ヲ侵害スルモノナルカ故ニ權利者タル請求人ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ實施スルコ

トヲ得サルモノタルヤ明ナリト陳述シ甲第一、第二號證ヲ提出セリ

被請求人ハ請求人申立相立タストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ請求人ハ被請求人カ製造セル口
金ハ請求人ノ登録實用新案第三五六號ヲ侵害セルモノナリト云フモ被請求人ノ製造スル口金ハ單ニ心
筒ヲ延長シタルニ止マラス其上端ニ狭ナル縁ヲ設ケタルモノナレハ單ニ心筒ヲ延長シタルモノトハ
異ナレリト陳述セリ

審決ノ理由 本件登録實用新案第三五六號洋燈倭油口金ハ其登録請求範圍ニ記載シアル如ク普通洋燈口
金^イニ備フル心筒ヲ點線^ニヨリ火帽^ロノ中部ニ設ケタル截缺^孔至ノ下端ト同一ノ高サマテ延長シタル
心筒^ハノ構造ニ付キ權利ヲ有スルモノナリ次ニ請求人ノ提出スル甲第二號證圖面ニ記載シアル洋燈口
金ノ構造ハ前記本件登録實用新案ノ心筒^ハノ上端部ヲ僅カニ外方ニ開展セシムルコトハ洋燈口金ニ於テ特殊ノ效
果ヲ奏スルモノナレトモ已ニ其ノ心筒ノ主體ニ於テ同一ナル以上ハ假令甲第二號證口金ノ如ク上端部
ヲ開展セシメタリト雖トモ其構造ヲ有スル洋燈口金ヲ製造販賣スルコトハ本件登録實用新案權利ヲ侵
スモノトス故ニ甲第二號證口金ハ本件登録實用新案洋燈倭油口金ノ權利ノ範圍ニ屬ス仍テ主文ノ如ク審
決ス

明治四十四年三月二十九日於特許局

審判長 特許局技師 押田 翼
特許局事務官 田中 鐵二郎
特許局事務官 三浦 惠一

第二千二十九號

六十六

東京市淺草區金龍山下五町二十一番地	請求人	井上爲三郎
東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許辨理士	右代理人	稻木繁太郎
東京市日本橋區久松町三十番地	被請求人	宮田邦
東京市淺草區聖天町六十七番地	被請求人	樋口寅之助
東京市京橋區銀座二丁目五番地特許辨理士	右兩名代理人	東野俊一
東京市京橋區築地二丁目八番地特許辨理士	右兩名代理人	石川磐吉

右當事者間ノ第一六五八六號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 被請求人ノ所有ニ係ル第一六五八六號實用新案登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
 申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第一六五八六號實用新案ハ明治四十二年七月九日出願同四十二年三月十六日登録ニ係ルモノニシテ其願書附屬ノ圖面及其說明ニ依レハ厚紙ニシテ外面ニ適宜ノ模様ヲ顯ハセルモノ(口)ハ挿入部(ハ)ハ挿入孔(ニ)ハ紙白粉及化粧用ノ脂取紙ノ一端ヲ緊着シタル部分(ホ)ハ紙白粉及脂取紙(ヘ)ハ鏡トアリ然ルニ之レト全然同一ナル物品ハ其登録出願以前ヨリ請求人ニ依リテ製造販賣セラレ又被請求人自身モ之レヲ製造販賣シタルカ故ニ本件登録實用新案ハ其登録出願以前ヨリ公知公用ニ屬スルヲ以テ其登録ハ之ヲ無効ト爲スヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第十一號證ヲ提出シ且證人訊問ノ申請ヲ爲セリ
 被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人

カ本件登録實用新案ト同一ノ物品ヲ製造販賣セシコトハ被請求人カ本件實用新案ノ登録ヲ出願セシ後ナリ又被請求人カ本件實用新案ト同一物品ヲ製作販賣セシハ其登録出願後ノ事實ニ屬スト云フニアリテ證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

審決ノ理由 被請求人カ明治四十二年七月九日實用新案ノ登録ヲ出願シ同四十三年三月十六日其登録ヲ得タル第一六五八六號登録實用新案紙白粉挾ハ其願書附屬ノ圖面及說明書ニ依レハ厚紙ノ一片ニ挿入部(口)及他片ニ挿入口(ハ)ヲ設ケテ表紙ト爲シ其内部ニ數葉ノ紙白粉及脂取紙(ホ)ナル部分ニ依リ緊着シ而シテ表紙ノ内面ニ鏡(ヘ)ヲ取付ケタル構造ヨリ成ルモノナリ然ルニ之レト同一構造ノ物品カ本件實用新案ノ登録出願以前ヨリ公ニ知ラレタルコトハ證人板橋春三郎酒井豐吉及吉田秀之助ノ證言ニ依リ之レヲ認ムルコトヲ得從テ本件登録實用新案ハ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ニ違反スルヲ以テ其登録ハ同法第十一條ニ依リ之ヲ無効ト爲スヘキモノナリ仍テ主文ノ如ク審決ス

審判長	特許局技師	一 川 一
	特許局事務官	奥山萬次郎
	特許局事務官	村山小次郎

第千九百四十六號
第千九百四十七號

東京市京橋區尾張町二丁目二番地

請求人 黒澤貞次郎

六十七

東京市京橋區南鍋町一丁目四番地特許辨理士	右代理人	原田敬吾
東京市京橋區銀座三丁目十二番地	參加人	伊藤勝太郎
東京市日本橋區橋町三丁目一番地	參加人	鳥崎庄太郎
東京市神田區淡路町二丁目四番地	參加人	西垣建二郎
東京市神田區表神保町二番地	參加人	池田治郎吉
東京市日本橋區三代町二十六番地	參加人	坂根謙吉
東京市京橋區水挽町十丁目八番地特許辨理士	右代理人	乙部俊次
大阪府北區老松町一丁目七十一番屋敷	被請求人	柳瀬九一
大阪府東區高麗橋二丁目百二十六番屋敷特許辨理士	右代理人	岡田謙三郎

右當事者間ノ第七七七號及第一一七二八號實用新案登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

主文 被請求人ノ第七七七號及第一一七二八號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
 申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第七七七號及第一一七二八號實用新案登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
 求人ノ負擔トス
 審決相成度其理由ハ本件第七七七號登録實用新案ハ明治三十八年九月二十六日出願シ同年十二月四日登録セラレ又第一一七二八號登録實用新案ハ明治四十一年十一月二十三日出願シ同四十二年二月十二日登録セラレタルモノニシテ其構造ハ聯續セル控用紙及葉書用紙ヲ交互ニ綴合シ其中間ニ謄寫紙ヲ挿入シテ控ト葉書トヲ一時ニ書記シ控ヲ保存シ得ヘク葉書用紙ハ切斷線ニ由テ一葉ツツ切取ルヘク爲シ尙ホ控用紙ト葉書用紙トノ一部ニハ宛名又ハ住所氏名、發信番號、日附ヲ記入スヘキ欄ヲ設ケタルモノナリ然ルニ前記構造中ノ聯續セル點ヲ除ケルモノハ古來米國ニ於テ廣ク行ハルル

所ニシテ同國ヨリ日本へ送付セラルル文房具ノ目錄ニ掲記シ在リタルノミナラス明治三十六年頃ヨリ我邦諸商店ニ於テ汎ク製造使用シタル所ニシテ本件登録出願以前ニ公知ニ屬シ公用セラレタルモノナリ而シテ本件實用新案ハ只之ヲ聯續セシメタリト雖斯ノ如キハ便宜上ノ問題ニシテ新規ノ實用アル考案ニアラス又常識ヲ以テ前者ヨリ容易ニ推案スルコトヲ得ヘキモノニシテ實用新案ノ要部ヲ爲スモノニアラス又宛名其他ノ欄ヲ設クルコトモ新規ノ考案ト云フヘカラスト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出セリ

請求人參加入申立ノ要領ハ本件實用新案ハ其出願前ヨリ公知公用ニ屬スルモノナレハ無効トス
 審決相成度其理由ハ本件實用新案ト同一構造ナル端書複寫帳及書簡箋複寫帳ハ凡ソ二十年前ヨリ舶來品トシテ坊間ニ販賣セラレツツアルモノニシテ殊ニ栗田貞次郎、井原長吉カ明治三十七年十月十四日意匠登録ヲ出願シタルモノハ本件實用新案ト同一構造ニシテ只其綴部ノ背ニ「ベン」ヲ挿入スヘクナシタルモノニシテ同人等ハ爾來丙第一號證ノ如ク其表紙ニ意匠登録既願第七四六二號端書複寫簿一名はがき帳ト記シテ汎ク發賣シタルモノナレハ本件登録實用新案ハ其出願以前ニ於テ已ニ公知公用ニ屬シタルモノナリト云フニアリテ丙第一號證及丙第二號證ヲ提出セリ
 被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トス
 審決相成度其理由ハ請求人ハ本件實用新案ノ構造中聯續セル點ヲ除ケルモノハ本件實用新案ノ登録出願前公知公用ニ屬スト云フト雖被請求人ハ之ヲ認メス假リニ公知公用ニ屬スルモノナリトスルモ單葉式ヲ變シテ複寫式ト爲シタルモノハ即實用アル新規ノ考案ニ屬スルモノナリ又端書用紙ノ一部ニ宛名、日附等ノ欄ヲ設ケタル一箇ノ實用新案タルモノナリ又聯續式ノ通知書及領收證用紙カ普通ナルコトハ之ヲ認ムルモ本件實用新案ハ郵便端書ノ爲メニ特ニ考案セラレタルノミナラス宛名日附等ノ欄ヲ設ケタル點ニ於テ實用新案

ノ價值アリト云フニアリテ乙第一號證及乙第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 被請求人カ明治三十八年九月二十六日實用新案ノ登録ヲ出願シ同年十二月四日其登録ヲ受ケタル第七八七號登録實用新案葉書發信帳ハ其願書、圖面及圖面ノ説明ニ依レバ表紙ニ綴合セル控用紙、葉書ノ大サニ相當スル記載面ハ、綴合セル聯續葉書及切斷線ニノ構造ヨリ成ルモノナリ又被請求人カ明治四十一年十一月二十三日登録ヲ出願シ同四十二年二月十二日登録ヲ受ケタル第一七二八號登録實用新案葉書複寫簿ハ前記構造ト同一ナルモノニ發信番號、日附、時間、宛名及宿所ヲ記入スヘキ欄ヲ設ケタルモノナリ然リ而シテ東京市淺草區東町十番地井原長吉及同市同區田町二丁目十六番地栗田貞次郎カ明治三十七年十月十四日意匠ノ登録ヲ出願シタル端書複寫帳ナルモノハ其出願書附屬ノ明細書及圖面ニ依レハ方形ノ端書用紙ニ及同形狀ノ薄紙ニ各一葉毎ニ重ネ冊子形ニ綴込ミ而シテ端書ト同寸方ノ棒狀區線ハ薄紙ニ設ケ又端書用紙ニハ同寸方ノ切取用打貫キ小孔ニヲ設ケタル構造ヨリ成ルコトハ特許局保管ニ係ル第七四六二號意匠登録願書ニ依リ明カナリ右ハ被請求人ノ前記二箇ノ實用新案ト比シ單葉式及複葉式ノ差竝ニ發信番號日附等ヲ記入スヘキ欄ノ有無ノ差アリト雖其目的及考案全然同一ニシテ其構造上ニ於テハ相類似スルモノナリト認ム而シテ井原長吉ハ前記ノ端書複寫帳ヲ明治三十七年十一月頃ヨリ多數製造販賣シタルコトハ信認スルニ足ルヘキ同人ノ證言ニ依リ之ヲ認ムルコトヲ得從テ本件第七八七號及第一一七二八號實用新案ハ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ違反スルヲ以テ其登録ハ同法第十一條ニ依リ之ヲ無効ト爲スヘキモノナリ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年四月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一

特許局技師 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千四十一號

靜岡縣濱名郡濱松町板屋三十六番地
東京市京橋區山城町十四番地特許理士
靜岡縣周智郡久野西村堀越十番地

請 求 人 加 藤 千 之 助
右 代 理 人 太 田 資 時
被 請 求 人 古 山 平 太 郎

右當事者間ノ第七一九四號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 第七一九四號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人專有ノ第七一九四號吹寄格子亂縞實用新案登録ハ之ヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ明治四十年九月三日出願ノ本件實用新案ハ第一緯糸トシテハ縹糸ヲ折半若クハ二三ニ折疊シテ各種ノ染分ヲ爲シタルモノヲ用ユルニアリ第二緯糸トシテハ各種色糸ノ經糸ヲ不規則ニ間隔ヲ亂シテ配列シタルモノナリ故ニ本件實用新案ハ右經糸ト緯糸トヲ織成スルモノナルニヨリ製品ハ堅ニ亂雜ナル縞模様ヲ表ハシ横ニ一定セサル縞ヲ表ハス織物ヲ得ルモノナリ然ルニ前記ノ織方ニ依ル織物ハ被請求人ノ登録出願前已ニ當業者間ニ於テ公知ニ屬ス又明治四十一年一月二十八日拒絕査定ヲ受クルニ至リタル特許願第四〇七五七號ハ無地染糸ト單獨的縞糸ト集團的縞糸トヲ經糸トナシ單獨的縞糸ヲ緯糸トナシテ組織シタル織物製造法ナリ而シテ其拒絕査

定ニ説明スル如ク右特許願ノ如キ織物ハ其出願前已ニ野毛緋ト稱ヘ山形地方ニ於テ普通ニ織成セラルル所ニシテ本件實用新案ハ右野毛緋ヨリ容易ニ推考シ得ヘキモノナルノミナラス甲第六號證ニ依ルモ之レヨリ容易ニ推考シ得ヘキナリ要スルニ本件實用新案ハ第一其登録出願前已ニ公知ニ屬スル點ニ於テ第二野毛緋又ハ甲第六號證ヨリ容易ニ推考シ得ル點ニ於テ登録ヲ受クヘキ性質ノモノニアラスト云フニ在リテ其事實ヲ確ムル爲メニ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出シ證人訊問ノ申請ヲナセリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ本件新案ト同一物品ハ其登録出願前明治三十九年以降大塚藤吉ノ製造販賣セル所ナリト云フモ其當時同人ハ營業者ニアラサルヲ以テ之ヲ製造販賣セル理ナシ又請求人ハ本件實用新案織物ノ販賣方ヲ被請求人ト特約シ明治四十一年八月ヨリ其約ヲ履行スルニモ拘ハラヌ請求人自己ノ利益ノ爲メニ大塚藤吉ト謀リテ本件新案ノ無効ヲ主張スルモノニシテ本件新案ハ其出願前公知ニ屬スルモノニアラス又請求人ハ甲第四、五、六號證ニ依リ本件實用新案ハ容易ニ推考シ得ヘキモノナリト云フモ右各甲號證ノ織物ハ何レモ緋ニシテ本件新案亂編ハ緋絲若クハ染分絲ヲ材料トシテ織製シタル縞ナレハ之レヲ緋ニ比スレハ大ニ其組織及精神ヲ異ニスルモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由 本件實用新案ハ其願書添附ノ圖面及其説明書ニ依レハ經トシテハ無地染絲又緯トシテハ經絲ヲ折半或ハ二三ニ折疊シテ染色シタル緋絲ヲ用ヒ該緋絲ヲ不規則ニ經ニ打込テ織成シタル織物ノ構造ヲ以テ新案トナスモノナリ又請求人ノ所謂野毛緋ナルモノハ經絲トシテ緋無地絲又ハ緋縞ヲ織成スヘキ染絲ヲ經シ之ニ緋緋絲ノ緯ヲ打込ミタルモノニシテ之ヲ本件實用新案織物ニ比スレハ該野毛緋ナルモノハ緋緋又ハ緋縞ニ局限サル、モ兩者共ニ無地染經ニ緋緯絲ヲ不規則ニ打込ミタルモノニシテ其構造ニ於テ互ニ異ナリタル所ナシ而シテ請求人ハ該野毛緋ニ依リテ本件實用新案ノ無効ヲ主張スル

モ該野毛緋ナルモノカ本件實用新案ノ登録出願前公知公用ニ屬スルヤ否ヤニ就キテハ何等之ヲ確ムヘキモノナキヲ以テ請求人ノ右主張ハ之ヲ認ムルコト能ハス然レトモ本件實用新案ト同一構造ヲ有スル甲第三號證ノ四乃至六ノ織物カ其登録出願日ナル明治四十年九月三日以前ニ帝國内ニ於テ公然知ラルルニ至リタル事實ハ證人近藤大三郎、細井政太郎、内山大吉、松本良太郎ノ證言ニ依リ之ヲ認ムルコトヲ得從テ本件實用新案法ハ實用新案法第三條第一號ニ該當スルヲ以テ其登録ハ同法第一條ノ規定ニ違反シ同法第十一條ニ依リ之ヲ無効トスヘキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年四月二十九日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局事務官 奥山 萬次郎
 特許局事務官 田中 鐵二郎

第一千五百五十一號

東京市淺草區琴町二丁目二十一番地
 東京市下谷區入谷町六十七番地中村善六方

請求人 井上 小四郎
 被請求人 大和田 健造

右當事者間ノ第一一三三八號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人ノ製作販賣スル甲第一號證「ベン」先拭兼根付ハ第一一三三八號登録實用新案ノ權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製作販賣スル甲第一號證「ベン」先拭キハ請求人専用ノ第一
一三八號登錄實用新案「ベン」先拭兼根付「インキ」壺ト撞着スルモノト審決相成度其理由ハ右甲第一
號證ハ單ニ羅紗地類ニ穴ヲ穿チ而シテ其穴ニ絲ヲ通スルニ便ナラシメンカ爲メニ鳩目ヲ附加シタルモ
ノニシテ本件實用新案ノ權内ニ包括セラルヘキモノナリト云フニ在リテ其事實ヲ確ムル爲メニ甲第一
號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立正當ナリト審決相成度其理由ハ被請求人ハ本件實用新案ト甲第一
號證トハ互ニ異ナル構造ヲ有スルモノト解シタルカ故ニ之ヲ普通品ト心得テ製造販賣シタルナリ然ル
ニ今之カ權利確認事件ニ際シ請求人ノ提出シタル書類ノ表示ヲ見ルニ及ヒ甲第一號證モ亦該權利中ニ
包括セラルルモノナルコトヲ知り得タリト云フニ在リ

審決ノ理由 本件實用新案ハ其願書添附ノ圖面及説明書ニ依レハ毛織物又ハ鞣皮屑其他適宜ノ材料ヲ所
要ノ形狀ニ截斷シタル「ベン」先拭片數葉ヲ重ネ其中央部ニ貫通孔ヲ穿チタル「ベン」先拭兼根付「三」所
要ノ形狀ニ截斷シ其中央ニ孔ヲ設ケタル板紙又ハ金屬製ノ緒締子「ハ」ヲ合ハセ右「三」及「ハ」ノ孔ニ下緒「イ」ヲ
貫通シ其一端ニ鑲狀ノ緒止「ロ」ヲ結ヒ付ケタル「ベン」先拭兼根付ノ構成ヲ以テ新案トナスモノナリ而シ
テ甲第一號證ハ右新案ト同一構成ヨリナルモノニシテ只該新案ニ於ケル「ベン」先拭片數葉ニ代フルニ
一枚ノ拭片ヲ用ヒタルト緒締子「ハ」ノ代リニ鳩目金具ヲ用ヒタル微差アルノミ然レトモ斯カル微差ノ爲
メニ特殊ノ效果ヲ奏スヘキ理ナク本件新案ニ比シ均等ノ作用ヲ呈スルモノニシテ右微差ノ爲メ兩者ヲ
以テ別構成ヨリナルモノト云フヲ得ス從テ甲第一號證ハ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬ス仍テ主文ノ如
ク審決ス

明治四十四年五月五日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 田中 鐵 二 郎
特許局事務官 村山 小 次 郎

第二千五十六號

奈良縣南葛城郡御所町大字御所第四百七十八番邸 請 求 人 奥 野 治 平
大阪市東區南本町二丁目第百五十二番邸 請 求 人 山 田 政 治 郎
大阪市東區備後町二丁目三十六番地特許辦理士 右 代 理 人 堤 他 彦
大阪市東區瓦町四丁目六十一番地 被 請 求 人 武 田 竹 三 郎
大阪市東區瓦町一丁目五番地特許辦理士 右 代 理 人 廣 井 代 藏

右當事者間ノ第一三二四八號登錄實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人カ製造販賣スル甲第一號證帶芯ハ第一三二四八號登錄實用新案ノ權利範圍ニ屬ス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人カ製造販賣スル甲第一號證帶芯ハ第一三二四八號登錄實用新案
ノ權利範圍外ノモノトス審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
審決相成度其理由ハ請求人等カ製造販賣ス
ル甲第一號證帶芯ハ普通ノ煮糊ト「ゼラチン」液トヲ混合シタル糊若クハ「ゼラチン」液ヲ混セサル煮糊
ヲ施コシタル綿絲ヲ經緯トナシ組織シタル綿布ノ兩面ヲ起毛シ水氣ヲ與ヘ熱ヲ利用シテ乾燥シタルモ
ノヲ帶丈ケニ截斷シタルモノナリ而シテ本件登錄帶芯ハ糊ト糊原料トヲ混合シタルモノヲ浸着セル絲

ニテ織成シタル織布ノ面ヲ起毛シタル後水氣ヲ與ヘテ蒸氣中ニ通シテ成ル帶芯ナリ今兩者ヲ比較スルニ甲第一號證物品ハ織物織成上慣行スル所ノ煮糊ヲ原絲ニ施コシタルモノニシテ本件實用新案ニ於ケル如ク生糊ヲ施スコトナシ又甲第一號證ノ起毛後水氣ヲ與ヘテ乾燥スルコトハ綿「ネル」製法ニ於テ一般公知ノ事實ナルノミナラス綿布ヲ起毛シタル帶芯ハ第九八一九號登錄實用新案帶芯ニ依リ公知ニ屬スル所ニシテ以上論述スル如ク甲第一號證物品ハ悉ク公知ノ方法手段ヨリ成ルモノニシテ本件實用新案トハ其構造ヲ異ニシ毫モ該權利ノ範圍ニ屬スルモノニアラスト云フニ在リテ甲第一號證ヲ提出セリ被請求人申立ノ要領ハ請求人等カ製造販賣スル甲第一號證帶芯ハ第一三二四八號登錄實用新案ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件甲第一號證ハ普通ノ煮糊ト「ゼラチン」液トヲ混合シタル糊ヲ施コシタル綿絲ヲ經緯トナシ組織シタル綿布ノ兩面ヲ起毛シ其後水氣ヲ與ヘ適宜ノ手段ヲ以テ乾燥シタルモノヲ帶丈ケニ截斷シタルモノニシテ本件實用新案ハ糊原料ト煮糊トノ混成資料ヲ浸着セシメタル絲ヲ織成シタル織布ヲ起毛シテ之ニ水氣ヲ與ヘテ製シタル帶芯ナリ仍テ甲第一號證ト本件實用新案トヲ比較スルニ前者ハ其手段及目的ニ於テ後者ト均等ナルノミナラス其成品ニ異ナル所ナク只糊原料ニ代フルニ「ゼラチン」ヲ用ヒタリト雖モ之レ單ニ文字上ノ差ニ止リ其實質ニ於テハ糊原料タルコトヲ免カレス而シテ其帶芯トナシタル場合ニ於テ何レモ其效果ヲ相等シカラシムルニ於テハ假令糊原料ト「ゼラチン」トカ實質上ニ於テ少差アリトスルモ之カ爲メ敢テ第一三二四八號登錄實用新案權外ナリト云フヲ得スト云フニ在リテ其事實ヲ確ムル爲メニ乙第一號證乃至乙第五號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件實用新案ハ糊ト糊原料トノ混成糊ヲ浸着セシメタル綿絲ヲ經緯トシテ織成シタル織布ノ片面又ハ兩面ニ起毛シ次ニ之レヲ水氣中ニ通スルカ或ハ水分ヲ與ヘタル後水蒸氣中ニ通シ水分及熱

ノ作用ニ依リ糊原料ヲ煮糊ニ化成セシメテ之ヲ地質及毛根部ニ擴散且充實セシムル手段ヨリ成リ其目的トスル所ハ地質ニ堅韌性ヲ帶ハシメ且毛根部ヲ糊ニテ包ミ以テ脫毛ヲ防止スルト同時ニ織布面ニ糊着セシメントスルモノニシテ本件實用新案ノ登錄出願書附屬圖面ニ示ス如ク施糊經緯絲ヨリ成ル織布「イ」ノ毛部「ロ」、毛根部ヲ包ミ同時ニ織布面ニ密着スル糊層ハ、以上三者ヨリ成ル構造ノ帶芯ナリ而シテ請求人カ製造販賣スル甲第一號證帶芯ノ製法ハ普通煮糊ト「ゼラチン」液トノ混成糊若クハ普通煮糊ノミヲ浸着セシメタル綿絲ヲ經緯絲トシテ織成セル織布ノ兩面ヲ起毛シ次ニ之レニ水分ヲ與ヘ熱ヲ利用シテ乾燥セルモノニシテ之レヲ本件帶芯ノ製法ニ比スルニ經緯絲トシテ施糊綿絲ヲ使用スル點ニ於テ兩者同一ナルノミナラス請求人撰用ノ糊モ亦水分及熱ノ作用ニ依リ軟化シ其結果織布地及毛根部ニ擴散シ續テ冷却固結スル性質ヲ具備スルモノナルカ故ニ請求人カ製造スル帶芯ハ又本件新案帶芯ニ於ケル如ク毛部ト織布地ト毛根部及布地面トハ覆ヘル糊層トノ三者相須テナル構造ヲ具備スルモノナリ從テ甲第一號證帶芯ハ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬スヘキモノトス但シ本件甲第一號證帳芯ノ製法及本件新案帶芯ノ製法中各其使用スル糊ニ於テ相同シカラサル所アルモ其效果ヨリ見レハ何レモ均等物ナルヲ以テ斯カル微差ハ本件係爭事件ヲ決スヘキ要素トナスニ足ラス又本件甲第一號證帶芯ノ製法ハ「ゼラチン」液ヲ使用スル場合ト否ラサル場合トノ二個ノ場合アルモ其效果ヨリ論スレハ殆ント差異ナキヲ以テ斯カル差異ニ依リ右二個ノ場合ヲ分テテ論スルノ必要ナシ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年五月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局事務官 奧山 萬次郎
 特許局事務官 村山 小次郎

第二千八十九號

*七十八

東京市日本橋區本銀町四丁目十七番地 請求人 水野 龜松
東京市京橋區木挽町四丁目九番地特許辨理士 右代理人 細川 陽之介
東京市淺草區松葉町七十二番地 被請求人 山本 正三郎

右當事者間ノ第一六六一號登録實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人カ製造スル甲第一號證「インキ」壺ハ第一六六一號登録實用新案ノ權利範圍ニ屬セス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人カ製造スル所ノ甲第一號證「インキ」壺ハ被請求人カ製造販賣スル第一六六一號登録實用新案「インキ」壺ト撞着セスト審決相成度其理由ハ本件新案ハ廻動シ得ヘキ金屬線條「ロ」ノ兩端ヲ「三」ナル小孔ニ嵌着シ「ハ」ナル凸起ニ依リ「インキ」壺ヲ傾斜セシムヘク成シタル構造ナリ然ルニ請求人カ製造スル「インキ」壺ハ壺口ニ反スル底ノ一部ニ一條ノ凹溝ヲ形成シ該凹溝ニ壺ト別體ヲ成セル机上ニ有合ハス物品ヲ嵌合シテ支持セシメ該支持物カ壺底ヨリ滑ニズル憂ナク壺ヲ傾斜セシムヘク成シタルモノナルカ故ニ其構造該登録ト全ク異ナルモノナリト云フニ在リテ其事實ヲ確ムル爲メニ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ本件請求ハ之ヲ却下スト審決相成度其理由ハ本件甲第一號證「インキ」壺カ第一六六一號登録實用新案ニ撞着セサルコトハ爭ナシ且被請求人ハ甲第一號證「インキ」壺ノ製造販賣ニ關シ曾テ苦情ヲ申出タルコトナシ仍テ請求人ハ本件審判ヲ請求スヘキ利害關係ヲ有セスト云フニ在リ
審決ノ理由 被請求人ハ本件甲第一號證「インキ」壺カ本件實用新案ニ撞着セスト云フ請求人ノ主張ヲ認

ムルノミナラス本件審判請求前ニ於テモ亦之ニ關シ爭ヒタルコトナク從テ請求人ハ本件請求ニ對シ利害關係ヲ有セサルカ故ニ本件請求ハ却下スヘキモノナリト云フモ請求人ハ被請求人ト同業者ナルノミナラス被請求人ハ本件答辯書及再答辯書ニ於テ請求人ノ主張ヲ爭ヒタル事實ヨリ見レハ假令其後ニ於テ請求人ノ主張ヲ認メタル事實アリトスルモ又本件審判請求前曾テ爭ハサリシ事實アリトスルモ之ニ依リテ請求人カ審判請求ヲ爲スニ付利害關係ヲ有セスト云フヘカラス從テ本件請求ハ之ヲ却下スヘキモノナリトノ請求人申立ハ不當ナリ次ニ本件實用新案ハ其圖面ニ示ス如ク「ベン」軸掛「ハ」壺ヲ傾斜シ又「ベン」先被ヲ壓留スヘキ金屬線條「ロ」該線條ヲ嵌着スヘキ小孔「三」該線條ノ位置ヲ維持セシムヘキ溝「下」及凸起「ハ」「ベン」先收藏用溝「イ」各部分ヨリナル構造「インキ」壺ナリ然ルニ本件甲第一號證「インキ」壺ハ單ニ本新案ニ於ケル溝「イ」ニ相當スル一條ノ溝ヲ設ケタル以外他ニ一モ該新案ニ於ケル如キ構造ヲ有セサルノミナラス該溝「イ」ハ「ベン」先收藏用ノ溝ナルモ甲第一號證ノ溝ハ壺自體ヲ他ノ適宜物品ニ嵌合シテ傾斜ノ位置ニ保タシムヘキ目的ニ於テ構成セラレタルモノニシテ本新案ニ於ケル溝トハ其目的ヲ異ニスルモノナリ從テ本件甲第一號證「インキ」壺ハ本件新案ニ比シ構造上類似ト認ムヘキ點ナク全ク別異ノ構造ヨリ成ルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年五月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 田 中 鐵 二 郎
特許局事務官 三 浦 惠 一

*七十九

第二千一百一號

* 八十

大阪市内安堂寺町二丁目	請求人	河合 卯之助
大阪市北區堂島濱通一丁目二十八番地特許辨理士	右代理人	清 瀨 一 郎
愛知縣愛知郡中村大字稻葉地百七十八番戸	被請求人	吉 田 高 明
名古屋市中區笹島町一丁目三十三番地	被請求人	堀 内 茂 右 衛 門
名古屋市中區南伊勢町二番地特許辨理士	右兩名代理人	武 田 良 吾
名古屋市中區鍛冶屋町二丁目百十一番地特許辨理士	右兩名代理人	鈴 木 千 代 吉

右當事者間ノ第一一八〇〇號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ甲第一號證牛乳瓶ハ登録第一一八〇〇號實用新案權ノ範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ右登録實用新案ハ一定ノ口徑ヲ有シ且ツ紙栓ノ止マルヘキ所ニ於テ緩ナル曲線ヲ以テ稍ヤ口徑ヲ小ニシタル瓶ニ防水塗料ヲ施シタル板紙ヲ栓トスル牛乳瓶ノ構造ナリ然ルニ甲第一號證ハ口徑ニ段ヲ有スル普通ノ牛乳瓶ニシテ其栓ハ單ニ「ボール」紙ヲ打抜キタルモノニ過キス故ニ請求人ノ製造シアル甲第一號證牛乳瓶ハ本件實用新案權ニ撞着スルモノニアラス請求人ハ殊ニ甲第一號證牛乳瓶ヲ製造シタルモノナルヲ以テ本件審判ヲ請求スヘキ利害關係ヲ有スルヤ勿論ナリト云フニ在リテ其事實ヲ確ムル爲メニ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ本件請求ハ之ヲ却下ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ「本

案前ノ抗辯トシテ」請求人ハ本件審判請求ハ被請求人カ侵害ノ告訴ヲ大阪地方裁判所ニ提出シタルニ由リ利害關係アリト主張シ其旨審判請求書ニ明記シタル後口頭審理ニ於テ之ヲ撤回シ甲第一號證牛乳瓶ヲ製造販賣セルカ故ニ利害關係アリト主張スルハ訴ノ原因ヲ變更スルモノニシテ民事訴訟法第百九十五條第三號ニ該當シ許スヘカラサルモノナリ又本案ニ對スル抗辯トシテハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ請求人カ製造販賣スル甲第一號證ハ本件實用新案ニ類似タルヲ免カレサルヘシ蓋シ本實用新案ハ圖面及説明ニ詳記セル如ク紙栓^イト適合スヘキ口徑ヲ有シ且紙栓^イノ止マルヘキ所ニ於テ緩ナル曲線ヲ以テ稍ヤ口徑ヲ小ニシタルモノニシテ之ヲ甲第一號證ト對比スルニ本實用新案ハ紙栓ヲ受クル所ノ段カ緩ナル曲線ナルト甲第一號證ハ水平ナル段ヲ設ケタルノ差ニ過キスシテ紙栓ヲ受ケ止マル點ニ於テハ毫モ異ナル所ナシ左レハ栓ヲ受クル場所ノ形狀ヲ少ク變更シタルモ全ク本實用新案ノ精神ヲ取リタルモノニシテ其類似ナルコト毫モ疑フ容ルヘキニ非スト云フニ在リ

審決ノ理由 先ツ被請求人カ本案前ノ抗辯トシテ提出シタル點即チ本件請求ヲ提起スルニ付請求人カ利害關係ノ申立ヲ變更シタルハ訴ノ原因ノ變更ニシテ民事訴訟法第百九十五條第三號ニ該當シ許スヘカラサルモノナルヤ否ヤニ付キ案スルニ本件ノ如キ審判請求ハ實用新案法第二十條ニ準用セラレタル特許法第六十九條ノ規定ニ由ルモノニシテ該條ノ利害關係ハ職權ヲ以テ調査スヘキ事項ニ屬シ苟モ其ノ關係ニシテ存在スル以上ハ之レカ申立ノ變更ハ許容スヘキモノニシテ民事訴訟法ヲ適用スヘキモノニアラス而シテ本件請求ハ甲第一號證紙栓ヲ製造販賣スルハ被請求人ノ有スル實用新案權ノ範圍ニ屬スルヤ否ヤノ爭議ヲ有シ自ラ利害關係アルコトハ被請求人モ自認スル處ニシテ適法ナリト認ム故ニ此點ニ對スル被請求人ノ抗辯ハ其理由ナシ

依テ本案ニ付キ按スルニ被請求人ノ所有スル實用新案登録第一一八〇〇號ハ其請求範圍及圖面ノ説明

ニ依レハ其考案ノ要部ハ紙栓^イニ適合スヘキ口徑ヲ有シ且ツ紙栓^イノ止マルヘキ處ニ於テ緩ナル曲線ヲ以テ稍口徑ヲ小ニシタル構造ニ在リテ存シ請求人カ製造販賣スル甲第一號證牛乳瓶ハ口徑ニ於テ段ヲ設ケ紙栓ヲ止ムヘキ構成ニシテ彼是小差ナキニアラスト雖トモ考案ノ要部タル口徑ニ於テ段ヲ設ケ紙栓ヲ止ムヘクナス構成ハ兩者同一ナリト認メ得ヘキヲ以テ畢竟類似品タルコトヲ免レス而カモ其效果ニ於テモ亦異ナルコトナキモノト判定セサルヲ得ス從テ甲第一號證牛乳瓶ハ該實用新案權ノ範圍内ニ屬スルヤ敢テ論ナシ故ニ請求人ノ主張ハ採用スルヲ得ス審判費用ニ付テハ明治四十二年十月二十三日勅令第三百一號第一條民事訴訟法第七十二條ニ依リ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年五月三十一日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局事務官 織 田 了
 特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千二百二號

大阪市内區内安堂寺町二丁目 請求人 河合卯之助
 大阪市北區堂島濱通二丁目二十八番地特許辦理士 右代理人 清 瀬 一 郎
 愛知縣愛知郡中村大字稻葉地百七十八番戶 被請求人 吉 田 高 明
 名古屋市中區笹島町一丁目三十三番地 被請求人 堀 田 茂 左 衛 門
 名古屋市中區南伊勢町二番地特許辦理士 右兩名代理人 武 田 良 吾

名古屋市中區鍛冶屋町二丁目百十一番地特許辦理士

右兩名代理人 鈴木千代吉

右當事者間ノ第一一七九九號實用新案權利確認審判請求事件ニ付キ審決スルコト左ノ如シ
 主文 甲第一號證紙栓ハ登録第一一七九九號實用新案權ノ範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人等ノ連帶負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ甲第一號證紙栓ハ登録第一一七九九號實用新案權ノ範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人等ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ被請求人ハ考案者富澤信ヨリ登録第一一七九九號實用新案權ヲ讓受ケ之ヲ共有スルモノニシテ該權利ノ範圍ハ圓形ノ紙板ノ兩面ヨリ防水塗料ヲ施シテ成リタルモノナリ故ニ之ヲ牛乳瓶ニ施ストキハ瓶ヲ轉倒スルモノ内部ノ牛乳ヲ漏出セシメサルニ在リ然ルニ請求人カ從來製造販賣スル甲第一號證紙栓ハ單ニ通常ノ「ボール」紙ヲ圓形ニ打チ抜キタルモノニシテ何等防水塗料ヲ施シタルモノニアラスト即チ從來普通ニ行ハル、紙栓ニ過キス故ニ牛乳ヲ盛リタル瓶ニ之ヲ施ストキハ唯塵埃ノ侵入ヲ防クノミニシテ内部ノ牛乳ヲ漏出セシメサルノ效果ナキヲ以テ彼是撞着スルモノニアラスト云フニ在リ

被請求人申立ノ要領ハ本件請求ハ却下ス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決相成度其理由ハ「本案前ノ抗辯トシテ」請求人ハ本件審判請求ハ被請求人カ侵害ノ告訴ヲ大阪地方裁判所ニ提起シタルニ依リテ利害關係アリトシ審判ヲ請求スル旨審判請求書ニ明記シタル後口頭審理ニ於テ之ヲ撤回シ甲第一號證紙栓ヲ製造販賣セルカ故ニ利害關係アリト主張スルハ即チ訴ノ原因ヲ變更スルモノニシテ民事訴訟法第九十五條第三號ニ該當シ許スヘカラサルモノナリ又本案ニ對スル抗辯トシテハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ請求人カ製造販賣スル甲第一號證紙栓ト實用新案登録第一一七九九號トハ防水塗料ヲ施シタルト否トノ別アリテ全然同一ナリト云フヲ得スト雖トモ其形體及ヒ用法ニ至リテ

ハ全然同一ナリトス故ニ甲第一號證ハ該實用新案權ヲ模擬シタル類似品ナリト認ムヘキヲ以テ權利範圍ニ屬スト云フニ在リ

審決ノ理由 先ツ被請求人カ本案前ノ抗辯トシテ提出シタル點即チ本件請求ヲ提起スルニ付テ請求人カ利害關係ノ申立ヲ變更シタルハ訴ノ原因ノ變更ニシテ民事訴訟法第九十五條第三號ニ該當シ許スヘカラサルモノナルヤ否ヤニ付キ案スルニ本件ノ如キ審判請求ハ實用新案法第二十條ニ準用セラレタル特許法第六十九條ノ規定ニ由ルモノニシテ該條ノ利害關係ハ職權ヲ以テ調査スヘキ事項ニ屬シ尙モ其ノ關係ニシテ存在スル以上ハ之レカ申立ノ變更ハ許容スヘキモノニシテ民事訴訟法ヲ適用スヘキモノニアラス而シテ本件請求ハ甲第一號證紙栓ヲ製造販賣スルハ被請求人ノ有スル實用新案權ノ範圍ニ屬スルヤ否ヤノ爭議ヲ有シ自ラ利害關係アルコトハ被請求人モ自認スル處ニシテ適法ナリト認ム故ニ此點ニ對スル被請求人ノ抗辯ハ其理由ナシ

依テ本案ニ付キ案スルニ被請求人ノ所有ニ係ル實用新案登錄第一一七九九號ノ請求範圍ヲ觀ルニ別紙圖面ニ示セル構造ノ紙栓ト表示シアリテ其圖面及ヒ之レカ說明ニ由レハ圓形ノ板紙ニ防水塗料ヲ施シテ成リ而カモ之ヲ牛乳瓶ノ(イ)ト適合スヘキ口徑ヲ有セシメタルモノナリ而シテ此紙栓ヲ施ストキハ其周邊ハ内面ト密着シテ瓶ヲ轉倒スルモ内部ノ牛乳ハ漏出スルコトナク牛乳ヲ出サント欲スルトキハ尖リタル物體ヲ以テ紙栓ヲ破リ去ルニアラサレハ容易ニ出ス克ハス畢竟封箋代用ノ新效果アルモノナリ然ルニ請求人カ製造販賣スル甲第一號證紙栓ハ牛乳瓶ニ適合スヘキ口徑ヲ有スル圓形ノ板紙ヨリ成リ何等塗料ヲ施シタルモノニアラス今此兩者ヲ比較スルニ前者ノ考案ノ要部ハ圓形ノ板紙ニ防水塗料ヲ結合シタル構造ニ係レリト雖トモ後者ハ單ニ圓形ノ板紙タルニ止マリ全ク塗料ノ施用ヲ缺キタルモノナルカ故ニ其考案同一ナラサルノミナラス亦相類似スル處ナキ別個ノ物品ナリト認メ得ヘク況ンヤ其

效果ニ於テモ後者ハ前者ニ於ケル防水塗料ヲ施ササルヲ以テ前者ノ目的トスル滲透漏出ヲ防遏スヘキ利益ナキノミナラス瓶栓ノ脱着容易ニシテ到底封箋代用タル效果ナキノ差異アルニ於テオヤ然ラハ則チ後者ハ前者ノ權利範圍ニ屬セサルコト明白ナリトス從テ被請求人ノ此點ニ對スル抗辯モ亦理由ナシ審判費用ニ付テハ明治四十二年十月二十三日勅令第三百一號第一條民事訴訟法第八十條ニ依リ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年五月三十一日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 織 田 了
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千百十六號

大阪市東區淡路町五丁目四十六番地	請 求 人	佐々木 信 玄
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辦理士	右 代 理 人	淺 村 三 郎
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辦理士	右 代 理 人	平 岩 義 一
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辦理士	右 代 理 人	藤 江 政 太 郎
京都市下京區寺町通松原上ル京極町五百九番地	被 請 求 人	牧 千 太 郎
京都市上京區中立賣通知照光院東入多門町四百四十一番地特許辦理士	右 代 理 人	森 田 茂
京都市神田區美土代町一丁目三十番地特許辦理士	右 代 理 人	中 井 富 藏

右當事者間ノ第一二〇八八號實用新案無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人專有ノ第一二〇八八號登録實用新案千代田袋第二號ノ登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其理由ハ本件新案ハ手提袋ノ底縁ニ於ケル四隅ニ薄キ金屬板ヲ溝狀ニ折リ曲ケ造リタル金具ヲ嵌着シ成ルノ點ニアリ然ルニ之レト全然同一構造ニ成レル甲第一號證圖面ト説明トニ示シタル千代田袋ハ小林徳松ノ考案シタルモノニシテ被請求人ノ考案シタルモノニアラス即右小林ハ明治四十一年六月頃本件新案ニ於ケルト同一ノ金具ヲ手提袋ノ底縁ノ四隅ニ附着スルコトヲ案出シ右金具ノ製造用具ヲ初田忠治郎ニ交付シ且金具百組ヲ注文シタリ依テ初田ハ吉田辰之助ヲシテ之レヲ製造セシメタリ而シテ初田ハ明治四十一年九月右金具二十組ヲ久村清一ニ爾餘ノ八十組ヲ前記小林ニ販賣セリ之レヲ要スルニ明治四十二年一月五日出願ノ本件新案千代田袋第二號ハ元來小林徳松ノ考案シタルモノナルノミナラス明治四十一年九月頃即本件新案ノ登録出願以前ニ於テ小林徳松、久村清一等ニ於テ之レヲ製作販賣シ且他ノ商人ニ於テモ亦之レヲ販賣シタル事實アルヲ以テ本件新案ノ登録ハ無効タルヘキモノナリト云フニ在リテ其事實ヲ確ムル爲メニ甲第一號證乃至甲第八號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タストノ審決ヲ求ム其理由ハ請求人ハ本件新案千代田袋ヲ模倣セル疑ヒアリ而シテ該模倣ニ成ル手提袋ノ金具ハ明治四十三年十二月四日出願次テ第六二五四號ヲ以テ意匠ノ登録ヲ得タルモノニシテ本件請求ハ惡意ヨリ出タルモノナリ又請求人ハ本件新案ト同一物ニ關シ其出願前小林徳松カ漠然考案スル所ナリト云フモ被請求人カ明治四十一年八月二十六日出願セル第一一五六四號登録實用新案千代田袋ト本件新案トハ共ニ同一系統ノ考案タルハ明カナリ從テ此事實ヨリ見ルモ請求人ノ右主張ハ之ヲ否認ス又本件請求書ニ採用スル久村清一、重田周造及證明者等ハ師弟又ハ隣家若クハ同職工或ハ商取引等ノ關係アリテ請求人カ一團トシテ操縦シ得ヘキモノナルヲ以テ其證明ハ信ヲ措クニ足ラサルノミナラス單ニ一部部ニ限リ只親善ナル間柄ニ於テ偶々公知公用ノ事實アルニ過キサル如キハ未タ以テ公然知ラレ公然用ヒラレタリト謂フヲ得スト云フニ在リテ其事實ヲ確ムル爲メニ乙第一號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 明治四十二年一月五日付出願ノ本件新案ハ薄キ金屬板ヲ溝狀ニ曲折シ更ニ之ヲ手提袋ノ底縁ニ於ケル四隅ニ嵌着セル手提袋ノ構造ヲ以テ新案トナスモノナリ而シテ請求人ハ右金具ト同一構造ノ金具ハ本件新案出願前即明治四十一年六月頃小林徳松ノ考案セル所ナリト云フモ小林徳松ノ證言ハ右主張ヲ認ムルニ足ラス又請求人ハ明治四十一年九月以降本件新案ト同一構造ノ手提袋ハ公知公用ニ屬スル所ナリト云フモ證人小林徳松、久村清一、重田周造等ノ證言ハ亦右主張ヲ認ムヘキ價値ナキモノトス之ヲ要スルニ本件請求ハ其證據不充足ニシテ請求人ノ主張ヲ認ムルコト能ハス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年六月十日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 奧 山 萬 次 郎
特許局事務官 三 浦 惠 一

第一千四百四十一號

* 八十八

請求人 武藤喜久一郎
 右代理人 水野 豊
 被請求人 武井泉三郎
 右代理人 鈴木千代吉

東京市麻布區新堀町七番地
 東京市日本橋區村松町四十八番地特許辨理士
 名古屋市中區南鍛冶屋町二丁目百一十一番戶特許辨理士

右當事者間ノ第一三六四三號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 第一三六四三號實用新案ノ登録ハ之レヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
 申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ實用新案第一三六四三號ノ登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ有スル本件第一三六四三號新案ハ真綿製造ノ際其原料ヲ直チニ衣服形木版ニテ伸作シ其表面ニ「ゼラチン」液ヲ撒布セル衣服形吹上真綿ノ構造ニシテ明治四十二年五月二十一日ノ出願ニ係ルモノナリ然ルニ明治三十七年三月二十九日出願同年九月中刊行特許公報第七五六號ニ登載セラレタル請求人所有ノ特許第七六七八號ハ衣裳形ニ展伸セル蠶綿ノ表面ニ揮發油ヲ撒布シ火斗ニテ平熨シ更ニ澱粉糊ヲ撒シ火斗ニテ平熨スル吹上真綿製造法ニ係リ其製品ハ其當時ヨリ公ニ製造販賣セラレタルモノニシテ之ヲ甲第一號證ト彼此對照シテ類似品タルコト明カナリ次テ請求人カ右特許方法ヲ實施スル爲メニ有スル第六七〇三號實用新案和服裝入用伸綿形成具ノ構造ハ丁字形臺ト衣服形型片トヲ組合ハセタルモノニシテ之ヲ使用シテ蠶綿ヲ以テ和服裝入用伸綿ヲ製造シ得ヘキコトヲ説明シ明治四十年十月二十二日刊行實用新案公報第一二三號ニ登載セラル、所ナリ從テ本件第一

三六四三號登録改良衣服形吹上真綿ト同一又ハ類似ナル特許第七六七八號ノ製品ハ本件新案ノ出願前公ニ販賣セラル、ノミナラス同シク登録出願前ノ刊行ニ係ル特許公報第七五六號所載特許第七六七八號吹上真綿製造法ノ説明及實用新案公報第一二三號所載登録新案第六七〇三號和服裝入用伸綿形成具ノ説明等ヨリ容易ニ應用シ得ヘキ構造ナルヲ以テ本件第一三六四三號登録新案ハ無効タルヘキモノナリト云フニ在リテ其事實ヲ確ムル爲メニ甲第一號證乃甲第五號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ特許第七六七八號ハ纖維カ布面ニ吹出シ又ハ蠶綿ノ表面ノ硬化シテ厚紙狀トナリ之レカ爲メニ布片ト乖離シテ視貼セザル如キ弊ナカシムルヲ目的トナスモ第一三六四號新案ハ蠶綿ノ表面ニ特ニ厚紙狀ノ薄皮ヲ形成セシムルヲ目的トナスモノニシテ兩者ノ目的トスル所ハ正反對ナリ又特許第七六七八號ハ蠶綿ヲ原料トナシ揮發油及一種ノ澱粉糊ヲ使用シ火斗ヲ應用スル等複雑ナル手數ヲ要スルモ本件新案ハ蠶綿ノ原料ニ使用シ單ニ「ゼラチン」液ヲ撒布スルノミニシテ使用原料製造工程等相異ナルモノナリ從テ以上説明スル如ク本件新案ハ特許第七六七八號ノ方法ノ説明及其製品トハ目的製法ヲ異ニシ之レヨリ容易ニ應用シ得ヘキモノニアラス次ニ真綿ヲ展伸シテ任意ノ形狀トナシ表面ニ澱粉糊ヲ撒布スルコトハ明治初年以前ヨリ行ハル、所ニシテ展伸スルニ適應ノ型板ヲ使用スルハ當然ナレハ被請求人カ衣服形ノ型板ヲ使用スル如キハ第六七〇三號登録新案ト何等關係ナキモノナリト云フニ在リテ其事實ヲ確ムル爲メニ乙第一號證及同第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件第一三六四三號登録實用新案ハ其圖面及説明書ニ依レハ真綿ノ原料ヲ伸作シテ袖口(袖口、身ハ)各部トナシ之レニ「ゼラチン」液ヲ撒布セル衣服形吹上真綿ノ構造ナリ然ルニ第六七〇三號登録實用新案ハ和服裝入用伸綿形成具ノ構造ニ付登録セラレタルモノナレトモ之ニ依リ製成セラ

* 八十九

レタル伸綿カ本件實用新案ニ於ケル袖部、身部ハ勿論更ニ頸部、襟、裳等ノ各部ヲ具ヘ其表面ニ稀薄粘料ヲ撒布シ火斗ニテ平熨シタル和服形吹止綿ナルコトハ右實用新案ノ圖面及其說明書ニ依リテ明カナリ從テ該伸綿ト本件實用新案トハ共ニ袖、身部等ヲ具備シ之レニ糊料ヲ施コセル和服形伸綿ニシテ構造上互ニ類似スルモノナリ而シテ第六七〇三號登錄實用新案ハ本件實用新案ノ出願日タル明治四十二年五月二十一日以前同四十年十月二十二日發行ニ係ル實用新案公報第一二三號中ニ記載セラル、所ナレハ本件實用新案ハ其出願前同一物品ニ關シ容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ帝國内ニ頒布セラレタル公刊物中ニ記載セラル、モノニシテ實用新案法第三條第二號ニ該當シ同第一條ノ規定ニ反シ其登錄ハ同法第十一條ニ依リ之ヲ無効ト爲スヘキモノトス尙第六七〇三號登錄實用新案ハ眞綿、火斗、粘液等ヲ用ユルモノ本件實用新案ハ眞綿ノ原料、「ゼラチン」液ヲ使用スルモノニシテ前者ニ比スレハ其原料及糊料ニ於テ一見互ニ相異セル所アルカ如ク又後者ハ特ニ袖口ヲ設テ前者ニ於ケル如ク火斗ヲ使用セサル等兩者一見互ニ構造上相違セル所アルカ如シト雖モ本件實用新案ニ於ケル眞綿原料トハ蠶繭ヲ精練シテ蛹ヲ去リタルモノナレハ伸展セサル眞綿ト云フニ同キヲ以テ原料ニ於テ差異ナキノミナラス「ゼラチン」液モ亦普通ニ使用セラル、粘性糊料ナルヲ以テ又一種ノ粘液ナルカ故ニ糊料ニ於テモ亦差異アリト云フヲ得ヌ又前者ニ於ケル火斗使用ノ目的ハ伸綿ノ表面ニ滑澤性ヲ附與スル爲メナリ然ルニ之レヲ用ヒサルモ糊料ノ爲メ伸綿ノ表面ハ又多少ノ滑澤性ヲ帶フルモノナルカ故ニ火斗ノ採否ニ依リ構造上何等ノ相違ヲ來スヘキ理ナク只滑澤性ニ其強弱ノ差アルノミ終リニ後者ニ於テ袖口ヲ設クル如キハ已ニ前者ノアル以上之レヨリ容易ニ推考シ得ヘキ普通ノ考案ニシテ之レカ爲メ別構造タルヘキ理ナシ之レヲ要スルニ前記ノ如キ等差ハ一モ第六七〇三號登錄實用新案ニ於ケル伸綿ト第一三六四三號登錄實用新案トノ兩者ヲシテ別考案タラシムヘキ價値ヲ有スルモノニアラス尙其他双方ニ於テ

争フ所アルモ本審決ニ必要ナキヲ以テ其說明ヲ加ヘス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年六月二十日於特許局

審判長 特許局技師

一 川 一

特許局事務官

田 中 鐵 二 郎

特許局事務官

村 山 小 次 郎

第二千百十二號

京都市下京區不明門通松原下ル吉永町十四番戶

請 求 人 島 村 善 助

京都市上京區高倉通二條上ル天守町十五番戶特許辨理士

右 代 理 人 淺 村 三 郎

京都市下京區綾小路通烏丸東入竹屋之町二百五十七番地

被 請 求 人 藤 井 忠 三 郎

京都市上京區中立賣通智恵光院東入多門町四百四十一番地

右 代 理 人 森 田 茂

特許辨理士

右當事者間ノ第一〇八六號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 甲第一號證ノ物品ハ第一〇八六號登錄實用新案ノ權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造販賣セル甲第一號證ノ物品ハ請求人ノ第一〇八六號登錄實用新案權利範圍ニ屬スト審決相成度其理由ハ本件實用新案ハ縮緬又ハ縞子若クハ其他ノ平地布ヲ襞狀ニ「ミシン」ニテ縫上ケ任意ノ模様ヲ造リタル織布ナリトス然ルニ甲第一號證ノ物品ハ縮緬「ミシン」ニテ模様ニ襞狀ニ縫上ケタルモノニシテ該襞狀ヲ爪形狀ニナシ且ツ色違ヒノ一條ノ絲ヲ襞狀ノ

頂點ニ附加セシメタルモノナリ故ニ其差異トスル所ハ襞狀ノ縫上ケ部分ニ色違ヒノ一條ノ絲ヲ附シ且其縫上ケ方ヲ爪形狀ニナシタルニアリトス然ルニ本件實用新案ハ襞狀ニ縫上ケタルモノヲ以テ其權利ノ主要トシ且其襞狀ノ形狀ハ各種任意タルヘキコトハ權利ノ實質ヨリ見ルモ當然ノ結果ナリトス從テ甲第一號證ノ物品ハ本件新案ノ權利範圍タルヘキコト勿論ニシテ假リニ襞狀カ一定セルモノトスルモ甲第一號證物品ハ少クトモ本件新案ト同一施行ノ下ニ製造セラレ一見同一物タリト云フニ在リテ其實ヲ確ムル爲メニ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ被請求人カ製造販賣スル甲第一號證ノ物品ハ一定ノ間隔ヲ置キテ爪形襞ヲ「ミシン」縫ニ依リ斜ニ表ハシタモノニシテ登録意匠第四二八七號ヲ應用シタルモノナリ而シテ本件第一〇八六號新案ハ平地布ヲ襞狀ニ「ミシン」ニ縫上ケ各種任意ノ模様ヲ造リタル織布ニシテ各種ノ模様ヲ襞ノ形狀ニ縫上ケテ造レルモノナリ故ニ前者ハ襞ノ形狀斬新ナルモ之カ配列方ハ普通ニ婦人服等ニ行ナル所ニシテ後者ハ襞ニテ成レル模様ナルカ故ニ恰カモ造花ヲ布面ニ添付セルカ如キ形狀ニ表ハシ得ヘキ性質ノモノタルヘシ從テ前者カ假令爪形ノ襞ナルニモセヨ之ニ依リテ模様ヲ表ハシタランニハ當然後者ノ制限ヲ受クヘキモ之ヲ普通ノ形式ニ表ハスニ於テハ襞ノ形狀カ爪形タルト否トヲ問ハス全ク没交渉ニシテ兩者類似スルモノニアラスト云フニ在リテ其實ヲ確ムル爲メニ乙第一號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 第一〇八六號登録實用新案ノ請求範圍ハ「縮緬縹子若クハ其他ノ平地ノ地布ヲ襞狀ニ「ミシン」ニ縫上ケ各種任意ノ模様ヲ造リタル織布」ト在リテ適宜布地ニ「ミシン」縫ニ依リ襞ニテ模様ヲ縫出スル考案即襞模様ヲ布面ニ縫出スル考案ヲ以テ權利ノ内容トナスモノナリ而シテ甲第一號證ノ物品ハ襞縮緬ニ「ミシン」縫ニ依リ爪形ヲ連続的ニ縫出シ之レヲ一定ノ間隔ヲ置キテ斜ニ縫設シタルモノ即

爪形襞模様ヲ布地ニ斜ニ縫出シタルモノニシテ襞自體ノ形狀ヲ爪形トナシ其外周ニ色素ヲ設クル如キ第一〇八六號實用新案ニ見サル特殊ノ構成ヲ有スル點アルモ右連續的爪形ヲ一定ノ距離ニ於テ布面ニ縫ヒ現ハスコトハ前記登録實用新案權ノ内容トスル所ノ襞ニテ模様ヲ布地ニ縫出スル考案ナルカ故ニ甲第一號證ノ物品ハ右考案ヲ利用スル點ニ於テ第一〇八六號登録實用新案權ニ觸ル、モノトス次ニ被請求人ハ甲第一號證ノ物品ハ自己専用ノ登録意匠第四二八七號ニ依リ製作販賣セルモノナリト云フモ本件請求ハ第一〇八六號登録實用新案及右登録意匠間ノ係争ニアラサルカ故ニ被請求人カ自己意匠權ヲ行使スルヤ否ヤハ問フ所ニアラス本件ハ只本件實用新案ト甲第一號證トニ於ケル争點ヲ決スルヲ以テ足レリトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年六月二十三日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 奥山 萬次郎
特許局事務官 三浦 惠一

第二千五百五十七號

東京市本郷區眞砂町三十七番地
東京市日本橋區伊勢町二十六番地特許辦理士
東京市日本橋區伊勢町二十六番地特許辦理士
東京市淺草區藏前森田町十七番地

請求人 西尾 正左衛門
右代理人 岩 崎 勳
右代理人 菊池 馨司
被請求人 長岡 茂一郎

東京市本郷區湯島一丁目一番地特許辨理士

右代理人

伊藤金次郎

右當事者間ノ第一五九五〇號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第一五九五〇號登録實用新案三德「ブラシ」ノ登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ右新案ハ纖維ノ中心ヲ編接シテ其纖維ノ兩端ヲ各方面ニ隆起セシメタルモノヲ體トシ其體ヲ端部ノ纖維ヲ並列シ金屬版ニテ捲止メタルモノヲ把手ト稱シタルモノニ外ナラサルモノトス然ルニ右新案ト殆ント同一ナル構造即纖維ノ中心ヲ針金ニテ捲リ編ミ纖維ノ兩端ヲ隆起セシメ其針金ノ端部ヲ捲リ合ハシテ止メタルモノハ右新案ノ登録出願前ノ登録ニ係ル請求人所有ノ第八一四四號登録新案ニ看ルモノニシテ第一五九五〇號登録新案ハ實用新案法第一條ニ依ル新規ノ考案ニアラス勿論第一五九五〇號登録新案ト第八一四四號登録新案トハ圖面及其說明方法ヲ異ニスルヲ以テ一見別構造ノ如キ觀アルモ仔細ニ審檢スルトキハ殆ト同一構造ナルコトハ被請求人カ第一五九五〇號登録新案ニ據リテ製造販賣スル半成品(甲第三號證)及完成品(甲第四號證)ト請求人ノ第八一四四號登録新案ニ據リテ製造販賣スル半成品(甲第五號證)及完成品(甲第六號證)トヲ比較シ全然同一若クハ類似ナルニヨリテ看ルモ明瞭ナリト云フニ在リテ其實實ヲ確ムル爲メニ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ本件請求ハ之ヲ棄却ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ有スル第一五九五〇號登録新案ハ其圖面ニ說示スル如ク把手部②ヲ以テ主部①ノ各面ヲ使用シ得ルト同時ニ必要ニ應シ支部③モ亦使用スルコトヲ得ヘキモノニシテ之ヲ構成スル纖維ノ性質ニ從ヒ卓子用、靴用又ハ庖厨用ノ各種「ブラシ」トナルノミナラス腐蝕ノ憂ナク且製造費ヲ節減シ得ヘキカ故ニ新規ノ考案タルハ疑ヒナシト云フニ在リ

審決ノ理由

請求人ハ第一五九五〇號及第八一四四號兩登録實用新案カ互ニ類似ノ構造ヲ有スルコトハ甲第三號證乃至甲六號證ノ全然同一若クハ類似ナルニ依リテ見ルモ明カナリト云フモ甲第三號證ハ第一五九五〇號實用新案ノ一部分又甲第五號證ハ第八一四四號實用新案ノ一部分ナルヲ以テ假リニ之等一部分ニ於テ甲第三號證及甲第五號證トカ同一若クハ類似スル所アルモ之レカ爲メニ全部構造ノ類似ヲ主張スヘキ理由ナシ又甲第四號證ハ第一五九五〇號登録實用新案ニ比シ別異ノ構造ヲ有スルモノニシテ該新案ノ現品ト認ムルコト能ハス從テ甲第四號證ト第八一四四號登録實用新案トノ關係ニ就キ審按スルノ要ナシ唯本件ハ第一五九五〇號及第八一四四號兩登録實用新案相類似スルヤ否ヤヲ決スルヲ以テ足レトス而シテ第八一四四號登録實用新案ト其圖面及說明ニ依レハ適宜ノ長サニ切斷セル耐水性纖維ノ中心ヲ中央ヨリ曲折シタル針金ニテ編ミ纖維ノ兩端ヲ周面ニ隆起セシメ針金ノ一端ヲ輪トナシタル圓棒狀ノ刷毛ヲ製シ此刷毛ヲ中央ヨリ曲折シ其一端ニアル針金ヲ他端ニ於ケル輪形針金ニ繋ミ着ケタル第三圖ニ示ス橢圓狀ノ束子ノ構造自體ヲ以テ其要部トナスモノナリ然ルニ第一五九五〇號登録實用新案ハ其圖面及說明ニ示ズ如ク動植物性纖維ノ中心ヲ適宜ノ方法ニテ編接シ纖維ノ兩端ヲ周面ニ隆起セシメタル主部①及其ノ一端ニ於ケル纖維ヲ長ク並列シテ支部③ヲ構成シ其主部ニ接シタル部分ヲ金屬薄版ニテ捲付シテ把手部②トナシタル構造ヨリ成ルモノニシテ第八一四四號登録實用新案ニ於ケル如ク棒狀刷毛ヲ中央ヨリ曲折シ且針金ノ一端ヲ輪トナスヘキ構成ヲ缺如シ却テ該新案ヲ見サル支部及把手部等ヲ設ケタルモノニシテ兩者互ニ別構造ニ屬スルモノナリ從テ第一五九五〇號登録實用新案ハ其出願前ノ登録ニ係カル第八一四四號登録新案ニ依リ新規ノ考案ニアラスト云フ請求人ノ主張

ハ之レヲ認ムルコト能ハス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年六月二十三日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 田中 鐵 二 郎
特許局事務官 三 浦 惠 一

* 九十六

第二千五百五十四號

- 鹿兒島縣川邊郡東南方村枕崎三千三百三十八番地ノ三 請求人 枕崎鯉漁業株式會社
- 右法定代理人 山之内 嘉也
- 鹿兒島縣川邊郡西南方村坊五千八百七十四番地 請求人 坊泊鯉漁業株式會社
- 右法定代理人 川崎市 次郎
- 鹿兒島縣川邊郡東南方村字枕崎七百二番戶 請求人 田代 正 盛
- 鹿兒島縣川邊郡東南方村字枕崎三千五百五十六番戶 請求人 松之下 源之助
- 鹿兒島縣川邊郡東南方村字枕崎三千七百七十七番地 請求人 味園 伊勢次郎
- 鹿兒島縣川邊郡東南方村字枕崎九百七十番戶 請求人 立石 若 助
- 鹿兒島縣川邊郡東南方村字枕崎千九百九十二番地 請求人 秋田 十太 郎
- 鹿兒島縣川邊郡四加世田村片浦四百四十二番地 請求人 宮内 正 司
- 東京市京橋區五郎兵衛町二十番地特許辨理士 右代理人 高橋 順 平

- 宮崎縣東臼杵郡伊形村大字柳津土々呂村八百四十六番地 被請求人 北 林 幸 作
- 東京市日本橋區伊勢町二十六番地特許辨理士 右代理人 岩 崎 勳
- 東京市日本橋區伊勢町二十六番地特許辨理士 右代理人 菊 池 馨 司
- 東京市日本橋區伊勢町二十六番地特許辨理士 右代理人 川 田 準 一 郎

右當事者間ノ第一四一七五號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 第一四一七五號登錄實用新案新式漁船ノ登錄ハ之ヲ無効トス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ第一四一七五號實用新案新式漁船ノ登錄ヲ無効トスト
ノ審決ヲ求ム其理由ハ前記登錄新案ハ其說明書ニヨレハ從來ノ漁船ヲ改竄シ龍骨、「カハラ」、「ネジカ
ハラ」、「スチム」、臺木、臺板、船長室、機關室、炊事室、梶、推進器、「ホル」、水切、物置ノ構造ヲ組合シタル
ニアリト稱スレトモ之等ハ皆新規ノ構造ニアラスシテ如斯構造ノ漁船ハ本案出願以前ヨリ汎ク駿遠其
他東海沿岸地方ニ行ハレ又既ニ刊行物ニ記載セラレタルモノナルカ故ニ實用新案法第三條各號ニ該當
シ其登錄ハ無効タルヘキモノナリト云フニアリテ之ヲ立證スル爲メ第一號證乃至第二號證ヲ提出シ且
證人ノ訊問及臨檢ヲ申請セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タストノ審決ヲ求ム其理由ハ被請求人ハ從來行ハル、日本型漁
船ノ不完全ナルヲ慨シ之カ改良ニ腐心シ考案シタルモノ即チ實用新案第一四一七五號漁船ニシテ分解
的ニ各部分ヲ見ルトキハ公知ニ屬スルモノアルヘキモ其包括シタル構造ニアリテハ出願前決シテ同一
ナルモノナカリシハ事實ナリ而シテ甲第一號證ハ石油發動機ヲ据付タル漁船ノ從來ノモノニ比シ改造
セラレタル點アルコトヲ記載シタルニ止マリ具體的ニ構造ヲ示シタルモノニアラサルカ故ニ素ヨリ容

* 九十七

易ニ應用シ難ク又甲第二號證ハ本案出願後ノ出版物ナルヲ以テ何等ノ證據力ナク又證人ノ言ハ信ヲ措クニ足ラスト云フニ在リ

審決ノ理由 被請求人所有第一四一七五號登録實用新案新式漁船ハ機械室、推進器、梶、船尾材、舵柱材、「カハラ」、「ネジカハラ」、水切、龍骨、船長室、物置臺木、臺板ヲ備フル漁船ニ付登録ヲ得タルモノナリ然ルニ其出願前帝國内ニ於テ公然用ヒラレタル日本型鯉漁船ハ「敷」ノ底面ニ二條ノ「滑リ」ヲ有スル從來ノ和船ニ機械室、推進器、梶、船尾材、舵柱材、「カハラ」、「ネジカハラ」、「若シクハ力材」「臺木臺板」ヲ追設シ尙ホ炊事室物置ハ概シテ本案ニ示セル點ト同一ノ位置ニアルモノナルコトハ證人關根磯吉、上枝平五郎ノ證言及檢證調書ニ徴シ之ヲ認ムルニ足レリ而シテ本案ノ所謂龍骨ハ在來ノ「滑リ」ヲ一條トナシタルニ止マリ又船長室、水切ノ如キモ出願前ヨリ既ニ和洋漁船ニ於テ公知公用ニ屬シ之等ハ船舶設計上必要ニ應シ任意ニ取捨セラルヘキ尋常事項ニ過キヌシテ其存否ハ發動機附漁船トシテ何等輕重ヲナスヘキモノニアラス從テ之等事項ヲ湊合スレハ徒ラニ平凡設計ヲ重ヌルノミニシテ終ニ新規ノ考案ト稱スルヲ得ス即チ本件登録實用新案ハ出願前公知公用ニ屬スル漁船ニ類似シ實用新案法第三條第一號ノ規定ニヨリ新規ト見做シ難キモノナルヲ以テ同法第一條ニ該當セサルモノトス從テ同法第十一條ニ依リ之ヲ無効トスヘキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年七月六日於特許局

審判長 特許局技師 小野喜惣治
特許局事務官 奥山萬次郎
特許局事務官 村山小次郎

第二百九十五號

松山市大学小唐人町三丁目二十五番戸 請求人 渡部好太郎
京都市上京區大宮通上立賣上ル種ノ口町二百六十五番地 被請求人 小原政七

右當事者間ノ第一八五四號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 登録第一九四三〇號實用新案ハ登録第一八五四號實用新案ノ權利範圍ニ屬ス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第一九四三〇號登録實用新案ハ第一八五四號登録實用新案ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ明治四十三年四月二十七日附出願ノ第一八五四號登録實用新案ハ其圖面及說明書ニ記載スル如ク「イ」ハ前布片「ロ」ハ後布片ニシテ「イ」ハ上端廣ク下端狹キ不導邊四角形ヲ有シ下端ノ中央ヲ内面ニ曲リタル三角形ニ裁斷シ之レヲ重合縫綴シテ突出部「A」ヲ造リ「ロ」ハ上端廣ク下端ハ前布片下端ノ幅ト同一幅ヲ有シ「ロ」所ニテ前後兩布片ヲ縫綴セル構造ヨリ成ルやまぜ禪ナリ然ルニ明治四十三年十一月五日ノ出願ニ係カル第一九四三〇號登録實用新案ハ其圖面説明ニ依レハ前布片「イ」後布片「ロ」紐「ロ」又狀ニ切缺キタル部分「ロ」縫綴部「ロ」等ヨリ成ルモノニシテ之レヲ概約セハ前後二枚ノ布片中其前布片ノ中央ヲ切缺キテ重合縫綴シタルモノヲ後布片ニ縫着シタル實用禪ノ構造ナルヲ以テ前記やまぜ禪ト同一構造ヲ有シ而カモ後出願ニ屬スルヲ以テ當然右やまぜ禪ノ權利範圍ニ屬スト云フニ在リテ其事實ヲ確ムル爲メニ甲第一號證乃至甲第九號證ヲ提出セリ被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タヌ審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ第一八五四號及第一九四三〇號兩登録實用新案ヲ比較對照スルニ前者ノ素地ハ上端廣ク下端狹キモ後者ノ

素地ハ上下同幅ナリ又前者ノ素地ハ不等邊四角形ナルモ後者ノ素地ハ又狀ナリ又前者ノ素地ノ下端ハ其中央ニ於テ三角形ニ切取ルモ後者ノ素地ノ下端ハ其全部ヲ切取ルモノニシテ互ニ著シキ相違ノ點アリ又前者ノ前布片ハ其下端ヲ後布片ニ縫着スルモ後者ノ前布片ハ其左右兩端ニ於テ後布片ニ縫着スルモノニシテ其縫着方ニ於テ兩者互ニ相異ナルモノナリ要スルニ第一九四三〇號實用新案ハ之レヲ第一八五四五號實用新案ニ比スレハ素地ノ形狀、斷裁方、縫着點ヲ異ニシ且又其製品タル實用禪ノ形狀ヲ異ニスルモノニシテ一モ同一ト見ルヘキ點ナシ況ンヤ前者ハ「ポケット」及保温用裏地等ヲモ要素トナスニ於テヲヤト云フニ在リテ其實質ヲ確ムル爲メニ乙第一號證乃至乙第六號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 登錄第一八五四五號實用新案やまや禪ハ適宜所要ノ大サニ截切セル二枚ノ布片中其一ヲ前布片他ノ一ヲ後布片トナシ其前布片ニハ下端ノ中央ヨリ上部ニ向ヒ三角形ニ截斷シ且其截斷面ヲ縫接シテ膨出部ヲ形成スルモノトス而シテ該布片ト後布片トヲ各其下端ニ於テ縫着シ其上端ニ止鉤具又ハ紐等ヲ附設セル構造ヨリ成ルモノナリ然ルニ被請求人ノ第一九四三〇號登錄實用新案實用禪モ亦之レト全然均等ノ構造ヲ具備スルモノナルカ故ニ前者ノ權利範圍ニ屬スヘキモノトス但シやまや禪ハ「ポケット」及保温用裏地ヲ設ケタル差アルモ之等ノ設備ハ同一若クハ類似ノ物品ニ普通ニ應用セラル、所ナルノミナラス之レヲ以テ其要部ト認ムルコトヲ得ス從テ實用禪力之等ノ設備ヲ缺如シタレハトテ之レカ爲メニ別構造タルヘキ理ナシ又被請求人ハ實用禪及やまや禪ニ於ケル各素地即各前布片ハ互ニ其形狀、裁斷法、縫着部等ヲ異ニセルノミナラス其完成品タル禪自體ノ形狀ヲモ異ニスルモノニシテ兩禪ハ一モ同一ト認ムヘキ所ナシト云フモ後者ニ於ケル前布片ハ之レヲ前者ノ正長方形前布片ニ比スレハ單ニ其上下兩邊ノ長サニ僅少ノ差アルニ止リ共ニ長方形タルハ疑ヒナキ所ニシテ互ニ類似スルモノト認ム次ニ右各前布片中膨出部ヲ形成スヘキ裁斷法ハ共ニ三角形ヲ形成スヘキ裁斷法ニシテ同一方法ヲ

採用セルモノナリ只其異ナル所ハ三角形ニ大小ノ差アルノミ從テ其結果膨出部ニ大小ノ差ヲ生スルニ止リ同一手段ニ依リ單ニ之レヲ大形トナス如キハ構造上何等ノ相違ヲ來スヘキモノニアラス又實用新案禪ハ其前布片ニ於ケル如キ大形三角形ヲ設クル必要ナシ却テ之レカ爲メニ後布片ニ縫着スヘキ部分ヲやまや禪ニ於ケル如ク其下邊ニ求ムルコトヲ得サル缺點アリ故ニ其下邊ノ左右即左右兩邊中其下部ニ縫着部ヲ設クル爲メ該兩邊上部ヲ彎曲形ニ裁斷シタルモノニシテ之レ必要ナラサル大三角形裁斷法ニ伴フテ生スル必要ノ結果ニシテ單ニ縫着部ノ位置ヲ變更シタルニ外ナラスシテ畢竟右前布片ハやまや禪ニ於ケル前布片ノ裁斷法ニ則リ之レニ特殊ノ效果ナキ小變更ヲ加ヘタルニ止リ之レカ爲メニ別構造タルヘキ理ナキハ明白ナリ之レヲ要スルニ實用禪及やまや禪ニ於ケル前布片ハ其形狀、裁斷法、前後兩片ノ縫着部ハ勿論其完成品ノ形狀等ニ關シ多少ノ差異アルモ之レカ爲メニ前記兩禪カ互ニ別構造ヲ有スルモノト云フヲ得サルハ前記説明ニ依リテ明カナリ從テ被請求人ノ前記主張ハ之レヲ理由アリト認ムルコト能ハス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年七月八日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局技師 小野 喜 惣 治
 特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千五百五十九號

大阪市東區北久太郎町三丁目九番地

請 求 人 高 増 彌 助

大阪市東區備後町二丁目三十六番地特許理士
大阪市南區東清水町百五十七番屋敷

右代理人 堤 他 彦
被請求人 奥 田 フ ミ

右當事者間ノ第一六六九二號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 實用新案第一六六九二號登錄ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ實用新案第一六六九二號登錄ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ被請求人カ明治四十三年三月二十六日第一六六九二號ニテ登錄ヲ受ケタル實用新案夜光團扇ハ地紙ニ現ハセル模様畫ニ夜光「ダイヤ」粒粉ヲ配着シタルモノナリ然ルニ請求人カ明治四十二年十月七日登錄出願シ同年十一月二十四日拒絕査定ヲ受ケタル實用新案光輪團扇モ亦團扇面ニ現ハセル模様ノ輪郭ニ光輝アル物料例ヘハ金屬或ハ玻璃ノ細粉ヲ撒着シタルモノニシテ被請求人ノ登錄實用新案ハ之ニ異ル所ナシ加之請求人ノ考案品ハ被請求人ノ登錄出願前ニ製造販賣ニ因リ公ニ知ラレタリト陳述シ甲第一號證トシテ第一六六九二號實用新案登錄證ノ寫ヲ提出シ甲第二號證トシテ請求人ノ登錄出願事件ノ記録ヲ援用セリ
被請求人ハ請求人ノ申立相互タス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ請求人ノ出願ニ係ル光輪團扇ハ金屬線ヲ以テ成ル圓形ノ周縁ニ絹地ヲ緊張シ其絹地ニ描キタル任意ノ花草模様ノ輪郭ニ適宜ノ粘着物料ヲ以テ金屬或ハ玻璃ノ細粉ヲ點着シタルモノニシテ意匠的或ハ裝飾的物トシテハ多少ノ價值アルヤモ知レサレトモ新規ノ實用新案ト謂フヲ得ス之ニ反シ被請求人ノ登錄新案ハ模様或ハ繪畫ヲ現ハスニ總テ「ダイヤ」ヲ以テシ且團扇ハ在來ノ骨子アルモノ即チ團扇面上自然ノ凹凸アルモノナルヲ以テ之ヲ使用スルトキハ一層ノ光輝ヲ發シ美觀ヲ呈スルノミナラス涼味ヲ感

セシムルコト大ナルヲ以テ實用アル新規ノ考案ナリト陳述セリ

審決ノ理由 被請求人ノ第一六六九二號登錄實用新案ハ團扇面ニ任意ノ模様又ハ繪畫ヲ描キ俗ニ「ダイヤ」ト稱スル光輝アル物質ヲ附着シタル團扇ニシテ請求人カ拒絕査定ヲ受ケタル實用新案登錄第三九二二六號ノ考案モ亦團扇面ニ任意ノ模様ヲ描キ光輝アル物質ヲ以テ修飾シタル團扇ナリ從テ兩考案同一ナリ被請求人ハ兩考案ニ於テ使用スル團扇ノ種類ノ相違及「ダイヤ」ト稱スル物質ヲ使用スル量ノ多寡ニ依リ兩考案ニ差異アルモノ、如ク抗辯セリト雖モ請求人ノ考案ニ於テ使用スル團扇ハ金屬線ヲ屈撓シテ圓形其他適宜ノ形狀ヲ作り周縁ニ布帛ヲ緊張シ以テ團扇面ト爲シタルモノニシテ普通ノ團扇タルニ過キス而シテ被請求人ノ登錄實用新案ニ於テ使用スル團扇カ普通在來ノモノナルコトハ被請求人ノ陳述スル所ナリ從テ團扇ノ種類ニ依リ兩考案ニ差異アリト認ムルニ由ナシ又俗ニ「ダイヤ」ト稱スル物質若ハ之ニ類スルモノ、使用量ハ兩考案ニ於テ差異ナキノミナラス假令其差異アリトスルモ以テ考案上ノ差異ト爲スニ足ラス而シテ請求人ノ登錄出願ハ明治四十二年十月七日ニシテ被請求人ノ登錄出願ハ同年十二月十九日ナルヲ以テ被請求人ノ受ケタル登錄ハ實用新案法第五條ニ違反シ同法第十一條ニ依リ之ヲ無効ト爲スヘキモノトス當事者ハ尙他ノ點ニ付論争スル所アリト雖モ其論争ノ當否ハ審決ニ影響ヲ及ホスヘキモノニアラサルヲ以テ之ニ對シ判斷ヲ與フルノ要ナシ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年七月十日於特許局

審判長 特許局技師 押 田 翼
特許局事務官 田 中 鐵 二 郎
特許局事務官 村 山 小 次 郎

第千九百九十八號

*百四

大阪市北區古川町十六番屋敷

請求人 川崎直右衛門

大阪市東區淡路町一丁目二十四番地特許辨理士

右代理人 佐々木高吉

愛知縣知多郡有松町大字有松二百四十一番戸

被請求人 森井佐吉

右當事者間ノ第一〇五九八號登録實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人ノ第一七九〇〇號特許中村式鋸機ニ於ケル上方轆車^⑤ノ軸ニ直立齒桿^⑤ノ下端ヲ取附ケ直立齒桿ニ齧合フ齒車^④ヲ取付ケタル軸ノ一端ニ齒^④ヲ取付ケ該齒車ヲ挾ミテ前記軸ニ架セル分銅基體^③ノ上端ニ螺旋^②ヲ^③ノ軸ヲ架シ一端ニ拐手^②ヲ^③ニ設ケ螺旋^②ヲ^③ノ齒車^④ニ齧合セ分銅基體^③ノ一端ハ延長シテ榫杆トナサシメ其端ニ分銅^③ヲ附設シテ成ル装置ハ請求人ノ第一〇五九八號登録實用新案權ノ範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ有スル第一七九〇〇號特許中村式鋸機ニ使用スル材料押裝置ハ請求人ノ第一〇五九八號登録實用新案權ノ範圍ニ屬スト審決相成度其理由ハ請求人ハ明治四十一年九月一日暨鋸挽材機ニ付實用新案ノ登録ヲ出願シ同年十月二十六日第一〇五九八號ヲ以テ登録ヲ受ケタリ然ルニ被請求人カ明治四十三年名古屋市ニ開カレタル第十回府縣聯合共進會ニ出品シタル鋸機ニ於ケル材料押裝置カ全ク請求人ノ前記實用新案ト同一ナルヲ認メ其旨ヲ被請求人ニ告知シタルニ被請求人ハ第一七九〇〇號中村式鋸機特許ヲ有スル旨ヲ答ヘタルモ右ハ明治四十二年十月二十日出願シ同四十二年四月六日特許ヲ得タルモノニシテ本件實用新案ノ登録出願ヨリ以後ノ出願ニ屬シ而シテ其

内容ニ於テハ二者全ク同一ナルモノナレハ被請求人ノ特許ハ請求人ノ實用新案ノ範圍ニ屬スルモノナリト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ請求人ノ本件實用新案鋸挽材料押裝置ノ構造ト被請求人ノ第一七九〇〇號鋸機特許ノ一部其轆車ヲ押壓スヘキ裝置トハ其發明ノ存スル處同一ニアラス假リニ一步ヲ譲リ同一ナリトスルモ被請求人ノ特許ハ請求人ノ實用新案ノ登録出願前既ニ明治四十一年一月十日其發明ヲ完成シ其以來之ヲ實施シ居レルヲ以テ請求人ノ實用新案權ハ實用新案法第二十條ノ規定ニ依ル特許第二十九條第二項及第四項ニ該當シ被請求人ノ權利ヲ制限シ能ハサルモノナリト云フニアリテ證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

審決ノ理由 被請求人ハ本件實用新案ハ自己ノ特許ノ一部ト同一ナリトスルモ該特許ハ本件實用新案ノ登録出願以前ヨリ實施シ居ルヲ以テ實用新案法第二十條ニ依リ準用セラレタル特許法第二十九條第二項及第四項ニ該當シ被請求人ノ權利ヲ制限シ得ルモノニアラスト主張スルモ前記條項ハ或ル條件ニ從ヒ爲セル發明實施竝ニ之レニ依リ製作シタル物ニ對シ實用新案權ノ效力ノ及ハサルコトヲ規定シタル或ル特別ノ場合ニ適用スル條項ニシテ本件ノ如ク實用新案權ト特許權トノ權利範圍ヲ定ムヘキ場合ニ適用スヘキモノニアラス故ニ被請求人ノ主張ハ採ルニ足ラス依テ本案ニ入り審案スルニ本件登録實用新案ノ權利ハ暨鋸挽材機ニ於テ押「ローラー」^①ノ軸^②ニ齒條^③ノ下端ヲ取付ケ齒條^③ニ齧合フ「ビニオン」^④ヲ取付ケタル軸^⑤ノ一端ニ「ウオームホウ」^⑥ヲ取付ケ之レヲ挾ミテ軸^⑤ニ架セル函形「ブラケット」^⑦ノ上端ニ「ウオーム」^⑧ノ軸^⑨ヲ架シ一端ニ「ハンドル」^⑩ヲ設ケ「ウオーム」^⑧ヲ「ウオームホウ」^⑥ニ齧合セ函形「ブラケット」^⑦ノ一端ハ延長シテ「リバー」^⑪トナシ其端ニ重錘^⑫ヲ附設シテ成ル材料押裝置ノ構造ニアルモノナリ次ニ被請求人ノ特許ノ一部ニ於ケル所謂押裝置ノ

*百五

構造ハ上方轆車ルノ軸ニ直立齒桿カノ下端ヲ取付ケ直立齒桿カニ齧合ノ齒車ヲ取付ケタル軸ノ一端ニ齒車(ワ)ニ取付ケ該齒車ヲ挾ミテ前記軸ニ架セル分銅基體ヲノ上端ニ螺旋ヲ三ノ軸ヲ架シ一端ニ拐手ヲ二ヲ設ケ螺旋ヲ三ノ齒車(ワ)ニ齧合セ分銅基體ヲノ一端ハ延長シテ槓杆トナサシメ其端ニ分銅ヲ附設シテ成ルモノニシテ彼上ノ二者ハ其構造全然同一ノモノニ屬シ而カモ該構造ハ本件特許發明ノ要部ノ一部ヲ構成スルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年七月十三日於特許

審判長 特許局事務官 織田了
 特許局技師 押田翼
 特許局事務官 奥山萬次郎

第二千五十一號

請求人 駒澤 藤吉
 右代理人 豐原 清作
 被請求人 岡源 三
 右代理人 伊藤 和二郎
 西村 二滿
 東京市神田區永富町八番地
 東京市神田區松住町二番地特許辨理士
 東京市芝區三田四國町二番地一號
 東京市日本橋區北箱町五番地特許辨理士
 東京市赤坂區溜池町五番地特許辨理士
 右當事者間ノ第三三三三號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人カ製造販賣セル甲第三號證ノ珉珉燒付電氣開閉安全器ハ請求人カ所有セル登錄第三三三三號實用新案ノ權利範圍ニ屬スルモノナリ審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ登錄實用新案第三三三三號登錄願書中實用新案請求範圍ト題スル記載ノ通り鐵製函ニ珉珉質ノ物件ヲ以テ被覆シ電氣的絕緣抵抗ヲ良好ナラシメ高壓電氣ニ堪ヘシメタルコト鐵製函ノ蓋ニ窓ヲ開ケタルコト鐵製函ヲ閉閉スルニ用フル取柄ヲ磁器製トナセシコト素燒ノ磁器ヲ用ヒサルコト等ノ四點ニアリテ登錄證圖面ノ說明ニ據ルモノハ珉珉燒付鐵函(口)ハ珉珉燒付鐵蓋(ホ)ハ珉珉燒付螺番ト記載シ其他右請求範圍トシテ請求人ノ重キヲ爲セルモノ悉ク認メラレタリ然ルニ被請求人ハ請求人カ本件實用新案權利ノ登錄ヲ受ケ公報ニ於テ發表セラレタルヤ直チニ甲第三號證ノ如ク開閉安全器、鐵函ノ内面全部ニ珉珉燒付ヲナシ製造販賣セリ之ノ開閉安全器ノ珉珉燒付ハ明カニ本件實用新案權利ノ範圍ニ撞着スルモノナリ只其ノ珉珉燒付ノ面ニ於テ相異スルモノモ主要效力タル鐵製函内面ノ珉珉燒付ナルコトハ共ニ相同シ又被請求人ノ右開閉安全器ノ珉珉燒付ハ本件實用新案ノ珉珉燒付ト撞着スルトスルモノ一部分ノ撞着ハ權利全體ノ撞着トナラス結局請求人ノ權利ニ撞着セスト論スルモノアランモ抑モ實用新案權利ハ實用新案ノ内容ナカルヘカラス内容ハ即チ各登錄出願物品ノ形狀構造又ハ組合セニ係リ實用アル新規ノ工業的考案ニシテ本件ニ付テ之レヲ云ヘハ甲第一號證(イ)珉珉燒付ハ磁器燒取柄ト雲母窓ノ如キ各皆新考案ニ出テタルモノトシテ斯ノ上ニ權利ノ保護ヲ亭クヘキモノナリ若シ請求範圍一部ノ侵害ハ實用新案權利ノ侵害ニアラストセハ本件ノ如キ一人ハ珉珉燒付ノ點ヲ侵シ他ノ一人ハ雲母窓ヲ侵害シ漸次斯ノ如クセハ實用新案權利請求範圍ノ全部ヲ侵害セラレテ尙侵害ニアラスト謂フコト、ナリ折角法律ヲ以テ工業的考案ノ保護ヲ全フセントセシモノ全ク其用ヲ爲サル、ニ至ルノ不當ナル結果ヲ

來スヘシト陳述シ甲第一號證乃至甲第七號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ請求相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件
登録實用新案ノ權利ハ公報記載ノ如ク圖面ニ示セル新案開閉安全器ノ構造ニシテ其圖面ノ說明ニヨレ
ハイハ珙瑯焼付銑函(ロ)ハ珙瑯焼付銑蓋(ハ)磁器焼取柄(ニ)磁器焼付碍管(ホ)珙瑯焼付蝶番(ヘ)珙瑯
焼付取付腕金物(下)ハ雲母窓(チ)ハ可溶性鉛線(リ)ハ上部磁器臺(ヌ)ハ下部磁器臺(ル)ハ可溶性金物(ホ)ハ接續
金物トアリ故ニ本件登録實用新案ハ此等各種ノ結合ニ依リテ成ル開閉安全器其物ニ存シ之ヲ構成スル
各部ノ上ニ部分的ニ存スルモノニアラス請求人ハ最初出願ノ時ニ當リ登録請求範圍ヲ四箇ノ部分的ニ
請求シタルモノナルヘケントモ結局前掲ノ如ク之ヲ訂正シタルモノナルヲ以テ本件登録實用新案ノ權
利ハ開閉安全器其物ニ存シ之ヲ構成スル各部ノ上ニ存スルモノニアラサルナリ故ニ被請求人カ縱令銑
函内面ニ珙瑯ヲ焼付ケタル開閉安全器ヲ製造販賣シタリトスルモ其構造カ本件實用新案開閉安全器ト
同一若クハ類似ナラサル限リハ單ニ鐵函ニ珙瑯ヲ焼付ケタル點ノミノ一致ヲ以テ本件實用新案ノ權利
ヲ侵害シタルモノト云フヲ得スト陳述シ乙第一號證乃至乙第八號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件登録實用新案第三三三三號新案開閉安全器ノ構造ハ磁器焼取柄(ハ)雲母窓(チ)可溶性鉛線
(リ)可溶性鉛線止金物(ル)上部磁器臺(リ)ヲ有スル珙瑯焼付銑蓋(ロ)珙瑯焼付蝶番(ホ)ヲ以テ磁器焼付碍管
(ニ)珙瑯焼付取付腕金物(下)下部磁器臺(ヌ)接續金物(ホ)ヲ有スル珙瑯焼付銑函(イ)ニ蝶番シタルモノニシテ其
權利ハ前記ノ各部分ヲ結合シタル全體ノ構造ニアルコト登録請求範圍ニ別紙圖面ニ示セル新案開閉安
全器ノ構造ト記載セラレタルニ由リ明ニシテ請求人カ主張スル如ク銑製函ニ珙瑯質ノ物件ヲ以テ被覆
シ電氣的絶縁抵抗ヲ良好ナラシメ高壓電氣ニ堪ヘシメタルコト銑製函ノ蓋ニ窓ヲ開ケタルコト銑製函
ヲ開閉スルニ用フル取柄ヲ磁器製トナセシコト素焼ノ磁器ヲ用キサルコト等ヲ以テ本件登録實用新案

ノ權利トナスコト能ハス次ニ甲第三號證(圖面)ニ示セル開閉安全器ノ構造ハ取柄上部磁器臺並ニ電路
開閉ニ要スル接觸片ヲ有スル鐵蓋(イ)ヲ蝶番ヲ以テ碍管、腕金物下部磁器臺並ニ電路開閉ニ要スル接觸
片ニ有スル鐵函ニ蝶着シ前記銑蓋及鐵函ノ内面ニハ珙瑯ヲ焼付ケタルモノナルヲ以テ其構造タルヤ本
件登録實用新案ノ構造トハ全然其要旨ニ於テ相異ルモノトハ云ハサルヲ得ス從テ甲第三號證開閉安全
器ハ本件登録實用新案ノ權利ノ範圍ニ屬セス其他當事者論争セル點アルモ審決ニ必要ナキヲ以テ說明
セス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年七月二十八日於特許局

審判長 特許局技師 押田 翼
特許局事務官 奥山 萬次郎
特許局事務官 三浦 惠一

第二千六百六十三號

東京府豊多摩郡澁橋町元角番八十二番地 請求人 山内 進
東京市神田區錦町一丁目一番地特許辨理士 右代理人 松澤 音次郎
東京府豊多摩郡澁橋町字柏木七十五番地 被請求人 石黒 九三郎
東京市神田區猿樂町三丁目三番地特許辨理士 右代理人 平澤 均治

右當事者間ノ第一八五三七號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

*百十

申立ノ要領 請求人ハ實用新案第一八五三七號登録ヲ無効トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ被
請求人カ明治四十三年五月五日出願シ同年十月二十九日登録ヲ受ケタル第一八五三七號實用新案寢臺
用安樂長椅子ハ一、蝶鉸^フ及撥條^ロニ依リテ屈伸シ得ル臂掛、二、腰掛蒲團ヲ起伏屈伸セシムル裝置
及三、撥條^カニ依リテ溝ニ沿フテ寄掛蒲團ヲ下方ニ滑リ落チ若ハ上方ニ靜止セシムル裝置ヲ結合シタ
ル構造ノ椅子ナリ然ルニ請求人カ明治四十三年二月七日同月二十五日同年四月十五日ニ帝國劇場株式
會社ニ見本トシテ提出シタル椅子ハ孰レモ如上ノ構造ヲ有シ請求人カ被請求人ヲシテ製作セシメタル
モノニシテ其提出ノ當時ニ於テハ同會社ノ劇場ハ建築中ナリシ爲メ見本椅子ハ之ヲ狹隘ナル假小屋ニ
容レ置キ會社重役其他衆人ノ賭ル所ト爲リタリ又同劇場建築擔當者タリシ横川民輔ノ主宰スル横川工
務所ニ於テ請求人及清水米吉ヲシテ本件登録出願前各自ニ數回椅子ノ見本ヲ製作提出セシメ之ヲ對照
品評シタリ而シテ請求人ヨリ横川工務所ニ提出シタル見本椅子及清水米吉ヨリ明治四十三年四月頃ニ
横川工務所ニ提出シタル見本椅子モ亦本件登録新案ノ椅子ト構造上相類似セルモノナリキ以上ノ事實
ナルヲ以テ本件第一八五三七號登録實用新案ハ出願前公然知ラレタルモノト同一若クハ類似ニシテ實
用新案法第三條第一號ニ該當シ其登録ハ之ヲ無効ト爲スヘキモノナリト陳述シ甲第一乃至第五號證ヲ
提出シ證人横川民輔、清水米吉ノ訊問ヲ申請シタリ

被請求人ハ請求人ノ申立相立タストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ請求人カ帝國劇場株式會社ニ
提出シタリト稱スル長椅子ト本件登録新案ノ長椅子トカ相類似セルモノナルコトハ之ヲ認ム然レトモ
此等ノ椅子ハ孰レモ被請求人カ考案製作シタルモノニシテ之ヲ前述會社ニ提出シタルハ明治四十三年
二月十三日同年三月十七日及同年五月十七日ノ三回ナリ而シテ孰レモ見本トシテ提出シタルニ止リ衆

人ノ賭ル所ト爲リタルコト無シ被請求人ハ前述會社ニ於テ長椅子ノ需要アルコトヲ聞キ其注文ヲ受ケ
ンコトヲ希望セルニ際シ請求人ノ申込ニ依リ會社ニ對スル交渉ヲ請求人ニ依囑シ共ニ會社ニ赴キ交渉
ヲ爲シタル結果前述三箇ノ見本椅子ノ外尙二三ノ見本ヲ製作シ便宜上請求人ノ名義ヲ以テ之ヲ會社ニ
提出シタリ然レトモ其提出ニ因リ見本椅子ノ考案カ公然知ラル、ニ至リタル事實無シ又清水米吉カ考
案製作シテ横川工務所ニ提出シタル椅子ハ本件登録新案ト全ク考案ヲ異ニス同人カ本件登録新案ト同
一ノ椅子ヲ横川工務所ニ提出シタルコトアリト雖這ハ被請求人ノ椅子ヲ模倣シテ製作シタルモノニシ
テ其提出ハ明治四十三年五月十七日ナリ以上ノ事實ナルヲ以テ本件登録ハ之ヲ無効トスヘキ理由ナシ
ト陳述シ乙第一及二號證ヲ提出シ甲第一號證ヲ援用シ證人松本德次郎、井手寅藏ノ訊問ヲ申請シタ
リ

審決ノ理由 乙第二號證假契約書ノ記載及證人松本德次郎ノ供述ヲ綜合シテ考覆スレハ被請求人ハ久シ
ク椅子製造販賣ヲ業トシ帝國劇場株式會社ニ長椅子ノ需要アルコトヲ聞キ其注文ヲ受ケント欲シ該會
社ニ對スル交渉ヲ請求人ニ謀リ被請求人ノ考案製作シタル椅子ヲ見本トシテ請求人ノ名ヲ以テ該會社
ニ三回提出シタリト被請求人ノ主張ハ眞實ナリト認ムヘク見本椅子カ請求人ノ考案ニ係レリトノ請
求人ノ主張ハ之ヲ是認スヘキ證據無シ而シテ證人西野惠之助ノ供述ニ依レハ劇場會社ニ提出セラレタ
ル見本椅子ハ之ヲ見本トシテ取扱フヘキ關係人以外ノ者ニ之ヲ示シタル事實無キカ故ニ前示見本椅子
ノ考案ハ本件登録出願前ニ公然知ラレタリト謂フコトヲ得テ前示見本椅子カ本件登録出願前ニ公
然知ラレタルコトヲ前提トシテ本件登録ヲ無効ト爲サンコトヲ求ムル請求人ノ主張ハ理由無シ故ニ前
示見本椅子カ劇場會社ニ提出セラレタル年月日カ本件登録出願ヨリ前ナルト後ナルトハ本件ニ何等ノ
影響ヲ生スルコト無シ又横川民輔カ被請求人及清水米吉ヲシテ各自ニ見本椅子ヲ該工務所ニ提出セシ

*百十一

メテ彼此對照品評シタルコト竝ニ米吉カ考案製作シテ提出シタル見本椅子カ本件登録新案ト同一若ハ類似ノ考案ニ成リタルモノナリシコトハ證人横川民輔、清水米吉ノ供述ニ依ルモ之ヲ認ムルニ由無シ從テ本件登録新案ト同一若ハ類似ノ考案カ本件登録出願前ニ横川工務所ニ於テ公然知ラレタリトノ請求人ノ主張モ亦之ヲ是認スルコトヲ得ス
以上ノ理由ニ基キ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年八月二日於特許局

審判長 特許局事務官 織田了
特許局事務官 田中鐵二郎
特許局事務官 三浦惠一

第一千六百六十二號

靜岡縣濱名郡濱松町新五十七番地 請求人 黒柳辰太郎
東京市京橋區木挽町十丁目五番地特許辦理士 右代理人 中川津平
新潟縣中蒲原郡小須戸町 被請求人 太田留吉
東京市京橋區南紺屋町九番地特許辦理士 右代理人 濱地八郎
右當事者間ノ第三七二七號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 特許第一七七六五號太田式足踏自在織機ノ明細書及圖面ニ掲載セラレタル十字形卷取器ト杆〔甲第二號證ニ於テAト符合ヲ付シタルモノ〕ト螺旋狀彈器トヨリ成ル卷取裝置ノ構造ハ登録實用新案

第三七二七號ノ權利ノ範圍ニ屬ス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ所有スル特許第一七七六五號太田式足踏自在織機ノ明細書及圖面中ニ掲載セル卷取裝置ノ構造ハ請求人ノ所有スル實用新案登録第三七二七號織機用重量自在卷取ノ實用新案登録範圍ニ屬シ審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ登録實用新案第三七二七號織機用重量自在卷取ノ考案ニ付明治三十九年八月七日出願同年十一月二十日付ヲ以テ登録ヲ受ケタリ而シテ其請求範圍トスル所ハ堅竿ハ杆貫ニ螺旋ホト組合ナリトス然ルニ被請求人カ明治四十二年八月九日出願シ同四十三年三月八日付ヲ以テ特許ヲ得タル特許第一七七六五號太田式足踏自在織機ノ明細書及圖面中ニ掲載セラレタル卷取裝置ノ構造ハ全然請求人ノ所有スル本件登録實用新案ノ登録請求範圍ニ屬スルモノニシテ即チ甲第一號證及同第二號證ニ依テ明カナル所ナリ仍テ本件登録實用新案第三七二七號織機用重量自在卷取ノ登録請求範圍ト被請求人カ得タル特許第一七七六五號太田式足踏自在織機ノ卷取裝置トヲ比較センニ前者ノ堅竿ハ杆貫ニ螺旋ホトノ組合ハ後者ノ十字形捲取器ト杆Aト螺旋彈器トノ組合ト其各部ニ附シタル名稱ハ兎ニ角構造ハ全然同一ニシテ而モ後者ニ於ケル突上橫杆26ノ俯仰作用ニ依テ捲取器13ヲ昇降セシメ圓形鋸齒車17ヲ衝回シテ卷軸ヲ回轉セシメ且ツ螺旋彈器15ノ彈力ニヨリ杆Aヲ制禦シ捲取器13ヲ降下セシムヘク組立テタル考案ニシテ前者ニ於ケル橫杆26ノ稱動作用ニ依テ堅竿ハ上下セシメ齒輪11ヲ衝回シテ卷軸ヲ回轉セシメ尚ホ螺旋彈器15ノ復原力ニヨリ杆貫ニ下方ニ牽引シテ堅竿ハ降下セシムヘキ考案ト毫モ差異ナキノミナラス又螺旋彈器15ノ上端ヲ置キ換ヘ得ヘク杆Aニ齒面ヲ刻ミタル工夫モ亦螺旋ホト鍵ヲ掛ケ換ヘ得ヘク杆貫ニ齒面ヲ刻ミタル構造ト全然同一ナルカ故ニ各部ノ組合セラテ論スルモ後者ハ前者ト均等ノ構造ヲ

有シ從テ特許第一七七六五號ノ卷取裝置ハ本件登錄實用新案權ノ範圍ニ屬スト云フニ在リテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タヌ審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ考案ニ係ル登錄實用新案第三七二七號ノ請求範圍ニ示セル豎杆ハ杆貫ニ螺旋トノ組合ト被請求人カ得タル特許第一七七六五號ノ構造中ノ一部分タル十字形捲取器ト杆Aト螺旋彈器トノ組合トハ其構造同一ナリト請求人ハ主張スレトモ本件登錄實用新案第三七二七號ノ登錄請求範圍圖面及圖面ノ說明ト特許第一七七六五號ノ圖面及明細書ニ依リテ之ヲ觀ルニ決シテ同一ノ構造ニ非サルコトハ毫モ疑ヲ容レサル所即チ請求人ノ考案ニ成レル登錄實用新案第三七二七號ノ權利トシテ他人ニ對抗シ得ル所ハ其圖面及登錄請求範圍タルハ三ホニ示セル如キ特殊ノ構造ニ限ルコトハ從來數多ノ審判例アリ然ルニ被請求人ノ發明ニ係ル特許第一七七六五號ノ構造中ノ捲取裝置ニ於ケルAト同一ナラサルコトハ右十字形捲取器ト稍下方ニ一箇所及之ト十字形ヲナセル横杆ノ側面ニ四箇所ノ穴ト穿テルト其十字形ヲナセル横杆ノ後方ニ紐ヲ以テ其前方ニ裝置シタル螺旋彈器ト相俟テ其調節ヲ量ル構造ニシテ其構造タルヤ此捲取裝置ニ於ケル重要ナル關係ヲ有スル所ニシテ請求人ハ螺旋彈器ト所謂Aト符合シタル鋸齒狀ヲ設ケタルカ爲メニ唯其一部分カ同一ナルノ故ヲ以テ漫然其登錄實用新案權ノ全體ニ涉リテ同一ナリト云フト雖之實用新案法ニ於テ許サ、ルノミナラス被請求人ノ承認スル能ハサル所ニシテ即チ甲第一號證ニ示セル如ク「前方ノ十字形捲取器ト下方ニ穴ト穿テ其傍ニ鋸齒狀ヲ設ケ右鋸齒狀ヨリ横杆ニ螺旋彈器ヲ取付」云々トアリテ右ノ捲取裝置ノ一部分タルA横杆ノ中央ノ側面及十字形捲取器トニ穴ヲ設ケテ調節ヲ圓滑ナラシムルコトハ本裝置ニ於テハ最も必要ナル點ナルコトハ前陳ノ如クナルヲ以テ如何ニ曲解スルモ其構造ニ於テ同一ナリト云フヲ得サルナリト云フニ在リ

審決ノ理由

登錄實用新案第三七二七號織機用重量自在卷取ノ構造ハ織機框枠ノ前面ニ於テ原動車トノ回轉ニヨリ上下ニ仰俯スル横杆ト一端ニ豎竿ト定着シ其上端ニ卷取軸ニ楔着スル齒車ニ啮合スル爪ヲ設ケ前記豎竿トハ一側ニ齒形ヲ一端ハ機枠ニ緩着セラレタル杆貫ニ軸着シ杆貫ト齒形トニ端ヲ機枠ニ定着シタル螺旋トノ上端ヲ杆貫トニ齒形トノ一側ニ鉤懸セシメ其鉤懸位置ニ依リ卷取度ヲ調節セシメントスルモノニシテ其權利ハ豎竿ト杆貫ト螺旋トノ組合ニ在ルコト明カナリ次ニ特許第一七七六五號太田式足踏自在織機ニ於ケル卷取裝置ノ構造ハ其明細書並ニ圖面ニ掲載セルカ如ク織機框枠ノ前面ニ於テ車軸ノ突起部ト爲ニ上下ニ仰俯スル横杆ト一端ニ十字形卷取器ト定着シ其上端ニ卷軸トニ楔着スル鋸齒車ト啮合スル齒送器トヲ設ケ前記卷取器トハ一側ニ齒形ヲ一端ハ紐ヲ以テ機枠ニ緩着セラレ且ツ中央ニ數箇ノ穴ト有スル杆Aヲ軸着シ杆Aノ齒形ト下端ヲ機枠ニ定着シタル螺旋彈器トノ上端ヲ杆Aノ齒形トノ一側ニ鉤懸セシメ其鉤懸並ニ穴ト位置及紐ノ長短ニ從ヒ卷取度ヲ調節セシメントスルモノニシテ此兩者ハ其考案全ク相同シク唯其構造ニ於テ杆Aニ數箇ノ穴ト穿テ又其一端ヲ直接ニ機枠ニ緩着セス紐ヲ以テ間接ニ緩着セシメ以テ卷取度ヲ調節セシメントスル點ニ於テ後者ハ前者ト異レルアルノミ然リ而シテ斯ノ如キハ枝葉ノ構造ニ屬シ且ツ任意ニ變換スルコトヲ得ヘキヲ以テ既ニ主要ノ點ニ於テ相一致スル以上ハ其ニ同一ノ構造ト認ムルヲ至當トス從テ本件特許第一七七六五號ニ於ケル卷取裝置ハ本件登錄實用新案第三七二七號ノ權利範圍ニ屬スルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年九月十九日於特許局

審判長 特許局技師 押 田 翼

特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千二百十號

東京市神田區和泉町一番地 請求人 島田次郎 吉
東京市神田區五軒町五番地特許辦理士 右代理人 日山豊次郎
東京市下谷區東黒門町二十六番地 被請求人 荒川 作郎

右當事者間ノ第一〇四〇四號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ製造販賣スル甲第二號證(圖面)ニ示ス洋燈油壺ノ構造ハ登録實用新案第一〇四〇四號
洋燈油壺ノ權利範圍ニ屬ス
審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製作販賣スル甲第一號證ノ洋燈油壺ハ請求人所有ノ第一〇
四〇四號登録實用新案洋燈油壺ノ權利範圍ニ撞着ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理
由ハ被請求人ノ製作販賣スル金屬製ノ洋燈油壺ハ甲第一號證ノ實物及其見取圖タル甲第二號證ノ圖面
ニ依テ見ルニ上半部(乙)下半部(丙)トヲ「ハンダ」附ケトナサシテ區ノ如クハせ組トナシ石油ノ浸出ヲ
防キタル構造ニシテ其目的トスル所ハ「ハンダ」附ヲ爲サシテ能ク石油ノ浸出ヲ防キ得ヘキノミナラ
ス製作比較的簡易ニシテ久シキ使用ニ適セシメントスルニアルコト明カナリ請求人所有ノ第一〇四〇
四號登録實用新案洋燈油壺ハ甲第三號證ニ依テ明白ナルカ如ク登録請求範圍ニハ「圖面」ニ示セル如キ
構造ノ洋燈油壺」ト在リテ其圖面ニ依ルトキハ「上ナル上半部ト「ハンダ」附ケトナサ

スシテ(丁)ノ如クハせ組トナシ石油ノ浸出ヲ防ク構造ニシテ其主タル目的ハ「ハンダ」附ヲナサシテ能
ク油ノ浸出ヲ防キ得ヘキノミナラス製作比較的簡易ニシテ久シキ使用ニ適セシメントスルニアルコ
ト明カナリ今前記甲第一號證及甲第二號證ノ如キ被請求人ノ製作販賣スル洋燈油壺ト請求人ノ登録實用
新案洋燈油壺トヲ比較對照スルニ被請求人ノ洋燈油壺ニ於ケルハせ組部(乙)ハ請求人ノ洋燈油壺ノハせ
組部(丁)ト極メテ酷似セル組合セ方ナルカ故ニ兩者ハ其構造上互ニ相類似スルハ勿論其目的亦同一ナル
者ニシテ兩立スル能ハサル者ト云ハサルヘカラス何トナレハ請求人ノ洋燈油壺ハ在來ノ油壺ニ於ケル
カ如ク「ハンダ」附ヲナサシテ石油ノ浸出ヲ防カンカ爲ニ案出シタル者ニシテ即「ハンダ」附ヲハせ組
ニ改良シタル點ニ存スル者ニシテハせ組(乙)方ノミヲ案出シタル者ニ非サレハハせ組方ニ於テ小異ア
リトスルモ別種ノ構造ナリト云フヲ得サルモノトス况ンヤ被請求人ノ區ナルハせ組ト請求人ノ(丁)ナル
ハせ組トハ同業者間ニ於テハ之ヲ同一構造ノハせ組トシテ諸種ノ鐵葉細工ニ應用シツ、アル慣例アル
ニ於テヲヤト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人
ノ登録ヲ受ケタル洋燈油壺ノ構造ト被請求人ノ製作スル洋燈油壺ノ構造トハ上半部下半部ヲ接合スル
部分ノ組合セ方ニ於テ相違アル事ハ請求人モ之ヲ認ムル所ニシテ請求人ノ提出セル甲第二號證甲第三
號證ニヨリ證明セラルヘキノナリ次ニ請求人ハ右兩者ノ構造ニ於テ多少相違スル所アルモ其ハせ組
ハ同業者間ニ於テ之ヲ同一構造トシテ諸種ノ鐵葉細工ニ應用セル慣例アルコトヲ主張セリト雖是レ却
テ自家ノ弱點タル此ハせ組方ノ敢テ新規ナル考案ニアラス普通公知ノ方法ナルコトヲ暴露セルモノナ
リ是ヲ以テ請求人ノ登録實用新案權利ノ主眼ハ組合構造換言スレハハせ組ノ點ニ在ラスシテ寧ロはん
だ附ヲナサシテ石油ノ浸出ヲ防キ製作簡易永久使用ニ堪フルノ點ニ在ルカ如シ而シテ此石油ノ浸出

ヲ防ク點、製作簡易永久使用ノ點等ハ請求人ノ權利ト稱スル組合セ方ヨリ生スル效果ニシテ之ヲ權利
範圍トナス能ハサルハ明カナレハ苟モ組合セ部分ニ於テ請求人ノ構造ト相違スル以上ハ偶々其效果ニ
於テ一致スルコトアルモ以テ請求人ノ權利ニ撞着セサルモノト確信スト云フニ在リ

審決ノ理由 本件登録實用新案第一〇四〇四號洋燈油壺ノ構造ハ該說明書ニ依レハ油壺ノ上半部(1)ノ下
邊周圍ヲU形ニ屈折シ又下半部(2)ノ上邊周圍ヲ(3)及U形ニ二重ニ屈折セシメ(4)形部分ノ間ニ前記上半
部ノU形部分ヲ挿入壓着シタルモノニシテ「ハンダ」附ヲナスシテ油ノ浸出ヲ防カントシタルモノナ
リ從テ其權利ハ上半部ト下半部トヲ周邊ノ屈折ニヨリ相抱合壓着セシメタル金屬製洋燈油壺ニ在ルヤ
明カナリ次ニ甲第二號證ニ示セル洋燈油壺ハ上半部(5)ノ下邊周圍ヲU形ニ屈折シ下半部(6)ノ上邊周圍
ヲ(7)形ニ屈折シU形部分ノ間ニ(8)形部分ヲ挿入壓着シタル構造ヨリ成ルモノナルカ故ニ此二者ハ接合
部ニ於テ多少相異レル點アリト雖モ要スルニ同一ノ目的ヲ達センカ爲メ同一考案ニ基キ構成セラレタ
ルモノニシテ其ノ全體ノ構造ハ互ニ相類似スルモノト云ハサルヲ得ス被請求人ハ油壺ニ於テ上下二邊
ヲ相抱合セシメタルモノハ本件登録實用新案出願以前公然用ヒラレ又ハ公然知ラレタルモノナリト主
張スルモ之レヲ確ムルニ足ルヘキ證據ナシ其他當事者間論争スル所アルモ審決ニ必要ナキヲ以テ說明
セス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年九月十五日於特許局

審判長 特許局事務官 織田 了
特許局技師 小野 喜惣治
特許局技師 押田 翼

第二百五十號

愛媛縣宇摩郡妻取村七百二十九番地 請求人 鈴木道之助
愛媛縣宇摩郡妻取村千九番地 請求人 近藤又太郎
東京市小石川區諏訪町二十七番地特許代理人 右兩名代理人 三好千三
東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許代理人 右兩名代理人 大野成之
高知市枳形二番屋敷 被請求人 鈴木雅雄

右當事者間ノ第一〇八二〇號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人ノ申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造セル甲第一號證ノ製紙乾燥器ハ請求人ノ共有ニ係ル登
録實用新案第一〇八二〇號近藤式製紙乾燥器ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決
相成度其理由ハ請求人ハ紙貼筒ヲ三角形トセル製紙乾燥器ニ付登録實用新案第一〇八二〇號ノ權利ヲ
得被請求人ハ紙張版ヲ弧形トナセル製紙乾燥器ニ付登録實用新案第一七七二九號ノ權利者タリ故ニ被
請求人ノ權利ハ請求人ノ權利ト撞着セルモノニアラサルカ如キモ其圖面ニヨレハ三角形ヲナセルノミ
ナラス現ニ其製造セル製紙乾燥器ハ甲第一號證ニ示スカ如ク三角形ヲナスヲ以テ多少弧形ヲナセルニ
拘ラス其三角形タル點ニ於テ登録實用新案第一〇八二〇號ノ登録請求範圍ニ屬スル形狀ト同一ナリ是
ヲ以テ其構造ハ必スシモ一致セスト雖モ其形狀ノ同一ナルハ第一〇八二〇號登録實用新案權ヲ侵スモ
ノナリト陳述シ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ權利ニ屬スル登録實用新案第一〇八二〇號ハ平滑ナル鐵板ヲ平直ナル正三角形トナスモノナルカ故ニ急ニ工事ヲ中止スルトキハ紙張筒ノ内部蒸氣ノ冷却ト共ニ外部ノ空氣ノ壓迫ヲ受ケ紙貼板ハ内部ニ凹字形ヲナシ貼附ノ濕紙ニ故障ヲ生スルノ患アリ、反之被請求人ノ登録實用新案第一七七二九號ハ此ニ鑑ミテ紙張板ヲ弧形トナシタルモノナレハ此ノ如キ患ナキハ其特點ニシテ且ツ兩者ノ大ニ異レル所ナリ、即チ兩者ハ共ニ三面形ヲナセルモノハ平滑ナル鐵板ヲ平直ナル正三角形ニ張りタルモノニシテ他ハ弧形ヲ成セルモノナルカ故ニ其間大ニ趣ヲ異ニスルモノナレハ決シテ撞着セルニ非サルナリ假ニ一步ヲ讓テ正三角形ト弧形ヲ爲セル三面形トカ同一ナリトスルモ請求人主張ノ如キ平滑ナル鐵板ヲ平直ニ且ツ正三角形ニナシタル紙貼筒ノ内部ニ蒸氣ヲ注入シテ濕紙ヲ乾燥スヘキ製紙乾燥器ハ古來存在セル公用ノモノニシテ決シテ請求人カ案出セル所ニアラス請求人ハ唯其紙貼筒内部ノ構造ト形狀トヲ案出セルニ止マリ外面ノ三角形ヲモ案出セシニハ非サルナリ然ルニ三角形紙貼筒ハ古ヨリ今ニ至ルマテ官署ニ於テモ使用セラル、所ニシテ普通公用ノモノナルコト明カナリト云フニ在リテ乙第一號證乃至乙第四號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 登録實用新案第一〇八二〇號近藤式製紙乾燥器ノ構造ハ三枚ノ平滑ナル鐵板(ロ)ヲ三角形ニ組ミ紙貼筒(イ)ヲ構成シ以テ廻旋自在ニ橫架セシメ三隅ニ小孔ヲ透穿シ蒸溜水ヲ流出セシメ其内部ニハ兩端ヲ密閉シタル圓筒ヲ置キ汽管(ニ)ニ固着セシメ該汽管ヨリ枝管(ホ)ヲ三方ニ圓筒ヲ貫通シテ突出セシメタルモノニシテ其權利ハ三角形ノ形狀ヲ有スル紙貼筒ト前記ノ各構造トヲ結合セシメタル點ニ存在スルモノニシテ本件ノ登録實用新案ノ如キ製紙用乾燥器ニ於テ單ニ紙貼筒ヲ三角形ニ組ミタル形狀ノミニ其權利ノ及フ可キモノニ非ス請求人カ被請求人ノ製造セリト主張スル甲第一號證ノ製紙乾燥器

ハ被請求人ノ有スル登録實用新案第一七七二九號製紙乾燥器即チ弧形金屬板ヲ三角形ニ組ミタル紙張板(A)ノ三隅ニ安全ノ手掛(B)ヲ又三隅内部ニ抵抗版(D)ヲ設ケ胴狀タラシメ該胴内ニ噴出孔(E)ヲ有スル蒸氣(パイプ)(C)ヲ蒸氣配傳室(M)ニ定着シタルモノヲ置キ之ニ外版(H)側版(G)橫杆(F)ヲ設ケ外部ヨリ蒸氣ヲ供給スヘク通入(パイプ)(I)及軌道室(J)重玉(K)ヲ装着シ全體ヲ架柱(N)土臺(O)ヲ以テ支持セシメタル構造中紙張版ヲ弧形ヲナセル三枚ノ金屬板ニ代フルニ平面ノ板ヲ使用シタルモノナリ故ニ本件登録實用新案第一〇八二〇號ハ登録實用新案第一七七二九號ト其構造組合ヲ異ニスルハ勿論縱令甲第一號證ノ如ク平面ナル金屬板ヲ三角形ニ組ミ紙張版ヲ構成スルモ亦前述ノ理由ニヨリ本件登録實用新案第一〇八二〇號ノ權利範圍ニ屬スルモノニアラサルナリ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年九月十九日於特許局

審判長 特許局技師 押田 翼
 特許局事務官 奥山 萬次郎
 特許局事務官 田中 鐵二郎

第二千二百一號

東京府北豐島郡葉町村葉町千九百七番地
 東京市日本橋區本石町二丁目一番地特許辦理士
 東京市下谷區御徒町二丁目十四番地
 東京市赤坂區盛町七十七番地特許辦理士

請求人 岡田 甚次郎
 代理人 清水 連郎
 被請求人 深海 七四郎
 代理人 酒詰 謙之助

右當事者間ノ第九七二七號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造販賣スル甲第二號洋傘握柄ハ第九七二七號登錄實用新案洋傘握柄ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ第九七二七號登錄實用新案ハ洋傘握柄ニ使用スル目的ヲ以テ金屬管ヲ彎曲シ之ニ燃合セタル金屬線ヲ付シ其端ヲ一條ツ、ニ分チテ其末端ニ色硝子玉ヲ附着セルモノナリ次ニ被請求人ノ製造販賣セル甲第二號洋傘握柄モ亦金屬管ニ彎曲シ燃合セタル金屬線ヲ纏付ケ其ノ端ヲ一條ツ、トナシ末端ニ色硝子玉ヲ附着セルモノナレハ兩者ノ構造ハ全ク同一ナリ而シテ前者ノ登錄請求範圍ハ「圖面ニ示セル洋傘握柄ノ構造」トアリテ其所謂圖面中ニハ説明ヲモ包含セラル、モノナレハ結局圖面竝ニ其説明中ニ記載セラレタルモノカ即チ請求範圍タルナリ然ルニ後者ハ登錄證圖面(第二圖)ヲ實物トナシタルモノナルカ故ニ前者ノ權利範圍ニ屬スルモノナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ
被請求人答辯ノ要旨ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件登錄實用新案ハ請求人ノ言フカ如ク請求範圍ヲ「圖面ニ示セル洋傘握柄ノ構造」トシタルモノニシテ其圖面ハ二箇ヨリ成ルモノナレハ請求範圍ハ共通ノモノタラサル可ラサルコト勿論ナリ而シテ共通ノ新規考案ハ(一)ナル蔓ヲ以テ握柄ノ末端ト中程トヲ連結シ裝飾トシテ飾總ニ代用スルト同時ニ握柄ノ屈曲部ヲ堅牢ナラシメタル點カ意匠的ニシテ實用アル考案ナル所ニ存スルモノニシテ(ハ)ナル寶石若クハ模造玉又ハ硝子玉ノ如キハ第二圖ニハ存スルモ亦第一圖ニハ之ヲ缺ケルヲ以テ共通ナラズ從テ請求範圍ニ屬セサルナリ然リ而シテ被請求人ノ製作品タル甲第二號證ハ洋傘握柄ノ末端ヨリ出シタル蔓ノ絶端ニ

模造玉ヲ取付ケタルモノニシテ單ニ意匠的裝飾品タルニ止マリ本件登錄實用新案ノ如ク蔓ヲ握柄ノ中程ニ卷キ付ケ以テ握柄ノ屈曲部ヲ堅牢ナラシメ且ツ飾總ニ代用スルノ實用アル考案ニ非ス從テ甲第二號證製品ハ本件登錄實用新案ノ權利ニ屬スルモノニ非スト云フニ在リテ乙第一號證乃至乙第三號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件登錄實用新案第九七二七號洋傘握柄ノ構造ハ洋傘用柄ノ握部(イ)ヲ屈曲セシメタルモノニ飾總ニ代用スヘキ蔓狀ノ裝飾(ロ)ヲ卷キ付ケ前記握部ノ末端ヲ裝飾(ハ)ノ中程ニ連結シ握部(イ)ノ屈曲部ヲ堅牢ナラシメタルモノニシテ其權利ハ握部(イ)ヲ屈曲セシメ之ニ裝飾(ロ)ノ一部ヲ定着セシメタル洋傘握柄ノ構造ニ在ルコト明ナリ故ニ該構造ニ色硝子玉ノ如キ飾玉ヲ裝着スルカ如キ或ハ裝飾ノ屈曲部尖端ト其根部トヲ連結セサル者ノ如キハ共ニ本件登錄實用新案ノ權利範圍ニ屬スルモノニアラス而シテ甲第二號證洋傘握柄ノ構造ハ洋傘用柄ノ握部ニ屈曲セシメ其握部ノ末端ニ三ツニ分岐セル金屬線ヲ定着シ該三線ノ尖端ニハ色硝子玉ヲ膠着シタル者ナレハ屈曲部末端ト根部トハ何等ノ連結ナク從テ屈曲部ヲシテ堅牢ナラシムル者ナシ故ニ甲第二號證ノ構造ハ本件登錄實用新案ト全然其目的竝ニ構造ヲ異ニシ本件登錄實用新案ノ權利内ニ屬セサルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年九月十九日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局技師 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千四十二號

*百二十四

福岡縣鞍手郡直方町大字直方百二十六番地井上豊助方 請 求 人 田 代 萬 吉
 東京市京橋區船屋町十番地特許辦理士 右 代 理 人 內 村 達 次 郎
 福岡縣鞍手郡直方町大字直方八百五十九番地 被 請 求 人 村 上 福 太 郎
 東京市京橋區采女町二十七番地特許辦理士 右 代 理 人 木 戶 傳
 東京市京橋區采女町二十七番地特許辦理士 右 代 理 人 市 川 寬

右當事者間ノ第一五六〇二號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 請求人申立相立タス
 審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ明治四十二年十二月二日付登録實用新案第一五六〇二號ハ之ヲ無効ト
 ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ハ甲第一號證明面竝ニ其説明書寫ニ
 示スカ如ク「スベシヤルポンプ」ノ汽笛ヲ用キテ其上ニ「エンバンス」型「バルブギア」ヲ新設シ「タベッ
 トバルブ」ノ蒸氣道及汽笛蒸氣道ノ開口部ヲ填塞シ別ニ汽笛蒸氣道ニ連通セル蒸氣道ヲ設ケ尙ホ汽笛
 ノ兩端ニ於テ唧子ノ厚サヨリハ稍々狭キ間隙ヲ保テ爾二箇ノ蒸氣道ヲ設ケ相通セシメ且ツ汽笛蒸氣道
 ニ開口シ「バルブ」ノ摺動ニ從ヒ其排汽道ト離合スヘキ蒸氣道ヲ設ケタル唧筒ヲ以テ自己ノ新規ナル考
 案ナリトシ明治四十二年七月二十二日實用新案登録ヲ出願シ同年十二月二日付第一五六〇二號ヲ以テ
 登録セラレタリ然ルニ前陳ノ如ク配設セル蒸氣道ト均等ノ配置ヲ有スル唧筒ノ構造ハ甲第二號證ニ示
 スカ如ク被請求人ノ登録出願ニ先テ請求人ニ於テ發明シ明治四十年七月十二日出願シ同四十一年四月

十四日付第一四〇三九號ヲ以テ特許セラレタル旧代式直道「ポンプ」ノ圖面及ヒ其明細書中ニ於テ記載
 セラレタル所ナリトス即チ該唧筒ニ於テモ亦汽笛ニ蒸氣道ヲ有シ之ニ連通シ「バルブ」ノ摺動ニ從ヒ其
 排汽道ト離合スヘキ蒸氣道ヲ設ケ且ツ汽笛ノ兩端ニ於テ唧子ノ厚サヨリハ稍々狭キ間隙ヲ保テテ而モ相
 通セル二箇ノ蒸氣道ヲ配設セルエトハ明白ニシテ何等疑ヲ容ル、ノ餘地ヲ存セサルモノトス要スルニ
 登録實用新案第一五六〇二號ハ「スベシヤルポンプ」ヲ改造スルノ目的ニ由テ考案シタルモノナリト雖
 モ其由テ生シタル構造ハ其出願當時既ニ公知ニ屬セル特許第一四〇三九號旧代式直道「ポンプ」ノ構造
 ト至ク相類スルモノナルヲ以テ本件登録實用新案ハ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ニ違
 反セルモノナルカ故ニ同法第十一條ニヨリ到底無効タルヲ免レサルモノト云フニアリテ甲第一號證及
 ヒ甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件
 登録實用新案ハ其請求範圍ニ記載セル如ク「圖面及説明ノ如ク「スベシヤル、ポンプ」汽笛ヲ用キテ之ヲ
 「エヴンス」型ニ改造スルノ目的ヲ以テ汽笛「上」上ニ「エヴンス」型「バルブ、ギア」ヲ新設シ汽笛蒸氣
 道「⑤」或ハ「⑥」ノ開口部「ア」ヲ填塞シ別ニ唧子面ニ對シテ適當ノ斜傾ヲ保テ爾開口「①」ヲ穿設シ又新設セル弁
 室「②」上ノ蒸氣孔「④」ノ端ニ適合スヘキ蒸氣管「⑬」ヲ蒸氣道「⑤」或ハ「⑥」ノ中央部ヲ貫キ汽笛上面ニ挿設シ其下
 端ヲシテ汽笛ノ内面ニ開口セシメ該管ノ側面ニ孔「⑮」ヲ穿テ中部ニ空隙ヲ殘シテ兩端ヲ填塞シタル「タ
 ベット、バルブ」ノ蒸氣道「①」ニ連通セシメ該蒸氣道ノ他端ニ蒸氣道「⑤」或ハ「⑥」ノ端ヲ貫キテ蒸氣管「⑬」ヲ汽
 笛内面ヨリ挿設シ蒸氣管「⑬」ノ開口部トノ間ニ唧子ノ厚サヨリハ稍々狭キ間隙ヲ保タシメ又弁室「②」中ニ穿
 テル排汽孔「⑧」ニ適合スヘキ蒸氣孔「⑨」ヲ汽笛上面ニ穿設シテ之ヲ蒸氣道「⑤」或ハ「⑥」ニ連接セシメタル唧
 筒「⑭」ニシテ「スベシヤル、ポンプ」ニハ「タベット」及之ニ附隨セル蒸氣道「①」ヲ具フルカ故ニ之ヲ「エヴン

*百二十五

ス型ニ改造スル爲メニハ右ノ蒸氣道ヲ填塞スルノ必要アルト同時ニ汽笛内面ニ於テ二箇ノ開口ヲ有
 スル蒸氣道ヲ新ニ穿設セサル可ラス然ルニ此蒸氣道タルヤ「スベシヤル、ポンプ」ノ古汽笛ヲ用キルニ
 於テハ新ニ汽笛ヲ鑄造スル場合ト異ナリ甲第二號證ノ如ク筒壁ヲ迂回シテ之ヲ穿設セント製作上不
 可能ニ屬シ又一直線ニ之ヲ穿通スルトキハ蒸氣道⑤⑥ニ混交シテ其用ヲナサ、ルニ至ルヲ以テ乃チ本
 件實用新案ニ於テハ蒸氣孔⑤⑥ニ交リテ二條ノ蒸氣管⑬⑭ヲ挿設シ又填片⑩⑪⑫⑬ヲ以テ「タベット」及
 蒸氣道⑬ヲ填塞スルト同時ニ管⑬ノ一側ニ孔⑮ヲ穿テ以前「スベシヤル、ポンプ」時代ニ汽笛體ニ穿設
 セラレ而モ今ハ不要ニ歸シタル蒸氣道⑬ノ一部ヲ巧ニ利用シ管⑬ト⑮トニ「エヴンス」型トシテ必要ナ
 ル連通ノ關係ヲ保タシメ以テ改造ノ目的ヲ達スルモノナリ以上ノ構造ハ「スベシヤル、ポンプ」ヲ「エ
 ヴンス」型ニ改造スルニ際シ極度ニ其工作ヲ簡易ニスルコトヲ得ヘカラシム此ノ如クナルヲ以テ本件
 實用新案ハ甲第二號證ノ唧筒トハ構造上全然別異ノモノタルコト明カナリ要スルニ本新案ハ説明書中
 ニ記述セルカ如ク全ク普通ノ「エヴンスポンプ」ニ則リ唯其主眼トスル所ハ特殊ノ構造ニ依リ最モ簡便
 ニ「スベシヤル」ポンプ」ヲ「エヴンス」型ニ改造シ得ヘカラシムル點ニ存スルモノナリ故ニ右構造ニ依
 テ成ル唧筒終極ノ働カ假令「エヴンスポンプ」ニ同一ナルモ或ハ蒸氣道配置ノ一部カ甲第二號證ノ唧
 筒ニ類似スル所アリトスルモ特殊ノ目的ニヨリ前記二點ヲ要素トシテ成立セル本件實用新案ハ實用新
 案法第一條ニ該當スヘキ新規ノ考案タルニ於テ毫モ差支ヘナキモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由

登録實用新案第一五六〇二號唧筒ノ構造ハ「スベシヤル、ポンプ」ノ汽笛ヲ用キテ之ヲ「エヴ
 ンス」型ニ改造スル目的ヲ以テ汽笛①上ニ「エヴンス」型「ヴルグギアー」②ヲ新設シ汽笛蒸氣道⑤或ハ
 ⑥ノ開口部⑦ヲ填塞シ別ニ唧子面ニ對シテ適當ノ傾斜ヲ保テル開口⑧ヲ穿設シ又新設セル弁室②上ノ
 蒸氣孔⑬ノ端ニ適合スヘキ蒸氣管⑬ヲ蒸氣道⑤或ハ⑥ノ中央部ヲ貫キ汽笛上面ニ挿設シ其下端ヲシテ

汽笛ノ内面ニ開口セシメ該管ノ側面ニ孔⑮ヲ穿テ中部ニ空隙ヲ殘シテ兩端ヲ填塞シタル「タベット」
 プレノ蒸氣道⑬ニ連通セシメ該蒸氣道ノ他端ニ蒸氣道⑤或ハ⑥ノ端ヲ貫キテ蒸氣管⑬ヲ汽笛内面ヨリ
 挿設シ蒸氣管⑬ノ開口トノ間ニ唧子ノ厚ミヨリハ稍狹キ間隙ヲ保タシメ又弁室②中ニ穿テ排汽孔⑮
 ニ適合スヘキ蒸氣孔⑮ヲ汽笛上面ニ穿設シテ之ヲ蒸氣道⑤或ハ⑥ニ連接セシメタルモノニシテ該權利
 ハ前記各部ノ結合ニアルモノトス次ニ特許第一四〇三九號田代式直道唧筒ノ構造ハ滑弁③ヲ挾持セシ
 メテ弁室④中ニ容設セル外弁②中ニ内弁①ヲ容設シ唧子衝程ノ終リニ於テ汽笛ノ端部ニ開口セル蒸氣
 道⑦ヲ汽笛ノ活蒸氣側ニ開キ蒸氣道⑦ヲ通シテ活蒸氣ヲ内弁①ノ端ニ噴込ミテ之ヲ排汽道⑩ヨリ排汽
 口中ニ吐出セシメ而シテ内弁①ノ側面ニ作レル溝⑫ニ依リ外弁上ニ穿テ排汽道⑦⑧ヲ連通シテ外弁
 ノ端ニ弁室中ノ活蒸氣ヲ噴込ミ外弁ヲ移動セシメテ滑弁③ヲ移動シ排汽孔⑧⑨⑩ヲ經テ外弁ノ他側
 ニ殘留セル蒸氣ヲ排汽孔中ニ吐出セシムヘクナシ且ツ外弁②ニハ蒸氣孔⑫⑬ヲ設ケテ弁室中ノ活蒸氣
 ヲ絶エス内弁ノ兩端ニ噴出セシメ排汽孔⑮⑯及蒸氣孔⑰⑱ト截缺⑲ノ相互關係的位置ト又蒸氣孔⑮ノ位
 置トヲ適當ニ定メテ内外兩弁ノ停止スル位置ヲ常ニ一定セシムヘク唧子⑰ノ厚ミニ從ヒ適當ノ距離ヲ
 保テテ汽笛兩端部ノ内面ニ二箇ノ開口⑲⑳ヲ設ケ唧子カ開口⑲ヲ塞キタル後開口⑲ヲシテ蒸氣孔⑳ヨ
 リ噴出スル蒸氣ノ通路ヲ作ラシメタルモノナリ故ニ唧子ヲ左右ニ往復動セシムヘキ活蒸氣ノ供給、遮
 斷及排汽ノ逃出口ヲ支配スル弁ノ作用竝ニ蒸氣道ノ配置等ニ於テハ兩者相類似スルモノト認メ得ヘキモ
 本件登録實用新案ニ在テハ「スベシヤル、ポンプ」ヲ「エヴンスポンプ」型ニ改造セントスルヲ主タル目
 的トナシ其目的ヲ達センカ爲メ蒸氣道⑤⑥ニ交リテ二條ノ蒸氣管⑬⑭ヲ挿設シ又填片⑩⑪⑫⑬ヲ以テ「タ
 ベット」孔及蒸氣道⑬ヲ填塞スルト同時ニ管⑬ノ一側ニ孔⑮ヲ穿テ蒸氣道⑬ノ一側ヲ利用シ蒸氣
 管⑬ト⑮トニ「エヴンス」型トシテ必要ナル連通ノ關係ヲ保タシムル様構成セラル、モ特許第一四

○三九號ノ唧筒ニ於テハ斯ノ如キ構造ヲ缺如セルヲ以テ此兩者ハ各別異ノ構造ヨリ成ルモノト云ハサルヘカラス故ニ特許第一四〇三九號カ假令本件登録實用新案出願前公ニ知ラレ且ツ公ニ用キラレタル事實アリトスルモ其事實ヲ以テ本件登録實用新案ヲ無効トスヘキ理由トナス能ハス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年九月二十日於特許局

審判長 特許局技師 押田 翼
特許局事務官 奥山 萬次郎
特許局事務官 田中 鐵二郎

第一千二百二十五號

靜岡縣志太郡青島村青木六百十番地 請求人 保田 鶴吉
東京市京橋區木挽町四丁目九番地特許辨理士 右代理人 細川 陽之介
靜岡縣志太郡和村下小田四十二番地 被請求人 戸塚 庄作
靜岡縣志太郡燒津町二百九十八番地松岡兄弟事 被請求人 松岡 鐵太郎
東京市麴町區飯田町二丁目五十一番地特許辨理士 右兩名代理人 渡邊 豐治
右當事者間ノ第一五七八八號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 特許第一九三七三號S T式竹柳籐肉節取機ノ構造中大透轉輪子、小透轉輪子、刃物ツ、安全器ト
シノ組合ハ登録實用新案第一五七八八號ノ權利ノ範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人等カ製造販賣セル所ノ竹、柳、籐肉節取機ハ請求人ノ所有ニ係ル第一五七八八號登録實用新案行李製造用竹肉殺機ノ登録請求範圍ニ撞着シ審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ權利ニ屬スル登録實用新案第一五七八八號ハ廻轉盤ト有齒輾軸ト刃物ト定規トノ組合ヲ構造ノ要部トナシ之ヲ圖面ニ示スカ如キ關係ヲ保タシメテ臺枠及軸承ニ装着シ原軸ノ廻轉ニヨリ廻轉盤ト有齒輾軸トノ間ニ挾マシメタル肉ヲ削殺セントスル資料ヲ操リ出シツ、刃物トニテ肉殺作用ヲ爲サシムル構造ナリ然ルニ被請求人等カ製造販賣セル所ノ竹、柳、籐肉節取機モ亦之ト同形ニシテ而モ大小竝ニ取付ノ關係等ニ毫モ異ルナキ廻轉盤ト有齒輾軸ト刃物トヲ組合セ之ヲ臺枠及軸承ニ装着シ原軸ノ廻轉ニヨリ廻轉盤ト有齒輾軸トノ間ニ挾マシメタル資料ヲ操リ出シツ、刃物ニテ肉殺作用ヲ爲サシムル構造ナリ唯其異ル所ノ前者ハ手廻シニテ原軸ヲ廻轉セシムルモノナルニ反シ後者ハ足踏ニテ之ヲナサシムルモノナル一點アルノミ然トモ此ノ如キハ適宜ニ變更シ得ヘキ所ニシテ敢テ新規ナル考案ト爲スニ足ラサルナリ要スルニ被請求人等カ製造販賣セル肉節取機ハ請求人ノ權利ニ屬スル登録實用新案ノ肉殺機ヲ模造セシモノニシテ其構造ハ登録實用新案第一五七八八號登録請求範圍ニ屬スル者ト確信スト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ
被請求人答辯ノ要領ハ請求人ノ請求相立タヌ審判費用ハ請求人ノ負擔タルヘキ旨審決相成度其理由ハ請求人ノ登録實用新案第一五七八八號ハ廻轉盤ト有齒輾軸ト刃物ト定規トノ組合ニ係ルモノナルニ被請求人戸塚庄作カ製造シ被請求人松岡鐵太郎ノ販賣スル竹、柳、籐肉節取機ハ別紙圖面ニ示スカ如キ構造ヲ有スルモノニシテ即チ踏杆(イ)ヲ足ニテ踏ミ其運動ヲ接續杆(ロ)ヲ經テ曲柄軸(ハ)ニ傳ヘシメ此曲柄軸(ハ)ニ齒輪(ニ)ヲ定着セシメ以テ此運動ヲ大透轉輪子ヲ定着セシメタル軸(ハ)ニ齒輪(ホ)ヲ以

テ傳へ又軸へハ回轉數ヲ調節スル爲メ遊輪リヲ定着セシメ尙へノ運動ハ之ニ定着サレタル齒輪トヨ
 リ齒輪又ニ傳ハリ之ト同一ノ軸ニ定着サレタル有爪轉輪ト大透轉輪ト反對ノ方向へ廻轉セシメ次
 ニ有爪轉輪ト支持スル軸承トヲ軸承臺トノ内部ヲ上下ニ摺リ動クヘクナシ其上ニ撥條ヲ設ケ有爪
 轉輪ト及大透轉輪トノ間ニ來ラシムル竹、柳、籐ノ類ノ目的物ヲ適當ノ力ヲ以テ壓スノ用ヲ爲サシメ
 且ツ撥條カハ螺旋杆トニ依リ自由ニ其強弱ヲ加減シ得ヘカラシメ又軸承臺トノ後方ニ當リ刃物ツヲ二
 箇ノ螺旋杆トノ相互強弱ノ加減ニ依リ大透轉輪トニ對シ本機ノ目的ニ適合スル角度ヲ有セシムヘク
 自由ニ調節スルヲ得セシメ且ツ軸承臺トノ前方ニモ刃物トヲ備ヘ目的物ノ節又ハ袴ノ類ヲ除去スルヲ
 得セシメ尙其前方ニレリノ如キ構造ヲ有スル安全器ヲ備ヘ以テ竹、柳、籐ノ類ヲ轉輪トトニ與フルニ
 當リ目的物ニ誘ハレテ前方刃物ト爲ニ手ヲ傷クルノ患ナカラシメ尙又後方刃物ツノ上方ニ烏帽子形
 覆蓋トヲ取り付ケ刃物ツノ下方ニ出テタル目的物ノ利用セラルヘキ部分ハ其ノ儘後方ニ脱落シ刃物ツ
 ノ上方ニ出テタル部分ハ烏帽子形覆蓋トニ前進ヲ遮斷セラレテ矢ヲ以テ示シタル方向ニ出テ來リ舌形
 ノ覆蓋トノ上部ヲ傳フテ齒輪ヲ汚損スルコトナク右方ニ脱落シ同時ニ目的物ノ節及袴ノ除去、肉ノ除
 去並ニ其仕分ヲ爲スヲ得セシメタル者ナリ故ニ被請求人ノ製造又ハ販賣スル竹、柳、籐肉節取機ハ
 (一)前方刃物ニ依リ節及袴ヲ除去スル裝置、(二)安全器ノ裝置、(三)有爪轉輪ノ形狀、(四)後方刃物
 ノ角度加減裝置、(五)目的物ノ皮肉仕分ノ裝置、(六)足踏ニ依リ動力ヲ傳フル裝置ニ於テ請求人ノ登
 録實用新案第一五七八號ト相違スルモノナリ且ツ夫レ反對方向ニ回轉スル二箇ノ轉輪ヲ以テ成ル物
 體ヲ廻送スルハ古來傳ハル所ノ綿線機類ノ裝置ト異ルナク其後方ニ刃物ヲ組合ハスルカ如キモ公知ニ
 屬ス刃物ヲシテ常ニ適當ノ角度ヲ有セシムルニ非ズンハ何等ノ用ヲナス被請求人ノ製造又ハ販賣ス
 ル節肉取機ハ二箇ノ螺旋杆ヲ用キ刃物ノ角度ヲ自在ニ調節シ以テ目的ヲ達スルヲ得セシメタルヲ以テ

此點ヲ以テモ請求人ノ實用新案第一五七八號ト撞着セサルモノト思料スト云フニ在リテ乙第一號證
 ヲ提出セリ

審決ノ理由 登録實用新案第一五七八號行李製造用竹肉殺機ノ權利ハ其登録請求範圍ニ記載セラル、
 如ク廻轉盤ト有齒輾軸ト刃物ト定規トノ組合ニ在リ而シテ廻轉盤トハ原軸ト上ニ楔着セラレ
 原軸ノ回轉ニ伴ヒ回轉スルヲ得セシメ有齒輾軸トハ軸承ト内ニ於テ彈機ト方形版ト等ニ支持サレテ、
 廻轉盤トト殆ント相接觸セシメ有齒輾軸トノ軸上ニ楔着サル、齒輪トト原軸ト上ニ楔着サル、齒輪ト
 ト相齧合セシメ以テ原軸ノ廻轉ニ從ヒ廻轉盤トト有齒輾軸トト互ニ反對方向ニ回轉スヘクナシ又刃物
 トハ支枠内ニ於テ螺旋杆トニテ保持セラレ定規トハ有齒輾軸トノ前方ニ置カレタルモノナリ次ニ特許
 第一九三三號ST式竹柳籐肉節取機ノ構造ハ前登錄實用新案ノ構造ニ類似シ前者ノ回轉盤ト、原軸
 ト、有齒輾軸ト、軸承ト、彈機ト、方形版ト、齒輪ト、刃物ト、螺旋杆トハ夫々後者ノ大透
 轉輪ト、軸ト、小透轉輪ト、軸承臺ト、螺旋ト、軸承ト、齒輪ト、刃物ト、螺旋トニ該當シ
 共ニ全然同一構造同一作用ヲナスモノトス又前者ノ定規トハ後者ニ於ケル安全器トト其構成ヲ異ニ
 スル者ナルモ作用ハ全ク均等ニシテ同一ノ考案ニ成ルモノト認ム故ニ本件特許第一九三三號ニ於ケ
 ル前掲各部ヲ組合セタル構造ハ登録實用新案第一五七八號ノ權利ノ範圍ニ屬ス仍テ主文ノ如ク審決
 ス

明治四十四年九月二十一日於特許局

審判長 特許局技師 押 田 翠
 特許局事務官 田 中 鐵 二 郎
 特許局事務官 三 浦 惠 一

第二千八十二號

*百三十二

東京市麻布區新堀町三番地	請 求 人	武 藤 喜 久 一 郎
東京市日本橋區村松町四十八番地特許辨理士	右 代 理 人	水 野 豐
東京市下谷區金杉上町九十一番地	被 請 求 人	中 川 雋 太
東京市下谷區金杉上町九十一番地	被 請 求 人	花 澤 勘 四 郎
東京市神田區三河町四丁目一番地	被 請 求 人	遠 藤 友 治
東京市神田區裏神保町四番地特許辨理士	右 三 名 代 理 人	宇 田 正 穂
東京市小石川區小石川水道町二十五番地特許辨理士	右 三 名 代 理 人	大 久 保 藤 吾

右當事者間ノ第一三九五三號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主 文 登録實用新案第一三九五三號和服用伸綿調成具ハ登録實用新案第六七〇三號和服裝入用伸綿形成具ノ權利ノ範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人等ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ第一三九五三號登録實用新案和服用伸綿調成具ハ第六七〇三號登録實用新案和服裝入用伸綿形成具ノ權利ノ範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人等ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ被請求人等カ明治四十二年六月二十一日出願同年七月十四日登録セラレタル實用新案第一三九五三號和服用伸綿調成具ノ構造ヲ見ルニ登録請求範圍ヲ圖面ニ示ス如キ型臺(甲)ト型片(乙)トノ組合トナシ型臺(甲)ノ構造ハ丁字形ノ型臺(乙)ニ羽根(ハ)及掛釘(三)ヲ付シテ型臺(甲)ヲ有スルモノナリ又型片(乙)ハ型臺(乙)ノ上ニ載セ得ヘク爲シタル衣裳ノ略形ニ外ナラス然ルニ請求人所有ノ明治四十年五月

十六日出願同年十月四日ニ登録セラレタル實用新案第六七〇三號和服裝入用伸綿形成具ノ構造ハ登録請求範圍ヲ圖面ニ示セル和服裝入用伸綿形成具ノ構造トナシ圖面ニハ第一圖ニ型臺ヲ示シ第二圖ニハ型片(乙)ヲ示シ型臺ハ丁字形ノ平版(二)脚(イ)及掛釘(ハ)ヲ付シタルモノヨリ成リ型片(乙)ハ型臺ノ上ニ載セ得ヘク衣服ノ略形ト爲シタルモノナリ今之ノ兩箇ノ實用新案ノ構造ヲ對照スルニ其目的、作用、效果ヲ均クシ其ノ構造ノ主要部分ニ於テ全然同一ナルヲ見ル更ニ之レヲ詳説スレハ前者ノ(イ)ハ後者ノ(イ)ニ(ロ)ハ(ロ)ニ(ハ)ニ(チ)ハ(ニ)ニ(ウ)ハ(ホ)ニ(ト)ニ全ク相等シク其以外ノ(ハ)即チ型臺ノ羽根(リ)又型片ノ左右襟部ハ後者ニ於テ表示ナキ所ナルモ之等ハ何レモ本件用具ノ目的效果ヲ奏スル構造ノ要部ヲ爲スモノニアラザルノミナラス此羽根(ハ)ヲ付スルモ猶掛釘ノ必要ナルコトハ(ニ)ヲ表示シアルニ依リテ分明ナリ而シテ後者ニハ此羽根ナクモ矢張掛釘(ハ)ヲ利用シツ、アルニ依リ蠶綿ヲ展伸スル手段ニ於テ作用ハ全ク同一タリ加之此羽根(ニ)ニ蝶鉸ヲ付シテ必要ニ應シテ之ヲ下シテ型臺(乙)ノ丁字形ト爲スコトヲ得ルヲ見ルモ型臺(乙)ノ丁字形ヲ要點トナシ唯之レニ臨機ノ處置ヲ執ル爲メ蝶鉸ニテ羽根(ニ)ヲ付加シタルモノニ過キスシテ構造ノ主要部分ニアラサルヤ勿論ナリ又(リ)又即チ型片ノ左右襟部ノ如キモ其存スルト否トハ本件用具ノ目的ヲ達シ其效果ヲ發顯セシムルニ於テ必ラスシモ存在ヲ必要トスル作用ヲ爲スモノニアラス要之本件二箇ノ實用新案ハ何レモ型臺ト型片トノ組合ヨリ成リ之ニ真綿ヲ展伸スル爲メ掛釘ヲ利用セル構造ニシテ此構造ニ依リテ二者均等ナル目的、作用、效果ヲ顯ハスモノナルヲ以テ二者ノ構造ハ其要部ニ於テ全ク撞着スルモノト云ハサルヘカラスト陳述シ其事實ヲ證セン爲メ臨檢ノ申請ヲ爲セリ

被請求人等ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ登録實用新案第一三九五三號ト同第六七〇三號トハ其大體ヨリ見レハ同一ナルカ如キモ其要部ノ構

*百三十三

造ハ全ク異ナレリ即チ換言スレハ前者ハ後者ノ不完全ナル構造ヲ完全ニ變更改良シタルモノニシテ此變更改良ノ點ハ即チ實用アル新規ノ考案ニ外ナラスシテ之レ實用新案ノ登録ヲ與ヘラレタル所以ナリ今此變更改良シタル即チ前者ノ要部ヲ摘示シ以テ前記兩箇ノ實用新案ノ要部ノ構造ヲ異ニシ從ツテ前者ハ後者ノ權利範圍ニ屬セサルコトヲ明確ナラシムヘシ登録實用新案第一三九五三號ニ於ケル第一ノ要部ハ型臺(甲)ノ臺板(乙)ヲ必要ニ應シテ任意ニ長方形又ハ丁字形トナスヘク型片(丙)ノ左右襟部(丁)ニ適合スヘキ部分ヲ鏢絞ニテ羽根(戊)ノ形狀ニ造リタル點ニテアリ故ニ初メ長方形ノ型片(丙)ヲ臺板(乙)上ニ載セテ原料蠶綿ヲ其上ニ平伸スル場合ニハ此羽根(戊)ヲ上ケテ臺板(乙)ヲ長方形トナシ長方形ノ型片(丙)ト相適合セシメ以テ長方形ノ型片(丙)ト全體ニ原料蠶綿ヲ平伸シ且型片(丙)ノ左右襟部(丁)又ニ平伸セル蠶綿ノ先端ヲ羽根(戊)ノ裏面ニ列植セル掛釘(己)ニ掛止ムルモノナルカ故ニ型片(丙)ヲ原料蠶綿ト重合セル儘裏返シテ再ヒ臺板(乙)上ニ載セ以テ左右襟部(丁)又ニ調成スル場合ニ於テ他ノ原料蠶綿カ補綴スル必要ナク充分完全ニ左右襟部ヲ調成スルコトヲ得ルモノナリ又第二ノ要部ハ型片(丙)ヲ左右襟部ヲ具備セル長方形トナシ且左右襟部(丁)又ニ左右袖部(己)トヲ分離セシメ該左右襟部(丁)又ニ剩片(戊)ヲ設ケタル點ニテアリ故ニ左右襟部ヲ調成スル場合ニ於テ他ノ原料蠶綿ヲ以テ補綴スル必要ナク又剩片(戊)ヲ設ケタルヲ以テ袖丈ケノ長短ヲ適宜ニ調節スルコトヲ得ヘキ便利アルモノトス要之本件二箇ノ實用新案ハ共ニ型臺ト型片トノ組合ヨリ成ルト雖トモ前掲詳論セシ如ク其型臺及型片ノ構造ハ其要部ニ於テ兩者全ク異ナリ相撞着スルコトナシト陳述セリ

審決ノ理由 登録實用新案第一三九五三號和服用伸綿調成具ヲ登録實用新案第六七〇三號和服裝入用伸綿形成具ニ比スレハ前者ハ型臺(甲)ヲ鏢絞ヲ以テ取付ケラレタル羽根(戊)ニ依リテ長方形トナシ得ヘキカ故ニ平等ニ伸綿シ得ヘク又型片(乙)ニ於テ左右襟部(丁)又ニ剩片(戊)ヲ設ケタルヲ以テ袖丈ケト長短ヲ

適宜ニ調節スルコトヲ得ヘキ構造ヲ具備セルモノニシテ是等特殊ノ構造ヲ缺如セル登録實用新案第六七〇三號伸綿形成具ニ比シ同一構造ノモノト認ムル能ハス然レトモ登録實用新案第六七〇三號ニ於テ脚(下)及横棧ニ掛釘(己)ヲ列植セシメタル丁字形ノ型臺ト左右襟部ノ目標タルヘキ界線(庚)並ニ頸部(下)有スル型片(三)トノ組合セハ其ノ構造中ノ要部ノ一ヲ成スモノニシテ右ノ部分ハ登録實用新案第一三九五三號伸綿調成具ニ於テモ亦具備スル所ナリ即チ型臺ニ於テハ單ニ鏢絞ヲ以テ取付ケラレタル羽根(戊)ヲ附加シ型片ニ於テハ左右襟部(丁)又ニ附加シタルモノニシテ其考案タルヤ全然登録實用新案第六七〇三號ノ考案ヲ利用シタルモノト認ム從テ登録實用新案第一三九五三號ハ其構造ニ於テ登録實用新案第六七〇三號ノ權利範圍ニ屬ス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年九月二十一日於特許局

審判長 特許局技師 押田 翼
 特許局事務官 田中 鐵二郎
 特許局事務官 村山 小次郎

第二千二百二十六號

大阪市南區木津鷗町四丁目 請求人 藤代 宗吉
 大阪市北區船場町十番地特許辨理士 右代理人 清瀬 一郎
 德島市大字大島村七十番邸 被請求人 村上 幸夫
 右當事者間ノ第一四七六九號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ實用新案第一四七六九號ノ登録ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ハ明治四十二年八月十九日ノ出願ニ係リ其要點ハ鐵板ヲ屈曲シ支柄部ニ支柄輪ヲ具フル草剃ノ構造ニアリテ此構造ハ在來ノ草剃カ柄ノ先端中央部ヲ縱ニ挽キ割リ支柄部ヲ挿入シ其先端ヲ締留ト爲シタルヲ改良セシモノナリト云フト雖之レト同一ノ構造ヲ有スル草剃ハ近畿ノ農家ノ古來ヨリ普通ニ用ユル所ノモノナルカ故ニ其登録ハ無効ト爲スヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出シ證人訊問ノ申請ヲナセリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ノ主要部分ハ支柄部ニ支柄輪ヲ具ヘタル點ニアリテ其一枚ノ鐵板ヲ以テ作ルト否ト又其材料ノ如何ハ問フ處ニアラス然リ而シテ請求人ハ本件實用新案ト同一ノ構造ヲ有スル甲第二號證ノ一ノ如キ草剃ハ近畿ノ農家ノ古來ヨリ普通ニ用ユル所ナリト主張シ甲第二號證ノ二ヲ提出スト雖甲第二號證ノ二トハ何等因果關係アルコトヲ認ムルニ由ナキノミナラス甲第二號證ノ二ニ云フ所ノ草剃鐵トハ如何ナル構造ノ物品ナリヤ不明ニ屬セリ假リニ甲第二號證ノ一ノ如キ物品ナリトスルモ甲第二號證ノ二ハ他人ノ請托ニ依リ隨時作成シ得ヘキ私署證書ナルカ故ニ何等信憑力ナシト云フニアリ

審決ノ理由 被請求人ノ第一四七六九號登録實用新案村上式草剃ハ鐵版ヲ屈曲シ支柄部ニ支柄輪ヲ具ヘ而シテ其支柄輪ハ支柄部ト一體ヲ爲セルモノナリ然ルニ請求人カ本件實用新案ノ登録出願前公然知ラレ公然用キラレタルモノナリトシテ提出セル甲第二號證ノ一ノ草剃ハ其支柄部ニ別箇ノ支柄輪ヲ嵌入シタルモノナルカ故ニ此點ニ於テ兩者ハ其構造ヲ異スルモノトス從テ本件實用新案ノ登録出願前假ヒ

甲第二號證ノ一ノ草剃カ帝國内ニ於テ公然知ラレ公然用キラレタリトスルモ之レヲ以テ本件實用新案ノ登録ヲ無効トスルノ理由ト爲スニ足ラス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年九月二十五日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局技師 小 野 喜 惣 治
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千四十三號

山形縣西田川郡鶴岡町寶町甲二十六番地	請 求 人	齋 藤 外 市
東京市神田區袋町八番地特許辦理士	右 代 理 人	松 田 源 治
東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許辦理士	右 代 理 人	大 野 成 之
山形縣西田川郡鶴岡町八坂町十九、二十番地	被 請 求 人	平 田 米 吉
東京市京橋區采女町二十一番地特許辦理士	右 代 理 人	石 原 卯 八
東京市京橋區采女町二十一番地特許辦理士	右 代 理 人	飯 田 治 彦

右當事者間ノ第一六四〇五號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人ハ實用新案第一六四〇五號織布仕上機ノ登録ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔

トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ被請求人ハ織布仕上機ニ付明治四十三年三月三日第一六四〇五號ヲ以テ實用新案登録ヲ受ケタリ其構造ハ機框ノ中央ニハ曲柄裝置ニヨリ横動シ得ヘク支持棒③ヲ設ケ該支持棒ニハ之ト共ニ横動スヘク周面ニ數多ノ刻目ヲ刺セル織目調整轉子④ヲ緩着シ該轉子④ノ上方ニハ周面ニ羅紗ノ如キ布ヲ卷キタル押壓轉子⑤ヲ設ケ兩轉子④⑤ノ間ニ送出轉子ヨリ來ル織布ヲ挾持シ其織目ヲ齊一ナラシメタル後之ヲ卷取轉子ニ卷取ルヘクナシタルモノナリ然ルニ右織布仕上機ハ其登録出願以前請求人ニヨリテ公然知ラレ公然使用セラル、特許第一七三六五號織物組織整理裝置ト同一ニシテ何等ノ差異アルヲ認メス即チ兩者ヲ對照スルニ其目的ハ何レモ箴羽等ニヨリ生スル經絲ノ偏倚ヲ整理スルニ在リテ共ニ特許第一七三六六號織物組織整理方法ヲ使用スルモノニ屬シ又兩者ノ構造ノ骨子トスル所ハ織布ヲ伸張シ搖動杆②或ハ織目調整轉子④ノ横動ニヨリ經絲ノ不揃ナルヲ整理スルニ在リテ之レヲ横動セシムル爲メ「クランク、シャフト」ト下及ヒ「クランク」柄或ハ曲柄裝置ニヨリ横動シ得ヘクスル支持棒③ヲ設ケ又織布ヲ押壓スル所ノ轉子⑤ニハ押壓轉子⑤ニ該當シ轉子ニ螺旋又ハ護謨等ヲ付スルハ兩者共ニ相等シ以上ノ理由ニ依リ登録實用新案第一六四〇五號ハ其ノ出願前請求人ニヨリテ公知公用ニ屬セル特許第一七三六五號ト全然一致ス假ニ骨子タル構造以外ニ些少ノ差異アリトスルモ類似タルヲ免レサルナリ又本件實用新案ノ考案ノ根柢ハ織目調整轉子④ノ上方ニ押壓轉子⑤ヲ配置シ兩轉子間ニ織布ヲ挾持セシメツ、織目調整轉子ヲ横方向ニ往復動セシメテ以テ經絲ヲ完全齊一ナラシメントスル點ニ在リ而シテ本件特許ニ於テハ搖動杆②ハ「クランク、シャフト」ト下ノ爲メニ左右ニ交互ニ搖ラル、ニヨリ織布ハ其運動ヲ受ケテ組織全ク整頓スルモノニシテ織布ハ搖動杆ノ運動ヲ受ケテ左右ニ動搖セラル、モノナリ本件實用新案ハ既ニ此方法ヲ使用スルモノタル以上ハ織目調整杆ヲ横動セシメテ織布ヲ横動セシムルモノナルコトヲ知ルニ難カラス又之ヲ實際ニ考フルニ織布ニ

運動ヲ與フルニ非サレハ經絲ノ不揃ナルヲ整理スルニ由ナク又織布ニ運動ヲ與フル爲メニ非サレハ織目調整轉子ヲ横方向ニ往復動セシムルノ要ナシ而シテ此織目調整轉子ヲ横方向ニ往復動セシムルハ實ニ本件實用新案ノ骨子トスル所ナリ次ニ本件特許ニ於テモ織布ハ搖動杆ノ運動ヲ受ケテ左右ニ動搖セラ、ヲ發明ノ骨子トナセルコト明ナリ從テ本件特許ト實用新案トハ全ク考案ノ根柢ヲ同ウスルモノナルハ疑フヘキ點ナシト陳述シ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出シ且證人訊問竝ニ臨檢ノ申請ヲナセリ被請求人ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ムト申立テ其理由トシテ請求人ハ特許第一七三六五號ノ搖動杆②ト本件登録實用新案第一六四〇五號ノ織目調整轉子④トハ共ニ横動ニ依リ經絲ノ不揃ナルヲ整理スルニアルヲ以テ同一ナリト論スルモ特許裝置ノ搖動杆②ト本件登録新案ノ織目調整轉子④トハ其構造作用全然相違セルモノナリ即特許第一七三六五號ニ於テ織布ヲ左右交互ニ搖動セシムル考按換言スレハ織布ヲ交互ニ斜狀ニ牽張スル考按ヲ新規スルモノニシテ之カ爲メ該特許ニ於テハ左記條件ヲ必要トスヘキハ其明細書及圖面ニ依リ了知シ得ヘキ事實ナリA特許第一七三六五號ハ搖動杆ノ搖動ニ伴ヒ織布ヲ左右交互ニ搖動セシムルモノナルヲ以テ搖動杆ハ必ずヤ織布ニ密着シテ織布ト横動ヲ共ニスヘキコトB特許第一七三六五號ハ搖動杆ニヨリ織布ヲ左右交互ニ搖動セシムルモノナルヲ以テ搖動杆ハ必ずヤ二本以上ヲ列設スルヲ要シ且ツ搖動杆ヲ横動セシムヘキ曲柄裝置モ二本以上ノ搖動杆ヲ左右異方向ニ交互ニ搖動セシムヘキ構造ノモノタラシムヘキコト即チ是レ此ノ如ク特許第一七三六五號ニアリテハ搖動杆カ織布ニ密着シタル儘織布ヲ伴ヒテ横動スルヲ要スルコトハ該特許發明ヲ構成スル上ニ於ケル緊要條件ニシテ現ニ該特許明細書中「搖動杆②ハ織物ノ種類ニ依リ迂ヲ防ク爲メニ螺旋或ハ護謨等ヲ附ス」ト記載セルニ徴スルモ該特許ニ於テハ搖動杆②ヲシテ織布面ヲ摺動セシメサルヲ要スルコトヲ知ルニ足ルヘシ、然ルニ本件登録實用新案第一六四〇

五號ハ決シテ織布ヲ左右交互ニ搖動セシメテ整理スルモノニ非ス即チ本件登録ニ在リテハ織目調整轉子ヲシテ織布面ヲ摺動セシメ其周面ニ刻セル刻目ニ依リ織布ヲ摩擦シ以テ經絲ノ不揃ナルヲ整齊セシムル考按ヲ新規トスルモノニシテ從テ本件登録新案ニ在リテハ左記條件ヲ必要トス(A本件登録新案ノ織目調整轉子ハ必スヤ織布面ヲ摺動スルコトヲ要シ決シテ織布ト橫動ヲ共ニス可ラサルコト)B本件登録新案ノ織目調整轉子ハ織布ヲ左右交互ニ搖動セシムヘキ性質ノモノニ非サルヲ以テ必スシモ二本以上ヲ設クルノ必要ナク又假ニ之ヲ二本列設ストスルモ之ヲ交互ニ搖動セシムヘクナスノ必要ナキヲ以テ特殊ノ曲柄ヲ採用スルノ必要ナキコト是ナリ、以上詳説セルカ如ク特許第一七三六五號ハ織布ヲ左右交互ニ搖動セシメテ經絲ヲ整理スルノ考按ヲ新規ナリトシテ特許ヲ受ケ又本件登録新案ハ織目調整轉子ヲシテ織布面ヲ摺動セシメ之ニヨリ織布ヲ摩擦シテ經絲ヲ齊一セシムルノ考按ヲ新規ナリトシテ登録ヲ受ケタルモノニシテ兩者ハ全ク考按ノ根柢ヲ異ニシ從テ特許ノ搖動杆(ロ)ト本件登録新案ノ織目調整轉子(4)トハ全然其構造作用ヲ異ニスルモノナリ故ニ特許第一七三六五號ノ公知ナルハ毫モ本件登録新案ノ新規ナルコトヲ否定スルニ足ラス又特許第一七三六五號ノ搖動杆(ロ)ハ織布ニ密着シテ織布ト橫動ヲ共ニスルヲ要ス可キコトハ前段詳説セル所ノ如シ故ニ搖動杆(ロ)ハ之ニ回轉ヲ與フルヲ得ザルハ當然ニシテ現ニ該特許明細書及圖面ニ就テ見ルモ搖動杆(ロ)ヲ回轉スルカ如キ施設ナシ然ルニ本件登録新案ニ於テハ織目調整轉子(4)ハ之ヲ支持棒(3)ニ緩架シ支持棒(3)ヲ曲柄(6)ニ連繋セシメ以テ曲柄ノ回轉ニヨリ支持棒ヲ經テ織目調整轉子(4)ヲ往復動セシムルト同時ニ織目調整轉子自身ヲモ回轉スヘク構成シ以テ織面ノ整齊作用ヲ頗ル有效ナラシムヘクナセリ之ヲ特許第一七三六五號ニ於テ見ル能ハサル所ノ新規ノ構造ニシテ此點ニ於テモ本件登録新案ハ特許第一七三六五號ノ公知ナルニ拘ラス新規ナル考案タルコトヲ主張スルニ足ルヘシト確信スト陳述セリ

審決ノ理由 登録實用新案第一六四〇五號織布仕上機ノ構造機框ノ中央ニハ曲柄裝置ニ依リ橫動シ得ヘク支持棒(3)ヲ設ケ該支持棒ニハ之ト共ニ橫動スヘク周圍ニ數多ノ刻目ヲ刻セル織目調整轉子(4)ヲ緩着シ該轉子(4)ノ上方ニハ周圍ニ羅紗ノ如キ布ヲ卷キタル押壓轉子(5)ヲ設ケ兩轉子(4)(5)間ニ送出轉子ヨリ來ル織布ヲ挾持シ其織目ヲ齊一ナラシメタル後之ヲ卷取轉子ニ卷取ルヘクナシタルモノニシテ織布ニハ一定ノ牽張力ヲ有セシメ且ツ轉子(20)ノ間ニ織目調整轉子(4)ヲ置クヲ以テ該轉子(4)ノ前後ノ往復運動ニ從ヒ織布ハ該轉子ノ運動ニ伴ヒ前後ニ往復運動ヲ爲サントスル傾向アルモ押壓轉子(5)ノ爲メニ織布全體ノ運動ハ抑止セラレ織布ヲ構成スル各緯絲ニハ何等ノ關係ナク各經絲ノミ轉子(4)ノ爲メニ織布面内ヲ限リテ多少動搖シ以テ經絲ノ不揃部分ヲ完全ニ整列セシメ仕上ケラル、ニ至ルモノナリ次ニ特許第一七三六五號織物組織整理裝置ハ轉子(三)ト「クランク」シヤフト「下」及「クランク」柄(ハ)トニ依リテ前後ニ往復運動スル搖動杆トノ間ニ適度ニ伸張セラレタル織布ヲ置キ織布ヲ搖動杆(ロ)ノ爲メニ前後交互ニ搖動セシムルコト數回ニシテ箴羽ノ爲ニ經絲ノ偏倚セルヲ整頓シ得ヘクナシタルモノニシテ織布ヲ伸張シ轉子(三)ノ間ニ搖動杆(ロ)ヲ置キ搖動杆ノ爲メ織布全體ヲ「ク」字形ニ屈折セシメテ整理スルヲ目的トナシタルモノナリ從テ此兩者ハ織布整理ノ手段ヲ異ニス即チ前者ハ單ニ轉子(4)ヲ以テ織布面ヲ磨擦シ轉子(5)ノ爲ニ織布全體ニハ何等前後運動ヲ與ヘサルニ後者ハ織布全體ヲ搖動杆(ロ)ト共ニ轉子(三)ト相俟テ動搖セシムルモノナリ而シテ各異ナリタル手段ヲ遂行セシメンカ爲ニ案出セラレタル兩裝置カ其構造ヲ異ニスルハ當然ニシテ即チ前者ニハ往復動スヘキ轉子(4)ノ直上ニハ織布ヲ動搖セシメサラシメンカ爲メ必ス特ニ轉子(5)ヲ轉子(4)ニ密接シテ架設スルノ要アルモ後者ニハ搖動杆(ロ)ノ直上ニ轉子(三)ヲ置クノ必要ナキノミナラス織布ノ動搖ヲ殊更ニ容易ナラシメンカ爲ニ搖動杆(ロ)ト適當ノ距離アルコトヲ必要條件トナスモノニシテ本件登録實用新案ト特許トハ各前述シタルカ如キ構成ナルカ故ニ兩

者ハ互ニ其構造ヲ異ニスルモノト謂ハサル可ラス從テ特許第一七三六五號ハ登録實用新案第一六四〇五號ノ出願以前公ニ知ラレ且公ニ用キラレタル事實アリトスルモ以テ登録實用新案第一六四〇五號ヲ無効トナス可キ理由トナス能ハス曲柄軸ニ連結シタル往復動スヘキ轉子ニ依リテ織布ヲ整理セントスル考案ハ兩者均等ナルモノナレハ後願タル即チ明治四十二年十二月八日ノ出願ニ係ル登録實用新案第一六四〇五號ハ其先願タル明治四十二年十月二十日ノ出願ニ係ル特許第一七三六五號ニ依テ制限ヲ受クヘキモノト認ム仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年九月二十五日於特許局

審判長 特許局技師 押田 翼
 特許局事務官 奥山 萬次郎
 特許局事務官 田中 鐵二郎

第二千三十三號

東京市淺草區榮久町十一番地	請求人	藤村 清太郎
東京市神田區平永町一番地	請求人	村井 國助
東京市本郷區根津藍染町二十五番地	請求人	影山 佐吉
東京府北豐島郡日暮里村元金杉千九十五番地	請求人	中村 金三郎
東京市京橋區木挽町四丁目九番地特許辦理士	右代理人	細川 陽之介
東京市本郷區湯島天神町二丁目三十六番地	被請求人	天沼 源次郎

被請求人 安藤 仲次郎
 代理人 谷ヶ崎 治助

右當事者間ノ第一六四七七號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文(1)請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第一六四七七號登録實用新案敷島雪駄ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ明治四十二年十一月二十七日付出願ノ本件實用新案敷島雪駄ノ構造ハ裏面ノ周邊ヲ大面取形トナシ且臺木ノ隣接部ノ裏面ヲ溝形トナシタルヲ以テ新規ノ考案トナシタルモノナリ然レトモ斯カル構造ハ本件實用新案ノ出願前ヨリ帝國内ニ於テ公然用ヒラレタルモノナリ即請求人藤村清太郎ハ明治四十二年五月以來甲第一號證ノ如ク臺ノ周面ヲ護謨紐ニテ圍繞シ其圍繞セサル部分及隣接セル部分ヲ大面取形トナシタルモノヲ製造販賣シ來レリ又藤村清太郎ノ出願ニ係ル願書番號第四六四二五號實用新案ニ於テハ履物臺ノ周邊ノ下部ヲ大面取形トナスコトヲ記入セルモ斯カル公知ノ事項ヲ以テ考案ノ要點トナシタルニアラサルコトハ甲第二號證ニ依リ明カナルノミナラス斯カル考案ノ新規ナラサルコトモ亦明白ナリ又請求人カ登録ヲ受ケタル第一一六三九號實用新案ノ見本トシテ請求人カ明治四十一年十二月十九日付特許局ヘ提出セル甲第三號證ノ履物臺ニ於テモ臺木ノ周邊ノ下部及其隣接部ヲ面取形トナシタルコト明カナリ只該甲第三號證ノ面取形ハ本件新案ニ比スレハ大形ナラサル差アルモ等シク面取形ニナシタルコト明白ナリ然ラハ本件新案ハ甲第三號證ヨリ容易ニ應用シ得ヘキモノナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人等ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求

人カ第一一六三九號登錄實用新案ノ出願當時ニ臺木ノ周邊ヲ大面取形トスルコトカ公知ノ故ヲ以テ其
圖面ニ示サ、ルモノトセハ後日ニ到リ同人出願ノ實用新案願書番號第四六四二五號ニ於テ大面取形即
乙第二號證ノ如キ面取ニナシタルモノニ付出願セル理ナク却テ此事實コソ大面取形ニナスコトノ公然
用ヒラレタルモノニアラサルコトヲ證スルモノナリ又甲第三號證ノ溝ハ裏面ヨリ表面ニ通シ間隔ヲ置
キタルモノニシテ本件新案ノ如ク丸形溝ニアラサルノミナラス其面取形ニ於テモ亦本件新案ト異ナル
モノナリト云フニ在リテ乙第一、二兩號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件實用新案敷島雪駄及甲第一號證履物臺ハ構造ハ互ニ類似スルモノト認ム而シテ請求人
ハ右甲第一號證カ本件實用新案ノ登錄出願前即明治四十二年十一月二十七日以前ニ於テ已ニ公知ニ屬ス
ル所ナリト主張シ證人鈴木増次郎及高田幾次郎ノ證言竝ニ甲第二號證ニ依リ之ヲ立證セントセリト雖
證人鈴木増次郎ハ甲第一號證ノ購入期日及其員數等不知且臺帳ニモ記載セスト云ヒ只漠然四五年前甲
第一號證ヲ購入セリト云フニ過キサルヲ以テ其證言ハ信ヲ措クニ足ラス次ニ證人高田幾次郎ハ甲第一
號證黒塗リ縁取りナリ而シテ仕切書中ニ其旨記載シアルヲ以テ此記事ヨリ考フルニ甲第一號證ハ明治
四十二年八月中ニ買求メタリト思フト證言セルモ仕切書ニハ構造ニ付何等確固タル記載ナク單ニ黒塗
リ縁取りト記載シアリト云ヘルヲ以テ其證言モ亦信スルニ足ラス次ニ實用新案登錄願第四六四二五號
ハ明治四十三年四月十三日付出願ニ係リ本件實用新案ニ比シ約五箇月後ノ出願ニ屬スルヲ以テ譬ヒ其
圖面ノ說明書タル甲第二號證中本件實用新案ト同一構造カ表示セラル、モノト假定スルモ之レニ依リ
テ前出願ニ屬スル本件實用新案カ公知ニ屬スト認ムヘキ證據ト爲スコトヲ得ス次ニ甲第三號證ハ數箇
ノ木製幅廣齒ヲ併列シ之レヲ連接スルニ防水布、條片、護謄紐等ヲ用ヒタルモノニシテ各齒ノ裏面周邊
ニ施コセル面取りハ一般木材製品ニ行ナル、普通ノ面取りニシテ本件實用新案ニ於ケル如ク履物臺

側面ノ汚穢ヲ防止スヘキ特別ノ目的ニ於テ考案セラレタルモノトハ全然別異ノ考案ニ屬スルモノナリ
從テ本件實用新案ハ甲第三號證ヨリ容易ニ應用シ得ヘキモノニアラス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年九月二十八日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 奥山 萬次郎
特許局事務官 田中 鐵二郎

第二千二百二十二號

大阪市南區木津鴨町四丁目 請求人 藤代 宗吉
大阪市北區絹笠町十番地特許辨理士 右代理人 清瀬 一郎
德島市大字大工島村七十番邸 被請求人 村上 幸夫

右當事者間ノ第一四七六九號登錄實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 甲第一號證草刺鐵ハ第一四七六九號登錄實用新案ノ範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ甲第一號證草刺鐵ハ實用新案登錄第一四七六九號ノ權利ノ範圍ニ屬セ
ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ノ要點ハ一枚ノ鐵板ヲ屈曲シ支
柄部ニ支柄輪ヲ具ヘ且支柄部ヲ螺止メニシタル構造ナリ然ルニ甲第一號證草刺鐵ハ薄キ鋼鐵葉ヲ以テ
刃トシ之レニ鍛鐵ノ柄ヲ銚ヲ以テ付ケタルモノニシテ必スシモ一枚ノ鐵板ヲ以テセス又木柄ト接着セ

シムル爲メ輪狀ノモノヲ用ユレトモ之レヲ鐵柄ノ上方ニ具フルノミナラス其構造モ鐵ト同一鐵片ヲ伸
ハシタルニハアラスシテ別ニ鐵ノ帶狀ノモノヲ用キ而シテ支柄部ニ螺止メノ裝置ナシ故ニ兩者ハ其構
造ヲ異ニシ甲第一號證草剃鐵ハ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬セスト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第
三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件
實用新案ハ圖面及其說明ニ示セル如ク支柄部^〇、支柄輪^ハ、螺釘^ニヨリ成ルモノニシテ其主要部ハ支柄
部ニ支柄輪ヲ具ヘタル構造ニアリテ一枚ノ鐵板ヲ以テ作レルト又其材料ノ如キハ問フ處ニアラス然ル
ニ請求人ノ製造販賣スル甲第一號證草剃鐵ハ支柄部ニ支柄輪ヲ設ケ且ツ支柄部ノ先端ニ銀ニヨリテ剃
部ヲ取附ケテ成ルモノニシテ本件實用新案トハ大同小異ニシテ唯僅カニ支柄輪ヲ支柄部ノ内方ニ設ケ
タルト外方ニ設ケタルトノ差アルノミ其構造上類似物ナリ從テ甲第一號證草剃鐵ハ本件實用新案ノ權
利範圍ニ屬スヘキモノナリト云フニアリ

審決ノ理由 本件登錄實用新案第一四七六九號草剃鐵ハ其登錄出願書附屬圖面及說明書ニ徵スルニ一枚
ノ鐵板ヲ屈曲シ支柄部ニ支柄輪ヲ具ヘテ成ルモノナリ故ニ其手段ノ如何ニ拘ラス刃部及環部ハ常ニ一
體タルヲ要ス然ルニ甲第一號證草剃鐵ハ刃部及環部ノ取附ケ方ヲ異ニシ三片ヲ締結シテ成レルヲ以テ
一體ト認ムルヲ得ス故ニ兩者ハ其構造上全然異ルモノニシテ又類似シタル點ナシ仍テ主文ノ如ク審決
ス

明治四十四年十月三日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局技師 小野 喜 惣 治

特許局事務官 奥山 萬次郎

第二千二百二十七號

東京市下谷區下根岸三番地	請求人	大月 注 連 吉
東京市京橋區瀧山町一番地特許辦理士	右代理人	後藤 德 太 郎
東京市本所區中郷原庭町三十一番地	被請求人	高 橋 磯 吉
東京市下谷區龍泉寺町三百四十五番地	被請求人	田 中 濱 太 郎
東京府北豐島郡日暮里村字日暮里五十三番地	被請求人	清 水 作 一 郎
東京市本郷區根津宮永町二十八番地	被請求人	矢 澤 和 吉
東京府北豐島郡日暮里村字日暮里千二百二十四番地	被請求人	大 崎 嘉 市
東京市淺草區松清町五十番地	被請求人	高 田 兼 吉
東京市本所區林町二丁目六十三番地	被請求人	山 西 信 吉
東京市本郷區根津西須賀町十一番地	被請求人	唐 杉 久 彦
東京市淺草區西島越三番地	被請求人	野 口 市 太 郎
東京市芝區愛宕下町一丁目二番地	右九名代理人	野 村 此 平
東京市下谷區入谷町百四十三番地	被請求人	神 村 半 平

右當事者間ノ第二九〇五號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ第二九〇五號實用新案登録範圍ノ内麻絲ヲ以テ成ル縦
 絲(ハ)ヲ包被セシムヘク横絲ニ紙撚絲ニテ織込ム構造ノ外外筒(イ)内筒(ロ)ノ内外両面ニ漆ヲ塗布シタル
 構造及右麻絲又ハ紙撚絲ニ換ヘ縦又ハ横ニ或ハ縦横双方ニ綿絲ヲ用ヒテ織成スル構造ハ其部分ニ付實
 用新案ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件請求ノ趣旨ハ第二九〇五
 號實用新案登録範圍ノ内一部ノ無効審判ヲ求ムルニ在リテ其登録範圍ハ綿絲若クハ麻絲ノ縦絲(ハ)ヲ包
 被セシムヘク之ニ紙撚絲ニテ織込ミテ成ル内筒外筒ノ両面ニ漆ヲ塗布スル構造ニ在リ而シテ此登録範
 圍ハ同一效果ヲ奏スヘキ均等物ノ使用トシテ右麻絲又ハ紙撚絲ノ代用タル綿絲ヲ使用セル構造ニモ及
 フヘキヲ以テ結局本件實用新案權ノ範圍ハ綿絲又ハ麻絲ノ縦絲ヲ包被セシムヘク之ニ細キ紙撚絲又ハ
 綿絲ヲ織込ミテ成ル外筒内筒ノ内外面ニ漆ヲ塗布スル構造ニ及フヘシ然レトモ縦横ニ綿絲ヲ用ヒテ内
 外兩筒ヲ織成シ其内外ニ漆ヲ塗布シテ煙管筒ヲ製造スルコトハ本件實用新案ノ登録出願前公知公用ニ
 屬スルヲ以テ本件實用新案ハ麻絲ヲ以テ成ル縦絲(ハ)ヲ包被セシムヘク横絲ニ細キ紙撚絲ヲ織込ムコト
 ヲ以テ新規ト認ムヘキモノナリ故ニ此部分ヲ除ケル其餘ノ構造ハ權利外ナルヲ以テ一定ノ申立通り一
 部無効ヲ請求スルニ在リト云フニアリテ甲第一號證乃至第四號證ヲ提出セリ
 被請求人申立ノ要領ハ請求人ハ第一點ニ筒ノ内外両面ニ漆ヲ塗布スル構造ニ付其無効ヲ請求スルモ實
 用新案ナルモノハ各部分ヨリ構成セラレタル完成物ニ對シテ與ヘラレタル特權ナルヲ以テ右第一點ニ
 於ケル如キ一部分ノ無効ヲ求メ得ヘキモノニアラス又請求人ハ第二點ニ縦横双方ニ綿絲ヲ用ヒテ織成
 スル構造ニ付其無効ヲ主張スルモ此構造ハ本件實用新案ニ登録セラレタルモノニアラス只此構造ハ本
 件實用新案ヨリ容易ニ推考シ得ヘキ考案ナルヲ以テ其權利ノ效果カ之ニ及フノミ故ニ本件請求ハ登録

範圍以外ノ無効ヲ求ムルモノニシテ不適法ノ請求ナリ次ニ本件實用新案ハ其登録出願前公知公用ニ屬
 スルモノニアラスト云フニ在リテ乙第一、二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件第二九〇五號登録實用新案ハ其圖面及説明書ニ表示スル如ク縦ニ綿絲若クハ麻絲ヲ用
 ヒ此縦絲ヲ被包セシムヘク横ニ紙撚ヲ織込ミ其兩面ニ漆塗セル煙管筒ノ構造ヲ以テ其請求範圍トナス
 モノニシテ紙撚ハ本件實用新案ニ必須缺クヘカラサル要素ナリ何ントナレハ紙撚ハ之ヲ麻絲綿絲等ニ
 比スレハ漆汁ニ對シ吸收性ニ富メルヲ以テ其結果塗製品タル煙管筒ニ強靱性ヲ附與スヘキ特殊ノ效果
 ヲ奏スルモノナレハ然ルニ綿絲、麻絲等ハ本來固有ノ性質上斯カル特殊ノ效果即本件實用新案ノ
 特徴トスル效果ヲ奏スヘキモノニアラス從テ經緯ニ綿絲若クハ其何レカ一方ニ綿絲或ハ麻絲ヲ用ヒテ
 織成セル筒又ハ之レニ漆塗セル煙管筒ノ構造即請求人カ採リテ以テ無効ヲ請求スル構造ト本件實用新
 案トハ互ニ其目的トスル效果ヲ異ニセルモノニシテ構造上同一若クハ類似ト認ムヘキモノニアラス况
 シヤ本件實用新案ノ請求範圍、圖面、説明書等ニ徵スルモ亦請求人カ無効ヲ請求スル如キ構造ヲ以テ其
 權利範圍内ニ屬スヘキモノト認ムヘキ點ナキニ於テヤ畢竟請求人ハ本件實用新案權ノ本質ヲ誤解セ
 ル結果何等關係ナキ部分ニ付其無効ヲ請求スルモノニシテ其主張ハ不當ナリトス仍テ主文ノ如ク審決
 ス

明治四十四年十月五日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局事務官 織 田 了
 特許局事務官 押 田 翼

第二千四百四十三號

*百五十

愛知縣知多郡小鈴谷村大字坂井八番戸

東京市京橋區築地三丁目十一番地特許辨理士

東京市淺草區東三筋町四十六番地

東京市神田區五軒町五番地特許辨理士

請 求 人 皿 井 晋 平

右 代 理 人 清 水 市 太 郎

被 請 求 人 花 岡 昌 治 郎

右 代 理 人 日 山 豐 次 郎

右當事者間ノ第一六〇八二號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 實用新案第一六〇八二號花岡式光學教授器ノ登錄ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ實用新案第一六〇八二號花岡式光學式教授器ノ登錄ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決相成度其理由ハ請求人ノ考案ニ係ル第一二六二三號光學實驗器ハ明治四十二年四月十六日ヲ以テ登錄ヲ受ケ被請求人所有第一六〇八二號花岡式光學教授器ハ同四十三年二月二日ヲ以テ登錄ヲ受ケタルモノナリ而シテ被請求人ノ花岡式光學教授器ハ原考案者タル請求人ノ光學實驗器ノ主要部分ヲ全然模倣シ僅ニ暗箱ノ透溝ヲ箱ノ底部ニ移シタルト硝子板ヲ箱面ヨリ退ケテ嵌付シ左右ニ日避板ヲ設ケタルトノ差ニ過キス然レトモ之等ハ一ノ新規ナル考案ト認ムヘキ價値ナキモノナルヲ以テ被請求人ノ考案ハ請求人ノ考案ニ類似シ容易ニ應用シ得ヘキ程度ニ屬スルカ故ニ實用新案法第三條第二號ニ該當シ登錄スヘカラサルモノナリト云フニ在リ
被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決相成度其理由ハ請求人ノ登錄請求範圍ハ圖面ニ示ス構造トアリテ其如何ナル部分カ新規ナル爲ニ登錄セラレタルヤ明ナラ

スト雖此種ノモノニ就キ構造ノ沿革ヲ尋タルトキハ暗箱ノ頂面ニ溝ヲ設ケ此溝ヨリ丁字後ノ柄ヲ付シタル特殊ノ「レンズ」ヲ懸垂スヘカラシメタル構造ニ外ナラス然ルニ被請求人ノ有スル實用新案第一六〇八二號ハ導溝ヲ暗箱ノ下ニ設ケ以テ普通ノ臺附「レンズ」ヲ使用スルコトヲ得セシメ孔ヲ箱ノ左右ニ設ケ任意ノ方向ノ光線ヲ使用スルコトヲ得セシメ頂板ノ孔モ二倍トナシ硝子板ヲ退ケテ嵌付シ日避板ヲ箱ノ左右ニ取付ケ得ラルヘクナシタル構造ニアルヲ以テ全然新規トスル要點ヲ異ニスルモノナリ故ニ類似ニアラスト云フニ在リ

審決ノ理由 登錄實用新案第一二六二三號光學實驗教授器ハ暗箱ノ側面ニ光線射入板ヲ嵌替フヘキ扉ヲ設ケ頂面ニハ導溝ヲ穿チテ柄ヲ有スル「レンズ」ヲ懸垂進退スヘカラシメ前面ニハ硝子板ヲ張り又光線ヲ入ルヘキ小孔ヲ頂板ニ設ケタル構造ニ付キ登錄ヲ得タルモノニシテ被請求人ノ有スル實用新案第一六〇八二號花岡式光學教授器ハ暗箱ノ兩側面ニ光線射入板ヲ嵌替フヘキ扉ヲ設ケ底板ニ溝ヲ設ケテ臺附「レンズ」ヲ堅立進退スヘカラシメ前面ニハ少シク退ケテ硝子板ヲ張り又小孔ヲ頂板ノ兩端ニ設ケ尙前面兩側ニ日避板ヲ挿込ムヘキ用意ヲ施シタル構造ニ付登錄ヲ得タルモノナリ然ルニ登錄第一二六二三號光學教授器ハ其附屬圖面ニ於テハ光射入板ヲ嵌替フヘキ扉ヲ左側面ノミニ設ケ頂板ニ穿テ小孔モ左端ノミニ示サレアルモ素ヨリ其方面ヲ限定シ又一方ノミニ設ケサルヘカラサル理由ナク又導溝ヲ頂面ニ設クルモ底面ニ設クルモ要ハ「レンズ」ヲ箱内ニ進退セシムルニアルヲ以テ前記ニ新案ニ於ケル以上ノ構造ハ均等ニシテ類似ノ考案ナリト認ム而シテ前面ノ硝子ニ外部ノ物像ヲ映寫セシメサランカ爲日避ケ装置トシテ硝子ヲ退ケテ庇ヲ形成セシメ又避板ヲ側方ニ揃フルカ如キハ必要上任意ニ取捨セラルヘキ尋常ノ設計ニ過サルヲ以テ此等装置ノ存否ハ何等類似ヲ妨ケサルモノトス故ニ登錄實用新案第一六〇八二號花岡式光學教授器ハ其出願前公刊物タル實用新案公報ニ記載セラレタル登錄實用新案

*百五十一

第一二六二三號光學實驗教授器ヨリ容易ニ應用セラレヘキ程度ニ屬シ實用新案法第三條第二號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ反スルヲ以テ同法第十一條ニ依リ之ヲ無効ト爲スヘキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十月五日於特許局

審判長 特許局事務官 織田 了
特許局技師 小野 喜惣治
特許局事務官 三浦 惠一

第二千二百二十四號

請求人 藤野 奈良吉
右代理人 細川 陽之介
被請求人 永田 今朝治
右代理人 太田 熊藏

右當事者間ノ第二〇四五八號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文(第二〇四五八號實用新案ノ登録ハ之レヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第二〇四五八號登録實用新案ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人カ明治四十三年十一月十八日附ニテ出願セル第二〇四五八號登

録實用新案ハ一閑張或ハ長門心ニ「セルロイド」ヲ貼着シ任意ノ彫ヲ施シ之ニ漆ヲ塗布シタルモノナリ然ルニ請求人カ明治四十三年四月十八日附出願同年十一月八日附再審査拒絕査定ヲ受ケタル實用新案願書番號第四六六一七號都筒ハ紙捻編物即長門心ノ表面ニ「セルロイド」ヲ貼着シ其全體ノ内外ヲ漆塗ヲ施スコトハ最モ普通ナルヲ以テ此點ヲ以テ新規ノ考案タルト否トヲ判別スヘキモノニアラス從テ本件實用新案ト願書番號第四六六一七號都筒トハ同一考案ニシテ前者ハ後出願ニ係ルノミナラス請求人ハ前記出願後即明治四十三年四月下旬ヨリ都筒ヲ販賣シ來レルヲ以テ本件實用新案ハ當然無効タルヘキモノナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ願書番號第四六六一七號實用新案都筒ハ最モ普通ノ紙捻編物ヲ心トセルモノニシテ其製作ニ多大ノ手數ト勞力トヲ要シ且高價ナルノミナラス「セルロイド」ニ比シ耐久力強大ナルヲ以テ故障ナク斯カル不釣合ノ心ヲ用ウルハ不必要ノ事ニ屬シ却テ製品ノ目的ヲ減失シ效果少ナキ實用ニ適セサルモノナリ然ルニ本件實用新案ハ未タ曾テ應用セラレタルコトナキ一閑張ヲ心トナスカ故ニ前記ノ如キ種々ノ缺點ナキ優良ナル實用アル工業的新規ノ考案ニシテ之ヲ前者ニ比スレハ或ル種ノ心ニ貼着物ヲ附着シ塗料ヲ塗布スル順序ヲ同フスルカ如ク見ユルモ其要點タル製品ノ實質即構成作用竝ニ微細ナル工程ヲ異ニシ從テ製品ノ目的及效果相異ナルカ故ニ兩者ノ均等ニアラサルコト明ラカナリ又請求人ハ本件實用新案ハ其登録出願前公知公用ナリト云フモ其事實證據ニ詳ヲ悉サ、ルノミナラス果シテ如何ナル製品ナリシヤ不明ナルヲ以テ答辯スルニ由ナシト云フニ在リ

審決ノ理由 被請求人ハ紙捻心ト一閑張トノ差ニ依リテ本件煙管筒ノ互ニ相異ナル所以ヲ陳辯スルモ塗

漆製煙管筒ノ心ニ一閑張、長門編等ノ如キ紙製品ヲ用ユルコトハ舊來一般ニ行ハル、所ニシテ之等紙製品ノ換用ハ容易ニ推考シ得ヘキ普通ノ事項ニ屬シ之レヲ以テ本件係爭事件ヲ決スヘキ標準トナスニ足ラス尙又明治四十三年十一月十八日付出願ニ係ル本件實用新案ノ請求範圍中「一閑張或ハ長門心云々」ノ記事ニ徴スルモ本件實用新案カ心自體ニ重キヲ置カサルコトヲ認ムルコトヲ得ヘシ從テ本件實用新案ハ其請求範圍ニ説明スル如ク一閑張或ハ長門心等ノ如キ紙製品ノ心ニ「セルロイド」膜ヲ貼着シ之ニ彫刻ヲ施コシ全面ニ漆ヲ施コシテ成ル煙管筒ノ構造ヲ以テ新規ノ考案トナスモノナリ然ルニ請求人ハ右構造中彫刻術ヲ應用セサルモノ即チ長門心ニ「セルロイド」膜ヲ貼着シテ其全面ニ髹漆法ヲ施セル煙管筒ニ付明治四十三年四月十八日付ノ實用新案願書番號第四六一七號ヲ以テ都筒ナル名稱ノ下ニ出願セルモノニシテ此事實ハ當局保管ノ書類ニ依リテ明カナリ而シテ右彫刻術ノ有無ハ別構案ト認ムヘキ價値ナキヲ以テ結局本件實用新案ト右都筒トハ同一考案ヨリ成ルモノトス從テ本件實用新案ハ前記第四六一七號實用新案願ニ比シ後出願ニ屬スルヲ以テ本件實用新案ハ實用新案法第五條ノ規定ニ違反スルヲ以テ其登錄ハ同法第十一條ニ依リ無効タルヘキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十月九日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局技師 押 田 翼
 特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千二百三十二號

東京市本郷區湯島天神下同朋町一番地	請 求 人	清 水 藤 右 衛 門
東京市神田區五軒町五番地特許辦理士	右 代 理 人	日 山 豐 次 郎
東京市赤坂區青山南町六丁目百四十七番地	被 請 求 人	常 見 誠 一
東京市京橋區采女町二十一番地特許辦理士	右 代 理 人	石 原 卯 八
東京市京橋區采女町二十一番地特許辦理士	右 代 理 人	飯 田 治 彦

右當事者間ノ第二〇八三三號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ所有ニ係ル第二〇八三三號登錄實用新案權ハ之ヲ無効トス
 審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ所有ニ係ル登錄實用新案第二〇八三三號ハ明治四十四年二月一日出願シ同年六月八日登錄ヲ受ケタル者ニシテ其請求範圍ハ筒狀承^①及^②ノ周壁ニ螺旋釘^③及^④ヲ螺着シテ其内側ニ在ル管狀筒體^⑤ノ外周壁面ヲ支持押壓シ且ツ各螺旋釘ヲ調整シテ該管狀筒體ニ於ケル前後ノ中心位置ヲ變移調整スル構造ニ在リ然ルニ短圓筒(筒狀承)ニ押螺(螺旋釘)ヲ螺着シテ其内側ニ挿入シタル磨擦筒(管狀筒體)ノ外周壁面ヲ支持押壓シテ磨擦筒ヲ任意ノ位置ニ固定スヘクナシタル者ハ第二〇八三三號登錄實用新案ノ出願以前請求人所有ノ特許第一四三八三號及第一六五八八號圖面及ヒ明細書ニ依テ公知ニ屬スルノミナラス請求人カ明治四十二年中ヨリ帝國内ニ製造販賣セル清水式無砂精米機ノ現品ニ依テ公然用キラレタル者ナラス本件登錄實用新

案第二〇八三三號ハ實用新案法第三條各號ニ該當シ同法第一條ニ違反スル者ナレハ速カニ無効トスヘキ審決アリタシト云フニアリテ甲第一號證ヲ提出シ且人證ノ申立ヲナセリ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ本件登録實用新案第二〇八三三號ノ構造ハ其出願以前特許第一四三三八三號及第一六五八八號ノ圖面及明細書ニ依テ告知ニ屬スト云フモ特許第一四三三八三號及第一六五八八號ノ圖面及明細書ハ一々本件登録實用新案第二〇八三三號ニ於ケルカ如キ前方ノ承¹⁶並ニ前方ノ螺旋釘¹⁷^{17'}及後方ノ螺旋釘¹⁸^{18'}ニ該當スル構造アルヲ見ス唯僅カニ後方ニ一箇ノ押螺アリト雖モ是單ニ磨擦筒⁴ノ後端ヲ短圓筒⁵内ニ押壓支持スルノ用ヲ爲スニ過キスシテ到底磨擦筒⁴ニ於ケル前後ノ中心位置ヲ調整スルニ足ラス從テ磨擦軸⁶ト磨擦筒⁴トノ間ニ形成セラル、環狀空隙ノ常ニ均一ニ保持セシムヘク調節スル能ハサルハ言ヲ俟タス故ニ兩者ハ其構成及效果全然異ナル者ニシテ本件實用新案ノ新規ナルヲ否定スル能ハス次ニ請求人ハ本件登録實用新案ノ構造ハ請求人カ明治四十二年中ヨリ其特許權ニ基キ製造販賣セル精米機ノ現品ニ依リテ公然用キラレタル者ナリト云フモ是レ何等ノ根據ナキ妄言ニ過キス要スルニ請求人ノ主張ハ不當ナリト云フニ在リ

審決ノ理由 本件登録實用新案第二〇八三三號精穀機ノ構造ハ其說明書並ニ圖面ニ記載シアルカ如ク精穀機ニ於テ筒狀承²及¹⁶ノ周壁ニ螺旋釘¹⁷^{17'}及¹⁸^{18'}ヲ螺着シテ其ノ内側ニ在ル管狀筒體¹ノ外周壁面ヲ支持押壓シ且ツ該各螺旋釘ヲ調整シテ該管狀筒體ニ於ケル前後ノ中心位置ヲ變移調整セシメントシタル者ニテ其權利ハ前記ノ構造ニアルコト明ナリ請求人カ筒狀承ニ螺旋釘ヲ螺着シテ其内側ニ挿入シタル管狀筒體ヲ任意ノ位置ニ固定スヘクナシタル精穀機ハ本件登録實用新案出願以前ノ出願ニ係ル特許第一四三三八三號及特許第一六五八八號ノ圖面及明細書並ニ該特許ニ基キ製造販賣シタル清水式

無砂精米機ニ依テ公然知ラレ且ツ公然用キラレタル者ナリト主張スルモ同特許ノ明細書及圖面ニ依レハ押螺ハ單ニ磨擦筒⁴ノ後端ヲ短圓筒⁵内ニ押壓支持スルノ用ヲ爲スニ過キスシテ磨擦筒⁴ニ於ケル前後ノ中心位置ヲ調整スルヲ得サル構造ナルコト明ナリ又該特許ニ基キ製造販賣シタル清水式無砂精米機ノ一部〔甲第一號證〕ヲ見ルニ三箇ノ押螺ハ唯僅ニ磨擦筒ノ後方ニ設ケタルニ過キスシテ本件登録實用新案ニ具備スル承¹⁶及螺旋釘¹⁷^{17'}ノ構造ハ全然之ヲ缺如セルヲ以テ磨擦筒ノ前後ノ中心位置ヲ完全ニ調整スルコト能ハサル者ナリ此兩者ハ其構造ヲ異ニセルカ故ニ前掲特許ヨリ容易ニ應用スヘカラサルモノニシテ假令公然知ラレ且ツ公然用キラレタル事實アルモ本件登録實用新案ヲ無効トナスヘキ理由トナス能ハス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十月十二日於特許局

審判長 特許局事務官 織 田 了
特許局技師 小 野 喜 惣 治
特許局技師 押 田 翼

第二千百九十七號

東京市神田區猿樂町六番地
東京市京橋區木挽町四丁目九番地特許辨理士
奈良市東向南町二十八番地
大阪市東區高麗橋二丁目百二十六番屋敷特許辨理士

請 求 人 關 川 常 介
右 代 理 人 細 川 陽 之 介
被 請 求 人 吉 田 安 治 郎
右 代 理 人 岡 田 謙 三 郎

右當事者間ノ第一一七九號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ販賣スル甲第一號證(實物及ヒ圖面)ノ胴體ノ一側部ニ圓筒狀ノ口部ヲ設ケ胴體ノ底ト口部ノ底トノ間ニ凸部ヲ形成セシメ以テ兩底部ヲ分界シタル「インキ」壺ノ構造ハ登録實用新案第一一七九號ノ權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ販賣スル甲第一號證「インキ」壺ハ請求人所有ノ登録實用新案第一一七九號ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ノ販賣セル甲第一號證「インキ」壺ハ胴體ノ一側部ニ高ク圓筒狀ノ口部ヲ設ケ胴體ノ上面ハ稍弧狀ニ隆起セシメ胴體ノ底ト口部ノ底トノ間ニ凸部ヲ形成シ以テ兩底ノ境界トナシタル構造ニシテ登録實用新案第一一七九號亦之ト同一構造ノ「インキ」壺ニ付登録ヲ受ケタル權利ナルコト實用新案公報第九十三號ニ掲載セラル、所ニヨリテ明カナリ是ヲ以テ甲第一號證ノ「インキ」壺ハ登録實用新案第一一七九號ノ「インキ」壺ト其形狀ニ於テ小異アルニ拘ラス到底其ノ權利範圍ヲ脱セサルモノタルコト多辯ヲ俟タスト云フニ在リテ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要旨ハ被請求人カ販賣スル「インキ」壺ハ請求人所有ノ登録實用新案第一一七九號ノ權利範圍ニ屬セス本件請求ハ之ヲ棄却ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ其提出ニ係ル甲第一號證「インキ」壺ノ如ク壺ノ一側部ニ掛ケ圓筒狀ノ口部ヲ設ケ壺ノ底ト口部ノ底トノ間ニ凸部ハヲ形成シタルモノハ請求人所有ノ第一一七九號登録實用新案「インキ」壺ノ權利範圍ニ屬スルモノナリト稱スレトモ甲第一號證ハ壺ト口部トノ間ニ殊更ニ境界トナルヘキ凸部ヲ設ケタルモノニアラス總テノ硝子壺ニ於テ底ノ中央部ヲ上方ニ隆起セシムルコトハ古來極メテ普通ノ事ニ屬ス

ルヲ以テ甲第一號證ニ於テ底ヲ上方ニ隆起セルモ請求人ノ權利範圍ニ屬スルモノト云フヲ得ヌ又甲第一號證「インキ」壺ト被請求人ノ製品ト相類似セル所アリトスルモ被請求人ノ製品ハ壺ノ一端ニ口ヲ設ケ凸部ヲ形成セシメタルカ爲メ壺ノ内部ニ於テ底カ自然ニ傾斜セルニ由リ「インキ」カ口部ニ集注スルノ便アルト同時ニ他端ニ筆立ノ設ケアリテ毛筆又ハ「ペン」ヲ立テ置クノ利アルヲ以テ甲第一號證ノ者トハ形狀構造及其效果ヲ異ニスル者ナルコト自ラ明カナリ從テ被請求人ノ「インキ」壺ハ請求人ノ權利範圍ニ屬スル者ニ非スト云フニ在リテ乙第一號證ヲ提出セリ

審決ノ理由

被請求人ノ販賣スル甲第一號證(實物及圖面)「インキ」壺ノ構造ハ胴體ノ一側部ニ圓筒形ノ口部ヲ設ケ胴體ノ底ト口部ノ底トノ間ニ凸部ヲ形成シテ口部ノ底ト胴體ノ底トノ境界トナシ胴體ノ上面内部ニ凹窪セシメタル筆立ヲ設ケタルモノナリ被請求人ハ如斯構成セラレタル「インキ」壺ハ被請求人ノ所有ニ係ル登録實用新案第一一六二三號吉田式「インキ」壺ニシテ登録實用新案第一一七九號ノ權利範圍ニ屬スル者ニ非ラスト抗辯スレトモ登録實用新案第一一六二三號ノ權利ハ單ニ「インキ」壺ノ

上面一端ニ凹窪ヲ設ケ筆立トナシタル構造ニ存スルコト其說明書並ニ圖面ニヨリテ明カナレハ甲第一號證「インキ」壺ハ登録實用新案第一一六二三號ノ權利ヲ實施シタルト同時ニ登録實用新案第一一七九號ノ權利タル「インキ」壺ノ一側部ニ圓筒狀ノ口部ヲ設ケ胴體ノ底ト凸起部ヲ設ケテ口部ノ下底ト胴體ノ下底トノ境界ト爲シタル構造ヲモ併セタル者ナルヲ以テ其ノ底部ノ構造ニ關シテハ登録實用新案第一一七九號ノ權利範圍ニ屬スル者ト云ハサルヲ得ヌ被請求人ハ總テノ硝子壺ニ於テ底ノ中央部ヲ上方ニ隆起セシムルコトハ極メテ普通ノ事ニ屬スルヲ以テ甲第一號證ニ於テ底ヲ上方ニ隆起セルモノ本件登録實用新案第一一七九號ノ權利範圍ニ屬セスト主張スルモノ之ヲ認ムヘキ證據ナク從ツテ採用スルニ足ラス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十月二十四日於特許局

審判長

特許局技師

梅野兵太郎

特許局事務官

織田了

特許局技師

押田翼

*百六十

第二千百十八號

京都市下京區新橋通大和路東へ入二丁目橋本町九番戸

請求人 吉澤與三郎

京都市上京區堺町二條上ル特許辨理士

右代理人 甘糟勇雄

京都市上京區丸太町小川角特許辨理士

右代理人 岡田信次郎

大阪市東區南久寶寺町二丁目四十番屋敷

被請求人 植實源治郎

大阪市東區久寶寺町一丁目四十一番地

被請求人 富田丑松

大阪市東區高麗橋五丁目四十八番地特許辨理士

右兩名代理人 奥戸善之助

右當事者間ノ第六四七五號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人等カ製造シタル甲第一號證「リボン」ハ登録實用新案第六四七五號「ライトリボン」ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ實用新案ノ權利範圍ハ其偽造模造ニ迄及フモノナリ然ルニ前記登録實用新案ハ其登録請求範圍ヲ見ルニ「リ

ボン」地ノ染模様ノ縁ニ金銀其他ノ色ヲ爲セル金屬小片及貝片ヲ糊着シテ爲ル裝飾「リボン」ナルコト明瞭ナリ而シテ其染模様ナルモノハ實用新案ノ要素ヲ爲サ、ルコト實用新案法第一條ニ依リ明ナレハ本案ハ「リボン」地ニ金銀其他ノ色ヲ爲セル金屬小片及貝片ヲ糊着シ其裝飾ニ依リ模様ヲ表シタル構造ノ新規ナル點ニアリ然ルニ甲第一號證ハ被請求人等ノ取扱ニ係ルモノニシテ「リボン」地ニ「ダイヤ」粉末ヲ以テ菊花其他ノ模様ヲ表顯セシメタルモノニシテ明カニ本件實用新案ノ模造品ニ係リ其權利範圍ヲ侵害スルモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出シ且檢證ノ申立ヲ爲セリ

被請求人申立ノ要領ハ本件第六四七五號登録實用新案ニ付テハ「麗キ」ニ被請求人ヨリ請求人ニ對シ權利範圍確認ノ審判ヲ求メ勝訴トナリ確定シタルコトアリ本件ハ其内容全ク之レト同一ナレハ再ヒ審判ヲ求ムルノ必要ナシ又本件實用新案ハ「リボン」地ニ染模様ヲ施スコト一、染模様ノ縁ニ金銀其他ノ色ヲナセル金屬小片又ハ貝類ヲ糊着スルコトヲ要素トス然ルニ甲第一號證ハ染模様ナキ無地ノ「リボン」ニ「ダイヤ」粉ヲ散布シ之ヲ以テ或ル種ノ形狀ヲ表ハスモノニシテ其構造ヲ異ニスルノミナラス如キハ從來各種ノ織物又ハ髮掛「リボン」類ニ廣ク用キラレタル所ニシテ公知公用ニ屬スルモノナリ從テ染模様ナキ甲第一號證カ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬セサルハ勿論請求人ノ所謂模造トモ稱スルコトヲ得サルモノナリト云フニアリテ乙第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 被請求人ハ本件ハ審判番號第一六四三號抗告審判番號第五七號事件ト内容全ク同一ナリト云フト雖該審判ノ目的物ハ無地ノ「リボン」ニ「ダイヤ」ノ粉末ヲ不規則ニ糊着シタルモノナルモ本件審判請求ノ目的物ハ無地ノ「リボン」ニ蝶形ヲ形成セシムヘク「ダイヤ」ノ粉末ヲ糊着セシメタルモノナレハ第六四七五號實用新案權ノ範圍ヲ確認スヘキ本件ニ關シテハ彼レト此レトハ其目的物ヲ異ニシ同一審判ト稱スルコトヲ得サルモノトス請求人ハ又本實用新案中染模様ナルモノハ實用新案法第一條ニ依

*百六十一

リ其要素ヲナササルモノナレハ本件實用新案ハ「リボン」地ニ金屬其他ノ色ヲ爲セル金屬小片及貝片ヲ糊着シ其裝飾ニ依リ模様ヲ表顯セシメタル「リボン」ノ構造ノ新規ナルニアリト云フト雖本件實用新案ノ登録請求範圍ヲ案スルニ「リボン」地ニ金銀又ハ其他ノ色ヲナセル金屬小薄片及之レニ類セル貝片等ヲ附着シテ裝飾スル構造ニ於テ特ニ是等ノ附着物ヲ染模様ノ縁ナル位置ニ糊着スルヲ以テ必要條件ト爲ヌモノナルコトハ其圖面及登録請求範圍ニ徴シテ明ニシテ其染模様ノ縁ニ金屬其他ノ小片ヲ糊着シテ染模様ト同様ナル模様ヲ表顯セシムルコトハ本件實用新案ノ考案ノ要部ヲ爲ヌモノナリ然ルニ甲第一號證「リボン」ハ染模様ナキ無地ノ「リボン」ニ「ダイヤ」ノ粉末ヲ糊着シ蝶形ヲ表ハシタルモノナルヲ以テ此點ニ於テ本件實用新案ト異ナルモノトス從テ甲第一號證ハ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬セサルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎
特許局事務官 村 山 小 次 郎

第二千百九十二號

大阪市東區北久太郎町三丁目九番地 請 求 人 高 増 彌 助
京都市上京區富小路通二條下ル辯護士 右 代 理 人 佐 久 間 七 郎
大阪市南區東清水町百五十七番屋敷 被 請 求 人 奥 田 フ ミ

右當事者間ノ第一六六九二號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 本件請求ハ之ヲ却下ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第一六六九二號登録實用新案權ハ請求人ノ製造販賣スル「別紙圖面及其說明書記載ノ者」ニ及ハス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ハ請求人ノ發明ニ係ル別紙圖面及其說明書記載ノ團扇カ登録實用新案第一六六九二號夜光團扇ハ其構造類似セルヨリ權利侵害ナリトシテ大阪地方裁判所へ告訴スルト同時ニ大阪區裁判所ニ依リ請求人ノ製品タル上記團扇ノ全部ヲ差押ヘタリ然レトモ請求人ハ去ル明治四十二年九月上記ノ團扇ヲ發明シ之ヲ製造販賣スルト同時ニ實用新案登録ヲ出願シテ實用新案法第三條第一號ニ該當シ登録スヘカラサル者トノ査定ヲ受ケタル者ニシテ被請求人第一六六九二號登録出願前既ニ帝國内ニ於テ發明實施ノ事業ヲ爲シ居リタル者ナレハ實用新案法第二十九條特許法第二十九條ニ依リ第一六六九二號ノ權利ハ此ニ及ハサルモノト信スト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ
被請求人答辯ノ要旨ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ抑モ實用新案法第二十九條特許法第二十九條ノ保護ヲ受ケント欲セハ其目的物カ彼此同一又ハ類似ナラサルヘカラス然ルニ請求人ノ出願ニ係ル光輪團扇ト被請求人ノ登録實用新案第一六六九二號夜光團扇トハ同一又ハ類似ノ者ニアラス則チ一ハ登録ヲ受ケ他ハ之ヲ受ケサル所以ナリ然ルニ請求人ハ其一部ニ使用スル資料カ被請求人使用ノモノト同一ナルヲ奇貨トシテ我カ製品ト全ク同一ナル物ヲ内密ニ製造販賣スルコトヲ探知シタルカ故ニ之カ差押ヲナシタルモノナリ若シ請求人ニ於テ眞ニ其主張ノ如キ確信アリトセハ何ソ初ヨリ正々堂々タル所爲ニ出テサリシヤ事此ニ出テヌ被請求人ノ追求ニ遇ヒ不正ノ利得

ヲナスノ途無キニ至リ初メテ實用新案法第二十條特許法第二十九條ノ保護ヲ求メタルハ其極極マレリ
ト云フニ在リテ乙第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 登録實用新案第一六六九二號ノ權利ハ去ル明治四十四年七月十日無効トストノ審決アリテ
該審決ハ明治四十四年九月十九日確定シタルカ故ニ本件審判ノ目的物ハ既ニ消滅シタル者トス仍テ主
文ノ如ク審決ス

明治四十四年十月二十六日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局技師 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千二百八十八號

東京市麹町區道三町特許局審査官 請 求 人 小 野 喜 惣 治
東京市麹町區道三町特許局審査官 請 求 人 三 浦 惠 一
横濱市内田町六丁目二十四番地 被 請 求 人 渡 邊 庄 之 助

右當事者間ノ第二一五二三號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 登録第二一五二三號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ登録第二一五二三號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求

人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人カ明治四十四年二月二十五日出願ヲ爲シ同年八月十四日
登録ヲ受ケタル本件登録實用新案輕便卷取罐ノ構造ハ罐詰用罐ノ胴飯ヲ其成形前其上部適當ノ位置ヲ
撰ミ滑面「ロール」ト適當ノ間隔ヲ存シテ斷面V字形ノ突輪ヲ有スル「ロール」トニ依リ二條ノ凹溝ヲ刻
設シ其該設面ヲ内側ニ面セシメテ罐ヲ成形シ且凹溝ノ間隔ト同一ノ幅ヲ有セシメタル卷取導片ヲ凹溝
間ノ胴飯重合部ノ傍ニ鑲着シ其一部ヲ摺起自在ナラシメ之ヲ以テ胴飯ノ凹溝間ノ部分ヲ截割シナカラ
卷キ起シ得ル様ナシタルモノナリ然ルニ罐詰用罐ノ胴飯ヲ其成形前其上部適當ノ位置ニ滑面「ロール」
ト適當ノ間隔ヲ存シテ斷面V字形ノ突輪ヲ有スル「ロール」トニ依リテ二條ノ凹溝ヲ刻設スル機械ハ已
ニ明治四十年十月五日水産講習所ニ備付ケ爾來生徒傳習用トシテ使用シ居ルコトハ水産講習所長下啓
助カ大日本罐詰業聯合會長村田保ニ對シ發シタル甲第二號證ニ依リテ明ナリ又甲第四號證及甲第五號
證ノ卷取罐詰ハ本件登録實用新案ト同一ノ構造ニシテ然カモ該實用新案出願以前已ニ公知ニ屬スルモ
ノナリ從ツテ本件登録實用新案ノ登録ハ實用新案法第一條ノ規定ニ反シ同法第十一條ニ依リ無効ト爲
スヘキモノナリト陳述シ甲第一號證乃至甲第十號證ヲ提出セリ

被請求人ハ居所不明ノ爲メ審判請求書ヲ送達スル能ハス
審決ノ理由 本件登録實用新案第二一五二三號輕便卷取罐ト同一ノ構造ヨリ成ル罐ヲ明治四十年十月五
日農商務省水産講習所ニ於テ備付ケタル卷取罐製造機械ニ依リ製作シ多數生徒ノ傳習用ニ供シタリシ
事實ハ甲第二號水産講習所長下啓助ノ回答書ニヨリテ之ヲ認メ得ヘク又明治四十二年五月日本和洋酒
罐詰新聞社ノ主催ニ係ル第十一回見本賣買會ニ出品シタル罐詰中本件登録實用新案ト同一構造ヨリ成
ル罐ノ出品アリタルコトハ證人風戸彌太郎ノ證言ニヨリ之ヲ認メ得ヘキヲ以テ本件登録實用新案ハ其
出願即チ明治四十四年二月二十五日以前ヨリ帝國内ニ於テ公然知ラレ公然用キラレタルコト明ニシテ

更ニ疑ナキ所ナリ故ニ本件實用新案ノ登録ハ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ違
反スルヲ以テ同法第十一條ニ依リ無効トナスヘキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス
明治四十四年十月二十七日於特許局

審判長 特許局事務官 織田了
特許局技師 押田翼
特許局事務官 奥山萬次郎

第二千二百七十七號

大阪市北區西野田東之町千三十八番地

請求人 合資會社大阪製罐所

右代表者

大阪市東區備後町二丁目三十六番地特許辦理士

右代理人 上杉正八

大阪市東區平野町二丁目五十五番屋敷

被請求人 堤他彦

大阪市東區高麗橋二丁目百二十六番屋敷特許辦理士

右代理人 岡田謙三郎

右當事者間ノ第一三五〇六號實用新案無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第一三五〇六號實用新案登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被

請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ハ半輪形又ハ數倍ノ凹部ヲ壘ノ肩頸部ニ設ケタ
ル構造ノ玉入壘ニシテ明治四十二年六月十六日ノ登録ニ係ルモノトス然ルニ甲第二號證ノ如ク壘ノ肩
頸部ニ數倍ノ凹部ヲ設ケタルモノハ明治初年ノ頃ヨリ盛ニ本邦ニ於テ販賣セラレ且甲第三號證ノ通リ
本件實用新案登録出願前帝國内ニ頒布セラレタル英國特許公報中西曆一八七七年特許第三九〇三號ニ
モ亦右構造ノ記載アリテ請求人ハ該特許ヲ利用シ本件實用新案ノ出願前ヨリ甲第四號證ノ物件ヲ製作
販賣セリ又甲第五號證タル明治四十一年五月二十三日登録第九〇六一號實用新案ト本件實用新案トヲ
對比スルニ單ニ凹部ノ位置ヲシテ壘ノ底部ニ接近セシメタルト肩頸部ニ設ケタルトノ差アルニ過キス
シテ兩者類似スルモノナリ又壘ノ肩頸部ニ凹入シタル半輪形ヲ設ケル如キハ以上ニ述ヘタル構造ヨリ
容易ニ應用シ得ヘキモノニシテ新規ノ考案ト云フヲ得スト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第五號證ヲ
提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ甲第二
號證ハ玉ノ肩ヨリ落下スルコトヲ阻止セルモノニシテ之レカ爲メニ壘内ノ掃除ヲ完全ナラシムルコト
能ハス之ニ反シテ本件實用新案ハ内容物注出ノ際玉ヲ凹部ニ受ケ留メ且容易ニ壘内ヲ掃除シ得ヘキモ
ノニシテ甲第二號證ノ類似ニアラス又甲第三號證ハ本件實用新案トハ其目的ヲ異ニスルノミナラス其
構造モ其譯文中ニ記載スル所ニ依レハ相異ナルモノナリ又請求人カ甲第三號證ヲ利用シテ甲第四號證
ヲ製造セリト云フ事實ハ認メス次ニ甲第五號證ハ底部ニ凹入部ヲ設ケタルモノニシテ本件實用新案ト
ハ大ナル相違アリト云フニ在リ

審決ノ理由 甲第二號證壘ノ構造ハ壘肩部ニ於テ左右ヨリ水平ニ各一條ノ相對セル併行ノ凹陥條ヲ以テ
狹窄部ヲ設ケ球栓ノ壘底ニ落下スルヲ防キ且該狹窄部ノ稍ヤ上前部ニ當リ八字形ノ凸條ヲ設ケ内容液

ヲ塚ヨリ注出セントスル際球栓ヲ該山條間ニ挾持スヘクナシタルモノナリ又甲第三號證圖示ノ塚ハ同シク其肩部ニ八字形ノ凸條ヲ設ケタルモノニシテ狹窄部ヲ備ヘサル只此一點ニ於テ甲第二號證ノ塚ト其構造ヲ異ニスルノミ又甲第五號證タル登録第九〇六一號塚ノ構造ハ其圖面及説明書ニ依レハ底部ニ接近セル塚ノ側邊ニ内方ニ向テ併列シテ突出セル凸起ヲ設ケタルモノナリ故ニ甲第二號證及甲第三號證ノ塚ハ八字形ヲ形成スヘキ二倍ノ凸條又甲第五號證ハ二倍ノ併列セル凸起ノ作用ヲ利用スル考案ニ基クモノナリ然ルニ本案ハ塚ノ肩部ニ水平ニ一倍若クハ數箇半輪形ノ凸條ヲ設ケタル特殊ノ構造ヲ有スルモノニシテ球栓ヲ支持スルニ單ナル一倍ノ半輪形凸條ノ作用ヲ利用スル考案ニ基クモノニシテ前記各甲號證トハ其考案ノ根本ヲ異ニスルモノナリ從テ本件實用新案ハ前記各甲號證ニ類似シ若クハ之レヨリ容易ニ推考又ハ應用シ得ヘキモノト認ムルコトヲ得サルノミナラス假令該各甲號證カ本件實用新案ノ登録出願前公知公用ニ屬スルモ之レカ爲メ本件實用新案ノ無効タルヘキ理ナシ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十月三十日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局事務官 織 田 了
 特許局技師 押 田 翼

第二千二百四十三號

東京市淺草區永住町百三番地

請求人 松 田 修 一

東京市神田區佐久間町三丁目二十一番地特許辦理士 右代理人 音 羽 耕 逸
 東京市日本橋區馬喰町一丁目十二番地 被請求人 吉 井 安 吉
 東京市京橋區西紺屋町三番地特許辦理士 右代理人 岡 崎 正 也
 東京市京橋區西紺屋町三番地特許辦理士 右代理人 大 橋 興 四 郎
 東京市京橋區采女町二十七番地特許辦理士 右代理人 木 戸 傳

右當事者間ノ第一八七六九號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 被請求人カ製造販賣スル甲第三號證記載ノ帽子ノ構造即鳥打帽ノ縫目ノ裏面ニ伏布ヲ利用シテ馬尾毛製織布ヲ縫着スル構造ハ登録第一八七六九號實用新案ノ權利範圍ニ屬ス
 審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ甲第三號證ナル鳥打帽子ノ縫目ノ裏面ニ於ケル伏布中ニ獸毛〔多クハ馬尾毛〕ヲ經トシ綿絲ヲ緯トシテ織成シタル織布ヲ挿入シ之ヲ帽子ノ布ニ縫着シテ成ル構造ハ登録第一八七六九號實用新案權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ノ登録第一八七六九號實用新案ノ請求範圍ハ(一)「ホック」帽ノ伏布中ニ獸毛ヲ卷キ纏メテ挿入シ之ヲ帽子ノ布ニ縫着シタル構造ト(二)前庇中ニ馬毛ノ織物ヲ眞トスル構造トニ依リ永久ニ帽形ヲ保タシメントスルニ在リ然ルニ被請求人ハ甲第三號證ノ如ク帽子ノ布ニ縫着シタル伏布中ニ獸毛織物ヲ挿入セル帽子ヲ製造販賣セリ而シテ此帽子ノ構造ハ本件實用新案ノ前記(一)ノ構造ト全ク相一致セルモノト信ス即本件實用新案ト甲第三號證ノ帽子トハ其形狀互ニ同一ナルノミナラス兩者ニ於ケル獸毛ハ形質共ニ同一ナリ只前者ハ獸毛ヲ卷キ纏メ後者ハ織リ纏メタル差アルモ是レ獸毛ヲ一括シテ挿入スル普通ノ手段ニ過キスシテ帽子ノ縫目ノ裏面ニ伏布ニテ獸毛ヲ縫着スル構造ハ兩者同一ナリ且ツ獸毛ヲ利用ス

ルハ帽形ヲ永久ニ保タシムル爲メニシテ其目的ニ於テモ亦兩者相一致ス從テ後者ノ構造カ前者ノ權利
範圍ニ屬スヘキハ明カナリ又被請求人ハ甲第三號證ノ構造ハ自己ノ有スル甲第四號證即登錄第一九五
八一號實用新案權ノ範圍ニ屬スルモノト云フモ甲第四號證ハ鯨鬚、「セルロイド」、鋼線等ヲ使用スル
モノニシテ獸毛ヲ除外セルモノナルヲ以テ其範圍ニハ獸毛ヲ包容セスト云フニ在リテ甲第一號證乃至
甲第四號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實
用新案第一八七六九號ノ權利ハ甲第一號證記載ノ如ク(一)「ホック」帽ノ伏布中ニ獸毛ヲ纏メ絲ニテ卷
キタルモノヲ挿入シ之ヲ帽子ノ縫目裏ニ縫着シタル構造ト(二)帽ノ前庇中ニ馬毛織物ヲ眞トシテ挿入
シタル構造トノ組合ハセニ存スルコト明カナリ然ルニ本件被請求人ノ製造ニ係ル彈線入鳥打帽子ハ其
前庇ハ普通ノモノニシテ請求人ノ「ホック」帽トハ其構造異ナルノミナラス帽子ノ縫目裏ニハ馬尾ト綿
絲トノ交織物ヲ適宜ニ細切シテ縫ヒ伏セタルモノニシテ請求人ノ帽ノ如ク一ニ獸毛ヲ纏メ絲ヲ以テ卷
キタルモノヲ縫込ム構造トハ全ク異ナルモノナリ次ニ請求人ノ新案帽子ノ構造ハ前說明ノ如ク獸毛ヲ
纏メ絲ニテ卷キタルモノヲ帽ノ縫目裏ニ縫ヒ伏セタル特定ノ構造ニ局限セラレアルモノニシテ假令同
一ノ效果ヲ生スル場合ト雖モ他ノ材料ヲ縫ヒ伏セル構造ノ別個ノ新案ニ屬スルモノナルコトハ當然ニ
シテ現ニ甲第四號證カ本件實用新案ノ登錄後ニ於テ登錄セラレタル事實又次テ乙第一號證登錄第二〇
九五六號實用新案ニ於テ馬尾毛ト綿絲トノ交織布ヲ帽子ノ縫目裏ニ縫ヒ伏セルコトノ新案權ヲ認メラ
レタル點ニ徴スルモ明カナリ而シテ本件係爭被請求人ノ帽子ハ右乙第一號證ノ構造ヨリ成ルモノナリ
ト云フニ在リテ乙第一號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 請求人ハ甲第四號證タル登錄第一九五八一號實用新案又被請求人ハ甲第四號證及登錄第二

〇九五六號實用新案ヲ引用シテ各自論スル所アルモ本件ハ之等實用新案權ト本件登錄第一八七六九號
實用新案權トノ係爭ニアラスシテ本件ハ甲第三號證記載ノ帽子ノ構造カ本件實用新案ノ權利範圍ニ屬
スルヤ否ヤヲ決スルヲ以テ足レリトス仍テ本件實用新案ト甲第三號證ニ記載セル帽子ノ構造トヲ比較
スルニ兩者共ニ普通ノ鳥打帽子ニ於テ其縫目裏ニ伏布ヲ利用シテ馬尾毛製ノ材料ヲ縫着スル考案ヲ採
用セルモノナリ只其相異ナル點ハ前者ハ紐狀ノ馬尾毛ヲ用ヒ後者ハ馬尾毛製織布ノ細片ヲ用ユル差
ルノミ然レトモ紐狀タルト將又細片タルトヲ問ハス共ニ彈性ヲ有スルモノニシテ帽體ヲ屈折スルモ原
形ニ復サシムヘキ效果ニ於テ共ニ均等ナルヲ以テ該紐狀馬尾毛ト同織物細片トハ同一目的ニ於テ互ニ
均等物ニ屬シ別異ノ構造タルヘキ差ヲ生スルモノニ非ス從テ後者ニ於ケル馬尾毛製織布ノ細片ヲ伏布
ニテ「ホック」帽ノ縫目裏ニ縫着セル構造ハ前者ノ權利範圍ニ屬ス而シテ被請求人ハ前者ノ權利範圍ハ
右構造即紐狀馬尾毛ヲ鳥打帽ノ縫目裏ニ伏布ニテ縫着セル構造ト前庇中ニ馬尾毛製織物ヲ芯トスル構
造トノ組合ハセニ存スルモノナリト云フモ右庇ノ構造ハ鳥打帽ニ於テ從來普通ニ存スル所ニシテ本件
實用新案ハ紐狀馬尾毛若クハ其均等物ヲ帽ノ縫目ノ裏部ニ縫着スル構造ヲ以テ其要部トナスモノニシ
テ其權利範圍モ亦此構造ニ存スルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十月三十一日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局技師 押 田 翼
特許局事務官 三 浦 惠 一

第二千二百八號

*百七十二

大阪市東區南久寶寺町一丁目十八番地	請 求 人	大 島 兼 助
大阪市東區南久寶寺町四丁目九十番地	請 求 人	西 岡 貞 治 郎
大阪市東區南久寶寺町三丁目三番地	請 求 人	萩 原 吉 兵 衛
大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士	右 代 理 人	淺 村 三 郎
名古屋市中區南伊勢町八十二番戶	被 請 求 人	近 藤 太 兵 衛
名古屋市中區福宜町四丁目百五十七番戶	被 請 求 人	吉 田 春 太 郎
名古屋市中區南伊勢町二丁目十四番地特許辨理士	右 代 理 人	宮 村 隆 治

右當事者間ノ第五八九四號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人等ノ所有スル第五八九四號實用新案齒刷子ノ登録ハ之レヲ無効トス審判費用ハ被請求人等ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ登録實用新案第五八九四號齒刷子ハ明治四十年六月十日出願同年六月二十八日登録ヲ受ケタリ而シテ「ブラシ」ト「舌刮兼用」ト「フラス」ト「覆」ト「ハ」關着部ニ起伏スヘキ止金ネヨリ構成セラレタルモノナルコト圖面及説明ニ依リテ明カナリ然ルニ本件實用新案齒刷子ノ構造ト類似ノ構造ヨリ成リ且ツ其效果ノ均等ナル齒刷子ハ已ニ前記實用新案出願前公知公用ニ屬シタルモノナルカ故ニ本件實用新案ノ登録ハ無効タルヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第七號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ本件請求ハ棄却ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件登録實用新案出願以前本件齒刷子ト同一ノ構造ヨリ成ル齒刷子カ公然知ラレ公然用キラレタルコトナク又公然知ラレタルモノアリトスルモ本件齒刷子ト其構造ニ大差アルヲ以テ本件登録實用新案ヲ無効トナスヘキモノニアラスト云フニアリテ乙第一號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件登録實用新案第五八九四號齒刷子ノ構造ハ其説明書竝ニ圖面ニ記載サレタル如ク「ブラシ」ト「舌刮兼用」ト「フラス」ト「覆」ト「ハ」關着部ニニヨリテ緩着シ柄「口」ノ一端ニハ起伏スヘキ止金ネヲ装着シタルモノニシテ其權利ハ前記各部分ノ結合ニアルコト明ナリ而シテ請求人カ本件登録實用新案出願以前ヨリ公然知ラレ公然用キラレタリト主張スル甲第二號證改良齒刷子及甲第四號證齒刷子ノ構造ト本件登録實用新案齒刷子ノ構造トハ柄ト舌刮トノ關着部等ニ於テ相異スルモノ即其結合ヲ異ニスルモノナレハ甲第二及甲第四號證齒刷子カ假令本件登録實用新案出願以前公然ニ知ラレ公然用キラレタル事實アルモ之ヲ以テ本件登録實用新案ヲ無効トナス理由ナシ又本件登録實用新案第五八九四號齒刷子ノ構造中其一部即チ止金ネヲ缺如セル甲第一號證カ本件登録實用新案出願以前公知公用ニ屬スルモ亦本件登録實用新案ヲ無効トナス理由ナク從ツテ本件登録實用新案ノ權利ハ甲第一號證齒刷子ノ構造ニ及ハサルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十一月八日於特許局

審判長 特許局事務官 織 田 了
 特許局技師 小 野 喜 惣 治
 特許局技師 押 田 翼

*百七十三

第二千二百二十八號

*百七十四

大阪市南區難波櫻川一丁目千三十五番地	請 求 人	大井作兵衛
大阪市南區難波反物町千三百二十九番地	請 求 人	大井徳次郎
大阪市南區大道二丁目四千二百九十一番地	請 求 人	松谷寛次
大阪市南區大寶寺東ノ町四十四番地	被 請 求 人	飯田政太郎
大阪市南區高津町四番町五十四番地	被 請 求 人	北田喜十郎

右當事者間ノ第九四四六號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人等ノ所有ニ係ル登録實用新案第一八〇二六號ノ説明書並ニ圖面ニ記載セラル、構造中光珠製造型(ロ)杆(リ)彈片(オ)紐(ヌ)踏木(ヨ)ノ組合ハ登録實用新案第九四四六號ノ權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人等ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人等ノ所有ニ係ル登録實用新案第一八〇二六號ノ圖面並ニ其説明書ニ示ス『型(ロ)ニハ普通ノ構造タル杆(リ)紐(ヌ)彈片(オ)踏木(ヨ)等ヲ備フ』ノ文中ニ在ル足ノ働ニヨリ開閉スヘキ構成ノ部分カ請求人等ノ權利ニ屬スル登録實用新案第九四四六號ノ權利範圍ニ屬スルモノナリト審決相成度其理由ハ請求人等カ所有ニ係ル登録實用新案第九四四六號光珠硝子製造機ノ登録請求範圍ニハ圖面ト説明トニ示スカ如キ構造ノ光珠硝子製造機トアリテ其説明中ニハ此ノ如クシテ成ルモノヲ一柱杆(H)ニ裝置シ柱背ノ支點(J)ヲ通シテ開閉杆(E)ノ末端ヨリ紐(I)ヲ垂下シ紐端ニ足掛(K)ヲ備ヘ使用スルモ將又適宜ノ臺座即(O)N(H)ノ如クシタルモノノ柱(H)ニ取リ付ケ(E)端ノ紐(I)ハ(N)中ノ(L)及(N)支車ニ掛カリテ紐末ニ足掛(K)ヲ加ヘテ用フルモ共ニ足先ニヨリテ(A)ノ開閉ヲ掌リ光珠ノ鑄造ニ双手

ヲ自在ニ働カシメ且ツ冷却セシメ迅速完全且ツ至便ニ製造セラルルモノトストアリ故ニ螺狀彈線(G)紐(I)滑車(L)M足掛(K)等裝置ニヨリテ直杆(A)ヲ足ノ働ニヨリテ開閉スヘク構成セルモノハ即チ登録實用新案第九四四六號ノ權利內ナルコト明ナリ而シテ登録實用新案第一八〇二六號硝子光珠製造機械ノ登録請求範圍ニハ圖面ニ示スカ如ク型(ロ)傾斜ノ程度ヲ任意ニ加減シ得ヘクナシタル構造トアリテ其説明中ニハ型(ロ)ニハ普通ノ構造タル杆(リ)紐(ヌ)彈片(オ)滑車(L)踏木(ヨ)等ヲ備フトアリ而シテ此點ハ請求人等ノ第九四四六號ニ所謂螺狀彈機(G)紐(I)滑車(L)M足掛(K)直杆(A)ト其構造全ク同一若クハ均等ノモノナルコト疑ヲ容レズ從テ被請求人等ノ登録實用新案第一八〇二六號ニ於ケル是等ノ點ハ請求人等ノ登録實用新案第九四四六號ノ權利內ニ屬スルモノト信スト云フニ在リ

被請求人答辯ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人所有ノ登録實用新案第九四四六號圖面ノ説明ヲ見ルニ其第一圖ハ本案主要部ノ構成ヲ示スモノトアルニ開ハ決シテ本件請求ノ部分ニ屬セス翻テ被請求人ノ本件登録實用新案第一八〇二六號圖面ノ説明ヲ見ルニ型(ロ)ニハ普通ノ構造タル杆(リ)紐(ヌ)彈片(オ)踏木(ヨ)等ヲ備フトアリテ兩者ハ何等ノ交渉ナキモノナレハ本件請求ハ毫モ理由ナキモノナリ假ニ請求人ノ第九四四六號新案權カ其圖面ニ示ス全部ノ構造ニ付キ包括的ニ存在スルモノトスルモ被請求人ノ當該部分ハ普通ノ構造タル云々トアルカ故ニ苟モ普通公知公用ノ趣旨ヲ示ス以上ハ其部分ニ關元文字ノ有無ハ請求人ニ何等ノ痛痒ヲ與ヘサル筈ナリ一步ヲ讓リテ是アリトスルモ請求人ノ第九四四六號ハ其圖面ニ於テ足踏(K)ノ作用ハ之ニ力ヲ加フルコトニヨリテ(A)ナル直杆ヲ開展セシムルニ止マリ直杆(A)ノ閉合ハ其直杆ノ側面ニ蝶着柄(F)ヲ有セシメ其軸杆ニ取付ケタル螺狀彈線(G)ノ作用ニ依リテ行ハル、構造ナリ請求人ハ足先ニ依リテ(A)ノ開閉何レヲモ掌ルカ如ク主張セルモ其然ラサル所以ハ當該圖面及其説明ニ依リ明瞭ナリ反之被請求人ノ第

*百七十五

一八〇二六號新案ハ踏木ヨニ足ヲ以テ力ヲ加フルトキハ彈片又ヲ緊張シ紐又ヲ經テ力ヲ杆リニ傳ヘ杆
 リノ作用ニ依リテ型ロヲ閉合セシメ次ニ足ノ踏力ヲ弱ムルトキハ彈片又ノ原位ニ復スル力ハ紐又ヨ
 リ杆リニ傳リロナル型ヲ開展セシムル構造ニシテ型ロハ直接ニ彈片ノ力ニヨリテ作用セラル、ニ
 非ス由是觀之請求人ノ所有第九四四六號新案ニ於ケル型ヲ閉合セシムル構造ト被請求人所有第一八〇
 二六號新案ニ於ケル型ヲ閉合セシムル構造トハ全然相異レル者ニシテ本件請求ハ毫モ理由ナキナリト
 云フニ在リテ乙第一號證乙第二號證ヲ提出シ且ツ人證ノ申出ヲ爲セリ

審決ノ理由 登錄實用新案第九四四六號光珠硝子製造機ノ構造ハ二本ノ直杆Aノ拜合面ニ任意ノ形狀ナ
 ル光珠ノ點綴セル鑄型溝Bヲ設ケ一方ノ直杆Aノ背面ニ接着片Cヲ備ヘ他ノ直杆Aノ背ニハ開閉杆E
 ヲ部ヨリ附シ共ニ直杆Aノ側面ニ螺着柄Eヲ有シ且ツ其軸杆ニ螺狀彈機ニ依リ常ニ直杆AAヲ開カ
 シムヘクナシタルモノヲ支柱ニ裝着シ開閉杆Eノ末端ニ紐Iヲ連結シ該紐Iヲ一端ニ足掛Kヲ設ケ單
 ニ足先ニ依リテ本機ヲ開閉セシメントナシタルモノニシテ本件ノ權利モ亦前記各部ノ結合ニ在ルモノ
 トス被請求人ノ主張スル如ク本件權利ハ第一圖ニ示シタル主要部ノミニ在ラスシテ紐ヲ連結シ足先ニ
 ヨリテ開閉セシメントスル機構ト主要部分トノ結合ニ在ルヤ明ナリ次ニ登錄實用新案第一八〇二六號
 硝子光珠製造機械ノ構造ハ一軸上ニ開閉シ得ル光珠製造型ロ一ノ上部ヲ螺番ハニヨリテ支杆三ヲ設
 ケ支杆三ヲ臺函ノ上面ニ固着シ其下部ハ弧狀溝ヘヲ有スル弧狀杆ホヲ固着シ臺函ノ側面ニ在ル支杆下
 ノ螺杆子ニヨリテ支持セラレ光珠製造型ロノ傾斜程度ヲ任意ニ加減調節スルヲ得ヘクナシ光珠製造型
 ロノ他ノ一ニハ杆リヲ定着シ該杆リノ先端ニ彈片オヲ有スル紐ヲ連結シ紐ノ末端ニ足踏木ヨヲ具ヘタ
 ルモノニシテ其權利ハ光珠製造型ロノ傾斜程度ヲ任意ニ加減調節シ得ベクナシタル硝子光珠製造機械
 ノ構造ニ在ルハ其ノ説明書ニ依リテ明ナリ而シテ彈片オヲ裝着スル位置竝ニ其種類ヲ異ニスト雖モ共

ニ均等ノ作用ヲナシ且ツ杆リヲ紐ニ連結シ足踏木ヨニ依リテ型ロヲ開閉セシメントスル考案竝ニ其構
 造ハ兩者全ク相類似シ別異ノ考案ト認ムル能ハス被請求人ハ本件登錄實用新案第九四四六號出願以前
 公然知ラレ公然用キラレタルモノナリト主張シ乙第二號證ヲ提出スルモ同號證記載ノ圖面ヲ見ルニ光
 珠製造型I杆(4)紐(5)踏木(7)ノ組合ニ留マリ主要部分タル彈片ノ結合ヲ缺如スルヲ以テ假令該號證カ公
 知公用ニ屬スルモ登錄實用新案第一八〇二六號ニ記載サレタル說明書竝ニ圖面中光珠製造型、杆、彈
 片、紐、踏木ノ組合ヲ公知公用ナリト認ムル能ハス故ニ登錄實用新案第一八〇二六號說明書竝ニ圖面
 ニ記載セラル、構造中光珠製造型ロ(ロ)杆リ(彈片)紐又踏木ヨノ組合セハ登錄實用新案第九四四六號ノ
 權利範圍ニ屬スルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十一月九日於特許局

審判長 特許局技師 小野 喜 惣 治
 特許局技師 押 田 翼
 特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千二百九十四號

東京市本郷區眞砂町三十七番地
 東京市日本橋區伊勢町二十六番地特許辨理士
 東京市日本橋區伊勢町二十六番地特許辨理士
 東京府南足立郡北千住町飛地五丁目川田六百八十三番地

請 求 人 西 尾 正 右 衛 門
 右 代 理 人 岩 崎 勳
 右 代 理 人 菊 地 馨 司
 被 請 求 人 青 島 新 之 助

右當事者間ノ第八一四四號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ製造スル甲第三號證ノ物品中繩蔓ヲ除キタル束子ハ登録實用新案第八一四四號ノ權利ノ範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造スル甲第三號證ノ物品中繩蔓ヲ除キタル部分ハ第八一四四號登録實用新案ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人カ製造スル甲第三號證ノ物品ハ適宜ノ長サニ切斷セル纖維ノ中心ヲ二條ノ針金ニテ挾ミ撚リ纖維ノ兩端ヲ周圍ニ隆起セシメテ圓棒狀ノ刷毛ヲ作り之ヲ全長ノ約四分ノ一ノ點ヨリ兩端ヲ内方ニ屈曲シ其外周ニ針金ヲ捲キ着ケテ緊束シ橢圓狀ト爲シ之ニ繩蔓ヲ附シタル構造ノ束子ニシテ之レヲ本件登録實用新案ニ比較スルニ束子トシテ使用シ易カラシムル爲メニ纖維ヲ二條ノ針金ニテ撚リタルモノヲ屈曲シ橢圓狀ト爲シタル點ハ兩者全然同一ニシテ其異ナル所ハ全長四分ノ一ノ點ヨリ兩端ニ屈曲シ外周ニ針金ヲ捲キ着ケ且ツ纖維ヲ撚リタル針金ノ一端ヲ輪形トナサス繩蔓ヲ具備セル點ニ於テ相違ス然レトモ個々ノ構成ヲ分解比較スルモ全然同一若クハ均等ニシテ之ヲ全體トシテ觀察スルモ同一若クハ類似ノ構造ヲ有スルコト明ナレハ本件登録實用新案ノ權利ノ範圍ニ屬スルモノナリト主張シ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造スル甲第三號證ノ物品ハ第八一四四號登録實用新案ノ權利範圍ニ屬セス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件登録實用新案ノ束子ハ圓棒狀ノ刷毛ノ一端ニ於ケル針金ヲ他端ニアル針金ニ撚ミ着ケタルモノナルモ被請求人ノ製造スル甲第三號證ノ束子ハ其外周ニ列ノ針金ヲ捲キ着ケテ緊束シタルモノナレハ其ノ構造ヲ異ニスルモノナリト云フニア

審決ノ理由

本件登録實用新案第八一四四號束子ノ構造ハ其說明書竝ニ圖面ニ記載シアル如ク一定ノ長サヲ有スル纖維ヲ二條ノ針金ニテ挾ミ該針金ヲ撚合セ纖維ノ兩端ヲ周圍ニ隆起セシメテ圓棒狀ノ刷毛ヲ作り之レヲ中央ヨリ屈曲シ其一端ニ於ケル最初針金ヲ二條トナス爲メ屈曲シタル部分ニ他端ノ針金ヲ撚ミ着ケテ橢圓狀ト爲シタルモノニシテ其權利ハ前記ノ構造ニアルコト明カナリ次ニ甲第三號證ノ束子ノ構造ハ一定ノ長サヲ有スル纖維ヲ二條ノ針金ニテ挾ミ該針金ヲ撚合セ纖維ノ兩端ヲ周圍ニ隆起セシメテ圓棒狀ノ刷毛ヲ作り其兩端ヲ適宜ニ内方ニ屈曲シ其外周ニ針金ヲ捲キ着ケテ緊束シ橢圓狀ト爲シ之ニ繩蔓ヲ附シタルモノニシテ本件請求ハ本件登録實用新案束子ト前記甲第三號證ノ束子ニ於テ繩蔓ヲ缺如セル束子ト相撞着スルヤ否ヤヲ審理スルニアルモノナリ而シテ前者ハ纖維ヲ二條ノ針金ニテ撚リタル圓棒狀ノ刷毛ヲ屈曲シ直チニ前記ノ針金ヲ以テ撚合セ全體ヲ橢圓狀トナサシムルニ反シ後者ハ圓棒狀ノ刷毛ヲ屈曲シ他ノ針金ヲ以テ其ノ外周ヲ緊束シ橢圓狀タラシムル點ニ於テ相違スルモ要スルニ圓棒狀ノ刷毛ヲ屈曲シ之ヲ橢圓狀トシ束子トナス考案ハ兩者全然同一ニシテ後者ノ如ク之ヲ構成スルモ別異ノ構造ト認ムルコト能ハス從ツテ本件登録實用新案ノ權利外ナリト云フヲ得ス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十一月十五日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局技師 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千二百七十一號

* 百八十

大坂市北區上福島北一丁目七十二番地 請 求 人 中 村 伊 三 郎
 大坂市東區横堀二丁目七十一番屋敷特許辨理士 右 代 理 人 江 田 邦 太
 大坂市東區安土町二丁目三十三番地 被 請 求 人 柏 木 精 一
 東京市京橋區北極町六番地特許辨理士 右 代 理 人 牧 野 賤 男

右當事者間ノ第一一三〇七號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ製造販賣ニ係ル甲第一號登記載ノ襯衣ノ構造ハ第一一三〇七號登錄實用新案ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人カ製造販賣スル甲第一號證ニ示ス莫大小襯衣ハ第一一三〇七號登錄實用新案權利範圍ニ屬セス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ甲第一號證ノ圖面及説明ニ示ス襯衣ニ就キ新案登錄ヲ出願シ第一五五一〇號トシテ受附ケラレ明治四十年十月八日附ヲ以テ拒絕セラレ爾來引續キ製造販賣シツ、アリ而シテ之レヲ本件實用新案ニ比較スルニ請求人製造販賣ノ襯衣ハ〔以下甲ト稱ス〕表面ヨリ莫大小編片ヲ縫着シテ二重トナセルモ本件實用新案ハ〔以下乙ト稱ス〕裏面ヨリ適當ノ資布ヲ以テ二重トナス點ニ於テ著シキ差異アリ次ニ甲ノ二重片ハ胸部ノ片ヨリハ狭ク乙ノ二重片ハ胸部ノ片ト同一ノ廣サヲ有シ其結果トシテ甲ハ胸部ニ縫目ヲ表ハセトモ乙ノ二重片ノ縫綴ハ胸部兩側ノ縫目ト一致セルヲ以テ縫目ヲ露出スルコトナシ次ニ甲ノ「ボケット」ハ仕切ヲ有セサレトモ乙ハ仕切ヲ有シ二箇ノ袋ヲナス差アリ要スルニ甲ト乙トハ縫着面カ表裏ヲナセル

差異、縫着資料廣狹及縫目ノ差異、仕切有無ノ差異等構造上著シキ差異ノ點アリテ兩者考案同一ナレトモ構造異ナルカ故ニ甲第一號證ノ襯衣ハ本件實用新案權ノ範圍ニ屬セサルモノト信スト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ範圍確認ノ審判請求ハ(一)前提トシテ請求人ハ自己範圍確認ヲ請求スルニ必要ナル實用新案權ヲ有シ其權利ト他人ノ權利トカ競合又ハ抵觸スル場合ナラサルヘカラス(二)自己ノ製造販賣スル物品カ他人ノ有スル實用新案權ノ出願以前ヨリ公知公用ニ屬ストセハ其理由ヲ以テ無效審判ノ請求ヲ爲シ得ヘク特ニ他人ノ權利範圍ヲ確認セシムルノ必要アルコトナシト云フニ在リ

審決ノ理由 被請求人ハ權利者ヲ異ニセル二箇ノ登録權利カ互ニ競合又ハ抵觸スル場合ニ於テノミ初メテ權利範圍ノ確認ヲ請求シ得ルモノナリト云フモ權利範圍確認ノ審判請求ハ二箇ノ權利カ撞着スル場合ハ勿論登録實用新案ト登録ヲ受ケサル物品ト撞着スル場合ニ於テモ利害關係人ハ權利範圍確認ノ審判請求ヲ爲シ得ヘキモノナルカ故ニ被請求人ノ主張ハ不當ナリ次ニ被請求人ハ請求人カ自己ノ製造販賣スル物品カ他人ノ有スル實用新案權ノ出願前公知公用ニ屬ストセハ其理由ヲ以テ無效審判ノ請求ヲ爲シ得ヘク特ニ他人ノ權利ノ範圍ヲ確認セシムルノ必要アルコトナシ而シテ請求人ハ現ニ審判第二一三五號事件ニヨリ無效審判ヲ請求セルモノナルヲ以テ本件範圍確認ノ審判請求ハ全然無要ナリト主張スルモ無效審判ノ請求ト確認審判ノ請求トハ其目的ヲ異ニスルモノナルカ故ニ此二箇ノ請求ハ互ニ相妨クルコトナク同時ニ兩立シ得ルモノナリ故ニ被請求人ノ此點ニ關スル主張モ亦不當ナリ仍テ進ンテ本件ヲ案スルニ甲第一號登記載ノ襯衣即請求人ノ製造販賣ニ係ル襯衣ハ其根本ニ於テ襯衣ノ表面ニ胸當片ニ縫着シ該胸當片ノ左右兩側ニ於テ其縫目ヲ利用シテ「ボケット」口ヲ設ケ且大ナル一箇ノ「ボケッ

* 百八十一

トレ備フヘキ特殊ノ構造ナルモ甲第二號證タル登録第一一三〇七號實用新案襦衣ハ其根本ニ於テ適當ノ布片ヲ襦衣ノ裏面ニ於テ其胸部ニ縫着シ且前者ニ於ケル如ク縫目ヲ利用セスシテ特ニ胸部ニ相當スル襦衣ノ地質中滴宜ノ箇處ヲ裁切シテ「ポケット」口ヲ設ケ且ツ仕切ニ依リ二箇ノ「ポケット」ヲ備フヘキ特殊ノ構造ヲ有スルモノナリ即チ縫着面カ表裏ヲナセル差異「ポケット」設備上ノ差異、仕切有無等ノ差異ハ兩者ノ構造上其主要ナル相異ノ點ニシテ其效果ニ於テモ亦全然相異ナルモノナリ從テ兩者互ニ相類似スル所ナシ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十一月二十二日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局技師 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千二百三十五號

大阪市北區上福島北一丁目六十七番地

請 求 人 中 村 伊 三 郎

大阪市東區横堀二丁目七十一番屋敷特許辦理士

右 代 理 人 江 田 邦 太

大阪市東區安土町二丁目三十二番地

被 請 求 人 柏 木 精 一

東京市京橋區北橋町六番地特許辦理士

右 代 理 人 牧 野 賤 男

右當事者間ノ第一一三〇七號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第一一三〇七號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人カ甲第一號證ニ示ス「シャツ」ニ就キ實用新案登録ヲ出願シ實用新案願第一五五〇號トシテ受附ラレ明治四十年十月八日附ヲ以テ拒絕セラレタルモノハ普通莫大小襦衣ノ胸腹及背部ヲ二重トシテ胸間兩端ニ袋口ヲ設ケタルモノナリ然ルニ明治四十一年十二月四日附出願ニ係ル被請求人所有ノ登録第一一三〇七號實用新案ハ襦衣ノ前面胸部左右ニ月形ノ「ポケット」ヲ設ケ双着背ヨリ前面腹部ニ互リ適當ノ資布ヲ以テ重ネ合セタルモノニシテ之レヲ前記第一五五〇號實用新案願ニ比スレハ構造ニハ直接關係ナキ重合布片ノ廣狹「ポケット」ノ形状ヲ異ニセルノミ其考ノ基ク所、目的、效果等全ク兩者同一ナリ從テ本件實用新案ハ最先ノ出願ニアラス尙又請求人ハ第一五五〇號實用新案出願後引續キ甲第一號證ニ示ス構造ノ「シャツ」ヲ製造販賣セルヲ以テ本件實用新案ハ其出願前公知公用ニ屬スルモノナリ但シ被請求人ハ「ポケット」ノ仕切ノ有無ニ就キ論スル所アルモ該仕切ヲ設ケル如キハ本件實用新案ノ登録出願前已ニ第一〇七三三號、第一一三〇九號、第一一七二六號等ノ登録實用新案ノ圖面ニヨリ公知ニ屬スル所ニシテ本件實用新案ノ要點ニアラサルコト明カナリ又本件實用新案ハ甲第二號證ニ依リ明カナル如ク實用新案第四二九三號ト同一構造ニ普通ノ事實ヲ附加シタルモノニシテ容易ニ應用シ得ヘキ程度ニ於ケル類似タルヲ免カレサルモノナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ實用新案願第一五五〇號ト本件登録實用新案第一一三〇七號トハ全然同一ナリト云フモ之レヲ認ムルコトヲ得ス今兩者相異ノ點ヲ舉示センカ願第一五五〇號(以下甲ト稱ス)ハ表面ヨリ莫大小片即

編片ヲ縫着セルモノナルモ登録第一一三〇七號(以下乙ト稱ス)ハ裏面ヨリ適當ノ資布ヲ以テ二重ト爲
スモノナリ故ニ甲ハ其販賣品及實用的着用品タル上ヨリ少クモ地質ト同一ノ品質及色合ノ莫大小ヲ用
ユルノ必要アルモ乙ニハ斯カル必要ナシ次ニ甲ハ胸部二重ノ幅狭ク乙ハ廣キヲ以テ防寒ニ適ス次ニ
甲ハ胸間ノ中央部ニ縫目露出シ不體裁ナルモ乙ハ胸部兩側ノ縫目ト一致シ一見二重タルコトヲ知ルヲ
得ス次ニ甲ハ「ポケット」ノ袋口形ナルモ乙ハ物品ノ出入ニ便ナル新月形ノ特長アリ次ニ甲ノ「ポケット」
ハ淺ク且ツ一箇ノ袋ナルモ乙ハ深ク且其中央ヲ仕切レル相違アルノミナラス甲ハ「ポケット」ノ一箇ナ
ルカ爲メニ前割仕立ト爲スコトヲ得サルモ乙ニハ此特點アリト云フニ在リテ乙第一號證及同第二號證
ヲ提出シ且審判番號第一七二九號事件ノ記録全部取寄ヲ申請セリ

審決ノ理由 本件登録第一一三〇七號實用新案月形「ポケット」付衛生襯衣ト甲第一號證衛生莫大小「シヤ
ツ」ト比較スルニ前者ハ適當ノ資布ヲ襯衣ノ裏面ニ於テ其胸部ニ縫着シ且胸部ニ相當スル襯衣ノ地
質ヲ裁切シテ「ポケット」口ヲ設ケ、仕切ニヨリ二箇ノ「ポケット」ヲ具フヘキ特殊ノ構造ヲ有スルモノニ
シテ後者ハ襯衣ノ表面ニ胸當片ヲ縫着シ該胸當片ノ縫目ヲ利用シテ其左右兩側ニ「ポケット」口ヲ設ケ
且大ナル一箇ノ「ポケット」ヲ具フヘキ特殊ノ構造ヲ有スルモノナリ即「ポケット」設備上ノ差異、縫着面
カ表裏ヲナセル差異、仕切有無ノ差異等ハ兩者ノ構造上其主要ナル相異ノ點ニシテ其效果ニ於テモ亦
相同シカラス兩者互ニ相類似スルモノト認ムルヲ得ス次ニ請求人ハ本件實用新案ハ登録第四二九三號
實用新案莫大小「シヤツ」ニ類似スルモノナリト云フモ該實用新案ハ表面ニ縫着セル胸當片ノ左邊ニ於
ケル縫目ヲ利用シテ一箇ノ「ポケット」口ヲ設ケ其右邊ニ偏シ鉗止メヲ有シ一箇ノ大ナル「ポケット」ヲ備
フヘキ特殊ノ構造ヨリ成リ此以外何等ノ特徴ナク本件實用新案ニ於ケル裏布片、兩口「ポケット」、「ポ
ケット」仕切、前割仕立等ノ諸用意ヲ缺如セルモノニシテ其考案ヲ異ニスルモノナリ從テ本件實用新案

ハ第四二九三號實用新案ニ類似シ若クハ之レヨリ容易ニ應用シ得ヘキモノニアラス要スルニ本件實用
新案ハ單ニ裕仕立又ハ「ポケット」ヲ區分スル如キ一事項ヲ以テ其要部トナスモノニアラスシテ前記特
殊ノ構造ヲ以テ新規ノ考案トナスモノナリ然ルニ請求人主張ノ事實即甲第一號證竝ニ數箇ノ實用新案
ハ何レモ其考案ヲ異ニスルモノナルカ故ニ斯カル事實ニ依リテ本件實用新案ノ無效ヲ主張スルハ不當
ナリ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十一月二十二日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局事務官 田 中 鐵 二 郎
特許局事務官 村 山 小 次 郎

第二千二百十六號

岡山縣若田郡津山町大字船頭町四十八番地 請 求 人 仁 科 久 造
岡山縣勝田郡廣野村大字福井四百二十九番地 請 求 人 廣 福 製 紙 合 名 會 社
右 代 表 者
愛媛縣宇摩郡妻島村七百二十九番地 被 請 求 人 小 原 源 三 郎
愛媛縣宇摩郡妻島村千九番地 被 請 求 人 鈴 木 道 之 助
東京市小石川區諏訪町二十七番地特許辨理士 右 代 理 人 近 藤 又 太 郎
三 好 千 三

右當事者間ノ第一〇八二〇號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ登録第一〇八二〇號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人カ製紙乾燥器械ニ對シ第一〇八二〇號實用新案ノ登録ヲ受ケタルハ明治四十一年十一月二十日ニシテ其以前即チ明治三十八年十月中岡山縣苦田郡津山町大字美濃職人町器械製造業藤原淺次郎ハ同縣久米郡倭文東村大字戸脇井尾壽三郎ノ委囑ニ因リ同一物件ヲ製造セルコト確實ニシテ其他同一物件ノ使用者アルヲ聞知セリ請求人モ亦之レト同一物件ヲ同縣久米郡倭文西村大字山手公文南菅原常四郎ヨリ購買シテ使用シツ、アリ即チ世間既ニ公知公用ノ物件ナルヲ以テ本件實用新案ノ登録ハ無効ナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲七號證ヲ提出シ且ツ證人訊問ノ申請ヲ爲シタリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人等ハ甲第二號證ニヨリ被請求人等ノ權利ニ屬スル實用新案登録第一〇八二〇號近藤式製紙乾燥器ノ公知公用ナルコトヲ立證セントスルモ其形狀構造カ果シテ被請求人ノ實用新案ト同一物ナルヤ否ヤハ之ヲ知ルコトヲ得ス假リニ兩者ノ形狀構造ニ何等ノ差異ナシトスルモ甲第二號證ハ藤原淺次郎カ井尾壽三郎ノ注文ニ應シテ該物品ヲ製作セルノ事實ヲ證スルニ止マリ此事實ニ基キ直チニ本件實用新案カ公知公用ノ物件タリシコトヲ斷定スル能ハス又請求人等カ乾燥器ヲ買得セルハ甲第三、四號證カ證明スルカ如ク請求人仁科久造ハ明治四十三年三月十九日菅原常四郎ヨリ又請求人小原源三郎ハ同年同月二十五日仁科久造ヨリ買得セリ之等ハ共ニ被請求人カ近藤式製紙乾燥器ニ付權利ヲ取得セル後ニシテ甲

第三四號證ハ本件審判トハ多大ノ關係ヲ有セスト云フニ在リ

審決ノ理由 本件登録實用新案第一〇八二〇號近藤式製紙乾燥機ノ構造ハ平滑ナル鐵板ロヲ三角形ニ組合セ其ノ三隅ニハ小孔ヘヲ有スル隔板ヲ置キ以テ紙貼筒(イ)ヲ構成シ該紙貼筒(イ)内ニハ兩端ヲ密閉シタル圓筒(ハ)ヲ汽管(ニ)ニ固着セシメ且ツ汽管(ニ)ヨリ圓筒(ハ)ヲ貫キテ三方ニ突出スル枝管(ホ)ヲ備ヘタルモノヲ裝置シ汽管(ニ)紙貼筒外ニ出シ之ヲ軸トシテ回轉スヘク爲シタルモノニシテ其ノ權利ハ此構造ニ存シ其各部ノ形狀ハ本件登録實用新案附屬圖面ニ圖示セラレタルモノニ限定シタル乾燥機ナルコト明ナリ然ルニ請求人カ本件實用新案ノ登録出願前公然知ラレ且ツ公然用ヒラレタリト主張スル三角形鐵板製紙用乾燥器ノ構造ハ三枚ノ長方形ノ鐵板ヲ三角形ニ組合セ其ノ中心部ニ蒸氣ヲ噴出スヘキ小孔ヲ穿テタル鐵管ヲ挿入シ以テ隨意回轉セシメントナシタルモノナルヲ以テ其構造ハ本件登録實用新案ノ構造ト相異ルカ故ニ假リニ前記乾燥器カ公然知ラレ公然用ヒラレタリトスルモ本件實用新案ノ登録ヲ無効トナスヘキ理由トナス能ハサルト同時ニ本件登録實用新案ノ權利ハ前記乾燥器ニ及ハサルモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十一月二十五日於特許局

審判長 特許局技師 押 田 翼

特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

特許局事務官 田 中 鐵 二 郎

第一千二百二十七號

*百八十八

大崎市東區上本町六丁目百六十三番屋敷横田音二郎方	請 求 人	岡 田 芳 郎
大崎市西區本田通二丁目四百三十番地	右 參 加 人	平 田 松 太 郎
大崎市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士	右兩名代理人	淺 村 三 郎
大崎市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士	右兩名代理人	平 岩 義 一
大崎市東區谷町五丁目三十五番地	被 請 求 人	山 邊 楨 太 郎
大崎市東區瓦町一丁目五番地特許辨理士	右 代 理 人	廣 井 代 藏

右當事者間ノ第一六九二八號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 登録第一六九二八號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ登録第一六九二八號實用新案ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト御審決相成度其理由ハ第一六九二八號登録實用新案「ハンドル」ハ其圖面ノ説明ニ依レハ自轉車ノ「ハンドル」ニ於テ把握部Bヲ適宜トシテ其杆Aニ「セルロイド」ヲ被覆シテ成ル之ヲ要スルニ杆Aノ銷止トシ外觀ノ美ト耐久トニ有效ナル新案ナリトスト記載シタリ然ルニ自轉車用「ハンドル」ノ曲屈杆ニ「セルロイド」ヲ被覆シタルモノハ明治四十年六月頃大阪市五代音吉ニ於テ考案シ大阪市南區西瓦屋町十一番地岩本豐吉ヲシテ製作セシメタルコトアリ又該實用新案ハ明治四十二年一月頃ヨリ日米商店ヨリ全國ニ配布シタル自轉車目錄第八頁及第十八頁ニ記載セル記事竝ニ大阪市西區西道頓堀通四丁目九番屋敷岡田商會ニ於テ明治四十一年七月二十九日英國「ブラウンプラザ

一 會社ヨリ送付ヲ受ケ爾來店頭ニ於テ公衆ニ閱覽セシメタル型錄ノ第八十頁ニ記載セル記事ヨリ容易ニ應用スルコトヲ得ルモノナリ尙ホ請求人ハ發明製作品竝ニ自轉車修覆ノ營業ニ従事スル者ナルカ故ニ本件請求ニ付利害關係ヲ有スル者ナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第六號證ヲ提出シ尙ホ證人訊問ノ申請ヲ爲セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト御審決相成度其理由ハ請求人ハ本件請求ニ付利害關係ヲ有スル者ニアラス假リニ本件請求ハ適法ニ成立スルモノトスルモ請求人ノ主張スル事實ハ總テ完全ニ立證セラレヌ又其提出シタル各證據ハ共ニ信憑力薄弱ニシテ採ルニ足ラスト云フニ在リ

審決ノ理由 被請求人ハ請求人カ本件請求ニ付利害關係ヲ有スルモノニアラサルコトヲ主張スルモ請求人ノ提出シタル甲第三號證及甲第四號證ニ依レハ請求人ハ發明製作品竝ニ自轉車修覆及自轉車「プロ」カ「商」ヲ以テ業トスル者ナルコト「明ナルカ故ニ本件請求ニ付利害關係ヲ有スル者ト云ハサルヲ得ス故ニ被請求人ノ主張ハ其理由ナキモノトス仍テ本案ニ付キ審察スルニ被請求人所有ノ登録第一六九二八號實用新案「ハンドル」ハ明治四十三年一月二十日登録ヲ出願シ同年四月十六日付ヲ以テ登録セラレタルモノニシテ其ノ構造ハ自轉車ノ「ハンドル」ニ於テ把握部ヲ適宜トシテ其杆ニ「セルロイド」ヲ被覆シテ成ルモノナリ然ルニ之レト構造ヲ同フスル「ハンドル」ヲ有スル自轉車カ本件實用新案ノ登録出願前即チ明治四十二年ノ初ニ於テ帝國ニ輸入セラレ公知ノ状態ニ置カレタルコトハ證人岡崎久次郎ノ證言ニ依リテ明ナリ故ニ本件實用新案ハ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ニ違反スルヲ以テ同法第十一條ニ依リテ無効トスヘキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十一月三十日於特許局

*百八十九

審判長 特許局技師 押田 翼
 特許局事務官 田中 鐵二郎
 特許局事務官 三浦 惠一

第二千二百六十七號

請求人 關川 常介
 右代理人 石原 卯八
 右代理人 飯田 治彦
 被請求人 平木 彌一郎
 東京市神田區仲樂町六番地
 東京市京橋區采女町二十一番地特許辨理士
 東京市京橋區采女町二十一番地特許辨理士
 東京市下谷區豐住町五十二番地

右當事者間ノ第一一七九號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 被請求人ノ所有ニ係ル第一八八四八號登錄實用新案「インキ」壺ニ於テ壺ノ一側部ニ口部ヲ設ケ且
 壺底ニ凸起部ヲ設ケテ該口部ノ底ト胴底トノ境界トナシタル構造ハ第一一七九號登錄實用新案ノ權
 利範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス
 申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ登錄實用新案第一八八四八號「インキ」壺ニ於テ壺底ニ
 凸起ヲ設ケテ各壺ノ境界トナシタル構造ハ請求人所有ノ登錄實用新案第一一七九號「インキ」壺ノ權
 利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人所有ノ右實用新案ヲ甲トシ
 被請求人所有ノ右實用新案ヲ乙トシ此甲乙ノ兩「インキ」壺ヲ比較スルニ兩者共ニ胴ノ一側部ニ掛ケテ

高ク圓筒狀ノ口部ヲ設ケタル形式ノ「インキ」壺ニ屬シ且兩者共ニ壺底ニ凸起ヲ設ケテ壺ヲ區劃シタル
 點ニ於テ甲乙ノ構造全然一致スルモノナリ但シ乙「インキ」壺ニ於テ凸起ヲ増設シ更ニ一方ノ壺ヲ區劃
 シ中室ノ底ヲ斜狀ニナシ凸起ニ凹部ヘテ形成セシメタルモ之等ノ構造ハ乙カ甲「インキ」壺ニ追加シ
 タル構造ニシテ其根本ノ構造ニ於テハ兩者全ク同一ナリ從テ乙「インキ」壺ニ於テ前記ノ追加的構造ヲ
 除外セル根本部ハ甲「インキ」壺ノ權利範圍ニ屬スルヤ疑ヲ容サル所ナリト云フニ在リテ甲第一號證乃
 至甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ請求人所有ノ登錄實用新案第一一
 七九號ヲ甲トシ被請求人所有ノ登錄實用新案第一八八四八號ヲ乙トシ此兩者ヲ比較スルニ甲者ハ壺ヲ
 「イロ」ニ區劃シ「インキ」ヲ悉ク使用シ得ルヲ目的トスル構造ナリ然ルニ乙者ハ壺ノ下半部ヲ「ロ」ハナル
 三壺トナシ「ハ」壺ハ斜面上底ヲ備ヘテ「インキ」中ノ沈澱物、塵等ヲ「ベン」尖ニ附着セシムルコトナ
 ク「インキ」ノ上澄ノミヲ使用スルヲ目的トスル構造ニシテ兩者ハ其根本ノ目的及構造ヲ異ニスルモノ
 ナリ次ニ胴ノ一側部ニ掛ケ高ク圓筒狀ノ口部ヲ設ケル事及胴ノ上面ヲ弧狀トナシタル隆起等ハ從來公
 知ニ屬シ甲者ノ權利範圍ニ屬セサルノミナラス之等形狀ヲ備フル數多ノ登錄實用新案「インキ」壺カ各
 自ニ存在スル事實ニ就テ見ルモ前記構造即「インキ」壺ノ胴ノ一側部ニ高ク圓筒狀ノ口部ヲ設ケル構造
 カ甲者ノ權利範圍ニ屬セサルコトハ明白ナリ次ニ請求人ハ「インキ」壺ヲ區劃シタル點ニ於テ甲乙兩者
 ノ構造全然一致スルモノナリト云フモ乙ハ甲ノ如ク凸起一線ニ依リテ構造セルモノニアラスシテ壺ハ
 ハ斜面上底ニシテ「ホ」線中ニ「ヘ」ナル凹部ヲ設ケ且境界線ハ「ホ」境界線ヨリ高ク甲トハ別構造ニ屬ス而
 シテ請求人ハ之等構造ハ總テ乙カ甲「インキ」壺ニ追加セシ構造ナリト云フモ乙者ニ於ケル「ヘ」部及ハ壺
 ハ凸起ニアラサルノミナラス前記構造ハ特定ノ目的ニ於テ考案セラレタルモノニシテ無意味ナル追加

構造トナスコトヲ得サルモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由 本件登録第一一七九號實用新案ハ「インキ」壺ノ胴(イ)ノ一側部ニ圓筒狀口部ヲ設ケ且胴ノ上部ヲ弧狀タラシムヘキ點ヲ以テ其要部トナスモノニアラサルコトハ被請求人主張ノ如シ然レトモ其圖面及説明書ニ依レハ胴ノ一側部ニ圓筒狀口部ヲ設ケ且胴底ニ凸起部(ハ)ヲ設ケテ口部ノ底ト胴底トノ境界ト爲シタル構造ヲ以テ其要部トナスモノナリ從テ其權利範圍モ亦右構造ニ存スルコト明カナリ而シテ被請求人ノ所有ニ係ル登録第一八八四號實用新案「インキ」壺ニ於テ底部ニ高サヲ異ニスル(ニ)ホナル二箇ノ凸起部ヲ設ケタルト該凸起部間ノ底ヲ傾斜面トナセル點ハ清澄液ヲ得ル爲メニ「インキ」中ノ沈澱物除去ノ目的即右實用新案ノ主タル目的ニ對シ必要缺クヘカラサル特殊ノ構成ニ屬シ而カモ斯カル構成ハ第一一七九號實用新案ニ於テ見サル所ニシテ此相違ノ點ト他ノ部分ト相須テ爾第一八八四號實用新案ハ第一一七九號實用新案ト相異ナルモノトス然レトモ第一八八四號實用新案ハ「インキ」壺ノ一側部ニ圓筒狀口部ヲ設ケタルト壺底ニ第一一七九號實用新案ノ凸起部(ハ)ニ相當スル(ホ)ナル凸起部ヲ設ケテ口部ノ底ト壺底トノ境界ト爲シタル構造即第一一七九號實用新案ノ權利範圍トスル所ノ構造ヲ使用スルモノナリ從テ第一八八四號實用新案ハ此點ニ於テ第一一七九號實用新案ノ權利範圍ニ屬スルモノトス但シ右凸起部(ホ)ハ(ハ)ナル凹陷部ヲ設ケタル點ニ於テ凸起部(ハ)ト相同シカラサル所アルモ該凹陷部タルヤ他ノ壺底ト同シク一箇ノ沈澱部ニ外ナラスシテ之レカ爲メニ前記(ホ)ト(ハ)ト構造上互ニ相異ナルモノト云フヲ得サルモノニシテ兩者共ニ口部底ト壺體ノ底トノ境界ヲナス所ノ凸起部ハ明カナリ從テ被請求人ハ第一一七九號實用新案ハ「インキ」壺ノ全部ノ使用ヲ目的トシ第一八八四號實用新案ハ「インキ」中不純物ノ除去ヲ目的トスルモノニシテ兩者各其目的ヲ異ニスルモノナリト云フモ前記二箇ノ目的換言スレハ右二様ノ效果ハ兩者ニ於ケル同一構造即一側部ニ口部ヲ設

ケタル「インキ」壺ニ於テ口部底ト壺底トノ境界タル凸起部ヲ設備セル構造カ當然生スヘキ共通ノ效果ナルヲ以テ兩者全然其目的ヲ異ニスルモノト云フヲ得ス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十一月三十日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局技師 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二百九十一號

大阪府東區高麗橋三丁目十九番地 請 求 人 有 田 市 藏
東京市京橋區館屋町十番地特許辨理士 右 代 理 人 内 村 達 次 郎
大阪府南區難波新川町二丁目千四百六十番屋敷 被 請 求 人 野 村 彦 太 郎
大阪府東區横堀二丁目七十一番屋敷特許辨理士 右 代 理 人 江 田 邦 太

右當事者間ノ第一七〇一七號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 甲第二號證ノ五德輕便「ポンプ」ノ構造ハ登録實用新案第一七〇一七號吸上注射兩用「ポンプ」ノ權利ノ範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ製造販賣スル甲第二號證五德輕便「ポンプ」ハ請求人所有ノ登録實用新案第一七〇一七號吸上注射兩用「ポンプ」ノ權利範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

本審決相成度其理由ハ第一七〇一七號登錄實用新案吸上注射兩用「ポンプ」ニ於ケル考案ノ要點ハ(一)漏永溜用ノ外管ニテ設ケタルコト(二)枝管ホヲ設ケタルコト(三)制止環「ハ」ヲ設ケタル點ニアリ然ルニ被請求人ノ製造販賣スル甲第二號證即チ五德輕便「ポンプ」ト稱スル物ノ構造ハ本件實用新案「ポンプ」ノ外管(三)ニ相當スル漏水溜用ノ管及制止環ヲ設ケテ本件實用新案ト同一效果ヲ奏シ得ヘクシ且ツ枝管「ホ」ニ相當スヘキ餘水放出管ヲ設ケタリ被請求人ハ本件實用新案ニ於ケル考案ノ要點ヲ枝管「ホ」ノミニ限リ甲第二號證ニ於ケル餘水放出管ト差異アル旨主張スルモ兩者ノ間ニ新規ニ稱スヘキ程度ノ差異ナキノミナラス漏水溜用ノ外管及制止環ヲ設ケタル點ハ至ク同一ナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第三號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ノ出願前ニ於テ登錄セラレタル第八一八號及第一六五六七號實用新案竝ニ特許第二一八八號ノ構造ヲ對比スルニ本件實用新案ニ於ケル構造ノ要點ハ餘水放出ノ爲メニ枝管「ホ」ヲ設ケタル點ニ限定セラル、コト明ナリ然ルニ被請求人ノ製造販賣スル「ポンプ」ハ枝管「ホ」ノ如キ餘水放出用トシテ獨立セル管ヲ有スルコトナク「ポンプ」ノ外管ニ凹字狀板ヲ附着シ該板ト外筒外面トノ中間ナル空隙ヲ餘水放出管トナシタルモノナルカ故ニ兩者ノ間ニハ構造上著シキ差異アルモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由 本件登錄實用新案第一七〇一七號吸上注射兩用「ポンプ」ノ構造ト甲第二號證ニ示セル五德輕便「ポンプ」ノ構造トヲ比較對照スルニ單ニ枝管ノ構造ニ差異アルノミ即チ前者ハ一條ノ細枝管タル管「ホ」ヲ外管「三」ノ下底ヨリ外筒「二」ニ沿ヒ定著シ後者ハ三條ノ凹字形金屬片ヲ外管「三」ノ下底ヨリ外筒「二」ノ外周ニ沿ヒ鐵着シタルノ差アレトモ其作用竝ニ效果ハ兩者共ニ全然同一ナレハ結局本件ノ如キ場合ニ於テハ後者ニ於ケル凹字形金屬片ハ前者ニ於ケル細管ト均等タル構造ナリト認ムルヲ至當トス故ニ甲第二號證ノ五德輕便「ポンプ」ノ構造ハ登錄實用新案第一七〇一七號吸上注射兩用「ポンプ」ノ權利ノ範圍ニ屬ス仍テ本文ノ如ク審決ス

明治四十四年十二月六日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局技師 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千二百四十二號

大阪市南區難波新川二丁目千四百六十番屋敷 請 求 人 野 村 彦 太 郎
大阪市東區横堀二丁目七十一番屋敷特許辦理士 右 代 理 人 江 田 邦 太
大阪市東區高麗橋三丁目十九番地 被 請 求 人 有 田 市 藏
東京市京橋區館屋町十番地特許辦理士 右 代 理 人 内 村 達 次 郎
東京市京橋區館屋町十番地特許辦理士 右 代 理 人 藤 田 實 雄

右當事者間ノ第一七〇一七號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス
審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人所有ノ實用新案登錄第一七〇一七號吸上注射兩用「ポンプ」ノ登錄ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ本件實用新案ニ於ケル考

案ノ要點トスル所ハ(一)漏水溜用ノ外管ニテ設ケタルコト(二)枝管ホヲ設ケタルコトノ二點ニアルコト明ナリ然ルニ之レ等ノ構造ハ本件實用新案ノ出願以前ニ登録セラレタル第八一八號實用新案噴霧「ポンプ」ニ於ケル漏水受^②及細管^③ト全ク同一ニシテ即チ本件實用新案ハ其登録出願前既ニ公知公用ニ屬スルモノナリ被請求人ハ本件實用新案ニ制止環^④ヲ設ケタル點ヲ以テ構造上ノ差異ナルカ如ク主張スルモ其差異タルヤ僅少ノ差異ニシテ其レカ爲メニ特殊ノ新案ヲ構成スルモノニアラス又本件實用新案ニ於テ外管^⑤ニテ設ケタル爲メニ把持ニ便ナリヤ否ヤハ使用者ノ便宜ニ應シテ程度ノ問題ナレハ新案其モノニハ何等ノ關係ヲ有セス又第八一八號實用新案ニ於ケル細管^⑥ハ本件實用新案ニ於ケル枝管ホト其目的構造ニ於テ何等異ル所ナク只常ニ水槽内ニ取附ラル、カ隨時水槽内ニ挿入シテ使用スルカト云フニ過キスシテ新案ノ要點ニ於テ毫モ異ル所ナシ故ニ本件實用新案ハ實用新案法第一條及第五條ノ規定ニ違反シ同法第十一條ニ依リ無効タルモノナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第四號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其ノ理由ハ本件實用新案ニ於ケル考案ノ要部トスル所ハ(一)漏水溜用ノ外管^⑦ニテ設ケタルコト(二)枝管ホヲ設ケタルコト(三)制止環^⑧ヲ設ケタルコトノ三點ニアリ請求人ハ本件「ポンプ」ノ制止環ハ些々タル枝葉ノモノナリト主張スルモ本件「ポンプ」ニ於テハ漏水溜用ノ外管^⑨ト内筒^⑩トノ關係ニ於テ制止環ヲ具備スルコトハ實ニ缺クヘカラサル要點ナリ又第八一八號實用新案ニ於ケル漏水受^⑪及細管^⑫ト本件實用新案ニ於ケル漏水溜用ノ外管^⑬及枝管ホトハ其「ポンプ」ノ種類構造ヲ異ニスル爲メ其實用ノ效果ニモ差異アリ即チ後者ニ於ケル漏水溜用ノ外管^⑭ニハ此種直筒式「ポンプ」ニ應用シ且ツ其形狀ヲ異ラシメタル爲メ本「ポンプ」使用ノ際左手ヲ以テ此部ヲ把持スルニ便ナラシメタル新規ノ實用ノ效果ヲ生シタルモノ

トス又前者ノ細管^⑮ハ水槽トノ關係ニ於テ適當ニ設計セラレタレトモ後者ノ枝管ホハ水槽ノ有無ト全ク關係ナキ構造ニ爲サレタルモノトス要スルニ請求人ノ主張ハ其根本ヨリ誤レルモノナリト云フニ在リ

審決ノ理由 本件登録實用新案第一七〇一七號吸上注射用「ポンプ」ノ構造ハ其説明書竝ニ圖面ニ記載サルル如ク注射口^⑯ヲ内筒^⑰ヲ止金^⑱ト及制止環^⑲十字形線^⑳ヲ「バッキン」^㉑ハヲ有スル内筒^㉒ヲ外管^㉓ニ枝管ホ及十字形線^㉔ヲ「バッキン」^㉕又吸水口^㉖ヲ有スル外筒^㉗内ニ嵌挿シタルモノニシテ其權利ハ前記各部ノ組合ニアルモノトス請求人カ本件登録實用新案出願以前公知公用ニ屬シ且ツ同一構造ヨリ成ルト主張スル登録實用新案第八一八號噴霧器中唧筒ノ構造ハ其説明書竝ニ圖面ニ記載サル、如ク「ポンプ」^㉘内ヲ往復スル唧子杆^㉙及其上部ニハ「バッキン」^㉚ヲ「バッキン」^㉛ノ漏水受^㉜細管^㉝ヲ裝置シアルヲ知ルコトヲ得ルヲ以テ「バッキン」^㉞ヲ「バッキン」^㉟ニヨリテ唧子杆^㊱ト「ポンプ」^㊲筒トノ空隙ヨリ漏水スルヲ防止スルモ尙防止シ能ハサル漏水ハ細管^㊳ヲ經テ水槽内ニ流下スルモノナルコトハ認メ得ヘキモ其ノ他ノ構造ハ如何ナルモノナルヤ之レヲ知ルニ由ナク假リニ同一又ハ類似ナル構造ナリトスルモ内筒^㊴ノ構造ニ於テハ全然相違スルモノニシテ自然兩者ノ構造ハ互ニ相異ナルモノト認メサル可ラス故ニ登録實用新案第八一八號噴霧器カ本件登録實用新案第一七〇一七號ノ出願以前ニ公然知ラレ又ハ公然用キラレタリトスルモ本件登録實用新案第一七〇一七號ノ權利ヲ無効トナス理由ナシ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十二月七日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一

特許局技師 押 田 翼

特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千二百七十二號

東京市本所區小梅瓦町一番地

東京市本所區龜澤町二丁目三番地特許辨理士

石川縣石川郡宮保村字小川子二百七十五番地

請求人 伊藤 熊吉

右代理人 磯部 四郎

被請求人 東野 長八

右當事者間第一一九五五號實用新案登錄無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ實用新案第一一九五五號東野式稻扱器ノ登録ハ之ヲ無効トスト審決相成度其理由ハ被請求人ハ明治四十四年九月請求人ニ對シ東野式稻扱器ノ實用新案權ヲ侵害シタルモノトシテ東京地方裁判所檢事局ニ告訴シタルモ被請求人ノ有スル稻扱器ハ請求人ニ於テ二十ヶ年以前ヨリ製造販賣シ來リタル改良稻扱器ニ類似シ新規ノ考案ニアラサルヲ以テ第一一九五五號東野式稻扱器ノ實用新案ノ登録ハ無効タルヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至第五號證ヲ提出セリ
被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タスト審決相成度其理由ハ被請求人ハ明治三十年頃ヨリ各地ノ農具ヲ視察シ甲第二號證乃至第三號證ノ博覽會ニ於テ扱器ノ多少ト雖モ彎曲ヒシモノヲ見ス而シテ請求人ニ於テ二十ヶ年以前ヨリ製造シツ、アリト主張スル稻扱器ハ甲第一號證乃至第三號證ニ其名稱ノ存スル如ク段打、丸打ニ外ナラスシテ些少ノ彎曲タニ附シタルモノニアラス甲第四號證乃至第五號證ノ解説書及圖面ノ事項ハ努メテ多少ノ反リヲ附シタルモノ、如ク記述シアルモ信スルニ足ラス從テ被請求人ノ有スル東野式稻扱器ハ請求人ノ主張スル稻扱器ト類ヲ異ニスルヲ以テ實用新案第一一九五五

號ノ登録ハ有效ナリト云フニアリ

審決ノ理由 被請求人所有ニ係ル登録實用新案第一一九五五號東野式稻扱器ハ其願書附屬ノ圖面及説明書ニ徴スルニ第三圖ニ示セル如キ特有ノ形狀ヲ有セル扱器ヲ一定ノ間隙ヲ設ケテ螺鈺下ニヨリテ臺木ニ螺着シタル構造ニ付登録ヲ受ケタルモノナリ然ルニ請求人ニ於テ其出願前製造セリト稱スルモノハ扱器ノ全長ニ互リ微カナル「反リ」ヲ與ヘタルニ過キスシテ前記實用新案ノ所謂特有ナル形狀ト「反リ」ノ形狀ニ於テ著シキ差異ヲ認ムルカ故ニ該新案權利ノ範圍ニ屬セサル構造ナリトス從テ甲第一號證乃至第五號證ハ實用新案第一一九五五號東野式稻扱器ト何等類似スルトコロナキヲ以テ之ニヨリ該新案ノ登録ヲ無効トナスヲ得ス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十二月七日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一

特許局技師 小野 喜惣治

特許局事務官 奥山 萬次郎

第二千二百八十五號

東京市日本橋區濱町二丁目十二番地北九十三號

東京市芝區西久保櫻川町十八番地特許辨理士

東京市神田區松枝町二十九番地

東京市神田區五軒町五番地特許辨理士

請求人 吉田 善太郎

右代理人 萩原 榮太郎

被請求人 寺田 富藏

右代理人 日山 豊次郎

右當事者間ノ第一九四七〇號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ實用新案第一九四七〇號竹端保護金具ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用
ハ被請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其理由ハ明治四十年九月四日傘柄金ト稱スル實用新案
登録ヲ請求シ同年十一月一日第七一三九號ヲ以テ登録ヲ受ケタリ然ルニ被請求人ハ明治四十三年十月
二十三日竹端保護金具ト稱スル前記請求人ノ登録品ト同一少ナクモ類似ノ物品ニ付實用新案ノ登録ヲ
出願シ明治四十四年二月六日第一九四七〇號ヲ以テ登録ヲ受ケタリ右ノ事實ナルヲ以テ實用新案第一
九四七〇號ハ實用新案法第三條各號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ違反スルモノナルヲ以テ無効タルヘ
キモノトイフニアリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トストノ審決ヲ求ム其理由ハ實
用新案第一九四七〇號ハ竹端ノ割裂ヲ防キ且ツ竹節ヲ設ケサルモノニ容易ニ取着ラルヘキ帽子狀ノ胃
嵌金具ヲ有スルモノナルカ故ニ實用新案第七一三九號ノ如ク竹端ノ割裂ヲ保護シ得サルモノトハ全然
別箇ノ物品ナリトイフニアリ

審決ノ理由 被請求人ノ所有ニ係ル本件登録實用新案第一九四七〇號竹端保護金具竝ニ請求人ノ所有ニ
係ル登録實用新案第七一三九號傘柄金ハ孰レモ竹端ニ取着ケラル、座金ノ正中ニ先端球狀ヲナセル短
杆即チ突子ヲ設ケ竹杆ヲ地上ニ樹ツルモ泥土ノ附着スルコトナカラシメタルモノニシテ此構造ハ類似
ノ考按タルコト明瞭ナリ從テ實用新案第一九四七〇號竹端保護金具ハ登録實用新案第七一三九號傘金
具ノ權利範圍ニ屬ストスルハ格別ナリト雖モ實用新案第一九四七〇號ハ尙竹端ヲ保護センカ爲其座金

ヲ上方ニ延長シテ帽子狀トナシ竹端ニ胃嵌シテ割裂ヲ豫防スル構造ノ加工アルヲ以テ全部ノ構造及考
按トシテ相類似スルモノニアラサルカ故ニ登録實用新案第七一三九號傘柄金ニヨリ本件登録實用新案
第一九四七〇號ヲ無効トナスヲ得ス仍テ主文ノ如ク審決ス
明治四十四年十二月七日於特許局

審判長 特許局事務官 織 田 了
特許局技師 小 野 喜 惣 治
特許局技師 押 田 翼

第二千二百三號

- | | | |
|----------------|-------|-----------|
| 東京市芝區芝口二丁目十二番地 | 請 求 人 | 茂 田 定 昌 |
| 東京市芝區芝口二丁目十七番地 | 請 求 人 | 小 山 半 兵 衛 |
| 東京市芝區芝口二丁目十八番地 | 請 求 人 | 長 谷 見 次 |
| 東京市芝區芝口三丁目十三番地 | 請 求 人 | 坂 井 忠 次 郎 |
| 東京市芝區芝口三丁目十四番地 | 請 求 人 | 本 多 彌 兵 衛 |
| 東京市芝區宇田川町二十六番地 | 請 求 人 | 梅 澤 龜 吉 |
| 東京市芝區宇田川町二十七番地 | 請 求 人 | 鈴 木 德 次 郎 |
| 東京市芝區源助町十九番地 | 請 求 人 | 石 塚 金 次 郎 |
| 東京市芝區柴井町二十九番地 | 請 求 人 | 網 島 源 吉 |

東京市神田區東龍岡町四番地
 東京市神田區東龍岡町八番地
 東京市神田區東龍岡町十九番地
 東京市神田區東龍岡町十九番地
 東京市神田區豐島町二十五番地
 東京市神田區宮松町十二番地

請求 網島 高山市 武吉藏
 請求 島村友三郎
 請求 立花百之助
 請求 渡邊喜之助
 請求 合資會社岡田商店

右代表者

東京市神田區宮松町十二番地
 東京市神田區宮松町十三番地
 東京市神田區宮松町十三番地
 東京市神田區岩本町五番地
 東京市神田區岩本町六番地
 東京市神田區岩本町九番地
 東京市神田區柳町一番地
 東京市神田區柳町一番地
 東京市神田區柳町一番地

請求 岡田勝太郎
 請求 上岡喜太郎
 請求 吉田吉右衛門
 請求 松田永松
 請求 島村助七
 請求 小林文次郎
 請求 立花重次郎
 請求 井上菊次郎
 請求 木村猪六郎
 請求 河野千代吉
 請求 高橋庄太郎

東京市神田區柳町三番地
 東京市神田區柳町四番地
 東京市神田區小柳町三十五番地
 東京市神田區小柳町三十五番地
 東京市神田區柳原河岸十一號地
 東京市神田區須田町四番地
 東京市神田區須田町二十一番地
 東京市日本橋區新大坂町一番地
 東京市日本橋區新大坂町一番地
 東京市日本橋區富澤町十四番地

請求 高橋傳兵衛
 請求 杉山治兵衛
 請求 幸野孝吉
 請求 高橋三吉
 請求 平野房吉
 請求 中村益三
 請求 高橋ヒサ
 請求 里見藤平
 請求 柴田金三郎
 請求 合名會社金子商店

右代表者

東京市日本橋區通リ旅籠町八番地
 東京市日本橋區通リ油町十六番地
 東京市日本橋區通リ鹽町十三番地

請求 金子佐兵衛
 請求 暮田治三郎
 請求 井部信兵衛
 請求 合資會社越後屋商店

右代表者

東京市日本橋區橋町一丁目三番地
 東京市日本橋區橋町一丁目六番地
 東京市日本橋區橋町東綠川岸二十四號地

請求 川島勝藏
 請求 吉田得次郎
 請求 合資會社上野屋商店

*二百三

*二百二

大阪市内南區西橋町四十七番地 參加人 木下久平
 大阪市内南區高津町十番丁二番地 參加人 松政富藏
 神戸市元町通一丁目二百二十九番邸ノ二 參加人 神崎友三郎
 神戸市北長狹通四丁目百三十五番邸 參加人 來田寅藏
 神戸市橋通三丁目五十九番邸 參加人 眞鍋常太郎
 神戸市港町一丁目 參加人 松山市松
 神戸市多聞通一丁目 參加人 柴田音吉
 神戸市元町三丁目千二百八十四番邸 參加人 淺村三郎
 大阪市内東區北濱五丁目六十三番邸特許辨理士 右代理人 平岩義一
 大阪市内東區北濱五丁目六十三番邸特許辨理士 右代理人 藤江政太郎
 大阪市内東區北濱五丁目六十三番邸特許辨理士 被請求人 菊地久太郎
 東京市日本橋區鰯股町三丁目二番地 右代理人 稻木繁太郎
 東京市京橋區木挽町九丁目七番地特許辨理士

右當事者間ノ第八二五八號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 主文 第八二五八號實用新案登録無效審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
 審判費用ハ被請求人ノ負擔トシ參加ニ關スル費用ハ各自辨トス
 申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ實用新案第八二五八號手通シ付「マントー」ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人ハ明治四十一年二月七日出願同年三月十日第八二五八號ヲ以テ手通シ付「マントー」ノ實用新案ノ登録ヲ受ケタルモノナリ然ルニ右實用新案ト同一

様ニ手通シヲ設ケクルモノハ本件實用新案登録出願前已ニ公知公用ニ屬シタルモノナルコトハ明瞭ナル事實ナルヲ以テ本件實用新案ハ實用新案法第三條各號ニ該當シ實用新案法第一條ニ規定セル新規ノ考按ニアラスシテ同法第十一條ニ依リ無効タルヘキモノナリト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第七號證ヲ提出シ且ツ證人ノ訊問ヲ申請セリ
 請求人參加人申立ノ要領ハ本件實用新案第八二五八號手通シ付「マントー」ト同一構造ヨリ成レル「マントー」ハ本件實用新案登録出願前ヨリ公知公用ニ屬シ且ツ又容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ帝國内ニ頒布セラレタル刊行物ニ記載セラレタルモノニシテ實用新案第三條各號規定ニ該當シ同法第一條ニ違反スルニ依リ同第十一條ニヨリ其登録ハ無効ナリト云フニアリテ參第一號證乃至第八號證ヲ提出セリ
 被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ請求人提出ニ係ル甲第二號證乃至第四號證ハ單ニ繪畫ノミニシテ何等ノ説明ナキヲ以テ果シテ本件ト同一構造ナリヤ否ヤ之ヲ認メ難ク加之右繪畫表ノ本邦ニ輸入セラレテ公知トナリタル時日ノ立證ナキヲ以テ本件登録カ出願前公知ニ屬シタルモノナリト云フヲ得スト云フニアリ
 審決ノ理由 被請求人ノ所有ニ係ル登録實用新案第八二五八號手通シ付「マントー」ハ其願書附屬圖面及說明書ニ就キ審按スルニ右新案ノ主要部ハ着用ノ儘手ヲ外部ニ出サンカ爲「マントー」ノ前面ニ二箇ノ手通シ用ノ縦割孔ヲ穿チタル構造ニアルコト明瞭ナリ然ルニ之ト同一ノ目的ヲ以テ同一ノ構造ヲ具フル手通シ「マントー」ハ本件實用新案出願前帝國内ニ於テ已ニ公知公用ニ屬シタルコトハ證人藺部周吉岩崎貫三、大石藤太郎、名島彌三郎ノ證言ニ據リ之ヲ認ムルニ足ルヲ以テ本件登録實用新案第八二五八號手通シ付「マントー」ハ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ違反スルモノナリ從テ

同法第十一條ニ依リ其登錄ハ無効タルヘキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス
明治四十四年十二月十一日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局技師 小野 喜惣治
特許局事務官 奥山 萬次郎

第二千九百九十八號

名古屋市中區南鍛冶屋町八十二番戶 請 求 人 加 藤 竹 雄
名古屋市西區木挽町七丁目三十八番戶 被 請 求 人 安 藤 國 次 郎

右當事者間ノ第一九三〇號實用新案登錄無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 實用新案第一九三〇號深淺自在安全海水浴槽ノ登錄ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ登錄實用新案第一九三〇號深淺自在安全海水浴槽登錄ハ無効トス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ登錄實用新案第一九三〇號深淺自在海水浴槽ハ明治四十三年九月二日出願明治四十四年一月二十三日ノ登錄ニ係リ其請求範圍及圖面ノ說明ヲ見ルニ其構造ハ數箇ノ箱又ハ木材等ヲ海上ニ浮ヘ杭又ハ網等ニテ其流動ヲ停止セシメ其間ニ函狀ノ枠ヲ架シ且ツ適當ノ方法ニ依リ之カ離脱ヲ防止セリ而シテ枠ノ四周ニハ若干ノ間隔ヲ存シテ圓竹ヲ針金ニテ結着シ底部ノ横木上ニハ圓竹ヲ併列シ針金ヲ以テ篋狀ニ編付ケ尙枠ハ其堅牢ヲ保タシムル爲メ兩側ヘ斜

ニ力金ヲ附シ且ツ必要ノ箇所ニ隅金ヲ附セリ而シテ此枠ハ木製又ハ鐵製トナスコト任意ニシテ且ツ篋上ノ水源ハ枠ノ構造ニヨリ自由ニ深淺ヲ加減スルコトヲ得ルハ勿論箱上ニ臺ヲ乘セテ枠ヲ支ヘシメ臺ノ厚薄ニヨリ隨意ニ深淺ヲ調整スルコトヲ得ヘク一方ハ深ク他方ハ淺クスルコトモ自在ナリトストアリ此構造ハ請求人ノ考案ニ係リ名古屋電氣鐵道株式會社ノ囑托ニ依リ設計構築シテ明治四十三年七月十三日ヨリ同年九月十五日迄名古屋港西築港地先海面ニ繋留シ私立名古屋水泳協會々員水泳練習場トナシタル自稱浮海水浴場ト同様ノ者ナルコトハ甲第一號證乃至甲第三號證ニヨリ明カナル所ナリ而シテ被請求人ハ當時請求人ノ准備員トシテ勤務中該構造ヲ剽竊シ自己ノ考案トシテ登錄ヲ出願シタル者ナリ要スルニ本件登錄實用新案第一九三〇號ハ實用新案法第一條ニ違反シ同法第十一條ニ該當スル者ト信スト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第五號證ヲ提出セリ

被請求人答辯ノ要旨ハ請求人ノ請求ハ之ヲ却下スト審決相成度其理由ハ請求人ハ被請求人カ其備員トシテ海水浴槽ノ考案ヲ剽竊シタル者ニシテ固ト請求人カ之ヲ設計シタル者ナリト云ヘルモ之レ全ク虛構ノ事ニシテ被請求人ノ考案ハ其當時ニ始マリタルニアラス唯其機會ヲ得サリシノミ且ツ請求人ハ水泳教師トシテ本件考案ノ如キニ智識ヲ有スル筈ナキニ被請求人ハ船乘業ニシテ幼ヨリ此考案ニ心ヲ碎ケル者ナレハ被請求人ノ考案ニ出テタル者ナルコトハ疑フ可ラス請求人ハ被請求人ヲ目シテ雇人ナルカ如クニ云フト雖モ決シテ然ラス此點ハ被請求人カ海水浴場ニ於テ帽及襪貸賃全部ヲ自己ノ收入トナシタルコトヨリモ推スコトヲ得次ニ此貸賃業ノ爲メ愛知縣ヨリ一定ノ地面ヲ借入レタルハ八月十三日ニシテ請求人カ水泳場ヲ開始セル時ト一ケ月ノ差アリト雖モ元來此ノ如キ計畫ニ就テハ少カラサル日子ヲ要スル者ナレハ七月上旬ニハ既ニ着手セル者ニシテ本件ノ考案ハ其以前ニ在ルコト自ラ明カナリ要スルニ被請求人ハ請求人ノ准雇人トシテ其考案ヲ剽竊セルモノニ非ス請求人ニ先チテ案出シタルモ

ノナレハ請求人ノ主張ハ不當ニシテ却下セラルヘキモノナリト信スト云フニアリテ乙第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 明治四十三年九月二日出願日明治四十四年一月二十三日ノ登録ニ係ル本件實用新案第一九三〇號深淺自在安全海水浴槽ノ構造ハ其說明書並ニ圖面ニ記載シアル如ク數箇ノ箱口又ハ木材等ヲ海上ニ浮ヘ杭又ハ網等ニテ其流動ヲ停止セシメ其間ニ函狀ノ枠ヲ架シ且ツ適當ノ方法ニ依リ之カ離脱ヲ防止シ前記枠ノ四周ニハ若干ノ間隔ヲ存シテ丸竹ハヲ針金ニテ結着シ底部ノ横木ニ上ニハ丸竹並ヲ併列シ針金ヲ以テ簀狀ニ編付クヘク尙枠ハ其堅牢ヲ保タシムル爲メ兩側ヘ斜ニ力金ヘヲ付シ必要ノ箇所ニ隅金トヲ付シタルモノナリ然ルニ前記ノ枠ヲ舟及「スリッパ」ニ結束シタル海水浴槽ハ本件登録實用新案出願以前即明治四十三年七月二十三日愛知縣名古屋西築港内ニ於テ公然知ラレ且公然用キラレタルモノニシテ其實實ハ明治四十四年十一月五日提出シタル被請求人ノ答辯書ニ依リ之ヲ認知スルコトヲ得而シテ前記二箇ノ海水浴槽ヲ比較スルニ後者ニハ深淺自在タラシムヘキ裝置ヲ缺如スルモノナリト被請求人ハ主張スルモ單ニ前者ニ於ケル箱又ハ木材ト舟或ハ「スリッパ」トノ相異ニ止マリ舟或ハ「スリッパ」ノ裝置如何ニヨリテハ深淺ヲ自在ニ調節シ得ヘキモノナレハ兩者ハ互ニ類似ノ構造ヲ有スルモノト認ム故ニ本件登録實用新案第一九三〇號ハ實用新案法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ノ規定ニ違反スルヲ以テ同法第十一條ニ依リテ其登録ハ無効タルヘキモノナリ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十二月十二日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
特許局技師 押 田 翼
特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千二百八十號

京都市上京區樺木町通日暮東入中書町十六番戶 請 求 人 森 田 雅 次 郎
京都市上京區丸太町通小川西入横鍛冶町百四番地特許辦理士 右 代 理 人 岡 田 信 次 郎
京都市上京區一條通油小路西入西川端町一番地 被 請 求 人 京 都 染 再 整 合 名 會 社
京都市上京區堺町二條下ル杉屋町特許辦理士 右 代 理 人 寺 尾 次 郎 吉

右當事者間ノ第一八三三〇號實用新案登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 登録實用新案第一八三三〇號羽二重鹿子ノ登録ハ之レヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ第一八三三〇號實用新案羽二重鹿子ノ登録ハ之ヲ無効トス審判費用ハ

被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件羽二重鹿子ナルモノハ機械壓迫ニ依リ羽二重地ニ鹿子狀ノ隆起模様ヲ附シタルモノナリ然ルニ此押壓機械ナルモノハ鹿子絞模造器ト稱シテ明治二十二年特許第七一八號ヲ以テ特許セラレタルモノニシテ該機械ハ總テノ織物ニ押壓模様ヲ附スルヲ目的トスルモノナリ又請求人ニ於テモ明治四十二年十二月ヨリ押壓機械ヲ以テ羽二重地ニ鹿子ヲ顯ハスコトヲ營業トシ同四十三年二月ニ岡田榮次郎寺田寅之助等ヨリ羽二重地ノ供給ヲ受ケ押壓「ロール」ニ依リ鹿子模様ヲ附シ本件實用新案ト同一品ヲ製造シタリ又現ニ被請求人カ使用セル押壓「ロール」ハ由利達之助ナルモノ、彫刻シタルモノニシテ同人ハ明治四十二年一月之ヲ被請求人ニ賣渡シ尙同一「ロール」ヲ他人ヘモ數箇販賣シ且ツ同人ハ明治四十二年七月中旬ヨリ初鹿野信忠ノ依託ニ依リ同四十三年五月頃迄ニ羽二重ニ鹿子形ヲ押壓シタル製品多數ノ再整ヲ爲シタリ又初鹿野信忠ハ明治四十二年七月四日羽

二重地ニ鹿子絞状ヲ顯ハシタル都手柄ト稱スル頭掛ノ意匠登録ヲ出願シタルモ拒絶セラレ後松尾喜七ノ依託ニテ同四十二年四月頃迄ニ同一品ヲ多數製造シタリ其他明治四十二年八月三十一日村尾勘三郎ヨリ都絞ト稱スル實用新案登録ヲ出願シ拒絶セラレタルニ徴スルモ本件實用新案カ其出願前公知公用ニ屬スルモノナルコト明ナリ尙ホ押壓機械ニ依リ壓迫シテ模様ヲ顯ハスコトハ方法ニ屬スルコトニシテ物品トシテハ新案ヲ構成スルモノニアラスト云フニアリテ甲第一號證乃至甲第七號證ヲ提出セリ被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案羽二重鹿子ハ羽二重ノ織布ノ面上ニ適度ノ糊劑ヲ以テ再整ヲ施シ器械ノ押壓ニヨリ一部又ハ全部ニ鹿子目ヲ壓出シ尙ホ其鹿子目ヲ隆起シ其隆起シタル最高部ニ穴ヲ穿チタルモノナリ然ルニ請求人ハ器械ノ壓迫ニ依リ羽二重地ニ鹿子状ノ隆起模様ヲ付シタル物品カ本件新案品ト均等ニシテ且ツ本件實用新案ノ出願前普通ニ製造販賣セラレタル如ク主張スルモ此等ノ事實ハ毫モ無キノミナラス假リニ之レアリトスルモ請求人ノ所謂物品ト本件新案品トハ其構造ヲ異ニス何ントナレハ一ツハ器械ノ壓迫ニヨリ隆起模様ヲ顯ハスニ過キサレモ一ハ鹿子目ヲ隆起シ其隆起シタル最高部ニ穴ヲ穿ツニアレハナリ其他請求人ノ主張ハ悉ク之ヲ否認スト云フニアリテ乙第一號證乃至第三號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 明治四十三年三月十三日出願同年九月三十日登録ニ係ル本件登録實用新案第一八三二〇號ノ權利ハ其説明書並ニ圖面ニ示ス如ク羽二重地ノ面上ニ適度ノ糊劑ヲ以テ再整ヲ施シタル後機械押壓ニ依リ最高部ニ自然ニ生スル穴ヲ穿チタル鹿子目ヲ壓出シタル羽二重鹿子ニアルモノニシテ被請求人カ主張スル如ク鹿子目ヲ隆起シ其隆起シタル最高部ニ穴ヲ穿ツコトハ本件實用新案ノ要部ナリト認ムル能ハス且ツ又其ノ羽二重地タルヤ廣狹模様ノ別ナク又其用途ニ於テモ何等制限アルモノニアラス然ルニ明治四十二年八月三十一日村尾勘三郎ノ出願ニ係ル實用新案願第三七九五號都絞ノ構造ハ該願

書附屬説明書並ニ圖面ニ記載シアル如ク羽二重等ノ薄地織物ニ鹿子形ニ壓迫セントスル部分ヲ豫メ小圓鑽狀ニ抜キ染トナシ該部分ヲ押壓器ニ依リテ壓迫シ鹿子ヲ置キ都絞リト命名シタル織布ナルコトハ明ニシテ髮掛用手柄ニ用キントナシタルモノナリ之ノ兩者ヲ比較對照スルニ生地ノ羽二重タルコト並ニ押壓器ニ依リテ生地ニ鹿子形ヲ形成セシメタルコトハ兩者全然同一ナリ只前者ハ適度ノ糊劑ヲ以テ再整ヲナスコト鹿子目ノ最高部ニ穴ヲ穿ツコト後者ハ小圓鑽狀ニ抜染ヲ成スコト及ヒ用途ヲ髮掛用手柄ニ限定スル點ニ於テ相異スルモ之等ノ相違ハ兩者形狀ノ別異ヲ論スヘキ價値ナキモノニシテ前記ノ如ク本件登録實用新案ノ權利ニハ何等ノ影響ヲ來スモノニアラス要スルニ本件登録實用新案ノ權利ハ羽二重ニ鹿子ヲ押壓シタル織布ニアルモノナレハ其根本ノ考案ニ於テハ實用新案願第三七九五號ト同一ノ構造タルヘキモノト認メサル可ラス而シテ本件登録實用新案ハ實用新案願第三七九五號ノ後願ニ屬スルヲ以テ實用新案法第五條ノ規定ニ反スルカ故ニ同法第十一條ニヨリ無効タルヘキモノトス其他當事者間論争スル所アルモ審決ニ必要ナキヲ以テ説明セス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十二月十四日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局技師 押 田 翼
 特許局事務官 奥 山 萬 次 郎

第二千二百二十九號

東京市神田區仲後樂町六番地

請 求 人 關 川 常 介

東京市京橋區木挽町四丁目九番地特許辦理士
大阪府北區中野町六十二番屋敷
大阪府東區橫堀二丁目七十一番屋敷特許辦理士

右代理人 細川陽之介
被請求人 山本正三郎
右代理人 江田邦太

*二百十四

右當事者間第一一七九號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 被請求人ノ販賣スル甲第一號證〔實物及圖面〕ノ胴體ノ一側部ニ圓筒狀ノ口部〔イ〕ヲ設ケ胴體ノ底ト口部ノ底トノ間ニ突部〔ハ〕ヲ形成セシメ以テ兩底部ヲ分界シタル「インキ」壺ノ構造ハ登録實用新案第一一七九號ノ權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人カ販賣セル甲第一號證ノ「インキ」壺ハ登録實用新案第一一七九號「インキ」壺ノ構造ハ胴〔イ〕ノ一側部ニ掛ケテ高ク圓筒形ノ口部〔ロ〕ヲ設ケ胴〔イ〕ノ上面ハ弧狀ニ隆起セシメ實用アラシムル目的ナルヤ數箇ノ凸子〔ニ〕ヲ下方ニ凸隆セシメ突部〔ハ〕ノ後方ノ底ニ更ニ突部〔ホ〕ヲ設ケタルモノナリ然ルニ登録實用新案第一一七九號「インキ」壺ノ構造タルヤ胴〔イ〕ノ一側部ニ掛ケテ高ク圓筒狀ノ口部〔ロ〕ヲ設ケ胴〔イ〕ノ上面ハ弧狀ニ隆起セシメ突部〔ハ〕ヲ設ケテ口部〔ロ〕ノ下底ト胴〔イ〕ノ下底トノ境界トナシタルモノナリ右兩者ヲ比較スルニ前者ハ凸子〔ニ〕及更ニ一箇ノ突部〔ホ〕ヲ加ヘタルノ點ニ於テ後者トノ差異アリト雖トモ其他ノ部分ニアリテハ全然後者ト同一ナルコト明ナリ即チ甲第一號證ノ「インキ」壺ハ請求人所有ノ登録實用新案第一一七九號「インキ」壺ニ撞着スルモノナリト云フニアリテ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タヌ審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人カ販賣セル壺ハ標記ヲ附シタルカ如ク登録實用新案第一九二九〇號「インキ」壺ノ權利ニヨリ該圖面及説明書ニ記載セル所ニヨリ製作セルモノナリ其説明書ニ依レハ小壁界〔B〕ニヨリ沈澱物ヲ避リ更ニ小突起ニヨリ沈澱物ヲ除キ精良ナル「インキ」ノミヲ使用セシムヘク且ツ壺ヲ傾クルニ當リ金屬線ヲ使用スレトモ溝〔B〕及小突起ヲ有スレハ金屬線條ハ時トシテ之レヲ供ヘサルモ新案ノ要部ニハ何等變ル所ナキナリ然ルニ第一一七九號登録實用新案ノ要部ハ圓筒狀口部ノ下底ト胴ノ下底トヲ突起部ニヨリテ區分セルモノニシテ「インキ」ノ口部下底ニ集メテ殘留ナク使用セントスルモノナリ故ニ之ノ二者ヲ比較スルニ其目的效果構造何レノ點ヨリ見ルモ少シモ類似セル點ナク二箇ノ權利カ別々ニ登録サレタル點ヨリ見ルモ兩者カ撞着セサルコト明瞭ナリト云フニアリ

審決ノ理由 本件ハ甲第一號證「インキ」壺ノ構造カ登録實用新案第一一七九號「インキ」壺ノ權利ノ範圍ニ屬スルヤ否ヤヲ審決スレハ足ルモノニシテ被請求人カ主張スル如ク甲第一號證ノ「インキ」壺ハ登録實用新案第一九二九〇號「インキ」壺ノ權利ヲ實施スルモノナレハ要スルニ本件ハ前記二箇ノ登録實用新案カ相撞着スルヤ否ヤハ別箇ノ事件ニ屬シ本件ニハ何等關係ナシ而シテ被請求人ノ販賣スル甲第一號證〔實物及圖面〕「インキ」壺ノ構造ハ胴〔イ〕ノ一側部ニ掛ケテ高ク圓筒形ノ口部〔ロ〕ヲ設ケ胴〔イ〕ノ上面ハ弧狀ニ隆起セシメ胴〔イ〕ノ下底ニハ突部〔ハ〕ヲ設ケ口部〔ロ〕ノ下底ト胴〔イ〕ノ下底トノ境界トナシ該突部〔ハ〕ノ下面ニハ數箇ノ凸子〔ニ〕ヲ下方ニ凸隆セシメ突部〔ハ〕ノ後方ノ底ニ更ニ突部〔ホ〕ヲ設ケタルモノナリ而シテ登録實用新案第一一七九號「インキ」壺ノ權利ハ「インキ」壺ノ一側部ニ圓筒狀ノ口部ヲ設ケ胴ノ下底ニハ突起部ヲ設ケテ口部ノ下底ト胴ノ下底トノ境界ト爲シタル點ニアルコト其説明書並ニ圖面ニ依リテ明ナリ故ニ之ノ兩者ニ於テ一側部ニ圓筒狀ノ口部ヲ設ケ胴ノ下底ニハ突起部ヲ設ケテ口部ノ下底

*二百十五

ト洞ノ下底トノ境界トナシタル構造ハ共ニ全然同一ニシテ何等ノ差異ナシ故ニ甲第一號證「インキ」塚ニ於ケル前掲ノ構造ハ本件登録實用新案第一一七九號「インキ」壺ノ權利ノ範圍ニ屬ス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十二月十五日於特許局

審判長 特許局技師 梅野兵太郎
特許局事務官 織田了
特許局技師 押田翼

第二千六百六十七號

神戸市松原通四丁目五十五番ノ三十三	請求人	相元小文治
神戸市御崎村百九十二番ノ五	請求人	原田彌三吉
神戸市南逆瀬川町一丁目二十一番ノ十一	請求人	安藤常藏
神戸市入江通三丁目四十一番	請求人	古坂春次
神戸市荒田町二丁目二十七番ノ七十三	請求人	石川市太郎
神戸市磯通三丁目三十八番	請求人	村上繁敏
神戸市中山手通七丁目番外四十二ノ付屬	請求人	阪口爲次郎
神戸市荒田町三丁目百六十三番ノ十	請求人	吉田秀太郎
神戸市駒ヶ林井ノ町二百四十九番	請求人	辰巳村重

大阪市北區若松町二十三番地特許代理人 右九名代理人 足立進三郎
神戸市住吉通三丁目十九番邸 被請求人 三共煉炭株式會社

右取締役 松田新太郎
神戸市橋通二丁目七番邸特許代理人 右代理人 飯田勇記

右當事者間ノ第一二七九一號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 第一二七九一號登録實用新案ニ於ケル凹凸ヲ爲セル細長キ握團子形ノ形狀ハ實用新案ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ハ被請求人ノ有スル登録第一二七九一號木炭代用楠炭ノ實用新案權ハ「凹凸ニナセル細長キ握リ團子形ナル形狀ヲ其範圍トセサルコトヲ確認スヘシ審判費用ハ被請求人ノ負擔トスヘシト審決相成度其理由ハ本件實用新案楠炭ハ其請求範圍ニ依レハ握團子形ノ煉成カ新規ノ工夫ニ出テ請求範圍ノ一部ヲ作成セルカ如キモ此形狀ハ明治三十八年頃右林市太郎ノ創始セル所ニシテ同三十九年頃ヨリ周知公用ニ屬ス只楠炭ノ表面ニ凸凹ノ指痕ニ類スルモノアルハ之レ粗雜ナル握リ方ヲ爲シタルニ起リ又ハ乾燥棚ヲ構成スル女竹ノ爲ニ生スルモノニシテ敢テ異トスルニ足ラス畢竟此凹凸形狀ハ普通煉炭ノ形狀ヨリ工夫ヲ埃タヌシテ自然ニ出テ來リタルハ明カナリ即チ被請求人ノ楠炭ノ形狀ハ古林市太郎ノ考案ニ出テ廣ク煉炭ニ應用セラレ周知公用ニ屬スルモノナリ然ルニ被請求人ハ自己ノ本件實用新案權アルヲ奇貨トシ細長キ橢圓形ノ煉炭ヲ製造販賣セルハ其形狀ニ於テ自己ノ有スル實用新案權ノ侵害ナリトシ神戸地方裁判所檢事局ニ出訴シタルモ請求人等其他同業者ハ被

請求人ヨリモ早ク殊ニ古林市太郎ノ如キ橢圓形ノ工夫創始者アルコトナレハ其請求ニハ絶對ニ應スルヲ得スシテ應訴中ナリト云フニ在リテ甲第一號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ古林市太郎ハ明治三十八年以來煉炭製造業ニ從事シタルコトハ之レアリ然レトモ其製造ニ係ル煉炭ハ圓形又ハ玉子形ニシテ細長キ握團子形トハ全然別形ニ屬スルモノナリ而シテ右團子形ハ未タ曾テ何人モ其製造ヲ試ミタルコトナキ新規ノ考案ニ係ルモノナリ殊ニ凹凸ヲ成セル形狀ニ至リテハ最モ苦辛シタル考案ニ屬シ決シテ請求人主張ノ如ク自然的ニ生スルモノニアラス要スルニ細長キ握團子形殊ニ凹凸ヲ成セル形狀ヲ有スル本考案ノ煉炭ハ未タ曾テ公用セラレタルコトナキ新案ニ屬スルコト勿論ナリ次ニ本件係爭新案ハ其請求範圍ニ明記スル如ク凹凸ニナセル細長キ握團子形ト原料トノ組合ニ依リテ一箇ノ新案ヲ構成セル不可分のモノナリ左レハ假令本係爭新案ニ於テ其形狀カ公知公用ニ屬ストスルモ其全體ニ於テ有效ニシテ且其凹凸ヲナセル細長キ握團子ナルモノハ無論本新案權ノ一部タルヘキハ當然ナリト信ス次ニ請求人等ハ被請求人ノ創造ニ係ル本新案煉炭ヲ偽造若クハ模造シテ私カニ販賣セルヲ以テ神戸地方裁判所檢事局ニ告訴シタルヲ以テ窮餘本請求ヲ提起シタルモノナリト云フニ在リテ乙第一號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件實用新案第一二七九一號木炭代用楠炭ハ其登録請求範圍トシテ「無烟炭細末粉、樟實、硅酸曹達及麩糊ヲ以テ凹凸ヲナセル細長キ握團子形ニ煉成固結セシメタル木炭代用楠炭ノ構造」ト記載セリ然ルニ右特定形狀ニ類似ノ形狀即第一一八三二號登録實用新案都形煉炭ノ如ク凹凸面ヲ有スル角形煉炭ノ形狀將又第八八八號及第一〇九七七號兩登録實用新案ノ如ク圓筒狀或ハ長方形煉炭ノ形狀等カ本件楠炭ノ登録出願前已ニ實用新案公報ニ公示セラル、所ナルヲ以テ本件楠炭ノ特定形狀ハ新規

タル要素ヲ缺如セルモノナリ實ニ本件楠炭ハ其請求範圍ニ明示スル如ク特定形狀ト特定原料トノ結合ニ依リ初メテ實用新案ヲ構成セルモノニシテ其權利範圍モ亦此結合ニ存スルモノト認メサルヘカラス何トナレハ本件楠炭ノ原料中殊ニ樟實ハ最モ燃燒シ易キ特性ヲ有スルカ故ニ先ツ其燒燼ニ依リ煉炭ヲ多孔質タラシメ其結果他ノ原料タル硅酸曹達、麩糊等ノ如キ接着劑ノ作用ヲ確實ナラシメ從テ煉炭ノ龜裂崩壞ヲ防止スル效果ヲ發生スルカ故ニ右原料ハ本件楠炭ノ特定形狀ト相結合シテ初メテ實用新案法ノ保護ヲ享有スヘキモノナレハナリ即チ右原料ハ其使用ニ依リ本件楠炭ニ於ケル特定形狀ノ維持ニ其影響ヲ及ホスヘキモノニシテ斯ク形狀ト離ルヘカラサル效果アル原料ハ其本質ノ何タルヲ問ハス種子、鹽類ト雖モ實用新案ヲ構成スヘキ一成分ヲ爲スモノナリ由之觀是ハ本件登録實用新案ハ前説明ノ如ク特定ノ形狀ト特定ノ原料トノ結果ヲ以テ其要部トナスモノニシテ其權利範圍モ亦此結合以外ニ存スルモノニアラス從テ凹凸面ヲ爲セル細長キ握團子形ノ如キ形狀ハ特定シテ本件實用新案ノ權利範圍ト爲スコトヲ得サルモノナリ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十二月十八日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局事務官 奥山 萬次郎
 特許局事務官 村山 小次郎

第二百十八號

德島市佐古町字楠小路三十八番地

請求人 松島 五平
 *二百十九

大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士

右代理人 淺村 三郎

大阪市東區北濱五丁目六十三番屋敷特許辨理士

右代理人 平岩 義一

德島市富田浦町字西富田千五百十七番地ノ三

被請求人 元木 組藏

德島市富田浦町字西富田千五百十七番地ノ三

被請求人 元木 誠治

右當事者間ノ第一七六二九號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ製造スル甲第一號證松島式捺染型ノ構造ハ被請求人所有ノ登録實用新案第一七六二九號繪緋捺染印刷器械ノ權利範圍ニ屬セス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ請求人ノ製造スル甲第一號證松島式捺染型ハ被請求人ノ所有スル第一七六二九號登録實用新案ノ權利範圍ニ屬セサルモノトス審判費用ハ被請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ被請求人所有ノ本件登録實用新案ノ權利範圍ハ其登録請求範圍ニ記載セル如ク經緯二色印刷ノ要部トシテ昇降盤(註)ニ點着セル動染部(註)ヲ昇降螺桿(註)ノ上下作用ニヨリテ靜染版面各所ニ隱顯セシムルノ構造ニシテ靜染版(註)ノミカ權利ヲ有スルモノニアラサルコト明ナリ然シテ請求人ノ製造シ所有スル甲第一號證松島式捺染型ハ圖面及其說明ニ示セル如ク紙又ハ護膜ヲ花瓣菱形(註)其他任意ノ形狀ニ切抜キ之ヲ組立テ、花形四ツ目菱形(註)其他任意ノ模樣ヲ顯ハシ之ヲ盤(註)上ニ附着シ以テ任意ノ模樣ヲ作り出スヘク爲シタルモノトス故ニ之ヲ本件實用新案ニ對比スルニ毫モ相類似スルモノニアラスト云フニアリテ甲第一號證及甲第二號證ヲ提出セリ

被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ申立相立タス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ本件實用新案ニ於テ模樣ヲ現出スヘキ組立ハ切抜紙ヲ以テスルモ只方法ヲ異ニスル迄ニ

シテ其組立タルモノヲ附着スヘキ盤即チ靜染版ナルモノカ本件實用新案ノ要部ナリ然ルニ請求人ノ製造スル甲第一號證松島式捺染型ハ本件實用新案ニ酷似セルモノナルカ故ニ請求人ノ主張ハ其理由ナシト云フニアリテ乙第一號證及乙第二號證ヲ提出セリ

審決ノ理由 本件實用新案第一七六二九號繪緋捺染印刷器械ノ權利ハ其說明書ニ記載サレタル如ク昇降盤(註)ニ點着セル動染部(註)ヲ昇降螺桿(註)ノ上下作用ニヨリ靜染版面ノ各所ニ隱顯セシムヘク構成サレタル捺染印刷器械ニシテ其目的タルヤ經緯ニ二色印刷ヲナサントスルモノニシテ被請求人カ主張スル如ク靜染版(註)ノミカ本件登録實用新案ノ要部タルヘキモノニアラサルコト其登録請求範圍ヨリ明カナリ故ニ請求人ノ製作使用スル甲第一號證ニ示セル松島式捺染型ノ如ク紙又ハ護膜ヲ任意ノ形狀ニ切抜キ之ヲ組立テ任意ノ模樣ヲ現ハシ之ヲ盤上ニ附着シタル構造ハ本件登録實用新案第一七六二九號ノ權利範圍ニ屬スルモノニアラス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十二月十八日於特許局

審判長

特許局技師

一 川

一

特許局技師

押 田

翼

特許局事務官

奥 山

萬 次 郎

第二千二百九十五號

東京市日本橋區横山町三丁目八番地

請求人

上條 長次郎

東京市京橋區采女町十五番地特許辨理士

右代理人

池 田 季 雄

東京府豊多摩郡澁谷町下澁谷千三百九番地 被請求人 金子 佐一郎
 東京市神田區仲猿樂町十七番地特許理士 右代理人 田 島 熊 太
 東京市神田區仲猿樂町十七番地特許理士 右代理人 堀 内 健 治

右當事者間ノ第九〇一三號實用新案權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ

主文 請求人ノ製作販賣スル實用新案登録願第六五三〇六號護謄風船用空氣止ハ第九〇一三號登録實用新案ノ權利範圍ニ屬ス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人専用ノ登録第九〇一三號實用新案瓣付護謄球栓ハ請求人ノ製作販賣スル實用新案登録願第六五三〇六號護謄風船用空氣止ト撞着セサルモノト審決相成度其理由ハ請求人ノ製作販賣スル右空氣止ハ栓ノ中央ニ帶狀薄護謄ヲ横タヘ其兩端ヲ細絲ヲ以テ栓ノ側面ニ緊着セシメタルモ本件第九〇一三號實用新案ハ栓ノ中央孔ニ紙製ニ瓣ヲ附着セシメタルモノニシテ兩者互ニ其構造及材料ヲ異ニスルモノナリト云フニ在リテ甲第一號證乃至甲第二號證ヲ提出セリ
 被請求人申立ノ要領ハ請求人ノ製作販賣スル實用新案願第六五三〇六號護謄風船用空氣止ハ被請求人ノ登録第九〇一三號瓣付「ゴム」球栓實用新案權利範圍ニ屬ス審判費用ハ請求人ノ負擔トスト審決相成度其理由ハ第九〇一三號實用新案及實用新案願第六五三〇六號トハ互ニ類似スルモノニシテ唯瓣ノ一端ヲ糊着セシムルト瓣ノ兩端ヲ締着セシメタルノ差異アルニ過キス從テ後者カ前者ノ權利範圍ニ屬スルコト明カナリ又被請求人ハ實用新案願第三一一〇七號ヲ以テ請求人ノ出願ニ係カル實用新案願第六五三〇六號ト同一構造ニ就キ出願セルニ第九八六四號登録實用新案ト均等タルトノ理由ニ依リ拒絕セラレタルヲ以テ被請求人ハ第九〇一三號及之レヲ利用シタル第九八六四號ノ兩登録實用新案權利讓受ケ

タルモノナリ從テ請求人ノ第六五三〇六號ハ被請求人ノ登録第九〇一三號ノ權利範圍ニ屬スト論斷スルヲ至當ナリト信スト云フニ在リ

審決ノ理由 登録實用新案第九〇一三號瓣付「ゴム」球栓及實用新案登録願第六五三〇六號護謄風船用空氣止ヲ比較スルニ前者ハ其根本ニ於テ栓ノ中央通氣孔ヲ瓣ニテ蔽ヒ其一端ヲ締着セシムル構造ニシテ後者ハ又其根本ニ於テ通氣孔ヲ瓣ニテ蔽ヒ其兩端ヲ締着セシムル構造ナルカ故ニ兩者只瓣ノ締着部分ヲ其一端ト兩端トニ爲セル差アルノミ然レトモ斯カル差アルカ爲メニ瓣カ其目的トスル所ノ效果即球内ノ空氣ノ洩出ヲ防止スル效果及球内ノ氣壓ニ依リ瓣ノ閉塞スル作用ニ於テ全然相違スルモノニアラス從テ前記球栓及空氣止ハ其根本即チ要部トスル瓣ノ構造相均シキモノニシテ此均等ノ瓣ヲ備フル兩者ノ構造ハ相類似スルモノト認ム而シテ瓣ノ本質カ紙タルト護謄片タルトヲ問ハス孰レモ斯カル事項ハ兩者カ期スル所ノ目的ニ對シ何等影響ヲ及ホスヘキモノニアラサルカ故ニ之等事項ハ兩者構造ノ差異ヲ決スヘキ價値ナキモノトス仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年十二月二十五日於特許局

審判長 特許局技師 一 川 一
 特許局事務官 織 田 了
 特許局技師 押 田 翼

實用新案審決錄終

意匠審決錄

意匠審決錄目次

審決要旨	審判番號	件名	當事者	審決年月日	頁數
	第二〇四號	第五九八九號 意匠登錄無效事件	(請) 高柳新政 (被) 吉岡新吉	明治三十四年 四月三日	△一
	第二〇六八號	第四四六一號 意匠登錄權利確認事件 <small>(明治四十四年十月三十一日 抗告審決参照)</small>	(請) 天野嘉藏 (被) 土田治助	明治三十四年 五月三日	△三
	第二二四號	第六一七六號 意匠登錄無效事件	(請) 中村榮太郎 (被) 打越外二名 常楠外一名	明治三十四年 六月四日	△五
	第二二六一號	第六二五四號 意匠登錄無效事件	(請) 牧千太郎 (被) 佐々木信玄	明治三十四年 九月二日	△七

意匠審決録

第二千四百號

神戸市中山手通二丁目一番邸ノ七 請求人 高柳政籌
神戸市楠町四丁目百六十六番邸特許辨理士 右代理人 飯田勇記
神戸市加納町四丁目二百十九番邸 被請求人 吉岡新吉

右當事者間ノ第五九八九號意匠登録無効審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 被請求人ノ第五九八九號意匠登録ハ之ヲ無効トス

審判費用ハ被請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人ノ第五九八九號意匠登録ハ之ヲ無効トスト審決相成度其理由ハ請求人ハ明治三十七年中三曲合奏ノ圖ヲ考案シテ之ヲ扇子ノ商標ニ使用シ神戸市下山手通三丁目三十番「エム、ウエンドレル」商會其他ト取引シ次テ同四十三年三月十九日扇子ノ商標トシテ登録ヲ受ケ現ニ扇子ノ容器タル紙函ニ貼付使用シツ、アリ然ルニ被請求人ハ明治四十三年五月二十五日請求人ノ使用スル前記登録商標ト同一圖案ヲ成セル三曲合奏ノ圖ヲ紙製箱ノ模様意匠トシテ登録ヲ出願シ同年七月二十九日其登録ヲ受ケ而テ専ラ之ヲ扇子ノ容器タル紙箱即請求人ノ商標ヲ貼付使用シ來リタル物品ト同一ナル物品ニ應用シ前記商會ニ賣込ミツ、アリ斯クシテ被請求人ハ惡意ヲ以テ請求人ノ商標權ヲ侵犯スルノミナラス被請求人ノ登録意匠ハ其登録出願前ヨリ請求人ノ使用及商標登録ニ依リ公知

公用ニ屬スルモノナルヲ以テ意匠法第一條、第三條及第十二條ニ依リ無効タルヘキモノナリト云フニアリ

被請求人申立ノ要領ハ本件請求ハ却下相成度其理由ハ請求人カ三曲合奏ノ圖ニ付商標ノ登録ヲ受ケケル子ノ容器タル紙箱ニ貼付シ前記商會ニ賣込ミ居ルコトハ之ヲ爭ハサルモ被請求人ノ登録ヲ受ケケタル意匠ハ請求人ノ登録ヲ受ケケタル圖案ト同一ナラサルノミナラス類似ノモノトモ認ムルヲ得スト云フニ在リ

審決ノ理由 被請求人カ紙製箱ニ應用スル目的ヲ以テ明治四十三年五月二十五日意匠ノ登録ヲ出願シ同年八月三日其登録ヲ受ケケタル第五九八九號登録意匠ハ三曲合奏ノ傍美人ノ歌舞ヲ添寫シ色採セル梅、牡丹及櫻ノ花ヲ輪畫ニ施セル模様ナリ然ルニ被請求人ハ本件答辯書中ニ於テ請求人カ三曲合奏ノ圖ニ付第四〇一〇九號ノ商標登録ヲ受ケケル子ノ容器タル紙箱ニ貼付シ「エム、ウエンドル」商會ニ賣込ミ居ルコトヲ認メ又其再答辯書中ニ於テ「元來請求人ハ館主ニ對シテハ非常ナル恩誼ヲ受ケ居ルモノナルニモ拘ラス格外ニ高價ヲ以テ賣込ミタルヨリ館主ハ之ヲ憤リ明治四十二年中其取引ヲ拒絕シタルモノナリ」ト主張スルヲ以テ見レハ被請求人ハ請求人カ本件意匠ノ登録出願(明治四十三年五月二十五日)前既ニ三曲合奏ノ圖形ヲ公然使用シ又之ニ付商標ノ登録ヲ受ケケシコトヲ認メタルモノト解スヘキモノナリ今本件登録意匠及請求人カ公然使用シタル三曲合奏圖形トヲ比較スルニ兩者ハ其輪畫ニ用キタル花卉及色彩ニ於テ多少ノ差アリト雖其主要部タル三曲合奏及美人歌舞ノ圖形ニ於テハ兩者相同シキヲ以テ兩者ハ互ニ相類似スルモノト云ハサルヘカラス然ラハ本件登録意匠ハ其登録出願前帝國内ニ於テ公然用キラレタルモノニ類似スルモノニシテ意匠法第三條第一號ニ該當シ同法第一條ニ違反シ其登録ハ同法第十二條ニ依リ無効ト爲スヘキモノナリ仍テ主文ノ如ク審決ス

明治四十四年三月十四日於特許局

審判長 特許局事務官 奥山萬次郎
特許局事務官 田中鐵二郎
特許局事務官 三浦惠一

第二千六十八號

大阪市東區上難波北ノ町十九番地	請求人	天野嘉藏
大阪市東區備後町二丁目三十六番地特許辦理士	右代理人	堤他彦
大阪市東區南久寶寺町四丁目十番地	被請求人	土田治助
大阪市東區瓦町一丁目五番地特許辦理士	右代理人	廣井代藏

右當事者間ノ第四四六一號意匠權利確認審判請求事件ニ付審決スルコト左ノ如シ
主文 請求人申立相立タス

審判費用ハ請求人ノ負擔トス

申立ノ要領 請求人申立ノ要領ハ被請求人カ製造販賣セル爪櫛甲第一號證ノ二ハ請求人所有第四四六一號登録意匠ノ範圍ニ屬ス審判費用ハ被請求人ノ負擔トストノ審決相成度其理由ハ請求人カ先ニ明治四十一年一月二十一日第四三二五號登録意匠ノ類似意匠トシテ第四四六一號ヲ以テ登録ヲ得タル櫛ヲ海外ニ輸出シ大ニ顧客ノ嗜好ニ適シ盛ニ販賣シ居リタル處被請求人ハ甲第一號證ノ二ノ如キ殆ント同意匠ノ劣等品ヲ製造販賣シテ請求人ノ權利ヲ蹂躪セリ今兩品ヲ比較スルニ大體ノ形狀同一ナルノミナラ